

# 民具の「形態と機能」を読む

## ——富山県「砺波の民具」による試論——

神野善治

### 1. はじめに

暮らしをとりまく多種多様な道具類を、わたしたちはどのように捉えているのだろうか。何でもありの無秩序な世界であるように思われているかもしれない。人間の作り出したものは、所詮はそのおりに恣意的にできたものだから、分類などはできないものだという意見もある。しかし、「日常生活の必要から技術的に作り出されて」（この一節は民具研究をはじめて世に問うた渋沢敬三の民具の定義の一部。民具とは「我々同胞が日常生活の必要から技術的に作り出されて身近卑近の道具」、世代を越えて、広く共有されてきた身の回りの道具類には、時代や地域を越え、人間の行動の基本的なあり方が長い年月の間に刻み込まれていて、そこには、ある程度まで秩序立ったあり方を見て取ることができるのではないか。これまで、いわゆる「民具」と呼ばれるものの世界を眺めてきた者のひとりとして、そのような確信を持つようになってきた。この考えに至る経緯をぜひ紹介しておきたい。

今回の共同研究の経緯は別に記したが、従来の「民具」の「分野別」「用途別」の分類は、日常生活の歩みとその場面ごとに再現し、包括的に捉えるという視点からは、とてもよく整えられていると思う。しかし、この分類にとらわれていると、道具類がもつ本質的なあり方、形態と機能の関係は、容易には見えてこない。人間が生み出してきた道具類を、時代や地域を越えて比較検討していくときに、道具の基本的要素である「形態」や「機能」が共通する道具は、さまざまな分野に分散し、横断的に検索することが極めて難しい。それをモノの名前を検索キーにしてたどることに根本的に問題があることもすでに確認してきた（前回の共同研究プロジェクト「民具の名称に関する基礎的研究」『国際常民文化研究叢書』第6巻・9巻参照）。

複数の民具コレクションを横断的に検索するデータベースがこれまで成功していない理由も、道具の根本的なあり方の認識が足りなかったことに尽きるのではないか。今回は、特定の民具コレクションを構成する個別の民具をいかにとらえるかということから出発して、民具の「形態と機能」のあり方に迫ることを志した。この作業がうまく展開すれば、日本各地に集積された膨大な民具の世界から、ひいては出土資料や海外の資料から、先人たちが生み出した暮らしの「知恵と技」に関するアイデアと情報を引き出す方法を手に入れられ

ると考えたのである。

#### 1) 道具の形態とは何か ～風呂敷の場合～

あらためて問うまでもなく「道具の形態」など、ひとめ見ただけでもわかるのではないか、と言われるかもしれない。

ところがそう簡単でない。たとえば、典型的な「軟らかい道具」である「風呂敷の形態」を示せといわれたら、あなたならどう答えるだろうか。「四角い布」と言えばよいかもしれない。しかし、風呂敷は、何かを包むことにその主な存在価値があるので、その役目を果たしているときの形が「風呂敷ならではの形」ではないか。ところが、それは包んだもの形に添うように変化する。四角い箱を包めば四角くなる。スイカやビール瓶を上手に包んで手に提げて運べる包み方もある。このときは、「外見」は球状や細長い瓶に似た形になっている。使うときの風呂敷の形は変幻自在だ。包んで、結び、結ぶことで提げ手にもなる。終われば解かれて、もとの四角い「布状」にもどり、折りたたまれて収納される。風呂敷の「もとの形」は、そのつもりで平らなところに広げてみないとわからない。それは「正方形」というと、実はそうではない。「風呂敷は正方形ではない。上下と左右の長さがほんの少し違う。風呂敷は、反物を裁断しその端を三ツ巻きにして縫い上げる。縫った端を天地（上下）とし、生地、巾が左右となる。巾よりも天地方向のほうが若干長くつくられている」といい、布の幅が基準になって、いく通りもの基本サイズがある（山田悦子『風呂敷つつみ—A Complete Guide to Furoshiki—』（バナナブックス 2011年刊））。

養老孟司『形を読む～生物の形態をめぐる』（培風館 2004年）で、養老先生は「見かけのかたちは変わるが、構造は普遍」だという。これは名言だ。道具の機能は使ってこそ、動かしてこそ出現する。風呂敷の「見かけの形」は、時間とともに変化するが、その「もとの形」は時間に左右されず不変（普遍）である。それを「構造」あるいは「構造の形」ということができる。対象物を包んでまとめ、かぶせて隠し、保護して、運ぶなどという機能は、時間とともに変化する「見かけの形」で実現する。ということで、結局、変化する「見かけの形」では風呂敷の形態は特定できないので、変わらない構造を示す「もとの形」すなわち「構造の形」で比較検討をしなければならないことを悟る。同様に軟質の素材でできているもの、たとえば、縄状、袋状、衣状のものなどはとらえていけるのではないか。

## 2) 鍬や犁の形態

それでは、硬い素材でできている普通の道具なら、その形態をもっと容易に示せるかということ、これも簡単ではない。

たとえば、今回のプロジェクトで分析対象にさせていた『砺波の民具』の図録第一頁に農具の「鍬」が収録されている。その形態から検討をはじめたところ、きわめてシンプルな道具なのに、いざ、言葉で説明しようとするとなかなか難しい。幸い図録には「鍬類」全体を次のように紹介している。

「I 農林業、1 耕起、(1) 耕起用具、1 鍬」、「古くは、「風呂」と呼ばれる木の台に鍬の鍬先をはめこんだ「風呂鍬」が多かったが、今日使われているもののほとんどは、刃床部全体が鉄製のものである。一枚の板状の鉄板からなるのは「板鍬」または「平鍬」、先が3本に分かれるのを「三ツ鍬」、4本に分かれるのを「四ツ鍬」などというのが砺波地方では一般的である。鉄板の一端には柄を付けるための櫃(ひつ) (柄壺・柄入れ) を設ける。「三ツ鍬は重く頑丈で荒起こしに、「四ツ鍬」は軽く、碎土や土寄せに広く使われてきた。鍬の多くは地元の職人によって作られ、刃先が減れば鍛冶屋で先ガケをして長く使用した」とある。

以下 1-1 風呂鍬が 5 例、1-2 板鍬・平鍬が 16 例、1-3 三ツ鍬 19 例、1-4 四ツ鍬 13 例という具合に続いていくが、その種類ごとの最初にも形態と機能について少しだけ解説がある。たとえば、2 番目の「板鍬・平鍬」ならば「刃床部全体が一枚の鉄製のものに、柄を仕込む櫃をつけたもの。刃先には焼きが入れている。田畠の耕耘、畠の畝立て、溝上げなど広く使用する」と説明し、資料 1 点ずつには写真(分類別の写真番号)と「登録番号、資料名(方言名と漢字表現)、寄贈者、形状、備考」が記載され、「形状」は「刃床部の長さ 25 cm、幅 16.3 cm、柄の長さ 118 cm、柄角 73° 重さ 2.4 kg」と計測結果も示されている(図 1)。

「形態情報」は、このように実に丁寧に提供されている。他地方の「民俗資料目録」などでも、ここまで書き込まれたものは少ない。しかし、この詳しい説明にもかかわらず、今の若者世代や外国人が、この説明で「鍬の形」とはどういうものかわかるかということ、その基本的な「形態情報」は示されていないのだ。それは常識なのか、それとも図や写真で見ればわかるとしているのか。従来の民具目録のリストには、そのような形態情報は、まず記されていないのが普通なのである。そこを問題にしたい。

## 3) 構成部材の数と形態の表示

そこで、1 歩もどって、「鍬」よりももっとシンプルな民具を考える。たとえば「箸」。これは 2 本 1 組だが、形態的には先細りに削り出された 1 本の木の棒だ。手で握って操作するほどのスケールを示すだけで形態が特定できる。同様に、楊枝や串、やや大きくなると釘や楔、杭の類などが 1 本棒に近い。素材と寸法と製造方法、細部の形を補足して示せば、ほぼ表現が完了する。

では「釣鉤(つりばり)」はどうか。「J」あるいは「し」の

字などの形に湾曲している。先端が尖り、先端近くに逆方法の鋭い切り込み(返し)がある場合がある。反対端に小さい穴、あるいは潰して釣糸を縛れるような細工がある。全体としては曲がった棒状として把握できる。

そこで、「平鍬」にもどって、全体を少し離れて眺め、そのシルエットを見たとする。細長い棒が折れ曲がった L 字形あるいは鋭角の L 形の形が見えてきた(図 2)。

長い棒状のところは「柄」であり、ここを持って先端の L 字形部分を作部として地面に打ち付け、土を掘ったり、手前に掻き寄せたりするものと「使用法」として記録されている。その「作用部」(鍬先)は鉄製の板状。これと柄(身体接触部)の 2 材が L 形に結合されているのが「平鍬」の全体形といえるだろう。ただ、鍬先には柄を差す筒状の部品(櫃=

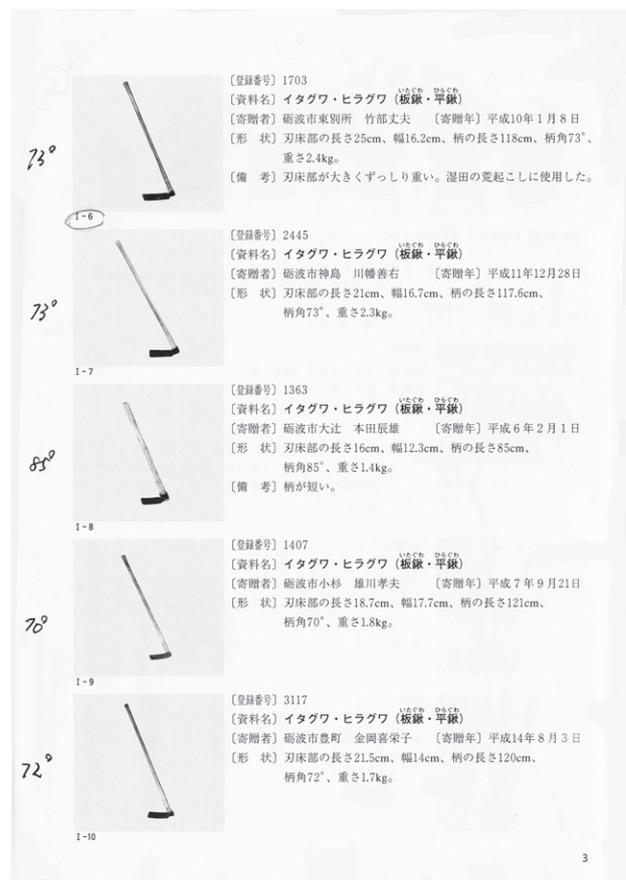


図 1 平鍬の事例掲載頁の一例(『砺波の民具』より)

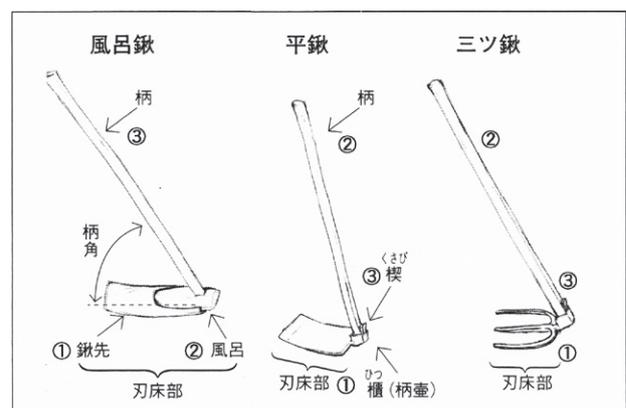


図 2 鍬の種類と部材(『砺波の民具』より)

ひつ) が付き、柄の棒が差し込まれている。よく見ると、柄を差し込んだところに小さな木片(楔)が打ち込まれて固定されている。この小さな部品も加えれば「鋏」全体が3材構成ということになる。それに対して、古いタイプの「鋏」である「風呂鋏」は、「風呂」と呼ばれる平たい三角錐形の木製「床部」に、細長い板状の鋏先がはめられている。U字状に2本の突起が出る形が、いわゆる「鋏形」(鋏形虫の名はこの形が由来)の鉄の鍛造品である。風呂鋏の柄は、「風呂」の「床」部分に開けられた四角い穴に差し込まれている。柄の端は太く、穴の下側から差し込まれているので、鋏を振り上げたり振り下ろしたりしても抜けないので、3材構成で出来上がる。以上のように「鋏」のようにシンプルな農具でさえ、形態を文字で記述しようとするときこんな面倒なことになる。次に登場する「犁(唐犁)」になると、いっきに部材が増えてもっと複雑になる。数えてみるとシンプルな犁でも10数材にもなる。次のマンガ(馬鋏)の場合も構造は決して複雑ではないが、18材を数えた。これらの観察から、まず「鋏の形」「犁の形」「馬鋏の形」の典型的な形態あり方をどうとらえたらよいか迷ったが、ひとつの回答は、まず全体像をシンプルに幾何学的形態でとらえて把握して示すことがよいのではないかという提案をしたい。その上で、複数部材の構成であれば、主要部材の形態もまたシンプルに表現して書き加えることにする。鋏の場合はL形、あるいは∠形でよいことにする。遠目にみたらそんなシルエットに見えるという形態を全体形とする。人がモノを判別する出発点はそんな程度の形態認識からではないかと想定してみた。

#### 4) 形態認識の試行 ~犁は△と□の枠構造で~

それでは、具体的に、図録写真I-67の「ホウジノスキ(放寺の犁)」の形態をどう把握するか試みてみよう。これはいわゆる「単用犁」で、曲がった角材の「犁身」の先端に篋状鉄製鋳物の「犁先」と「犁銜(へら)」が取り付けられている。犁身の中ほどには、牛馬に曳かせる真っ直ぐな角材の「練り木」が「縄」で結びつけられている。この主要部材である「犁身」と「練り木」が鋭角(∠形)に配置されている。この角度を固定するためにもう1本、短い板状の「犁柱(たたり)」がタテに差し込まれているので、全体としては三角形(△形)に組み立てられていることがわかる。「犁身」が湾曲しているため、△というよりも○の1/4の形にも見える(図3)。

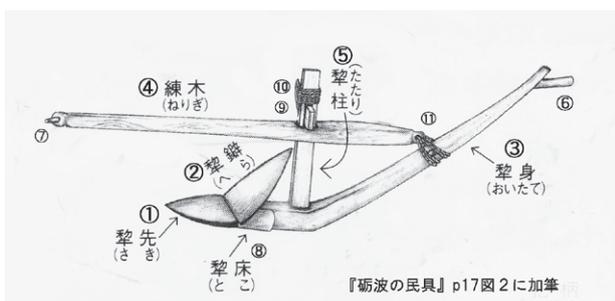


図3 ホウジノスキ(放寺の犁)(『砺波の民具』より)

このように全体像については、鋏の場合と同様に、視点を後退させてシルエットでとらえ、「犁身」と「練り木」という主要部材がフレームで組み立てられた「構造の形」を想定して読み取ってみた。別のタイプの「長床犁」は「犁身」が別々の2材でL字に組み合わせられており、この部分が全体に「□形(枠状)」に読み取れる。犁の研究に長年携わってこられた河野通明氏の見解(『民具学事典』77頁・2020年)でもこのような形態認識がなされていた。

以上、軟質素材の「風呂敷」と、硬質素材の「鋏」と「犁」の形態を検討したが、もういちど道具全体に立ち返る。

## 2. 民具の素材と形態

### 1) 「硬・軟」と「柔・剛」

風呂敷の例と、鋏や犁の例で示したように、道具の全体像(その形態と機能)をとらえるときに、その道具を構成する素材によって「硬質のもの」と、「軟質のもの」に分けてみると、あらたに見えてくるものがある。

物理学では「剛体」という概念がある。剛体とは「決して変形しない大きさのある物体のこと」だと「力学」の教科書にあり、世の中の物体は、だいたいこの力学で説明できるという。「重心」をめぐる物体の運動の捉え方などは面白い。しかし「剛体」の反対概念の普通名詞は国語辞典にはなく、風呂敷や手拭や縄などは「柔体」とでも呼んでおくことにしたい。「剛体の力学」の外に、弾性や塑性、あるいは流体の力学が解明されているが、「柔体の力学」は成立していない。物理の先生に言わせると難しすぎるからだという。

それはともかく、道具のあり方を考える上では、その素材の硬軟で見方がかわるので、別々に考えるのが適切だろう。硬軟の違いは、ここでは、道具の全体形(見かけの形態)が、置き方によって(すなわち重力で)変形してしまうものは軟質のものにとらえる。たとえば、糸や縄や、着物などの衣類、袋物、旗、幕などの布製品。漁網や蚊帳など主に繊維製品など。これに対し、置き方を変えても形状が変わることがないのが硬質のものとしておく。

これは私が沼津市歴史民俗資料館の学芸員として民具の調査研究に携わって10年ほど経ったころ(1987年)に「博物館研究紀要」(11)に書かせてもらった論文「モノと情報~道具の体系論への試み」で表明した。かなり大上段に構えたテーマで、しかも宮本常一先生の掲げた「機能分類」いわゆる「宮本分類」を批判したものだったが、上記の「硬・軟」と、「点・線・面」を組み合わせたマトリックスで民具の形態を分類したり、民具の機能を「物理的な機能」と「象徴的な機能」の両面からとらえることなどを指摘した(次頁、図4参照)。

このときの考えは、35年近くを経過した今も基本的にかわっていないが、この材質の硬軟(柔剛)の分類については、民具研究者でかつ鉄の工芸作家でもある朝岡康二氏から「自分はひごろ『鉄はやわらかい』と思ってきたが」と指摘

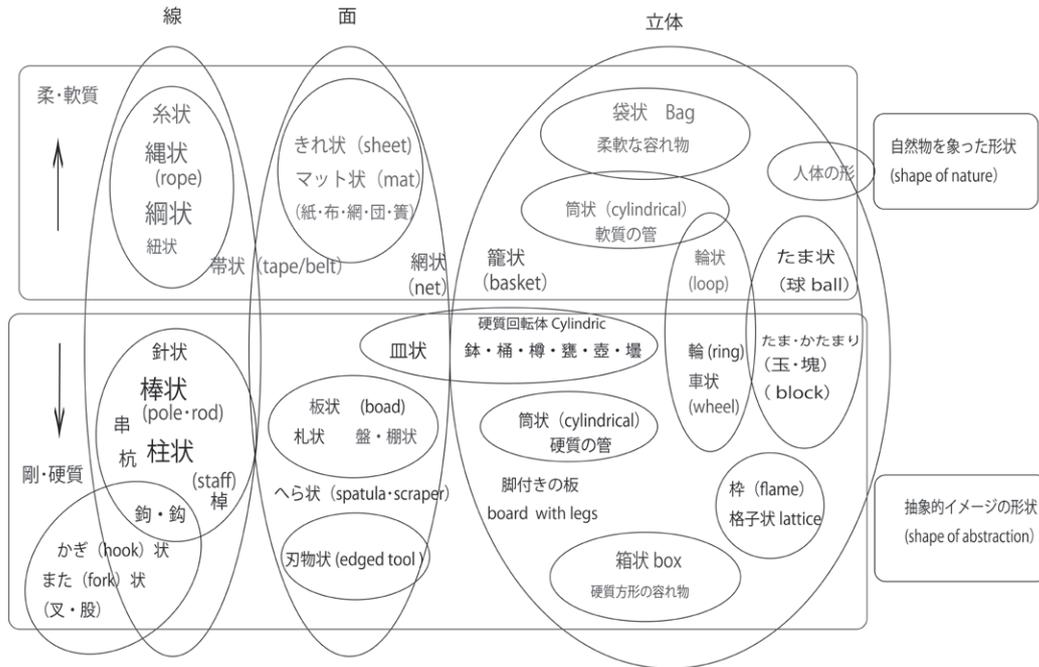


図4 道具の基本形態

された。確かに、硬いようでも、鉄は熱くして槌で打てば平らになり、熱でとかして鑄型に流し込めば、自在な形に造形できる。朝岡さんが当時私の暮らしていた伊豆内浦の民家の囲炉裏端で熱く語ってくれた民具談義は忘れられない。鉄製品であっても物理学がいう「剛体」の概念ではわりきれないのである。

硬・軟2分だけでは、物質の特性と道具のありようは、十分には説明できない。これをフランスの人類学者、アンドレ・ルロワ＝グーランが上手に解きほぐしてくれていたのに気づいたのは、ごく最近のことだった。

2) 可塑性を加味したグーランの素材分類

ルロワ＝グーランは、“*L, Homme et la Matiere*” (「人間と物質」1943・1971年)の第4章：製造技術)で、素材と製造技術を、その素材の物性に応じて6つに分類している。原文と格闘して、この部分をなんとか読み取って見たところ、まず、物質を固形物と流体(液体など)に二分したうえで、固形物は、硬くてもろい固形物から柔軟な固形物までを5つに分ける見解を示している。(1)安定した固形物(石材)とやや脆い固形物(貝・角・骨材)、(2)繊維状固形物(主に木材)、(3)半可塑性固形物(金属)、(4)可塑性固形物(土・粘土・蠟・樹脂など)、(5)柔軟な固形物(獣皮・樹皮・竹蔓など)の5段階である。

それぞれの主な素材に製造技術が対応して、(1)の「石材や貝・骨・角」には、削る・彫る・刻む・砕く・割るなどの技が対応する。(2)「木材」などの繊維状固形物は、彫る・挽く(ろくろで)・きる(刃物で切る・截る・断る)・曲げる・削る・彫るなどの技があり、砕いて漉くと柔軟なシートにもなる。(3)金属は叩いて変形し、熱を加えれば鍛造、

さらに高熱で溶かせば鑄造が可能なので「半可塑性」だとする。(4)粘土や樹脂が、まさに可塑性をもつ素材で、そのまま変形や切断などができるが、ゲル状にもなり、高熱で焼成すれば固形物になる。可塑性の原語は plastic。現代まさに巾をきかせている素材の石油製樹脂がこの名を独占している。(5)柔軟な獣皮・樹皮・竹・蔓には、裁縫・紡績・編み・組み・織りの技術が対応する。

固形物の素材の物性として、硬軟に注目しただけでなく、可塑性(プラスチック)の概念を加え、製造技術を重ねたて捉えたところがグーランの卓見だろう。

3) 形態と構造を示す表現を考える

民具の形態を読み取り、仕分けていくときに、上記グーランの物質の捉え方の視点を加えて、素材と製造技術の要素を加えれば、製品の構造がほぼ対応するので、これを砺波の民具一覧表づくりに応用した。

たとえば、農具の鍬や犁の形は前述の通り、まずは「全体形」をシンプルな幾何学的形態からとらえることから始める。単純な棒状、塊状、板状のものなど、どんな素材でどう製造されているかを示せる。部材が複合する場合は、それぞれのあり方を取り出すことになる。

「粒状・粉状」「棒状」「糸状・縄状・紐状・带状・網状」「鈎状」「板状」「布状」「枠状」「器状(箱状・袋状)」などのより上位の形態概念である。またさらに普遍的な形態表現として幾何学的な形態を示す言葉を用いて説明すべきでないかと考えた。形状を示すのに「細長い、丸い(粒・玉・球体)、四角、三角、平面(板状)、立方体・直方体(箱形)」などである。道具の形態を認識するのに、最初に「全体の見かけ」すなわち「全体形」をどうとらえるかが問題になる。それを

シンプルな形態としてとらえることができるかどうか。そこで、全体に「細長い」とか、「細長い棒状」だとしても、いくつものバリエーションが想定できる。たとえば、途中で曲がった「L・∠・Uなど」を加えたい。「平らなもの」「まるいもの（球体と円筒形など）」。これらの基本的形態を「形態素」と考え、可能なものはそれを見出し、比較する。

しかし、全体がいくつかの「形態素」から構成される場合が多い。使い方がわからない場合は、複数の「形態素」の組み合わせでしか受け取れないが、その用法がわかっているならば、部位の使い分けを示せる。たとえば手に持って使うものには「作用部」と「身体接触部」がある。あるいは、床や地面に置いたり、壁に掛けておいたりして使用する容器類などは、中に入れたものを「まとめたり、維持したりする」機能を持つ「作用部」と、その器具を適当な位置に固定するための「脚」・「台」あるいは「吊り鉤」などの「固定部（設置部）」があり、それぞれの形態を分けて見出すことができる。たとえば、「五徳」は、「輪状+棒状（脚）3本」と表現できる。

以下、『砺波の民具』から抽出した約1300点の民具についてまとめた一覧表（付録CDに掲載）から、その「形態」の要素が共通するものを、用途分類を横断して検索して抽出してきた事例をまとめた「形態別一覧表」（この後に掲載している表）にそって、そのあり方を捉えてみたい。

### 3. 硬質系の民具

#### 1) 棒状のもの（針・串・棒・杭・柱など）

柳田國男は民俗学の対象を有形文化・言語芸術・心意現象の3つに分け、有形文化を基底に据えたが、究極、目指したのは心意現象で、物質文化への関心は低かった。膨大な著作のなかで数少ない物質文化論に「棒の歴史」がある。わずかに20頁程度の小篇。しかも「1風呂敷包み」からはじまる15項目のうち、10項までが、女と運搬、頭上運搬、前額運搬、駄荷と歩荷（ほっか）、連尺高い、背負籠、負繩、背中当などを扱った運搬用具と技法の習俗を歴史と絡めて論じたものだ。後半の3分の1になってようやく「棒」が登場する。「棒の始め、鉾と杓（おこ）、棒の分類、サスとノメシ棒、天秤棒の特色」と続くが、惜しむらくは「棒」の多様な機能のうち「運ぶ棒」だけが扱われたことである。

民具の形態論を展開する上で、「棒状のもの」は民具の基本的なあり方のなかでも特筆すべき「基本形態」いわば「形態素」である。その多様な機能に注目して論を展開させれば、柳田の「棒の歴史」も人と道具の関わりをたどる包括的な民具論になったかもしれない。柳田の時代には、根拠にできる民具の事例は、概念的に取り上げられたものに限られた。その後の民具の個別研究や地域研究の成果を盛り込めば、魅力的な「新・棒の歴史」をまとめることができるはずだ。本プロジェクトでは、農耕具の分野を中心に会津地方で蓄積された民具のデータをベースに、地域生活の歴史資料として貴重な『会津農書』の記録と重ねながら「棒の民具」を

佐々木長生が論じた。また、「運搬具の棒」について、東南アジアでの見聞を重ね、身ぶりとの関わりを深掘りした川野和昭の研究がまとめられている。さらに「機織り技術」を長年探求してきた宮本八恵子は、布を織る技術が、つまるところ様々な「棒」の使いこなしで成り立つことを論じている。

全体形（見かけ）が、曲がった棒・折れた棒・組み合わせられた棒、へ形、L形、∠形、U形などのバリエーションがある。U形に曲がったものが馬具にはある。カナグツと呼ばれる蹄鉄がU形。これは馬の蹄形に対応。農耕馬の胸にはめるハモ（胸繫）もU形だ。馬に犁などの農具を曳かせるときに着ける。同時に馬の背に乗せる鞍も立体的な枠で、鞍骨の一方がX形ともいえるが、鞍骨の湾曲にあわせ逆U形ともいえる急なカーブを描いている。東京国分寺の東京経済大学の東側に多摩川の段丘崖（ハケ）をのぼる急坂があり、「くらぼね坂」と呼ばれている。史跡案内の標柱には昔の人たちがこの坂を上がり下りするのに「骨を折った」急坂だったゆえの命名だという趣旨の説明がある。これは「鞍骨」の急なカーブを描いていることを知っていた人たちによる命名だったと訂正する必要がある。本報告書では、共同研究者の山川志典がこれらの馬具の形態と機能を論じている。

**「柄」のつく民具は棒状** このほか、複数の部材でなる民具として、長い「柄」のあるものが「棒状」とみなされ、「一本」とか「一丁」と数えられている。全体形としてL形、∠形、V形、T形、X形などの民具を抽出することができた。それらの形態と機能のあり方との関連を確認しておきたい。

金槌・木槌・かけやなどは、作用部が太くて短くて塊状ともいえるが、全体形は、塊に柄がT形に付き、この形の仲間としてとらえられる。餅搗杵などは柄の付く位置の関係で、T形よりもL形に近い。

X形は、鋏の形や鍛冶屋の挟み具、芋洗いの柄、髪結いの鏡などがある。

**鉤状の棒** 先端がカーブして曲がったり、折れ曲がった棒状のものは、「かぎ」と呼ばれる。漢字で、鉤・鉤・鍵などと書くが、私は、鉤は「つりばり」に、鍵は「キー」を示すときに使うことにしている。ここに示すのは「鉤」である。搔く、引っ掛ける、掛ける、釣る、など手前に（上方・下方を含めて）引き寄せる。このときの柄は引くだけなら、軟質の縄に代えても役目を果たせる。

『砺波の民具』で注目される鉤状のものに、北陸地方の民家で特徴的な「空鉤」という大きくて太い鉤状の木製品がある。天井の梁から吊るし、これに縄を主体にした自在鉤を吊り下げる。民藝の人たちもその黒光りする木製鉤の存在感に注目して蒐集対象にしてきたものである。図録にはこの1点があるだけだが、頭が三角の烏帽子形になった鉤を大黒、この鉤鉤形の方を恵比須と呼び分け、セットで用いる家もあった。恵比須様の持つ釣鉤がこの形に象徴されている。

束状のもの「束」という表現では、細長いものが束ねられて、見かけが円筒形になったものが想像されるかもしれない。ここでは櫛や千歯扱きなどのように、棒状のものが蜜に平たく並べられた形も含めている。千歯扱きは、そのすきまに稲穂を挟んで引いて「扱く」。あるいは髪を「梳く」櫛は、細い棒状に細かく削り出したものであるが、これらをひとつの共通する構造とみなして並べてみた。串の並び方が、もつとまばらで、下向きに並んでいるが、よく似た構造を「馬鞞(まぐわ)」がもっていることを指摘しておきたい。共通する機能ゆえの形態の相似といえないか。

## 2) 板状のもの

材木などの場合、線(棒状)・面(板状)・立体(ブロック)の認識の境目はどこにあるか。いずれもスケールにかかわらず、縦横高さの比率が問題になる。その比率の違いで、棒になり、板になり、塊(ブロック)になる。それと対応して数え方も1本、1枚、1個などと変化する。そのものがどう数えられているか、どんな序数詞を使っているかで、それを見ている人の形態認識が示される。だから、どう数えられているかを調べれば、その対象がどうとらえられているかがわかる。棒状なのか、板状なのか、塊状なのか。日本語の序数詞は極めて多様で面白いが、その研究者が、民具研究に目をむければ、きっと大きな収穫があるに違いない。

**板と柱の違い** 板材や角材を扱う材木屋では、その仕分けを日常的に行っており、断面形のバランスで段階的に分けている。静岡のある材木屋の社長から教わったところでは、断面を正方形の枠にはめたとき、高さHが幅Wの3分の1以下だとイタ、2分の1までをヒラ、2分の1をゴヒラ、それ以上をコワリ、1対1をカクと呼んでいるという。さらに長さLのバランスが加われば、板や柱と直方体の違いになる。バランスに3分の1という境界があるらしい。これが一般的に通用しているか確認できていないがヒントになる。その後、縄文土器の器形分類がよく似た基準を断面形の分類に使用して、甕形・壺形・鉢形・皿形・高環形を分類していることを知った(甲野勇『縄文土器のはなし』など)。

**板状のものの下位分類** 次は、板状のものをさらに分類することを考えた。①ほぼ板そのものとみなされるもの(+若干の部品つき)、②取っ手付きの板(蓋類など)、③板状(円盤も)+摘み・取っ手付き、④脚付きの板(組板・下駄・机類など)、⑤柄付きの板(エブリなど)で、I形・L形・∟形などがある。これらは、「柄」の方に注目して先に「棒状のもの」の項目にも掲載した。⑥板状の刃物(鋏形・鉋形・鋸形など)、⑦その他の板状のもの(盆・型・台・盤など)、そして、籠状のものも、ここに並べた。

**籠状と匙状のもの** 籠状のもの・匙状のものは、「砺波の民具」では、あまり抽出できなかったため、板状のものの仲

間に加えておいたが、事例が多ければ、独立させたい基本形態のひとつになるだろう。中がくびれた匙状のものと、先端が平らな籠状のものがある。作用部だけをみれば板状や器状の類型になるが、柄(握り)と一体になっているところに形態の特徴がある。いわば「籠と匙」は、形態的には、板状のものと器状のもの中間に位置付けられる。柄が付いた農具類などにこの形態の作用部がつくものも相似形の仲間になる。左官の鋺などもここで取り上げられるだろう。この分野については、本報告書の三橋光太郎論文を参照いただきたい。

**札状のもの** 小型の板状のものは、「札」とか「カード」などと呼ばれ、さまざまな分野で活躍している。遊戯用はオランダ語からカルタ、画板はフランス語からカルトン、病院ではドイツ語でカルテなどと呼び分けられる。要するに平らな板状の形状が基本にある。「札」も民俗学、民具学の魅力的なテーマになる。さまざまな看板や鑑札、そして信仰関連の「お札(おふだ)と紙幣のお札(おきつ)」もいっしょに並べて考察したい。機能的には、情報系の分野で活躍する。

## 3) 箱状のもの

「箱状のもの」は「器状のもの」の典型のひとつである。板状の素材で囲まれた、中空の立方体や直方体で、上方に口、下方に底がある形態だ。素材と製造技術によって、細部に形態上の違いが生じている。

「箱状」の民具は、素材と製造技術から、木(削りもの、指もの、陶磁(焼きもの)などの例があるが、金属(鍛造、鋳造・打ち出し)、樹脂製品、紙製品などがある。

「箱」の漢字が「筥・筥・筐など」と竹冠なのは、もともと竹や蔓などの編みもの容器をハコと呼んでいた名残だろう。曲げものの器の御筥(おけ)も「はこ」と呼ばれていたらしい。竹行李や葛籠などは竹や行李柳などで編んだ箱状の容器だ。曲げものと同様、折り曲げた部分と四隅が壊れやすい。それで木で補強がなされているものがある。木の板の箱が技術的にもまた安価に作られるようになるまで、木の箱は、木の枠と同様に、高度な指物技術に支えられていた。

「砺波の民具」一覧表からたくさんの箱状の民具を抽出することができたので、さらに、その形態上の特徴をとらえて細分してみた。

折込み式で平面を立体化する処理方法で、「箕(み)」という農具が作られている。「1側面が開いた箱状」とでもいえる。樹皮研究を続ける名久井文明氏や「箕」に関心を持つ研究者は、この技術に注目して、フジの樹皮などで織る技術で生まれた平面を立ち上げる技術と、薄く平らに広げられた樹皮の隅を折り曲げて組み立てられた「箕」の製造技術が共通することに「箕」の進化のあとがみられることが指摘されている。「もろばこ」という麴を育てるときや、餅や菓子を作って並べる平たい箱も、地味なものだが重要な民具だ。蒸籠などと同じように釘を使わずに板を組む製造技術で造られている。蓋を用いなくても、重ね合わせることで上の箱の底

が蓋になるのは重箱と同じだ。

**側面に開口する箱** 「箱」から脱線したが、箱の口が上方にあるのは、ほかの「器状のもの」の基本原則にあたるわけだが、これに反する横向きの開口部をもつ箱は、例外ではなく、ひとつのジャンルを形成する。現代では本箱などが典型だが、棚状のもの（立体的な枠状の1分野）と構造も機能も共通する考え方で成り立っている。膳・腕あるいは重箱や提灯などの多様な什器を収納する箱があるが、その多くは側面に開口部がある。裏方の道具であるが、什器の保存用の箱の研究に誰か取り組んでくれないだろうか。スライド式やけんどん（慳貪などと書く）蓋のあり方が面白い。重箱の収納箱や、引出（抽斗）という箱を出し入れできる「箆笥」などは、いわば箱が入った箱だ。重箱も箆笥も個々の箱には蓋がなくても密閉性が確保できる構造だ。

**箱の種類と歴史** 日本における「箱」の歴史は、民具研究のテーマとしては重要、かつ大きなテーマだと思われるが本格的な研究はない。これまでに宮内慇（さとし）『ものと人間の文化史 箱』（法政大学出版局 1991年）があり、主に文献から緻密な探求がなされていて、有益ではあるが民具にはほとんど触れていない。箱の本質はまだ解明されていない魅力的なテーマだ。

数少ない箱の研究のなかに「船箆笥」の研究（小泉和子『船箆笥の研究』）がある。引出や蓋や扉と飾り金具を駆使した「船箆笥」は、箱作りの技術が高度に凝縮した民具だ。砺波は海に面しておらず「砺波の民具」にはこの品は含まれていないが、北陸の海岸部に残る廻船問屋に、この品がたくさん保存されている。

#### 4) 器状のもの

形態的には、「中空で中にモノが入るもの。かたちの上では、何よりも①口が上方にあき、下方に底があることが典型。②全体形では、円筒形（回転体）か、③側面が平らな箱形が典型といえる。さらに加えれば、④口をふさぐ蓋や栓が付くことがある。⑤柄や取っ手・紐など身体接触部がついたり、⑥置いたり、壁に掛けたり、天井や梁から吊るしたりするとき、安定するよう、脚や台や吊り鉤・紐などの空間における位置を決めて、固定するための支持部品が付く例がある。しかし、これらの典型とは異なり、⑥箱状の項目で示したように、口が横向きに開くものがある。⑦注口が付くものがある。中身（主に水などの流体）を注ぎ出すのに使われる。⑧まれに、逆さにして対象にかぶせたり、吊るして用いる釣鐘形のものがある。

素材と製作方法により、石材や木材などの「削物」、粘土・陶石による「焼物」、金属の「打物」「鍛造物」「鋳物」、木材による「指物・板付・結物（桶樽）・曲物など」、木の繊維を漉いた紙による製品、竹・蔓・藁などによる「編物」、糸・布による「編物・織物・縫物」、岐阜で民具研究に力を

尽くされた脇田雅彦氏は、剥いだ木の皮で作った容器類に注目して、「削物」という概念を提案した。日本の山村で特徴的な素材と製造技術だった。獣皮の器もこれに似た構造になる。

『砺波の民具』から抽出した民具の形態別一覧のなかでは、「器状のもの」の種類が多く、工具類などと並ぶ、基本的な民具の大部分を占める勢力を持つのではないだろうか。

#### 5) 枠状のもの

「直線で囲まれた形状」を「わく」という。ただ、「枠」には、平面的なもの、立体的なもの、多くの材で複雑に組み合わせられたものがある。

平面の枠には、その中によこ棧を1本入れた「日」形、2本入れた「目」形、さらに本数がふえて、たて棧も入れれば「田」や「罫」の字、多棧になると「格子」、立体的な大きな枠は「櫓」などと呼ばれる。棧の棒が枠外に突出すると「鳥居形」や「井桁」状になる。「犁」の形には、基本的な構成材3本を△形の枠状に組んだものと4本を□形に組み合わせた形式があることは先にも紹介した。

しかも、歴史的に「わく」という言葉の実態には変遷があったことがわかってきた。

**「わく」の実態と漢字** 武蔵野美術大学の民俗資料室に保存されている民具のなかから、「枠状のもの」を抽出して小さな展示を企画したことがある（「わくわく」展、武蔵野美術大学民俗資料室ギャラリー展、リーフレット参照）。それまで、私は「枠」のイメージとして、額縁や囲炉裏の炉縁など、あるいは建具の障子・襖などの縁を思い浮かべていた。しかし、これらには「框（かまち）」という言葉があった。これらは主に指物という高度な木工技術で生まれる。国語辞典では「わく」の第一義は糸枠のことだとしており、古語辞典を見ても「わく」とは糸枠のことで、「篋（わく）・篋（わく）」という漢字があったことを示す。竹かんむりに目がふたつ、「ふるとり」の下に「又」がある文字は、手を表現する漢字だ。これはつまり、目がたくさんある竹製品（つまり籠状のもの）を手で持つ姿を描いた象形文字だ。東北地方などで使われた「ガワ」という民具が思い浮かんだ。片手で持てるほどの細長い六つ目籠で麻やカラムシからとった繊維の糸巻として用いられたもの（写真1）。この形が「わく」のものと姿だったと想像される。中国漢代の画像磚によく似た籠が描かれている。小さな釣鐘型の籠が置かれ、そこに巻かれた糸を引き出して糸車を回して紡ぐ人の姿がみえる（図5）。おそらく木製の糸枠（写真2）は、「篋」とは別に、主に絹糸を巻き取るために、高度な木工技術から生まれた繊細な造形物だった。台座に立てた短い柱に水平に棒を据えて、この「糸枠」を差し込み、回転させて使った。「枠」という漢字は国字だという。この木製民具のために作られたと思われる。木へんに「九」「十」という文字は、おそらく木枠の



写真1 岩手県雫石のガワ



写真2 糸杵の例

形象ではないか。ちなみに、よく似た粹・倅・酔の漢字には粹・倅・酔という本字があるが、国字の「杵」に本字はない。

**立体的な杵としての織機** 立体的な杵の複雑なもので、まだ民具といえる範囲に入るものに「機織りの機」すなわち「織機」がある。「〇〇機」という名があたえられた民具は、木製でかつ人力で操作されるものでも「機械」の仲間と意識されていたことがわかる。沖縄で、少し複雑な民具に「ヤマ」という呼称が与えられているのがこれにあたる。やがて歯車やバネや発動機などが組み込まれて、ブラックボックス化すればまさに機械である。宮本常一先生の民具の定義では、民具からはみ出るものが、博物館資料にはたくさんあり、「砺波の民具」にも立派な「機械」がいくつも登録されているが、これらもさまざまな民具と一体で捉えられる視点が道具の形態論には求められる。

さて、地機や高機と呼ばれる織機の形態と構造は、複雑に展開しているが、さまざまな「杵」がそれぞれ固有の役割を担って働く様子を、機織りの技術に精通する人たちはよく認識して使いこなしてきた。そのあり方を宮本八恵子の論文が説いている。1本ずつの棒と織り糸に注目して、織機と、機織り技術を読み解く話を聞くと、この分野にうとい私などでも、その仕組みが手にとるように見えてくるのが感動的であった。世界の織機の構造も同様に読みとけば、この道具の進化論を緻密に語ることは不可能ではない。ちなみに、国立民族学博物館の共同研究による「世界の織機と織物」研究の成果は、世界の織機を構造から分類して総覧する圧倒的な迫力があり、簡単にして複雑というその世界をうまく伝えている（国立民族学博物館編 『世界の織機と織物』2013年）。

## 6) 輪状のもの

幾何学的にいえば、「平面上で一点から等しい距離を保ちながら動く点の軌跡（円周）とその内部」ということになるが、モノの形としてみれば、弾力のある線状のもの（針金や木の枝、竹ひご、藁縄など）をまるく曲げて両端を接続させ、円形にしたものだったり、円筒状のもの（たとえば竹筒、紙筒など）を切断してできるものがある。小さいものでは指輪、指抜きなどは金属製、竹製の桶のタガや、針金で作られた薪を束ねる専用の輪などの民具もある。大きなものでは



図5 中国漢代の画像磚（『中国大百科全書』より）

「輪くぐり」の行事に登場する「茅の輪」や相撲の土俵なども思い浮べられる。中心軸がある「車、車輪」は別に扱うことにするが、その荷車の車輪に被せる鉄輪やタイヤは輪の仲間ということになる。主な輪の機能は、①束ねる、②嵌める、③転がす、繋げる（連結して鎖状に）④支える（吊り下げる・掛ける・吊り下がる支持）⑤乗せる（鍋敷・五徳の金輪=砺波ではサントク）など、⑤輪の中を蒸気を通る蒸籠、大きな輪を人が潜る「輪くぐりの茅の輪」などがある。転がす輪は、次の車・車輪状のものに通じる。

## 7) 車・車輪状のもの

回転軸がある円盤状や輪状のものをいう。回転軸を一定位置に固定すると車は回転し、その外周にベルトをかけて別の車とつなぐ「プーリー」（東京三鷹の水車では「革車」と、外周に凹凸の歯を刻んだ「歯車」（同水車では「マンリキ」と）は、別の車・歯車とつなげて回転エネルギーを伝達する役割を果たす。ベルトを掛ける場合は外周に溝がつくことが多い。また車は地面を転がすと回転軸部分が水平移動するので、この軸で荷を乗せた台杵を受けて運搬したり、人を乗せて移動ができる。

一定位置に固定すると中空で回転して外側でベルトを回したり、歯車で力を伝えたりできる。

## 4. 軟質系の民具

### 1) 糸状・縄状・網状

柔軟で線的なものから順に見ると、糸・紐・縄・網などが形態素になりうる。いずれも繊維そのものか、それをつなぎ合わせ、捻り合わせたものであるが、針金のような細長い金属もある。それらの違いは、太さと長さ素材により生じる構造の違い（捻り合わせ方など）がある。絹のように細くて長大な繊維は、1本で千数百メートルもあるが、木綿のように数センチという短いものもある。獣皮や内臓の筋を用いる場合や、樹皮をさいたものも使われる。構造は拡大してみれば

ば、単純な1本の線か、より合わさったものかがわかる。二つ撚り、三つ撚り、複数の撚り糸をさらに撚り合わせたものが、日本列島では、すでに数千年前の縄文時代に極めて多様な素材の糸や縄類が存在していた。より合わせ方はまさに縄文とよばれる土器の表面の文様として印されていた。

「砺波の民具」で、糸の類は、紡織材料として掲載され、麻やカラムシの繊維を割いて、指先でつなぎ合わせた、つまり績んだ芋が、容器の芋桶（おぼけ）とともに収載されている。さらに糸車で撚りをかけたものが「アサカセイト」だ。

**柔軟で線状のものの特徴** 糸・縄・綱類の形態的特徴として特筆されるのは、限りなく長く作ることができるということだろう。要は素材をつなぎ合わせればいくらかでも延長可能だということである。延長可能性は針金もおなじだが、一般に硬質のもの（ゲーランなら「安定した固形物」や「半可塑性固形物」という）で、この無限といえる長大さの実現は真似ができない（パイプラインなど例外的なものがある）。

砺波の民具では、「マモノ」と呼ばれる太い縄が28 m 80 cmあり最長だ。太さ最大5 cm、重さ12 kgある。暴風対策として茅葺屋根に掛けた。その呼称の由来とともに使用時のエピソードを聞いておきたい民具だ。長さの順では5位までが10 m以上あり、いずれも縄類である。

「砺波の民具」にはないが、糸・縄・綱類は、漁労活動に用いる釣糸、長縄、延縄などで極めて長いものを使用する場合がある。織る、編む技術で平面や立体が生まれてくる。

## 2) 帯状のもの

砺波の民具に「帯状のもの」はたくさん収録されている。表にはその種類を示すため25点だけ示した。いずれも身体に巻き付ける「帯」で、衣類を身体に固定するだけでなく、装飾的、儀礼的機能が付け加えられている。

## 3) シート状・布状のもの

柔軟な「面」、平面状のものも、素材と製造技術よって生まれるものは多様である。繊維そのものやそれを糸や縄にしたものを、編む・織る・組むことで、すでに示した帯や、柔軟な平面の布や網などができる。藁や草を織った蓑や筵は厚みができるとマット状になる。「網を編む」ことは「網をすく」ともいう。これも無限の広さの面が生まれる。現代ではビニールシートが多用されているが、それらシート状のものを使って、袋状、衣状などの複雑な立体が生まれる（次項）。

繊維を砕いて「漉く」技で生まれるシート状のものが「紙」である。北陸地方は和紙生産が盛んで、その一連の製作用具類のすぐれたコレクションもある。いずれ民具全般の一覧表には補強しておく必要がある。また、江戸前の海で生まれた「浅草海苔」（板海苔）は、大都市江戸で消費された反故紙を再生した「浅草紙」（ちり紙）の製造技術と道具が転用されて生まれたと考えられる。共通する性質の素材と製造技術から、よく似た形態と構造の製品が生まれる例だ。

ちなみに、シート状のものに、樹皮を叩いて伸ばし、大きなシートを作り出す「タバ」の樹皮布を作る技術が世界には存在することを書き足しておく。

「砺波の民具」は、衣類が充実しており、このなかに「布状のもの」が多量に含まれて、約30種が抽出できた。前掛け・腰巻・腹当て・脚絆・おむつなど。「布」に「紐」を縫い付けるなど若干の補助部品がつく例が多い。布状部分は方形のほか、身体部位に巻き付けるために独特の形態に切り抜かれていたものもある。身体以外では、重（重箱）掛け・炬燵掛け・箆筒掛け（油単）など「箱状のもの」のカバーや、暖簾（のれん）・手拭などが抽出された。

## 4) マット状のもの

柔軟で分厚く平らなものを集めた。布状のものを重ねたり、袋状のものに詰め物をしたり、太い繊維を織り合わせたりして作られる。防護・緩衝の機能を持ち、人間が生きていく上で極めて有効な働きをする。砺波の民具で、マット状としてまとめたのは、藁束を握りながら編みこんだり、藁やイグサを織ったシートを重ねたりして、ある程度の厚みを持たせたもの。ワラガイと呼ばれる雨除けやウマノベツベも被せもの、蓑、腰蓑などの被りものがある。また、敷きものや履きもの、中に綿などをクッションに入れた蒲団類などがある。これらの民具のマット類には「トコ（床）」とか、他地方だが「シト（褥）」という呼び方も伝わっている。

## 5) 袋状のもの

柔軟な素材の器状のもの。口があり底があって中にモノを入れることができる。軟らかいシート状（フィルム状・布状・紙状）のものを二つに折るか2枚重ねて、縁の部分縫うか、接合すると袋状になる。その場合、シート状の「もとの形」と仕立てかた（接合の仕方）で、中に空気を満たしたときに生まれる全体形が千変万化に展開する。いわば「膜体」といえるものである。

「膜体」という柔軟な立体物 「風船」という言葉を避けて「膜体」または「気膜」ともいう。アーティスト高橋士郎氏の造語。川崎市岡本太郎美術館『古事記展 神話芸術テクノロジー』（2020.7.23～10.11）でその「気膜」による造形物を紹介した。高橋氏は「地球上の環境、万有引力・空気の固有共振数・呼吸空気の酸素量・生物細胞の寸法など」が一定であるために地球上の生物の形態が規定されていると指摘し、そうした条件から自由な「気膜」の力学を生かした、巨大で多様な形態で、ゆらゆら動く造形物を提示して私たちに驚かせた。少々脱線したが新しい造形の可能性である。

**袋状のもの**の構造 素材が軟らかいので袋状のものは内容物により全体形は変化する。中身がないときの「もとの形」（構造）には次のような種類がある。（1）方形のシート状のものを接合した袋は平らになる。（2）柔軟素材のチューブ

状のものを切断して、2つの開口部の一方を接合しても平らになる袋ができる。(3) 立ち上げると四角い箱状の構造になる袋がある。畳み方により一部が重なって平面状になる。(4) あくまで基本的には「袋状」であるが、底部に丸みがあったり、複雑な形状をした袋で、「マチ」とか「ヒイチ」と呼ばれる三角形などのシートを組み合わせた、多様な形の平面を接合させて(仕立てて)作られ、あえて皺をよせて立体が生まれるように作られたものがある。身につけるもの(衣類)には多く取り入れられている。頭巾(帽子)や手袋は5本の指ごとに袋状になったもの。

「砺波の民具」には、巾着袋、信玄袋、ナワテングと呼ばれる縄製編袋、モッコ類などがある。複雑な形の袋状のものには、手袋、足袋、藁沓などが、いわゆる衣料の一部に含まれている。要するに身体の部位の形態に合わせた袋類ということだろう。その意味では逆さに使う、頭巾や帽子、さらに蚊帳なども広くみれば袋状のものである。あとで詳しく扱う硬質の「器状」に対応する軟質の形態であり、素材によっては、蔓などで編んだ容器のように、カゴと呼ぶか、フクロと呼ぶか区別がつけがたい硬軟の境界にあるものもある。

## 6) 衣状のもの

国語辞典には、「ころも(衣)」を「人のからだ、特に胴体をおおう物の総称。衣服。着物。きぬ。」などと記す。

「〔名〕身にまとうもの。きもの。ころも。きぬ。」などと記される。一般に「きもの(着物)」は「着るもの」で、いわゆる和服の長着物をさすことが多いのに対して、「ころも」は身にまとう(覆う)もの全般をいうので、こちらを採用した。従って、「衣状」といっても、これまでの布状とか带状といった、基本的な形状が組み合わさったものが含まれる。典型的な和服(長着物)が、平らな布状と筒状の布が身体を覆うのに適した形に組み合わされて縫い合わされていて、複雑な立体である身体をゆったり覆うと、全体としては身体の形になじんだ状態になる。先に「風呂敷」の形態とは何かと問うた時、「元のかたち」ではなく、使用時の「見かけのかたち」が機能をはたすことを述べた。前者が構造のかたちで、後者が機能するかたちだ。和服の長着物のかたちは、浴衣などもふくめて、構造のかたちは、平面状の布を縫い合わせて、平面的な構造をもつ、筒状、袋状のもの。機能する見かけのかたちは、人間の胴体の外形に沿って変形する立体的形状だといえる。

「用途分類」では、衣・食・住の「衣のくらし」に配置される民具には、被り物・着物・履物などが含まれる。今回の「形態分類」ではそのうち、人の胴体全体、あるいは上半身・下半身に着用することに適した形に作られたものを「衣状のもの」として分類した。構造的に「もとの形」で示せば、日本の衣状のものといえば、柔軟な素材(だいたい繊維)で造られた「布」を带状・布状・袋状・紐状などを立体的な身体に合わせて仕立てたものである。「機能分類」では「着る」とか「被る」「まとう」「装う」などのジャンルと、ほぼ

重なる。そのうち、明確に平たい「布状」、平たくて細長い「带状」、底がつく「袋状」のものは、それぞれの形態分類で扱ったが、これらが複合的に組み合わせられたものがここに分類した。

「砺波の民具」、当初からの資料に加えて、昭和52(1977)年度に婦人ボランティアたちによる仕事着の収集運動が展開したことで、衣料関係のものが充実している。ここでは、上記のように「衣状のもの」という表現を用いたが、形態の表現に迷った結果の苦肉の策である。一時は「ヒトガタ(人形または人型)が適当ではないかと考えた。しかし、完全なぬいぐるみ人形ではなくて、頭部や手足先が欠け、「人形」という言葉が玩具や呪術用の人形(にんぎょう)も示してしまうので、採用できなかった。また、今日のTシャツのように、胴体と両腕の形がT字になる衣類が多いので、全体のみかけの形を「T形」とすることも考えたが、金槌などの全体形(みかけの形)を「T形」としたのと同じではしっくりこないで、これも不採用。形態の表現として適当な言葉が見つからないまま、「衣状のもの」としたものである。「胴体形」「下半身形」なども考えられる。

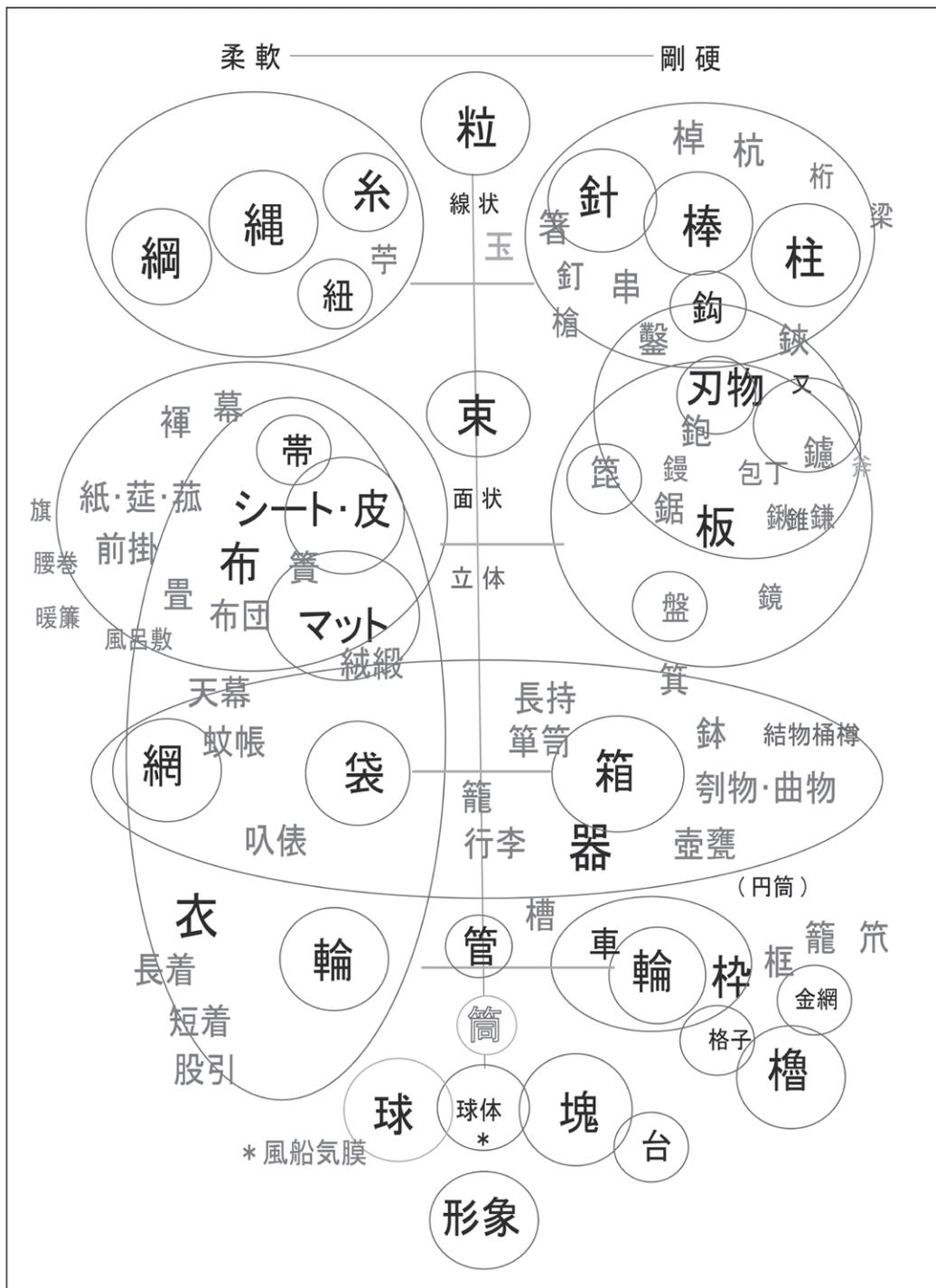
その下位の形態分類としては、「砺波の民具」が採用している「長着形・短着形・袖無形など」を踏襲し、西洋式の衣類の立体裁断の「シャツ形・ワンピース形・マント形など」や下半身の「股引・モンペ・ズボンなど」の衣類は、二股形としてまとめた。リストには、男女・幼児・子供用の違いと、普段着・作業着・儀礼用などのバリエーションから典型的と思われるものだけを抽出するよう心掛けたが、かなりの数に及んだ。要素欄に個々の特徴や用法の違いまで書き込むことが叶わなかったため、この分野の詳細はぜひ図録『砺波の民具』を入手して図版・解説を参照していただきたい。

## 7) 塊状のもの

軟質の素材が塊状になったものにどんなものがあるか。具体的には、砺波のリストには糸の塊のようなものがあったが、事例はわずか。スポンジや海綿などがありうる。

## 8) 何かを象徴したもの(象徴的・抽象的なかたち)

象徴的なもので、自然物の動物や植物、人間の身体を模したものと幾何学的な形態、あるいは建物・乗り物などのミニチュアなど。ほとんどが機能分類の「情報系」象徴機能と重なるのでそちらも見ていただきたい。



神野：初出 1987 年・2020 年改訂

図6 道具の基本形態の位相

## 5. 民具の機能分類

### 1) 機能とは何か

民具、あるいは道具を体系的にとらえるには「形態と機能」のあり方を把握することが、おそらく決め手になる。そのことには多くの賛同が得られると思われる。しかし、「道具の形態」の捉え方が難しいと同様に、「道具の機能」の捉え方も容易ではない。そのことを少しだけ検討してから、私たちの具体的な作業を紹介したい。

国語辞典には「機能」は次のように示されている。「ある物が本来備えている働き。全体を構成する個々の部分が果たしている固有の役割。また、そうした働きをなすこと。「心臓の機能」「言語の機能」「正常に機能する」(『デジタル大辞泉』小学館)。あるいは、「からだや機械、組織などの中で、あるものがその働きを十分示すこと。また、そのはたらき。活動できる能力。作用。」(『精選版 日本国語大辞典』)。この2例で「機能」とは「ある物」が「本来もつ働き」あるいは「固有の役割」「活動能力」のことらしい。その「あるもの」は、いわゆる物体に限らず、身体や組織のなかのあるもの」

も想定されている。私には「組織の機能」を考えるのは「物の機能」の比喩だと思われる。そのことは置いて、「ある物が本来もつ働き」ということなら、そのものがもつ「本質」ともいえそうだ。それにしても、「機能」の概念は、国語辞典レベルでは、ずいぶん曖昧だというのが私の率直な感想である。先に紹介した養老孟司先生の『形を読む』では、形態学の立場から生物の骨格や器官がもつ「機能」とは「形態を形成する要素間の空間的位置を代表とする、さまざまな『関係の変化』である」と、かなり難しく定義をしている。つまりは、何らかの「形態変化」をもたらす働きをいうと明言されているように読み取れた。結果的に、現在の私はこの養老説に傾いているが、ここでは国語辞典的にいちおう「道具が本来そなえている働き」と考え、それはどのように現れ、どのように読み取れるのかを具体的な例で考えてみたい。

## 2) 「目的・用途・動作」と「機能」

たとえば、「金槌」などという道具が持つ「本来の働き」、「固有の役割」とは何だろうか。ふつう、こんなことを疑う人はいないだろうが、一応考えておく。私の家の道具箱にある「金槌」は私は「釘を打つため」に用意している。ただ、それが働くのは「釘を打つ」必要があるとき。私はその目的のために、柄を握って、振り上げて、振り下ろして、先端の鉄の塊を釘の頭に当てる。つまり「叩く」とか「打つ」動作をする。このことで釘は材木に食い込む。人間が関与しなければ何もおこらない。釘を打つ必要がなければ、「金槌」は柄が邪魔になって「文鎮」としてもあまり適当ではない。逆に「金槌」でなくても釘の頭を「叩く」だけなら、その辺に転がっている石の塊や鉄棒でも用が足りるかもしれない。しかし、石塊や鉄棒でも釘は打てるかもしれないが、「金槌」はどうか「釘を打つ」ためにあって、「釘をうつ」ならば石塊や鉄棒よりも「金槌」が便利にできているといえそうだ。

おそらく人類が道具というものを使いはじめたころに、何かを叩き割ったり、潰したりするために、適当な大きさと硬さをもつものを探して、それを握って叩きつけるだけでなく、さらにそれに柄をとり付けて、振り下ろすというアイデアを獲得していた。考古学はその時代を具体的な発掘資料から解明しようとしているが、それは「金槌」が生まれるはるか昔のことだ。

人類が鉄という材料を獲得し、加工する技術も覚え、「釘を打つ」という仕事のために、あの形（ちょうど片手で握れる程の細長い鉄塊にT字形に柄をとりつけたもの）を定型化した。こうして「釘をうつ」ことを「固有の役割」にした「金槌」が私たちの身近な道具となった。これが幼児向けの絵本で紹介できるほどの「金槌」の進化論だろう。このなかで特に「石塊」に「柄」を付けるという発明をしたことが、とても重要なことであることに注目しておいていただきたい。

それにしても「金槌」とひと言でいっても、実際には、叩かれる釘の種類や、釘以外にも叩かれる対象は多様で、それぞれに合わせた「金槌」がある。武蔵野美術大学の卒業生

で、東京の奥多摩地区を拠点に創作活動を展開している佐塚真啓君は、「金槌」のコレクターでもある。その100点余りの収集品を、同じく武蔵美卒業生のデザイナー三橋光太郎君が最近分析した結果が本報告書に紹介されている。どれも基本的には「叩く」という基本的機能と、また「金槌」というシンプルな形態と構造は保ちつつ、細部は繊細に異なり、1つとして同じものはない。多様な形態ごとに「固有の役割」が展開していることに注目したい。それぞれに特化した「機能」があることを読み取れそうだ。

## 3) 機能の複合性と特化

たまたま選んだ「金槌」の場合は、その形態も機能も比較的シンプルなものだった。しかし、何かを「叩く棒」ばかり集めてみると、その用途の多様なことには驚かされる。今回の共同研究で試みた「砺波の民具」から抽出した形態別一覧の「棒状のもの」のリストをご覧いただきたい。抽出した例はわずかだが、どれも単なる棒ではなくて、ほんの少しずつの形態の違いがあり、何か少し部品が付いて、きわめて多様なあり方をしている。

あえて言えば、まさに「棒そのもの」というものには、逆に「本来の役割」らしいものではなくて、何にでも対応できる多様性の塊であることに注目したい。何でもできるけれども、特定の役割となると必ずしも十分ではない。中途半端なものにとどまるのだ。もっと太いか、もっと細いか。もっと長いか短い。もっと硬いか弾力があるか。などなど、必要な仕事にもっとも適当な棒が選ばれて、持ち替えられて、目的が果たされているのだろう。

「ヒトの手」は、鳥の羽根や魚の鱗や肉食獣の鉤爪などのように、特化した特徴を持たない。飛ぶことにも、泳ぐことにも、攻撃するにも中途半端だ。「5本の棒」で構成されているが、短くて太い親指と、残りのほぼ同じ長さの4本の指が「対抗して」、ものをつかむことに長けているのが何よりの特徴だが、サルたちなどにも、このような握ることのできる手を持つものがある。しかし、他の動物たちが独自に特化させて保有するようになった鋭い爪や嘴、丈夫な歯や角などの代わりに、いろいろなタイプの棒や石などを選んで使い分けて、それらの役割を、必要に応じてやっつける能力を獲得したのである。

そうすると、その道具の「機能」として注目すべきは、使用の「目的」や「動作」よりも、実際に対象物にどのように「作用」させ、変化させるか。そのときのあり方を問題にする必要がある。

## 4) 手のかたちと働き

道具は、しばしば手の機能の延長あるいは外化したものという考え方がされる。その考え方を、具体的な道具で確かめる試みをした。それが『手のかたち・手のちから』という展覧会になった（同題の図録参照、武蔵野美術大学美術館2020年）。多様な「手のかたち」を「手のはたらき」に注目して

分類する試みは、身体機能の研究としてすでになされている(たとえば鎌倉矩子『手のかたち・手のうごき』)。この手のはたらきを、道具が補強する、代替する場合を展覧会の後半で示した。膨大な生活用具の収蔵品を抱える武蔵野美術大学の民俗資料室から、「つかむ手」「すくう手」「叩く手」「掻く手」「払う手」などに対応する道具を選び出して並べるという展示を行った。「かぞえる・はかる」という象徴的な(情報収集を行う)手の働きの拡張を果たしている道具(秤や定規など)も並べられた。これらの手の働きと道具の機能の関係図を作成したので、ご覧いただきたい(次頁・図7)。このとき展示した収集品には、用途に関する具体的な情報が付随しない場合もあった。用途は想像して選び出して並べたのである。きわめて常識的な私の知識にのっとって、「こう使われたに違いない」と形態から想像して抽出し分類した提案だった。しかし、この作業(機能と形態を関係づける試み)を客観的なものにするには、個別情報がよく整備されたコレクションで行えば、地域性や時代の特徴も出てくる可能性がある。さらにそれを日本全国にひろげられたら、日本の民具の機能分類が実現して、日本の民具のあり方が浮き彫りになると考えた。ただし、道具全般を見るには、「手の機能」だけでは果たせない分野がある。「刃物」や「火の利用」の道具などをさらに加えて考える必要があり、関係図を改訂した(図8)。

そこでは、まず「つかむ・にぎる」という把握の機能からはじまる。つぎに、さまざまな対象物に働きかける動作で果たされる一群の「加撃」の機能が位置付けられる。

「砺波の民具」から抽出した約1300点の民具について、一覧表で、機能を示す欄に記載できた内容にそって、まとめて仕分けをした結果、表明できたのが機能別一覧表である。

## 6. 把握・加撃系の機能

「加撃」というあまり耳慣れない言葉から説明する。はじめは「加工」とか「工作」「造作」とか道具としては「工具」「加工具」でよいかと考えていたが、いわゆる工具に限らず、人間が主に手で持って対象物に「物理的」に働きかけること全般の概念を考えた。道具が果たす「機能」は「対象物の形態や状態を変化させる(変状させる)」という定義で説明できるのではないかと今は思っているが、そのなかで、打ち付けたり、切ったり、削ったり、振じったりという対象を粉碎・破壊・分断・分割・変形などいわゆる工具らしい機能と、すこしニュアンスが異なるが、ソフトな素材で、擦ったり、拭いたり、はらったり、塗ったりという動作や、縫い合わせたり、結びあせたり、織ったり、編んだり、組み立てたりする働きも含めて、さらにこれらの作業のために素材を挟んだり、留めたりする支持的な機能も加え、材料を整えるための選別機能も加えたい。とにかく対象に力学的に働きかけることを包括的に説明できる概念がほしいと考えた。もう少しふさわしい言葉があるかもしれないが、今はこれを使って

おきたい。

ちなみに、「加撃」の語は、あまり心地よい響きの言葉でないが、フランスの人類学者、ルロワ＝グーランが、“*L'Homme et la Matière*”(『人間と物質』1943・1971年)の中で、道具を説明するときに、仏語の‘percussion’(ペルクュイション)の語を頻繁に使っているのに出会った。グーラン独自の概念で使っており、英語の「パーカッション」にして「打楽器」を思い浮かべたら全く意味が通じない。「打撃具」あるいは「打撃」としても限定的で、「工具」や「加工具」を中心に、能動的アクションで対象に働きかける身体機能とその道具全般を表現する概念としていられるので、「加撃」「加撃具」とでも訳さざるを得ないと思った。ところがグーランの著作で日本語訳のある『身ぶりと言語』にもこの「加撃」の語がしばしば登場する。原典にあると‘percussion’の訳語だった。はからずも翻訳者と同じ意見に到達したのがうれしかったが、前に読んでいたこの訳語を覚えていたのだろう。ここではこの語を採用したが、‘percussion’はよいとして、日本語の「加撃」はあまりしっくりしない。なにか適当な言葉を探したい。

「砺波の民具」の、1把握・2加撃系としたのは次のような動詞で示せる小項目である。

1-1つかむ(掴)・はさむ(挟)・つまむ(摘)

1-2すくう(掬)・くむ(汲)

2-1たたく(叩)・うつ(打)・つく(搗)、ならず(均)・まぜる(混)・くだく(砕)・つぶす(潰)

2-2きる(切)・かる(刈)・ひききる(挽)・はさみきる(挟)・けずる(削)・わる(割)・けずる(削)・ほる(彫)・つく(突)・さす(刺)・穴をあける)

2-3つむぐ(紡)・うむ(績)、あむ(編)・おる(織)・ぬう(縫)

2-4ふるう(篩)・すく(漉)・こす(濾)、ひる(簸)・ゆる(揺)・あおる(煽)、こく(扱)・すく(梳)

2-5ほる(掘)・おこす(起・反転)・くだく(砕)・かく(掻)・ならず(均)

2-6する(摺る・擦る・摩る・磨る・搦る)、こする(擦る)・揉む・ぬる・あてる、刷る、

2-7掻く・混ぜる・捏ねる

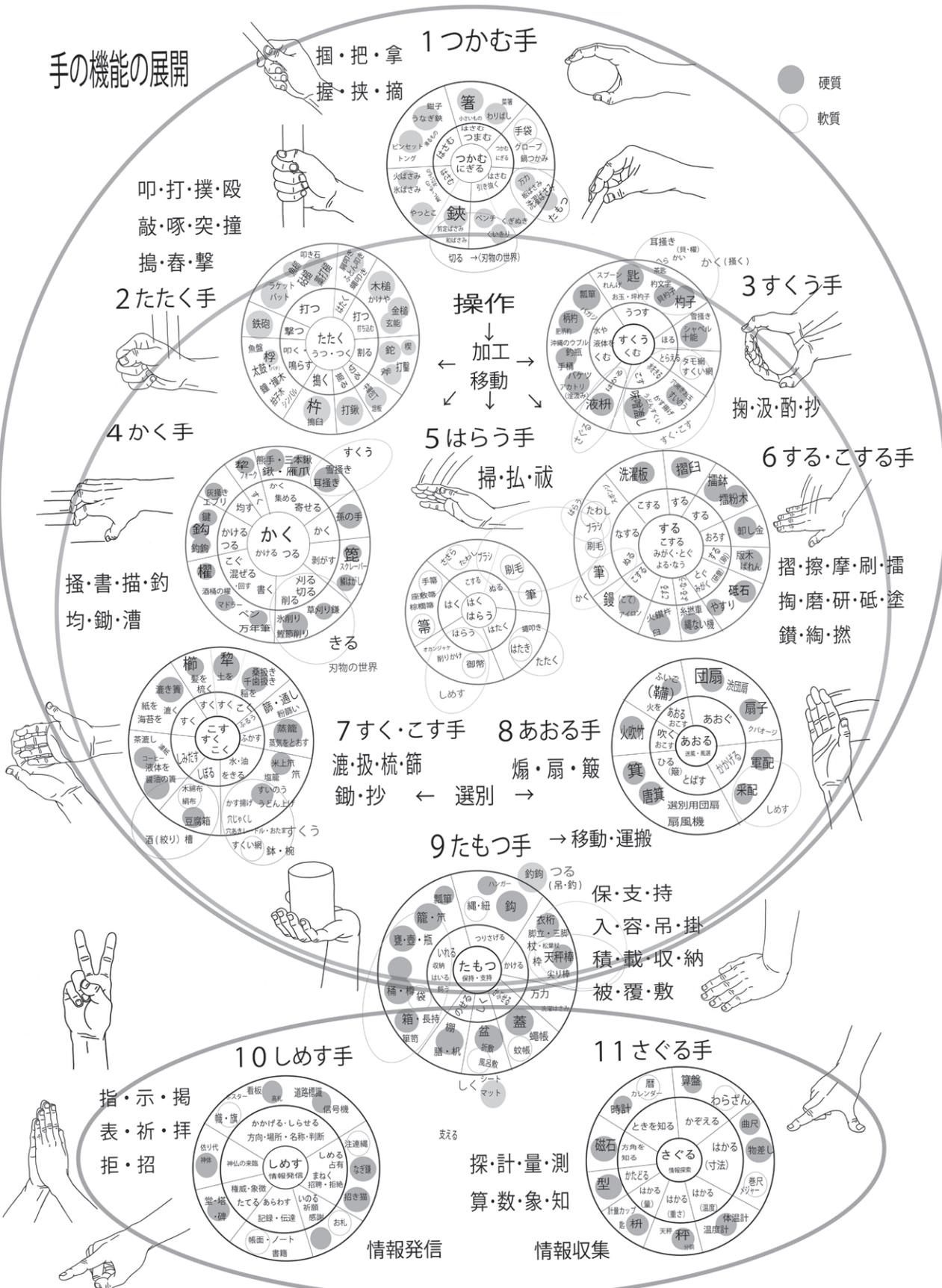
2-8払う(掃う・掃く)

2-9ねじる(振じる)・捻る・回す(廻す・舞わす)・つむぐ(紡ぐ)・こじる(扱る)

図録の第1頁に掲載された「鋏類」の機能をいかに示すかが難しい。鋏についてはすでに民具研究として多くの論考がある分野である。ここで示しておきたいのは、その複合的な機能と、特化した機能に対応する専用の農具が開発されていることを一覧で示すことを工夫してみたことである。「鋏」の類のように、いくつもの仕事をこなす道具の機能をいかに位置付けるかが難しかった。多様性がある機能のうちから、

# 手の機能の展開

● 硬質  
○ 軟質



©Yoshiharu Kamino 神野善治 20191024 完成度 70%

図7 手の機能の展開

特定の機能だけを取り出して働く専用の農具を見てとれるように、表づくりを工夫した。たとえば、機能分類表の「2-5 耕す」をご覧いただきたい。①は「掘る」としてまとめているが、最初に一番下部にあるA群の鋤類に注目していただきたい。風呂鋤、平鋤・板鋤、三ツ鋤、四ツ鋤など、砺波地方の農家が使用してきた農具のなかで、もっとも典型的な農具が並ぶ。これらの機能欄には「掘る・起こす・砕く・すくう・のせる・均す」という一連の働きを列挙した。このように多様に使えるいわば万能の農具である。B群に並べた、フォーク・三角鋤・溝上げ機は、主に土を起こす農具である。A群の鋤でも果たせるが、その機能をより効率的に仕事ができるものである。さらにその上段に並べた農具類は、もうすこし作業目的が限定されている。チサミやハサクリという手鋤はもっぱら掘る仕事に、トウグワは木の根や石などがあるところを掘るのに向く。クマデキリという鎌状の刃が2枚つく特殊な農具は溝切りのため用いるという。次の2-5-②では、「起こす」農具を並べた。土を反転する作業を行う農具である。しかし、下段にB群、A群の欄を重ねて示したのは、この「起こす」作業は、平鋤や三ツ鋤、四ツ鋤でも果たせるということを示す。

以下の2-5-③は「砕く」ことに、2-5-④は「掻く」のに便利な農具で、2-5-⑤は「均す」ための農具である。⑤に示した「えぶり」の例のように、もっぱら均すためにあって効率がいいが、これで土を起こすことはできない。専用性が高い道具である。逆に応用性の高い、多様な用途に用いることができる農具は、使いこなすのに長年の経験を要するが、特化した用具は、いわば誰でもはやくに使いこなせて、一応の結果を出すことが可能だ。機能を特化することで、作業を均一化し、誰がやってもほぼ同じ仕事が効率的にできるようになる。しかし、仕事の種類だけ道具が増えてくる。

以下、さまざまな機能別にまとめられてきた道具類の形態の共通性と機能の関連を読み取ることができるかどうか、この表の出来栄えにかかってくる。さまざまな関心を持つ者がこのような一覧から、比較資料を探し出すことができるようにするのが目標である。

## 7. 支持系の機能

つぎに、支持系の機能についても主要な話題を紹介しておく。これらも当初は「収納・支持系」としようと考えていたが、「収納」を含めて「支持」でよいと考えた。「収納」は、主に器類や箆筒や棚などの「入れる」「おさめる」あるいは「たくわえる」などの機能である。「道具の機能」を、前の「加撃系」では「対象物の形状を変化せしめる働き」としたが、容器類のように、モノを入れておく器の機能も、同じ捉え方のなかで、考えることができる。一般的には、変化させるというよりも、維持する機能とみなされる働きであるが、容器に入れるもので、特徴的な水や油などの流体を考えてみよう。あるいは細かい粒状や粉状のものを想定してもよい。

これらは本来は、放置しておく分散・飛散あるいは流出してしまう性質を持つ。それをあえて器状のものに入れて、状態や位置を保つのが器状のもの機能ではないか。私たちは普段は意識していないが、コップや弁当箱は、宇宙船の中では使えない。コップの水はもとより、コップ自体も浮き上がってしまう。地球上で使っているほとんどの容器は、無重力状態では使いものにならない。このことを物理学の栗谷容子教授と、もう10年も前の雑談中に確認しあったことを思い出す。棚にのせたり、置いたり、吊り下げたりという機能も同じである。あくまで地球上では、重力と空気の圧力のおかげで、一定の場所（空間）に対象物の位置を維持し、流体や粉体はそのままとった状態を維持することが、これらの収納具や支持具の類の機能ということになる。

**器状のもの機能** 支持系の機能をもつ民具は、一般に、据え置き型の道具である。人間は、すでに置かれているこの道具に対して関わることになる。もちろん最初には誰かが据え置いたものであるが、その道具に対して、人はふたつの方法でかわる。まずひとつ目は、対象物、たとえばリングを手にとってその器に「入れる」（お膳のようなものには「のせる」。上着をハンガーなどには「ひっかける」）。道具側から言えば、置かれた状態で受動的に、収納・支持の機能が働くことになる。ふたつ目は、すでに対象物が器に入っている場合だ。リングなら、器の中から手で取り出せばよいが、中に入れたものが水や粉など（流体・粉体など）の場合は、手では取り出しにくいので、すくい出す道具を使うか、その器自体を傾けることで、内容物を「こぼす」「注ぎ出す」。その場合は、器の縁や胴部やくびれ部分、あるいは取っ手（持ち手・柄・握りなどの接触部品があればそれ）を持って、全体を傾ける。持って使うことを前提に作られた器には、それら接触部が付加されている。本体を直接握る場合も、その太さが手で握るのに適した寸法に作られる。これを見分けることは、それほど難しくない。器状+身体接触部（棒状・鈎状・弦状など）、器状+注口、器状+支持部（脚・台・吊鉤）の関係を見ることがわかる場合がある。かたちを構成している素材と構造から機能を読み取ることもできる。

**杵・輪・筒状のもの機能** 杵には、糸杵や犁の骨組のように「構造をつくる」機能があり、外側に柔軟なものを、巻く・掛ける・張るなどの支持機能がある。「杵」と「輪」そして細長い「筒」には、これらの共通機能がある。内側に何かを「はめて」、まとめたり、防護する機能も、何かを中に通し、人がくぐることも、輪・杵・筒に共通する。

### 柔軟なものの支持機能

**糸・縄・網状のもの機能** 軟質系の「糸・縄・網・紐のもの」には、「砺波の民具」では、結ぶ、繋ぐ、掛ける、吊るなどの機能が抽出された。大きくみるとこれらはすべてとってよいほど、主に「支持系」の機能を果している。例外

的なのは、たとえば「水縄」が、田植えの目印になり、硬質の杵状の田植え定規と同じ役目を果たす、いわば情報系の道具だ。また、「タナワ（手縄）」は馬の動きを操作する、つまり手の動きを伝えるもので、道具の「柄」として棒が果たす機能と共通する。そこには硬いか軟らかいかの違いの使い分けがみられる。棒に比べると縄は巻くことができ、収納性が高い。

**帯状のものの機能** 帯状と紐状の帯（帯揚げ・帯締め・褌（たすき）の機能は、締める・着ける・飾る・運ぶなど。嫁入りのときに、布団を縛って担いだ「蒲団張り」という帯が注目される。白と藍色交互に染めた荷背負い用の帯。儀礼性。嫁の里帰りやその帰りに母親や男衆が重箱を背負う。帯の種類は、使う人（男物・女物・男児・女児用）で異なり、その形態は、素材の違いと仕立て方（半幅・房帯・単衣帯・袋帯・丸帯・ぼろ帯）で決まってくる。デザインに多様性（五月帯・伊達締め・名古屋帯）が生じている。

**シート状のものの機能** 「掛ける」「巻く」「包む」という支持系機能が中心だが、そこに「かぶせる」「かくす」という防護の機能が加わっている。また、主にこの越中地域に特有の巨大な獅子舞が登場するが、その獅子頭につける胴幕はなんと長さが8.1m、幅3.8mもあり、青年たち5、6人がその中に入って獅子を操作する。胴部は輪で支え、布には鮮やかな彩色で巻き毛模様などが描かれ象徴的機能を発揮している。

布以外のシート状のもので抽出された、油紙、筵（むしろ）と菰（こも）は、いずれも「敷く」機能を持つもので、また、物を包むときに用いられ、防護・緩衝の機能が加わるものもある。出産のときの「灰筵」が民具として貴重品だ。

**袋状のものの機能** 素材により機能も変化する。紙袋・布袋・麻袋・南京（黄麻）袋・皮袋・網袋・ビニール袋・ポリ袋。袋のはじまりは、膀胱など動物の内臓が原初的な袋になった可能性があるが、そのような具体例は日本の民具では見当たらない。袋状のものの機能は、基本的には対象物をその中に入れる「器状」のものと共通する収納・支持機能があるが、素材により単に入れるだけでなく、水分を絞り出したり、運搬したりするなど別の機能が加わる。巾着袋・信玄袋など、デザインによりさまざまな袋が作られ名前がある。

「入れる」機能に、まもる（守護）機能が加わり、中のものを保護する。その場合は、風袋（ふうたい）ともいう。丈夫なあるいは厚手の袋地でできた袋に入れることで中身が壊れるのを防ぐ。堅い素材の容器はケースと呼ばれるが、皮革製の場合は袋の仲間にとどまるものと、硬くなるとカバン類になり、箱・筒・ケースが境界領域で重なる。

**「器状のもの」の下位分類** 全体が器状である場合①と、作用部に器状のものが使われる場合②と分けてとらえること

にする。①の全体が器状の場合は、①-1「入れ物（容器）」として用いられるのが典型的だ。これは据え置かれて状態で「収納保存」の機能を果たしている。短期の場合もあれば、長期の場合もある。中のものが変化しやすい（逃げ出すこともある）場合は、蓋が必要である。長く保存する場合は単に「入れる」のではなく、「収納する」「貯蔵する」「仕舞う」などといい、ふつうは中に入れたものが逃げ出したり、劣化したりしないように蓋をして密閉する。逆に、中のものが、微生物などの力で変化することを期待している場合は、「醸造容器」などという。これらは、次に述べるような、光熱エネルギーを使って、中に入れたものを「変状させる」ものとあわせて別にとらえることにした。

①-2手にとって（持って）用いられる器状のものがある。ひとつは、中に入れたものが必要なときに（蓋をあげ）手で持って引き寄せて、中のものを取り出す。中のものが個体の場合、手で握るか指先でつまんで取り出すこともあり、手（指先）で持てないもの（小さいもの・大きいもの、液体状のもの）は、刺したり、掬ったりする道具を使ってすくい出すか、器そのものを手で傾けることで注ぎ出す。

器状のもの自体を移動させる。部分的に器状のかたちをもつ道具、たとえば柄杓やスプーンなどは、器状のものにも能動的な機能があることを示す例であるが、別材の取っ手、提げ手など身体接触部が付く道具もこれに当たる。本格的に身体に固定して移動する配慮（ランドセルのように両腕を通すベルトが付くなど）があれば、もう運搬機能に特化した道具であることがわかる。

例外的になるようだが、器状のものをさかさまに「被せる」状態でもちいられることもある。

#### 移動・運搬機能

収納・支持の機能が働いている状態にあるもの（主に器類や、棒や杵などの支持具）を、人が持ったり、背負ったりして移動するか、水の流りに乗せるか、斜面を滑らせるか、畜力など別の動力で動かせば、船や橇や、牛車などの、移動・運搬の道具になる。これは、別扱いにするのがよいだろう。

「砺波の民具」では、橇10点のほか、大八車・リヤカーなども収録。セイタ、あるいはショイコは板状、杵状のもの15点。全長60cm前後の小型のものが多いが、全長170近くあるものから190cmもある背の高い「梯子状」のものがあるのは関東平野の「背負梯子」と共通して平坦地ならではの環境条件から生まれた特徴だ。L形に棚がつく背負い運搬具があるのも注目される。

#### 光熱・化学系の機能

また、対象物を収納、支持をしている状態で、光・熱のエネルギーを加えれば、鍋や釜のような調理具になったり、提灯や行灯などの灯火具になり、炬燵（こたつ）や行火（あんか）などの暖房具の民具になるので、これを分けて位置付けておくのが適切と考えた。また、収納状態で、微生物などに

よる変化が生じるものについても、同様に考えられるとして、ここに加えることとした。

以上が、加撃系・支持系の道具の概要である。

## 8. 情報系の機能

以上で紹介した機能がすべて物理的機能であるのに対して、「情報」にかかわる象徴的な機能が、上記の道具類に重なるように働くことがある。また、専用のものが独立して作られ、用いられることがある。

情報系の機能は、文字や絵や記号あるいは色や形などの視覚情報や音や声や音楽などの聴覚情報、さらに匂いや味の嗅覚・味覚の情報や、肌ざわりなど触覚の情報、すなわち五感といわれる感覚によって得られる情報を、わたしたちが、獲得し、加工し、選別し、保存し、さらに発信するための象徴的な機能であり、それを助ける道具類である。保存の部分は記録や記憶という言葉に置き換えられる。

手や身体機能としては、手ぶりや指先の動き、身体全体の身ぶりや、声や言葉や歌などを発するなど、さらに手に持ったものを振り回したり、叩いて音を出したり、それらを使って、文字や絵や図を何らかのもの（紙や板など）に描くことで、また立体的なものを作ることで、情報の保存や発信を果たすことである。

具体的なものとしては、自在鉤の「魚形」は横木と呼ばれ、先端に鉤がついた棒を上下に自在に動かして鉄瓶を吊るす位置を調整するとき、鉤の軸を支える物理的機能を持つが、魚形であることは、火の道具に水の象徴的な機能を加えていると考えられる。おなじく魚の名がつく「魚盤」は板状で叩かれて音を出す。寺で読経や食事の時間などを知らせた。釣鐘も同じ。このほか、屋根の鬼瓦など装飾的要素が主なもの以外の実用的な彫刻に何があるか探し出しておきたい。

板状のものでは、看板類・黒板、小型の札類については形態のところで紹介した。器状のものにも、儀礼用の容器がたくさんある。複雑な機械では現代のコンピューターが情報の収集・保存（記憶）・加工（思考）・発信とあらゆる作業を一手に引き受ける。象徴的な機能に特化した道具もいろいろあるが、儀礼や信仰・遊びの道具や衣類などには、物理的な機能を持つものに象徴機能が加えられ、重ねられてあらゆる分野に広がっている。ここでは文字・絵・図柄などを示して情報を伝える機能が見られる。

以上の情報発信の機能とは逆に、外界のさまざまな情報を、われわれは、目で見て色や形を見たり（視覚）、耳で音や声を聞いたり（聴覚）、鼻で匂いを嗅いだり（嗅覚）、手は肌でさまざまな感触を得る（触覚）。これを補助する道具もある。計測具などはスケールを知るという高度な感覚を実現し、情報を得る道具である。

**最先端のデジタル機能** 手と道具の象徴的機能をたどること、もういちど「手」のもつ最初にして最も重要な「とる

機能」「にぎる機能」すなわち「把捉」「把握」の機能に立ち返ることになる。つまり、手で「握る」「つかむ」という把握機能は、人が生きていくために必要とするものを「握り取る」「掴みとる」働きをするのであるが、実はモノではなくて、コト、すなわち「情報」をとる仕事も、実は「指先」が最先端にあるということに思いをはせる必要がある。「触れる」ことで「感じる」すなわち「感覚・情報をつかむ」機能の重要性である。

先に紹介したフランスの人類学者ルロワ＝グーランの著作で把握と加撃が語られるところで、指が果たす役目が分析されている。そこに動作として「指間把握」つまり指で挟む捉え方の原語が「Inter digitale」、指掌把握が「Digito-Falmaire」（「身ぶりと言語」第8章）とあった。これをみて、現代の「デジタル社会」という言葉の「デジタル」の語と「指」が関係があるのではと調べてみたら、その語源はラテン語の「指」、「指で操作する」ことを示す語であることが分かった。現代はまさに「指」あるいは「指先」だけですべての情報と行動が管理される社会になっているということなのだ。指先の動作でプラスかマイナスかだけが操作される。しかし同時に指先はアナログの機能がある。「触れる」ことで、外界の情報を触覚を通して受け止める最先端の感覚器官でもある。このことを、私たちは忘れてはいないか。航空機の先端に取り付ける部材は、金属加工の技師の指先感覚を頼りに、そのカーブが作り出されている。高度な流体力学の計算結果も、職人の手先の感覚と技術がないと、理想的な形は実現しないことを思い出しておきたい。

## 9. おわりに

以上の「形態と機能」の分類や、そのなかに含まれる項目の要素は、それぞれ重複しているのが、実際の民具のあり方である。境界領域があいまいで交錯するものばかりだが、このような視点で整理して眺めることで、あらゆる道具から、基本的な要素を縦横に引き出して、その本質を見極める手がかりになるのではないだろうか。今回、各要素を大きくまとめた概念などは、まだ議論の余地が残されていて、今後も検討を加えていきたい。

また、「砺波の民具」の一覧から、形態と機能の要素を引き出して並び替える作業を通して、気付かされること、考えをめぐらすきっかけを与えられたことがたくさんあったが、ここではその一部を紹介させていただいたにすぎない。気づいたけれど解説できていないことや、読み取ることができていない情報がたくさん残されているはずである。

切り口次第で、コレクションの魅力をさらに引き出せる可能性も十分にあるので、付録CDに収録した民具一覧をぜひ操作して、探索していただくことと、今回開発した方法を、他のすぐれた民具コレクションにも、ぜひ応用していただき、そこに蓄積された「技と知恵」「アイデアと情報」が引き出されて、多様な活用が展開することを願ってやまない。

①原表 1987年3月  
沼津市博物館紀要1  
「モノと情報-道具の体系論への試み」  
②1997年9月  
道具学会発表資料  
③2019年3月改訂  
④2020年12月再編成

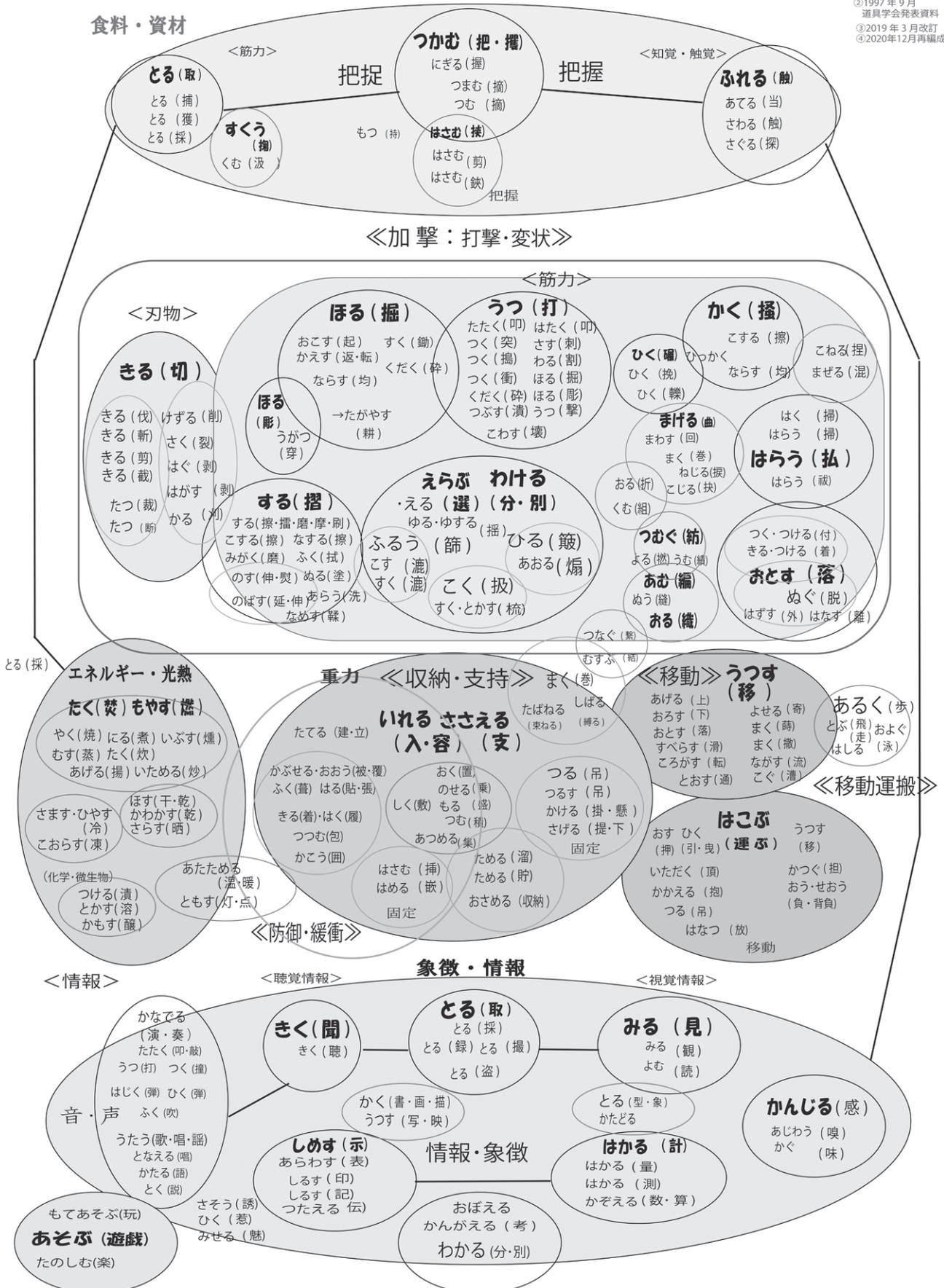
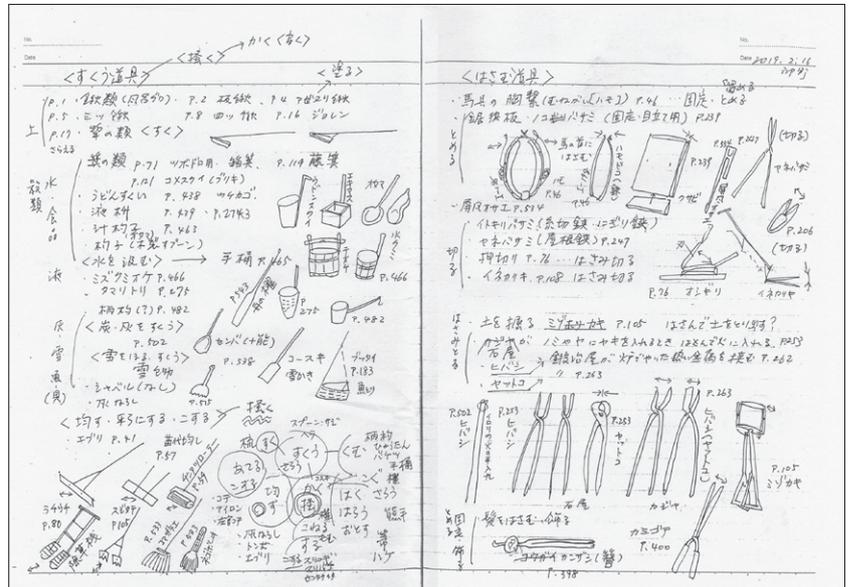


図8 身体機能と道具の働き

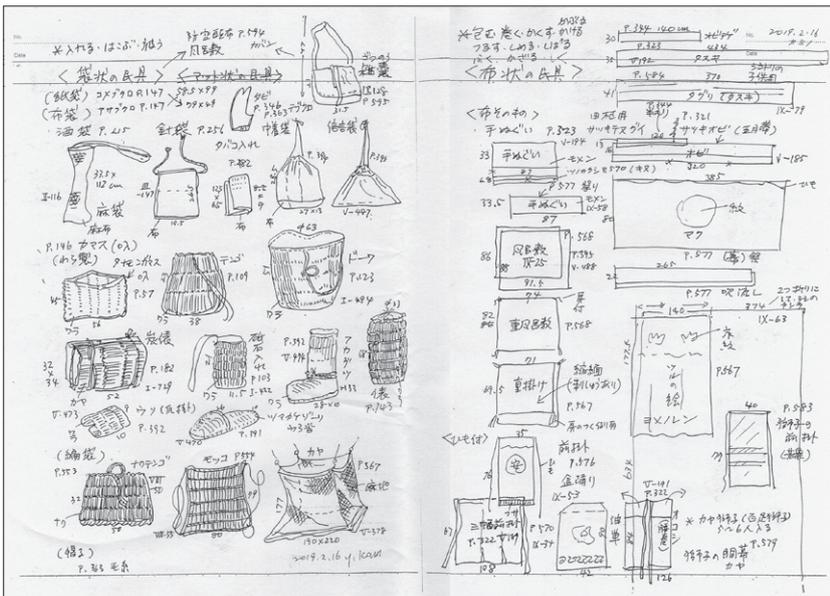


〈桶状の道具〉

『砺波の民具』から「桶状・樽状」つまり「結び物」の構造をもつものと、「樽」の形を真似たものを抽出したノート。



〈くすく道具〉〈揺く道具〉〈はさむ道具〉  
機能分類を考えると、砺波の民具コレクションから、該当する民具を抽出したときのメモ。



〈袋状の道具〉〈布状の道具〉

軟質系の民具を抽出したが、布状のものは「元のかたち」を示すことが適切と考えたときのノート。このようにして類型を探ることができるか。

図9 分類作成のための考察メモ

# 形態別一覧表「硬質系」

## List by Morphology: Rigid System Tools

### 「硬質系」と「軟質系」

民具の形態は、重力の下でその全体形が一定の形状を保てるもの（硬質系）と、保てないもの（軟質系）では、形態のあり方が異なることはすでに記した。個別の資料情報から、全体形をなるべくシンプルな構造の形態として把握することを試み、それを幾何学的な形態として表現するようにした。それをまとめていった作業の結果としてできたのがこの一覧表である。単純化すると、「線・面・立体」として整理することが可能だろう。

### 【線状】：「1. 棒状のもの」

「棒状のもの」といえる、真っ直ぐな「I形」のもの、折れ曲がった「L形・∟形・J形など」のものは「鉤状のもの」ともいえる。二股の「Y形」や「V形」、2材が組み合わさった「T形やX形」などなるべく単純な記号的な形態で把握し、表記することを試みた。しかし、単純な棒状といっても、その寸法や断面形は細部で異なるのを見分けていくことができる。また、作用部は塊状だったり、板状だったりするが、棒状の長い「柄」が見つめるものは全体形としては棒状の仲間として捉えることができるように考えた。いずれ、形態別の一覧から個別の形態を検索していけるようなものに育つことを想定してのことである。

### 【面状】：「2. 板状のもの」・「5. 枠状のもの」・「6. 輪状のもの」

平面的な道具として、さまざまな硬質の素材の板がある。組板や作業台のように置いて使うもの、看板のように立てて使うものなどあり、板の側面が機能する場合もある。

枠状のものは、額や障子の枠のように平面的なものや立体的なものがある。枠の中に棧が縦横に入るものも。板と同じように上にもものをのせて使われるのと、立てることで仕切りの役目を果たしたり、形態的な特徴が機能に結びついている。

四角い「枠状のもの」と、丸い「輪状のもの」は、民具の世界では多くの種類を見ることができる。そのなかでも、典型的な機能に整理できる。枠や輪で囲う（はめる）ことで内側に入れたものを保護したり、まとめたりする役目を果たすことなどが代表的なものだ。「糸枠」が「わく」という言葉の出発点になったことは解説文で紹介した通りで、「わく」に糸を巻き付けたのがはじまり。枠や輪の面にシート状のものを貼り付けると「板状のもの」と類似の機能が果たせる。

回転軸がつくと「車輪」になる。滑車類が多用されていたし、橇など土や雪の上を滑らす運搬具と車輪で転がして移動する運搬具が近代まで平行して残され、祭りの山車などを加えてその進化の過程を見る素材が残されているように思う。

### 【立体】：「3. 箱状のもの」・「4. 器状のもの」・「5. 枠状のもの」・「6. 輪状のもの」・「7. 筒状のもの」・「8. 塊状のもの」

立体的な民具のうち、「箱状のもの」を含めて「器状のもの」が占める比率が極めて高いように思われる。この分野こそ、用途別の分類では、分断されてしまった分野だ。箱状のものは、箆筒などの家具類や工具類などの収納用具、運搬用具などに広くみられるものである。箱以外の「器状」には、回転体のものが多いことが一覧表でよくわかってくる。素材や製造技術、部品の付き方を加えて、形態からの仕分けの方法を確立したい。

「塊状」の立体としては、全体が自然石や金属や木の塊状のものが、錘りや作業台などに用いられるものがある。また、塊状のものを作用部にして柄をつけたものなど、いかにも自然のなかで生まれた民具らしいものがある。

### 【複雑】：「3～8」・「9. 形象」・「10. 機械」

多数の部材で複雑に組み合わさった民具の形態は、単純には表現できない。それらはこの表では「複雑形」などと表現して済ませた。複雑なものも個別の形態を言葉で表現することは今後も試みておきたい課題である。

この表で「形象」としたものは、自然物や人工物の形態を真似たり、あるいは想像上のものの形態を示したものの。自然物では太陽や月星から、動植物・人間の身体、さまざまな神霊の姿などが形象化されたものがある。神像や人形・面などに多様な造形がある。人工物では、建物や乗り物などがある。いずれもミニチュアとして作られることが多い。玩具などにはこの種の形態が多様に見られる。

最後に「機械類」の項目も用意した。いわゆる「民具」とされるものにも、力学的には比較的シンプルな、車輪や歯車、梃子やバネなどが組み合わされた、いわば「からくり」が取り込まれているものがある。次第に複雑になり、「脱穀機」「織機」など「機」と呼ばれるものがあるが、動力機構が加わる「時計」のレベルになるとすっかり「機械」の仲間になる。しかし、近世・近代の暮らしのなかで活躍してきたものもあり、博物館資料になっているものがいろいろあるので、現代にいたる道具の展開を含めて考えていけるものになりたい。

(神野善治)

## 一覧表のなりたち

以下に示すのは神奈川大学国際常民文化研究機構の共同研究「民具の機能分析に関する基礎的研究」班が、富山県砺波市砺波郷土資料館の協力を得て、同館の収蔵目録『砺波の民具』（2006年刊）をもとに製作した「形態別」「機能別」の一覧表である。収録民具は約3500件（細かく数えると約5500点）あり、同種とみなされる民具も複数点が収集されているが、すべてに個別情報が伴い、ひとつとして同じものは無い。しかし、基本的な形態と機能がほぼ同じ種類とみなされる民具から典型的なものを1件ずつ選ぶと約1300件を抽出できた。この1件ずつについて改めて形態と機能を読み取ることを試み、収録順に書き上げた一覧表を作成した（本報告書の付録CDに収録）。各々についてその全体形と基本的作用部の形態を読み取って、類似形態をまとめて再編成したのが「形態別一覧表」である。

この基本形態をいかに読み取り、表現するかが本プロジェクトでの最大の難問であり、創造的な試みにもなった。まとまってくる民具を比較することで、特定の形態と機能との関係が浮かびあがってくる様子をご覧いただきたい。

- ◆本報告書「民具の『形態と機能』を読む」の図6「道具の基本形態の位相」をまず参照いただきたい。
- ◆道具を形態で把握しようとするとき、その「形態」の概念は必ずしも境界は厳密に示せない。隣接する概念とは連続的に変化してつながる。そこで「形態」は典型を示すものと考えべきだろう。
- ◆対象とした民具の個体は、すべて用法が判明しているものなので、「作用部」と「身体支持部」とか、容器類の台座や吊り手などの「支持部」や「注口」などの部品を指摘できるものは、それぞれの形態を加算して表記することにした。
- ◆構造をしめす基本形態は、幾何学的な形を基準にして見分けることは可能だろうと考え、また分けがたいものは、それぞれに属するものとして配置して、いくつもの要素から検索できる表になることをこころがけた。以下に示す一覧表は、厳密な意味で「形態分類」を示すものではないことをおことわりしておきたい。

硬質系		
1	棒状のもの	棒状のもの、鈎状のもの、束状のもの
2	板状のもの	板そのもの、取っ手付きの板（蓋類など）、脚付きの板、板状の刃物、縁がつく板（盆・膳形など）、その他板状のもの
3	箱状のもの	箱状そのもの、側面に口があく箱、側面に引出がつく箱、箱状の焼物、いろいろな部品がつく箱、ブラックボックス（主に箱状の「機械」→10と共通）
4	器状のもの	円筒形・盥形、円筒形・桶形、鉢形、椀形・盃形・高坏形、甕・壺形、瓶形・徳利形、樽形、皿形、盆形、注口のある器、逆さに用いる器、その他の器状のもの
5	枠状のもの	枠状（平面）、棧がある枠状、紙や網がはられている枠状、枠の中に車状のもの、鳥居形の枠が柄としてつくもの、枠状（立体）のもの
6	輪状・車状のもの	輪状のもの、車状のもの（回転軸がつくもの）
7	筒状・管状のもの	細長い筒状・パイプ状のもの（容器一般は除く）
8	塊状のもの	全体が硬質、作用部が塊状のもの
9	自然物・人工物の形象	自然・架空の動植物、人像（人形・神像）、建造物など人工物、星などの自然物の造形、その他の抽象形
10	機械・器械のもの	箱状の器械（仕掛けが隠れているもの）、枠状の器械、∠形の器械類、その他の形状の器械（複雑形）

形態別一覧表：硬質系 1 棒状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
1-1 棒状のもの									
1-1-① 棒状・棒そのもの (若干の加工・部品あり)									
P 404	V衣9 裁縫	V-527		毛糸手編棒	棒状	棒状	棒状	木	削出
P 067	I 農林業 2 田植 (2) 田植用具	I-301		天秤棒・カタネボー	棒状	棒状 (少し曲がる)・両端に切り込み。中央が平ら	棒状両端 (切込を入れる)	木	削出
P 069	I 農林業 3 肥培 ・管理	I-308①		天秤棒・カタネボー	棒状	中央部がやや太い	棒状両端 (突起を埋込)	木 (杉)	削出
P 559	VIII 移動運搬 14 天秤棒と荷縄	VIII-078		天秤棒・カタネボー	棒状	棒状 (角棒)、中央やや太い	棒状中央部	木	削出
P 141	I 農林業 4 収穫 (3) 度量衡	I-576②		斗棒	棒状	棒状 (丸棒)	棒状	木	彫物 ※削り出し
P 435	VI 食 1 調理 搗鉢と搗粉木	VI-130②		搗粉木・スルコン	棒状	棒状 (丸棒) 先端がやや太く、手元がやや細い	棒状	木	彫物 ※削り出し
P 436	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	VI-132②		搗粉木・スルコン	棒状	棒状 (丸棒) 先端がやや太く、手元がやや細い	棒状	木	彫物 ※削り出し
P 079	I 農林業 3 肥培 ・管理 (2) 防除	I-352		竹鉄砲・スズメオイタケデッポウ	棒状	棒状+棒状 (柄)	棒状	竹	
P 144	I 農林業 4 収穫 (3) 度量衡	I-589		竿秤 (さおばかり)	棒状	棒状+鈎状+縄状	棒状	木・鉄・繊維	
P 194	II 手工業 1 紡織 (2) 整経	II-041		つり棒・メツパリ	棒状	棒状+糸状	棒状	竹	
P 049	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-215		尻枷 (しりかせ)・スルカス	棒状	棒状 (丸棒)+輪状 (麻縄)	棒状	木 (桐)+麻	削出
P 050	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-216		尻枷 (しりかせ)・スルカス	棒状	棒状 (ややへの字)+鈎	棒状	木 (ぶな)+鉄	削出
P 224	III 諸職 2 大工	III-034		墨刺	I形	棒状 (両端を少し削る)	棒状	竹	
1-1-② 曲がった棒状 (ややへの字に曲がる)									
P 124	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-499		叩き棒・タタキ	棒状 (曲がり)	棒状 (曲がり)	棒状 (へ字形)	木	削出
P 045	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-191		首枷 (くびかせ)・クビキ	棒状 (へ字形)	棒状 (へ字形)	棒状 (へ字形)	木	削出
P 045	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-192		首枷 (くびかせ)・クビキ	棒状 (へ字形)	棒状 (へ字形)	棒状 (へ字形)	木	削出

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
セーター	裁縫・衣料の調整	編む	編む	..			加工（加撃）	人（手）
苗籠	運ぶ	吊り下げる・担う	吊り下げる・担う・運ぶ	..	本体中央部	両端に切り込み	移動運搬	人（肩）
肥桶	施肥・運搬	吊り下げる・担ぐ	吊り下げる・担う・運ぶ	..	本体中央部	両端に突起	移動運搬	人（肩）
米俵など （重いもの）	運搬・計量	吊り下げる・担ぐ	吊り下げる・担う・運ぶ・はかる（重さ）	..	本体両端を2人で	..	移動運搬／情報	人（肩）
米（舂いた米）	度量衡用	こする・ならす	ならす	..	本体	..	情報	人（手）
胡麻・味噌・豆など	炊事・調理	あてる・まわす・播る	播る	..	本体	..	加工（加撃）	人（手）
胡麻・味噌・豆など	炊事・調理	あてる・まわす・播る	播る	..	本体	..	加工（加撃）	人（手）
害鳥（スズメ）	害鳥防除	打つ・音を立てる	音を立て追う	..	棒状	..	情報	人（手）
米俵	度量衡用	吊りさげる	はかる	鉤	輪（吊り縄）2	分銅（秤量20貫用）	情報	人（手）+重力（天秤）
糸（経糸）	機織り（整経）	とおす・かける	掛ける・整える	糸	..	..	収納支持	人（手）
馬の曳き綱と犁など	馬の引綱（ヒキテ）を両端に縛り、中央の輪（鉤）に犁の柄（練り木）を縛って曳かせる	（両端に馬の引綱を）しばる・（中央の輪に）犁の練り木をとりつける。	つなぐ・引く	..	縄（曳き縄）2欠	..	収納支持	馬（尻の後方）
馬の曳き綱と犁など	馬の引綱（ヒキテ）を両端に縛り、中央の輪（鉤）に犁の柄（練り木）を縛って曳かせる	（両端に馬の引綱を）しばる・（中央の輪に）犁の練り木をとりつける。	結合	..	縄（曳き縄）2	..	収納支持	馬（尻の後方）
材木	印を付ける	（墨をつけて）こする	線を引く	..	本体（握り）	..	情報	人（手）
ボータ（扱落した稈や穂等）	脱穀・脱粒	叩く	叩く・脱穀・脱粒	..	柄（本体）	..	加工（加撃）	人（手）
牛の首筋	牛に犁や馬鍬を曳かせる	牛の首筋にかける	乗せる・掛ける（縄を）・引かせる（犁や馬鍬を）	..	本体（棒）+縄	..	収納支持	馬（首）
牛の首筋	牛に犁や馬鍬を曳かせる	牛の首筋にかける	乗せる・掛ける（縄を）・引かせる（犁や馬鍬を）	..	本体（棒）+帯	..	収納支持	馬（首）

形態別一覧表：硬質系 1 棒状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 045 図 6	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-193		首枷 (くびかせ・クビキ)	棒状 (へ字形)	棒状 (へ字形)	棒状(へ字形)	木	削出
P 254	III 諸職 5 石屋	III-138		メジゴテ	棒状 (曲がり)	棒状 (屈曲) + 棒状	棒状 + 握り柄	鉄	鍛造品
1-1-③ 先が尖った棒状：針・串・釘・錐・鎗など									
P 247	III 諸職 4 屋根葺き	III-108		ハリ	I 形	棒状	棒状 (先端が尖る)	竹	
P 398	V 衣 8 化粧・結髪	V-502②		簪 (かんざし)	I 形	棒状		金属	
P 236	III 諸職 2 大工	III-067		錐 (きり)	I 形	刃物 (錐)		鉄	鍛造品
P 204	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	II-082		伸子 (しんし)	I 形	棒状・針状	針状	竹 + 両端に鉄針	
P 438	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	VI-141		氷割り	I 形	釘状		鉄	鍛造品
P 587	IX 社会生活 8 遊び	IX-092		スキーストック	棒状	棒状 2 本	棒状	竹	
1-1-④ 先端が二股の棒状 (Y 形)									
P 559	VIII 移動運搬 14 天秤棒と荷縄	VIII-79		荷棒・ピアツエ	Y 形	棒状 (Y 字)		木	
P 040	I 農林業 1 耕耘 (2) 碎土・代掻	I-168		柄振 (えぶり)	T 形	板状 + 棒状		木	板
1-1-⑤ 先端に刃がある棒状 (I 形)：主に工具類の鑿・楔など									
P 233	III 諸職 2 大工	III-060		刺鑿 (さしのみ)	I 形	鑿形・刃物		鉄	鍛造品
P 234	III 諸職 2 大工	III-063		叩鑿 (たたきのみ)	I 形	鑿形・刃物		鉄	鍛造品
P 250	III 諸職 5 石屋	III-120		平鑿	I 形	棒状・刃物		鉄	鍛造品
P 250	III 諸職 5 石屋	III-121		底突鑿	I 形	棒状・刃物		鉄	鍛造品
P 251	III 諸職 5 石屋	III-122		荒鑿 (あらのみ)	I 形	釘状・刃物・棒状	棒状	鉄	鍛造品
P 251	III 諸職 5 石屋	III-124		手鑿 (てのみ)	I 形	釘状・刃物・棒状	釘状 (両端が尖る)	鉄	鍛造品
P 253	III 諸職 5 石屋	III-135		バリ・クジリ	I 形	棒状	棒状	鉄	鍛造品

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
牛の首筋	牛に犁や馬鍬を曳かせる	牛の首筋にかける	乗せる・掛ける(縄を)・引かせる(犁や馬鍬を)	..	本体(棒)+縄	..	収納支持	馬(首)
モルタル	石工	のせて	詰める(目地に)	..	握り	..	加工(加撃)	人(手)
屋根茅	屋根葺き	縄をさす	通す	..	本体(柄)	..	加工(加撃)	人(手)
髪	化粧・身を飾る	差す	飾る				情報	人(手・頭)
材木	あける(穴を)	突き立てて、もみこんで	あける(穴を)	..	握り	..	加工(加撃)	人(手)
布(織り終えた部分)	機織り	ひっかける(織った布の両端に爪を)・びんと張る	広げる	針	本体	..	収納支持	人(手)
氷	炊事・調理	突く	割る		握り		加工(加撃)	人(手)
身体	遊戯	突く	支える		握り		移動運搬	人(手)
背負板(セータ)	荷を運ぶ	下に当てる	支える・休む				移動運搬／収納支持	人(手)
田の土	代掻き後の田面を均す	水の中の泥土をゆり動かして柔らかくして均す	押す・引く・均す	..	柄(Y字形)	..	加工	人(手)
材木	彫る(穴を)	押し付け	彫る(穴を)	..	握り	..	加工(加撃)	人(手)
材木	彫る(穴を)	当てて槌でたたき	彫る(穴を)	..	握り	..	加工(加撃)	人(手)
石	石を削る・彫る	削る・彫る	割る(石を)	..	本体(握り)	..	加工(加撃)	人(手)
石	石を削る・彫る	削る・彫る	割る(石を)	..	本体(握り)	..	加工(加撃)	人(手)
石	石を削る・彫る	削る・彫る	割る(石を)	..	本体(握り)	..	加工(加撃)	人(手)
石	石を削る・彫る	叩く・削る	削る(石を)	..	本体(握り)	..	加工(加撃)	人(手)
石材	石工	さしこむ・槌子の力で	動かす	..	本体(握り)	..	移動運搬	人(手)

形態別一覧表：硬質系 1 棒状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 251	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-125		矢・マメヤ	I形	釘状・刃物・棒状	棒状	鉄	鍛造品
P 252	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-127		矢・ヒラキヤ	I形	棒状	棒状	鉄	鍛造品
1-2 棒状 (複数材で構成されるもの)									
1-2-① I形・X形									
P 464	Ⅵ食 2 飲食 (4) 箸	Ⅵ-245		箸	棒状	棒状 2	棒形	木	
P 239	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-077		端金 (はたがね)	I形	棒状+棒状 (ネジ留め)	棒状	鉄	
P 406	V衣 10 洗濯	V-537		伸子	I形	棒状	棒状 2 本 並んだ針で挟む)	木+針	
P 436	Ⅵ食 1 炊事・調理	Ⅵ-135		芋洗い	X形	棒状・X字		木	
P 247	Ⅲ 諸職 4 屋根葺き	Ⅲ-109		屋根鉞	X形	刃物	刃物	鉄	鍛造
P 253	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-132		ヒバシ (ヤットコ)	X形	棒状・X字	刃物	鉄	鍛造
P 253	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-133		ヤットコ	X形	棒状・X字	刃物	鉄	鍛造
P 262	Ⅲ 諸職 7 鍛冶屋	Ⅲ-167		ヤットコ	X形	棒状・X字	刃物	鉄	鍛造
P 263	Ⅲ 諸職 7 鍛冶屋	Ⅲ-168		ヤットコ	X形	棒状・X字	刃物	鉄	鍛造
P 400	V衣 8 化粧・結髪	V-512		髪鏝 (かみごて)	X形	棒状・X字		金属	
P 105	I 農林業 3 肥培・管理 (4) 灌漑	I-427		排水溝掘器・ミゾカキ	X形	板状 (刃物) 棒状 (X形) + 棒状 2	刃物	鉄+木	鍛造
1-2-② L形 (鋤形)：板状刃物+棒状 (柄) ※以下 1-6~11 の項は重複のため省略									
P 001	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-001		風呂鋤	∟形	板状+棒状	板状・刃物	鉄+木	鍛造
P 002	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-006		板鋤・平鋤	∟形	板状+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 005	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-016		アゼヌリグワ	∟形	籠状・匙状+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 005	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-017		三ツ鋤・ミツグワ	∟形	棒状 3 又+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造

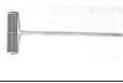
対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
石	石を割る	叩く・削る	彫る（石像などを）	..	本体（握り）	..	加工（加撃）	人（手）
石	石を割る	叩く・削る	彫る（石像などを）	..	本体（握り）	..	加工（加撃）	人（手）
飯・おかず	飲食	つかむ・挟む	挟む・摘む		本体		移動運搬	人（手）
板など	固定する	はさむ	固定する	..	本体	..	収納支持	人（手）
布	洗濯	はさむ・張る	伸ばす	..			加工（加撃）	人（手）
芋など	炊事・調理	ねじる・こじる	洗う	..			加工	人（手）
屋根の茅	屋根葺き	挟む・切る	切り揃える	..	柄2	..	加工	人（手）
鑿や矢	石工	挟む・握る	火にいれる	..	本体（握り）	..	加工	人（手）
鑿や矢	石工	挟む・握る	火にいれる	..	本体（握り）	..	加工	人（手）
炉で焼いた 熱い金属	鍛冶	挟む	固定する	..	柄2	..	加工	人（手）
炉で焼いた 熱い金属	鍛冶	挟む	固定する	..	柄2	..	加工	人（手）
髪	化粧・身を飾る	熟してあてる	整える	..			加工	人（手）・熱
水田の泥	排水	溝を掘る・泥を挟んで掻きあげる	掻く・掻き取る	..	柄2	..	加工	人（手）
田畑の土	耕す・起こす・うね立て・土寄せ	打ち下す・引く	起こす・砕く・すくう・のせる・均す	板状（床）	柄	..	加工	人（手）
田畑の土	耕す・起こす・うね立て・土寄せ	打ち下す・引く	起こす・砕く・すくう・のせる・均す	円筒（ひつ）	柄	..	加工	人（手）
田畑の土	あぜ塗り・耕す・起こす	すくう・塗る	すくう・塗る（あぜの泥を）	..	柄	..	加工	人（手）
田畑の土	耕す・起こす・うね立て・土寄せ	打ち下す・引く	起こす・砕く・すくう・のせる・均す（畝て・土寄）	..	柄	..	加工	人（手）

形態別一覧表：硬質系 1 棒状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 008	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-030		四ツ鋤・ヨツグワ	∟形	棒状 4 又 + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 012	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-047		三角鋤・ジャリグワ	∟形	板状三角形 + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 013	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-051		小鋤・草削り	∟形	板状 + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 014	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-053		唐鋤 (とうぐわ)	∟形	板状 + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 016	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-063		カワクマ	∟形	釘状 2 又 + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 540	VII 住 4 防護 (2) 除雪	VII-213		雪鋤	∟形	板状 + 棒状	板状	木	
1-2-③ ∟形・△形 (犁形)									
P 017	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-067		単用犁・ホージのスキ	∟形	犁形 (籠状 + 曲り木 + 棒状 2)	籠状・刃物	鉄	鋳物
P 021	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-086		双用犁・松山犁	∟形	犁形 (籠状 + 棒状 2)	籠状・刃物	鉄	鋳物
1-2-④ L 形 (鎌形)									
P 102	I 農林業 3 肥培 ・管理 (3) 中耕 除草	I-419		草刈鎌	L 形	鎌形 (刃物) + 棒 (握り)	刃物	鉄	鍛造
P 103	I 農林業 3 肥培 ・管理 (3) 中耕 除草	I-421		かや刈鎌	L 形	鎌形 (刃物) + 棒 (握り)	刃物	鉄	鍛造
P 105	I 農林業 3 肥培 ・管理 (4) 灌溉	I-428		溝切り・クマデギリ	L 形	刃物 (鎌形) 2 + 棒	刃物	鉄	鍛造
P 106	I 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	I-430		鋸鎌・ノコギリガマ	L 形	刃物 (鎌形) + 棒状	刃物	鉄	鍛造
P 107 図 17	I 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	I-431		花草刈鎌・ハナクサカリガマ	L 形	刃物 (鎌形) + 棒状	刃物	鉄	鍛造
P 107 図 17	I 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	I-433		花草刈鎌・ハナクサカリガマ	L 形	刃物 (鎌形) 5 枚 + 棒 (竹柄)	刃物	鉄	鍛造
P 584	IX 社会生活 6 獅子舞	IX-081		獅子の鎌	L 形	板状 (鎌形) + 棒状		木	削出
1-2-⑤ L 形 (斧形など)									
P 179	I 農林業 9 林業	I-714		斧・ヨキ	L 形	刃物 (斧形) + 棒状	刃物	鉄	鍛造
P 217	III 諸職 1 木挽	III-002		斧・ヨキ	L 形	刃物 (斧形) + 棒状	刃物	鉄	鍛造

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
田畑の土	耕す・起こす・うね立て・土寄せ	打ち下す・引く	起こす・砕く・すくう・のせる・均す（畝て・土寄せ）	..	柄	..	加工	人（手）
用水・道路・田畑などの砂利・土	石起こし・用水・道路の補修	打ち下す・引く	起こす（石を）・掘る・さらう・均す（砂利・石を）	..	柄	..	加工	人（手）
田畑の土	溝掘り・除草	打ち下す・引く	掘る・さらう（溝・雑草を）・均す	..	柄	..	加工	人（手）
畑の土・木の根	掘る・根を切る	打ち下す・引く	掘る・切る（木の根を）	..	柄	..	加工	人（手）
川の中の石	石起こし・移動	打ち下す・引き上げる	起こす（石を）・掘る・さらう・均す	..	柄	..	加工	人（手）
雪（屋根の雪）	雪かき	掘る・掻く	掘る・掻く（雪を）		柄		加工	人（手）
田畑の土	耕す（耕土のすき返し）	馬に曳かせる	すく・起こす・反転させる	柄身（曲材）	握り	..	加工	馬+人（手）
田畑の土	耕す（耕土のすき返し）	馬に曳かせる	すく・起こす・反転させる	柄身（直材）	握り	..	加工	馬+人（手）
水田のアゼやクロの雑草	除草	刈る	刈る	..	柄	..	加工	人（手）
畔の雑草	かや刈り	刈る	刈る	..	柄	..	加工	人（手）
水田の土	灌漑・排水	打つ・打ち下ろす・引く	切る・掘る	..	柄	..	加工	人（手）
稲株	刈り取り	引っ掛ける・引く	切る	..	柄	..	加工	人（手）
花草（紫雲英）	刈り取り	引っ掛ける・引く	切る	..	柄	..	加工	人（手）
花草（紫雲英）	刈り取り	引っ掛ける・引く	刈る・切る	..	柄	..	加工	人（手）
身体（獅子取りの子供）	芸能・獅子舞	持つ	演じる				情報	人（手）
立木・木材	造林・伐採・薪割り	振り下ろす・打ち込む・引く	叩き切る	..	柄	..	加工	人（手）
材木	木挽き	叩く・切る	はつる（削る）	..	柄	..	加工	人（手）

形態別一覧表：硬質系 1 棒状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 217	Ⅲ 諸職 1 木挽	Ⅲ-004		刃広鉞・ハビロ	L形	刃物 (斧形) + 棒状	刃物	鉄	鍛造
P 254	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-140		ツルハシ・トール	L形	刃物 (棒状) + 棒状	刃物	鉄	鍛造
P 537	Ⅶ住 4 防護 (1) 消防	Ⅶ-205		鷹口・トンビ、トビ	L形	刃物 + 棒状	刃物	鉄	鍛造
1-2-⑥ T形 (槌形など)									
P 016	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-062		ツルハシ	T形	棒状 + 棒状	刃物	鉄	鍛造
P 040	I 農林業 1 耕耘 (2) 碎土・代掻	I-168		柄振 (えぶり)	T形	板状 + 棒状		木	板
P 059	I 農林業 2 田植 (1) 苗代	I-260		鎮圧ローラー	T形	円筒状 (金網) + 棒状		鉄 + 木	金網
P 072	I 農林業 3 肥培 ・管理	I-322		鎌切り・ニッシンハタキ	T形	刃物 (板状) + 棒 + 棒 (柄)	刃物	鉄	鍛造
P 138	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-567		遣り木・ヤングリ	T形	棒 (Y字形) + 棒状		木・鉄	
P 215	II 手工業 4 酒づくり	II-115		權棒	T形	板状 + 棒状	板状	木	
P 216	II 手工業 4 酒づくり	II-121		焼印	T形	T形		鉄 + 木	
P 237	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-071		金槌	T形	槌形): 塊状・円筒形 (打物) + 棒状		鉄	
P 238	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-072		木槌 (きづち)・サイ ツツ	T形	槌形): 塊状・円筒形 (刳物) + 棒状		木	
P 475	Ⅵ食 3 保存・醸 造 (4) 味噌作り	Ⅵ-294		味噌突棒	T形	板状 + 棒状		木	
1-2-⑦ その他の棒状									
P 203	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	II-076		杼 (ひ) 打ち杼・大 杼	棒状	棒状 (中央が幅広)	棒状	木	
P 203	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	II-078		杼 (ひ) 打ち杼・大 杼	棒状	棒状 (中央が幅広)	棒状	木	
P 224	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-034		墨刺	I形	棒状	棒状	竹	
P 269	Ⅲ 諸職 8 菓子作り	Ⅲ-175		菓子の判子	棒状	棒状	棒状	木	

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
材木	木挽き	叩く・切る	はつる（削る）	..	柄	..	加工	人（手）
石	石工	あてる・槌子の力 で	動かす	..	柄（欠）	..	移動運搬	人（手）
（火事のと きに）家具 など	消火・消防	ひっかける	引き出す				加工	人（手）
用水・道路・ 田畑などの 砂利・石・ 土	溝掘り・石起こし	打ち下す・引く	起こす・掘る・さらう・均す （砂利・石を）	..	柄	..	加工	人（手）
田の土	代掻き後の田面を 均す	水の中の泥土をゆ り動かして柔らか くして均す	押す・引く・均す	..	柄（Y字形）	..	加工	人（手）
苗床に蒔い た種粃	転がして落ち着か せる	転がす	転がして抑える	..	柄	..	加工	人（手）
乾燥ニン （稲作の肥 料）	肥料を作る	叩き下ろす	叩く・切る	..	柄	..	加工	人（手）
粃摺白の上 白	脱穀・調整（粃摺 り）	おす・引く・まわ す	まわす	..	柄	..	加工	人（手）
醪（もろみ）	酒づくり	掻く・まわす	掻き混ぜる	..	握り+柄	..	移動運搬	人（手）
印	酒づくり	焼く・押す	付ける	..	柄	..	情報	人（手）
鑿	家づくり	（鑿の頭を）	叩く	..	柄	..	加工	人（手）
材木	家づくり	（組み物などを）	叩く・組む	..	柄	..	加工	人（手）
桶に仕込ん だ味噌	味噌・醤油づくり	突く	突く・混ぜる		柄		加工	人（手）
糸（緯糸）	機織り	いれる（緯糸をま いた管を）	通す（経糸の間を）・打ち込 む（緯糸を）	..	握り	..	収納支持	人（手）
糸（緯糸）	機織り	いれる（緯糸をま いた管を）	通す（経糸の間を）・打ち込 む（緯糸を）	..	握り	..	収納支持	人（手）
材木	印を付ける	（墨をつけて）こ する	線を引く	..	本体（握り）	..	情報	人（手）
菓子	菓子づくり	押し付ける	印をつける	..		..	情報	..

形態別一覧表：硬質系 1 棒状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 493	Ⅶ住 1 照明 (5) その他	Ⅶ-029		燭台・ローソクタテ	棒状	棒状 (支柱) + 円盤状	円盤状 (台)	木	
1-3 鈎状のもの									
P 495	Ⅶ住 2 暖房 (1) 囲炉裏	Ⅶ-034		自在鈎・カンサマ	鈎状	鈎状 + 筒状	鈎状	鉄 + 木 + 竹	
P 495	Ⅶ住 2 暖房 (1) 囲炉裏	Ⅶ-035		自在鈎・カンサマ	鈎状 + 筒状	鈎状 + 筒状	鈎状	竹・鉄	
P 499	Ⅶ住 2 暖房 (1) 囲炉裏	Ⅶ-044		空鈎	鈎状	鈎状	鈎状	木	彫物
P 520	Ⅶ住 3 設備 (1) 井戸	Ⅶ-128		井戸の碇	鈎状	鈎状	鈎状	鉄	鍛造品
P 520	Ⅶ住 3 設備 (1) 井戸	Ⅶ-129		井戸の碇	鈎状	鈎状	鈎状	鉄	鍛造品
P 535	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-197		鈎	鈎状	鈎状	鈎状	木の枝	自然物
P 535	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-198		吊金具	鈎状	鈎状	鈎状	鉄	針金
P 518	Ⅶ住 3 設備 (1) 井戸	Ⅶ-120		水替えの縄	縄状 + 鈎状	縄状 + 鈎状	縄状	繊維	絢物
柄付きの鈎									
P 071	I 農林業 3 肥培 ・管理	I-314		熊手・クソクマデ	∟形	鈎状 + 棒状	釘状 (3 股)	鉄 + 木	鍛造品
P 149	I 農林業 4 収穫 (4) 収納運搬	I-606		手鈎	鈎状	鈎状 + 刃物 (鋸形)	鈎状	鉄	鍛造品
P 149	I 農林業 4 収穫 (4) 収納運搬	I-608		手鈎	鈎状	鈎状	鈎状 (3 本)	木・鉄	鍛造品
P 211	II 手工業 2 瓦づ くり	II-104③		手鈎	鈎状	鈎状・刃物	板状 (細長い) 先端に鈎状	金属	鍛造品
P 537	Ⅶ住 4 防護 (1) 消防	Ⅶ-205		鷹口・トンビ、トビ	L 形	鈎状 + 棒状	鈎状	繊維	
P 543	Ⅷ移動運搬 3 川舟	Ⅷ-015		川舟の竿	L 形	鈎状・刃物 + 棒状	鈎状 (刃先 + 柄)	鉄・竹	鍛造品
P 239	III 諸職 2 大工	III-078		バリ	鈎状	鈎状	鈎状	鉄	
P 170	I 農林業 6 薬仕 事 (2) 薬加工	I-682		箆通し	鈎状 (板状・握り)	鈎状 (板状・握り)	溝穴 42 (棒)	鉄	鍛造品

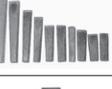
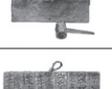
対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
明かり（蠟燭）	照明	立てる	灯す・照らす	円盤状（台）			捕獲採取	火（蠟燭）
鉄瓶など	暖房	吊るす	支える				収納支持	..
鉄瓶など	暖房	吊るす	支える	鉤状	本体		収納支持	..
自在鉤	暖房・調理	吊るす	支える	縄（欠）	本体		収納支持	..
釣瓶など （井戸への 落とし物）	吊り上げ	吊り下げる・上げ る	吊り上げる				移動運搬	重力（落下）+ 人（手）
釣瓶など （井戸への 落とし物）	吊り上げ	吊り下げる・上げ る	吊り上げる				移動運搬	重力（落下）+ 人（手）
蔵内	支持	吊り下げる	整理する				移動運搬	..
..	支持	吊り下げる	整理する				収納支持	..
釣瓶	水を確保	吊り下げる・上げ る	上下させる				移動運搬	..
肥溜めの藁 すべ	移動	引っ掛けてすくう	すくう・いれる	..	柄	..	移動運搬	人（手）
俵・呷・麻 袋	移動	掛ける・引く・切 る	掛ける（縄を）	..	握り	..	加工（加撃）	人（手）
俵や呷	移動	掛ける・引く	掛ける（縄を）	..	握り	..	加工（加撃）	人（手）
紐（瓦をた ばねたもの）	瓦づくり・成形	ひっかける	束ねた俵を運ぶ	..	柄	..	加工（加撃）	人（手）
家具など （火事のと きに）	消火・消防	ひっかける	引き出す				加工（加撃）	人（手）
川舟・川底	移動・運搬	突く・ひっかける	操作する				移動運搬／収 納支持	人（手）
板など	材をはがす	差し込む、梃子の 力で	はがす・開く	..	本体	..	加工（加撃）	人（手）
藁縄	筵を織る	（藁縄を）ひっか け・ひく	織る・縄を（箆の穴に）通す	..	本体（握り）	..	加工（加撃）	人（手）

形態別一覧表：硬質系 1 棒状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 170	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I-683		差し・サシ	棒状 (先端が鉤状)	棒状 (先端が鉤状)	鉤状	竹	
P 205	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	II-086		綜統通し	棒状・鉤状	棒状・鉤状	鉤状	鉄	
P 180	I 農林業 9 林業	I-721		鷹口・トンビ・トビ	鉤状	鉤状	鉤状	鉄	鍛造品
P 223	III 諸職 1 木挽	III-030		鷹口・セワリトビ	L形	鉤状+棒状	鉤状	鉄	鍛造品
P 223	III 諸職 1 木挽	III-031①		皮剥・カワムキ①		鉤状+棒状	鉤状	鉄	鍛造品
P 240	III 諸職 2 大工	III-084		チョウナ	板状	鉤状	鉤状	鉄	鍛造品
部品としての鉤									
P 144	I 農林業 4 収穫 (3) 度量衡	I-589		竿秤 (さおばかり)	棒状	棒状+鉤状		木・鉄・繊維	
P 271	IV 商業	IV-004①		竿秤	鉤状+鉤状	鉤状+鉤状	棒状+鉤状+塊状	木+鉄	
P 272	IV 商業	IV-008①		竿秤	棒状+皿状・打物	棒状+皿状・打物	棒状+皿状+塊状	木+金属	打物
P 254	III 諸職 5 石屋	III-136		タンパク (ターンパツクル)	鉤状	鉤状	鉤状	鉄	鍛造品
P 438	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	VI-142		つけ籠	器状	甕形(編組)+鉤状(持ち手)	鉢状(籠状)+木鉤	竹・木	編組
P 492	VII 住 1 照明 (4) 角灯	VII-023		角灯・カクト	箱状 (枠+板ガラス)+吊り鉤	箱状 (枠+板ガラス)+吊り鉤	吊り金具状	鉄・ガラス	打物
1-4 束状のもの 細長いものを多数束ねてまとめたもの									
P 211	II 手工業 2 瓦づくり	II-104④		ブラシ		束状 (ブラシ)	棒状+先端に金属刷毛	金属	
P 206	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	II-089		櫛	束状 (櫛状)	束状 (櫛状)	束状 (櫛状)	木	
P 200	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	II-067		箒	棒状+束状 (櫛状)	棒状+束状 (櫛状)	棒状	竹	
P 111	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-447		千歯扱き	束状 (櫛状)	束状 (櫛状)	束状 (櫛状)	鉄・木	
P 158	I 農林業 6 薬仕事 (1) 薬調整	I-637		千歯扱き	束状 (櫛状)	束状 (櫛状)		鉄	鍛造品

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 /基本機能2	動力主体・ エネルギー源
藁	筵を織る	(藁しべを) ひっ かけ・ひく→(堅縄 の間を) 通す	織る・横材になる藁しべを引 いて通す	..	本体 (柄)	..	移動運搬	人 (手)
糸 (経糸)	機織り	綜統に通す	通す (経糸を)	..	本体 (握り)	..	加工 (加撃)	人 (手)
材木	造林・材木移動	振り下ろす・打ち 込む・引く	引き寄せる・転がす	..	柄	..	移動運搬	人 (手)
倒した材木	材木の移動	ひっかける	転がす・引く	..	柄	..	加工 (加撃)	人 (手)
材木の皮	表皮を剥ぐ	縦に掻く	切り目を入れる	..	握り	..	加工 (加撃)	人 (手)
板・柱	柱・梁をつくる	振り下ろす・打ち 込む・	削る	..	柄	..	加工 (加撃)	人 (手)
米俵	度量衡用	吊りさげる	はかる	輪 (吊り縄)	..	..	情報	人 (手)+重力 (天秤)
商品	商売をする	鉤にかけて吊り下 げる	はかる (重さ)				情報	人 (手)
商品	商売をする	皿にのせる	はかる (重さ)				情報	人 (手)+重力 (天秤)
重いもの	石工	ひっかける	動かす	..	本体	..	移動運搬	人 (手)
うどん・そば	炊事・調理	入れる・振る	切る (水を)		鉤状		選別	人 (手)
明かり (石油)	照明	置く・点火する	灯す・照らす	吊り金具			捕獲採取	火 (石油)
粘土	瓦づくり・成形	こする	払い取る (型の目詰り)	..	柄	..	加工 (加撃)	人 (手)
糸 (経糸)	機織り	梳く (経糸を)	梳く・整える (経糸を)	..	本体	..	選別	人 (手)
糸 (経糸)	機織り	通す・分ける	分ける・打ち込む	箆柄 (つか) にはめる	本体 (縁)	..	収納支持	人 (手)
稲穂	脱穀	掛ける・引く	扱く・分ける	脚 (棒状)+ 脚 (棒状) 1	..	..	選別	人 (手)
藁	藁細工(藁すぐり)	かける・引く	打つ・分ける (はかまを)	脚 (棒状)	..	..	選別	人 (手)

形態別一覧表：硬質系 2 板状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
2-1 板状 (ほぼ板そのもの+若干の部品)									
P 245	Ⅲ 諸職 4 屋根葺き	Ⅲ-101		屋根板・ヤネイタ	板状	板状	板状	木	削出
P 261	Ⅲ 諸職 6 桶屋	Ⅲ-161		締木 (しめぎ)	板状	板状	板状	木	削出
P 274	Ⅳ 商業	Ⅳ-13		看板	板状	板状 (方形・文字あり)	板状	木	削出
P 201	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-71		機草 (はたくさ)	板状	板状	板状	木	削出
P 405	V 衣 10 洗濯	V-530		洗濯板	板状	板状 (刻み目あり)	板状	木	板組
P 406	V 衣 10 洗濯	V-535		張り板	板状	板状	板状	木 (杉)	板組
P 429	Ⅵ 食 1 炊事・調理 4 蒸籠	Ⅵ-99		蒸籠の台	板状	板状 (中央に穴・円形の外に焦げ跡)	板状	木	板組
P 435	Ⅵ 食 1 炊事・調理 8 まな板	Ⅵ-127		鯛まな板	板状	板状	板状	木	削出
P 591	Ⅸ 社会生活 11 学校	Ⅸ-109		石盤	板状	板状	板状	石・木 (緑)	削出
P 591	Ⅸ 社会生活 11 学校	Ⅸ-110		黒板	板状	板状	板状	木	板組
P 561	Ⅸ 社会生活 1 村のくらし	Ⅸ-3①		板木	板状	板状	板状	木	削出
P 562	Ⅸ 社会生活 1 村のくらし	Ⅸ-5		共同釜利用札	板状	板状 (文字などを記す)	板状	木	削出
P 563	Ⅸ 社会生活 1 村のくらし	Ⅸ-7		火番帳	板状	板状 (文字などを記す)	板状	木	削出
P 563	Ⅸ 社会生活 1 村のくらし	Ⅸ-9②		神札・棟札	板状	板状 (文字などを記す)	板状	木	削出
P 239	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-79		図板 (ずいた)	板状	板状	板状	木	削出
P 226	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-42		定規	板状	板状	板状	木	
P 241	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-86		定規	板状	板状	板状	竹	
P 207	Ⅱ 手工業 2 瓦づくり	Ⅱ-92②		定規・サシ	板状	板状	板状	木	

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
屋根	屋根葺き	板を葺く・重ねる	被せる		本体	..		..
箍	桶づくり	あてる・(木槌で)叩く	締める			..	加工	人(手)
文字	商売をする	掛ける	示す				情報	..
糸(経糸)	機織り	はさみこむ・巻きこむ(経糸全体に)	支える		本体	..	収納支持	人(手)
衣類など	洗濯	こする	汚れをとる				加工	人(手)
布	洗濯	張る	干す・平らにする				加工	人(手)
蒸籠	炊事・調理	据える	支える・蒸気を通す		本体		加工 (受動的)	人(手)
魚	炊事・調理	のせる	切る		本体		加工 (受動的)	..
石筆で	学習	石筆で文字を書く	示す				情報	..
白墨 (チョーク)	学習	白墨で文字を書く	示す				情報	..
板	知らせる	木槌で叩く	音を立てる・知らせる				情報	人(手・槌)
文字・印	知らせる	掲示する	示す				情報	..
文字・印	知らせる	掲示する	示す				情報	..
神霊	祭祀	拝む	拝む・祈る				情報	..
図	家づくり	線(図)を描く	示す・確かめる		..	..	情報	..
板・柱	家づくり・柱をつくる	板にあてて型をとる	かたどる		本体	..	情報	人(手)
板・柱	家づくり	あてる・引く	はかる・線を引く		本体	..	情報	人(手)
粘土(直方体に積んだもの)	瓦づくり・計測・切り出し	切る(2本の棒の間に針金を張って)	きる(均一な厚みに粘土を)		本体	..	情報	人(手)

形態別一覧表：硬質系 2 板状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写 真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部 の素材	作用部 の作り
P 208	II 手工業 2 瓦づくり	II-93		叩板・タタキ	板状	板状	板状	木	
P 060	I 農林業 2 田植 (2) 田植用具	I-267		田植定規	板状	板状（コの字形）	板状	木	組物
P 225	III 諸職 2 大工	III-40		差金・曲尺	板状	板状（打物）	板状	金属	
2-2 取っ手付きの板（蓋類など） 板状（円盤も）+ 摘み・取っ手									
P 429	VI 食 1 炊事・調理 4 蒸籠	VI-99		蒸籠の蓋	板状	板状	板状	木	板組
P 440	VI 食 2 飲食 (1) 櫃	VI-147②		赤飯櫃（オコワビツ） の蓋	板状	板状・楕円形+棧木 2	板状	木	板組
P 443	VI 食 2 飲食 (1) 櫃	VI-161②		お櫃の蓋	板状	板状・円盤形状+棒状（棧木） 2	板状	木	板組
P 444	VI 食 2 飲食 (1) 櫃	VI-165②		お櫃の蓋	板状	板状・円盤形状+棧木 2	板状	木+竹 （タガ）	板組
P 446	VI 食 2 飲食 (2) 重箱	VI-173		重箱の蓋	板状	板状	板状	木	板組
P 468	VI 食 3 保存・醸造 (1) 桶	VI-263		桶蓋		板状（円盤状）	板状	木	板組
2-3 脚付きの板（俎板・下駄・机類など）									
P 434	VI 食 1 炊事・調理 8 まな板	VI-126		まな板	板状	板状+板状（脚） 2	板状	木	板組
P 176	I 農林業 8 養蚕	I-705		養蚕用下駄	板状	板状+板状（歯） 2、一対	板状	木	板組
P 386	V 衣 6 履物	V-448		高足駄 女物	板状	板状+板状（歯） 2、一対	板状	木	板組
P 387	V 衣 6 履物	V-452		表打下駄・オモテウチ 女物	板状	板状+マット状（編物）+ 板状（歯） 2、一対	板状	木	板組
P 388	V 衣 6 履物	V-456		高足駄 男物	板状	板状+板状（歯） 2、一対	板状	木	板組
P 389	V 衣 6 履物	V-460		駒下駄・コッポリ 女 児用	板状	板状、一対	板状	木	板組
P 390	V 衣 6 履物	V-467		雪駄 男物		板状	板状	藁	板組
P 587	IX 社会生活 8 遊び	IX-94		下駄スキー	板状	板状+縄	板状		板組

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
粘土	瓦づくり・成形	打つ・叩く	粘土を叩き絞める		本体	..	加工	人(手)
水田(植え田)	正条植え(苗を等間隔に揃えて植える)ための定規	田の面に置く	目印にする		本体	..	情報	人(手)
材木の角度	家づくり	あてる・読む	はかる		本体	..	情報	人(手)
蒸籠	炊事・調理	かぶせる	ふせぐ		握り		加工 (受動的)	人(手)
赤飯櫃	飲食	のせる	かぶせる・まもる		持ち手2	棧木	収納支持	人(手)
お櫃	飲食	のせる	かぶせる・まもる		握り2	棧木	収納支持	人(手)
お櫃	飲食	のせる	かぶせる・まもる		本体		収納支持	人(手)
重箱	飲食	のせる	かぶせる・まもる		本体		収納支持／情報	人(手)
漬物桶	保存・醸造	かぶせる	保存する		握り3		収納支持	人(手)
野菜など	炊事・調理	のせる	切る		板状(本体)	脚(棒状) 2	加工 (受動的)	..
足	養蚕(飼う)	履く	餌(桑の葉)を配る作業者の背丈を高める		鼻緒(欠)	脚(板状) 2	収納支持	人(足)
身体(足)	身体の保護	履く	歩く・護る・飾る				防御緩衝	人(足)
身体(足)	身体の保護	履く	歩く・護る・飾る				防御緩衝	人(足)
身体(足)	身体の保護	履く	歩く・護る				防御緩衝	人(足)
身体(足)	身体の保護・歩行(履物)	履く	歩く・護る				防御緩衝／情報	人(足)
身体(足)	身体の保護・歩行(履物)	履く	歩く・護る				防御緩衝	人(足)
脚	遊戯	履く	滑る				移動運搬	人(足)

※1

※2

形態別一覧表：硬質系 2 板状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 686	IX社会生活 7 歌舞伎曳山	IX-089		見台		板状+棒状	板状	木	
P 527	VII住 3 家具	VII-162		飯台・卓袱台		板状+棒状(脚) 4	板状	木	板組
P 528	VII住 3 家具	VII-165		文机		板状+板状(脚) 2	板状	木	板組
P 529	VII住 3 家具	VII-168		机		板状+板状(脚) 2	板状	木	板組

2-4 板状の刃物 (鋏形・鎌形・鋸形・鉋形など)

2-4-① 板状・鋏形の刃物 柄付きの板 (板状+棒状) L・△形などとして「棒状」の項目に掲載

P 002	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-006		板鋏・平鋏	△形	板状+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 004	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I-013		アゼヌリグワ	△形	板状+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造

→以下、「棒状のもの」L・△形の表を参照

2-4-② 板状・鋸形の刃物

P 179	I 農林業 9 林業	I-715		鋸・ガンド	板状	板状・鋸形(刃物)+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 180	I 農林業 9 林業	I-719		鋸・ガンド	板状	板状・鋸形(刃物)+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 180	I 農林業 9 林業	I-720		鋸・テマガリ	板状	板状・鋸形(刃物)+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 219	III 諸職 1 木挽	III-9		縦引鋸・マエビキ	板状	板状・鋸形(刃物)+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 220	III 諸職 1 木挽	III-16		縦引鋸・クビナガ	板状	板状・鋸形(刃物)+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 220	III 諸職 1 木挽	III-17		縦引鋸・テノコ	板状	板状・鋸形(刃物)+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 220	III 諸職 1 木挽	III-18		縦引鋸・テマガリ	板状	板状・鋸形(刃物)+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 221	III 諸職 1 木挽	III-24		横引鋸・メヌキ	板状	板状・鋸形(刃物)+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 222	III 諸職 1 木挽	III-28		横引鋸・ガンド	板状	板状・鋸形(刃物)+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 222	III 諸職 1 木挽	III-29		横引鋸・リョウビキ	板状	板状・鋸形(刃物)+棒状	板状・刃物	鉄	鍛造

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
書物	芸能	据える・書物を載せる	載せる				収納支持	..
食器・食品	食事	載せる	のせる			脚4本	収納支持	..
文具	読書・書きもの	のせる	支える			脚4本	収納支持	..
書類など	読書・書きもの	のせる	事務仕事をする				収納支持	..
田畑の土	耕す・起こす・うね立て・土寄せ	打ち下す・引く	起こす・砕く・すくう・のせる・均す		柄	円筒(ひつ)	加工	人(手)
田畑の土	あぜ塗り・耕す・起こす	すくう・塗る	すくう・塗る(あぜの泥を)		柄	..	加工	人(手)

木	造林・胴切り(横挽き)	引き切る	切る		柄	..	加工	人(手)
木	造林・胴切り(横挽き)	引き切る	切る		柄	..	加工	人(手)
木	造林・胴切り(横挽き)	引き切る	切る		握り	..	加工	人(手)
木材	木挽き	縦に挽く	切る		握り	..	加工	人(手)
木材	木挽き	縦に挽く	切る		握り	..	加工	人(手)
木材	木挽き	縦に挽く	切る		握り	..	加工	人(手)
木材	木挽き	縦に挽く	切る		握り	..	加工	人(手)
木材	木挽き	横に挽く	切る		握り	..	加工	人(手)
木材	木挽き	横に挽く	切る		握り	..	加工	人(手)
木材	木挽き	横に挽く	切る		握り	..	加工	人(手)

形態別一覧表：硬質系 2 板状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 227	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-45		縦引鋸・ガガリノコ	板状	板状・鋸形 (刃物) + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 228	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-46①		両刃鋸	板状	板状・鋸形 (刃物) + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 228	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-46②		胴付鋸	板状	板状・鋸形 (刃物) + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 228	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-47①		鋸・ヒキマワシ	板状	板状・鋸形 (刃物) + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 228	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-47②		鋸・テノコ	板状	板状・鋸形 (刃物) + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
2-4-③ 板状・鉋形の刃物									
P 258	Ⅲ 諸職 6 桶屋	Ⅲ-153		鉋・ナガダイ	板状	板状・鉋形 (刃物)	板状・刃物	鉄	鍛造
P 259	Ⅲ 諸職 6 桶屋	Ⅲ-155		鉋・ソトマルガンナ	板状	板状・鉋形 (刃物)	板状・刃物	鉄	鍛造
P 259	Ⅲ 諸職 6 桶屋	Ⅲ-156		小鉋・カキドメ	板状	板状・鉋形 (刃物)	板状・刃物	鉄	鍛造
P 436	Ⅵ 食 1 炊事・調理 おろし具	Ⅵ-134		千枚下ろし	板状	板状・鉋形 (刃物)	板状・刃物	鉄	鍛造
P 230	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-54		台鉋	板状	板状・鉋形 (刃物)	板状・刃物	鉄	鍛造
P 231	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-56		鉋 (溝鉋)	板状	板状・鉋形 (刃物)	板状・刃物	鉄	鍛造
P 240	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-83		大鉋 (おおがんな)	板状	板状・鉋形 (刃物)	板状・刃物	鉄	鍛造
P 241	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-85		彫刻鉋	板状	板状・鉋形 (刃物)	板状・刃物	鉄	鍛造
2-4-④ 板状の刃物 その他									
P 110	Ⅰ 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	I-443		手鋤・チサミ	I 形	板状 + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 110	Ⅰ 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	I-444		手鋤・ハサクリ	I 形	板状 + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 208	Ⅱ 手工業 2 瓦づくり	Ⅱ-94		水止切鎌	板状	板状 (鎌形)	板状・刃物	鉄	鍛造
P 227	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-43		チョウナ	板状	板状・蛤形 (刃物) + 鉤状 (柄)	板状・刃物	鉄	鍛造

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
材木	家づくり	縦に挽く	切る		握り	..	加工	人(手)
材木	家づくり	縦・横に挽く	切る		握り	..	加工	人(手)
材木	家づくり	(※) 挽く	切る		握り	..	加工	人(手)
材木	家づくり	曲線・円形に挽く	切る		握り	..	加工	人(手)
材木	家づくり	曲線・円形に挽く	切る		握り	..	加工	人(手)
材木(桶材)	桶づくり	あてる・挽く	削る(※詳細不明)		本体(板)	..	加工	人(手)
材木(桶材)	桶づくり	あてる・挽く	クレ(桶材)の内側をくぼませて削る		本体(板)	..	加工	人(手)
材木(桶材)	桶づくり	あてる・挽く	削る(※詳細不明)		本体(板)	..	加工	人(手)
大根など	炊事・調理	こする	切る		本体		加工 (受動的)	人(手)
材木	家づくり	面に充てて	削る		本体	..	加工	人(手)
材木	家づくり	面に充てて	削る		本体	..	加工	人(手)
板・柱	家づくり	あてる・引く	削る		本体	..	加工	人(手)
板・柱	家づくり	あてる・引く	削る		本体	..	加工	人(手)
田畑の耕土・土	ハサギ(稲架用杭)を立てる	突く・穴を掘る	掘る		柄	..	加工	人(手)
田畑の耕土・畔(くろ)の土	ハサギ(稲架用杭)を立てる穴をあける	突く・穴を掘る	掘る		柄+握り	..	加工	人(手+足)
粘土	瓦づくり・成形	当てる・切る	粘土を型にあてて切る		本体(握り)	..	加工	人(手)
材木	家づくり	叩き下ろす	削る		柄	..	加工	人(手)

形態別一覧表：硬質系 2 板状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 257	Ⅲ 諸職 6 桶屋	Ⅲ-148①		鉈・ワリナタ	板状	板状・鉈形 (刃物) + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 257	Ⅲ 諸職 6 桶屋	Ⅲ-148②		鉈・ナタ	板状	板状・鉈形 (刃物) + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 257	Ⅲ 諸職 6 桶屋	Ⅲ-149		鉈 (まさかり)	板状	板状・鉈形 (刃物) + 棒状	板状・刃物	鉄	鍛造
P 223	Ⅲ 諸職 1 木挽	Ⅲ-32		鑿 (やすり)	板状	板状・鑿形 (刃物)	板状・刃物	鉄	鍛造
P 436	Ⅵ 食 1 炊事・調理 おろし具	Ⅵ-133		下ろし金	板状	板状・突起 (刃物)	板状・刃物	銅	鍛造
P 252	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-130		鑿 (たがね)	板状	板状・鑿形 (刃物) + 棒状 (T形)	板状・刃物	鉄	鍛造
P 258	Ⅲ 諸職 6 桶屋	Ⅲ-151		銚 (せん)		板状・銚形 (刃物)	板状・刃物	鉄	鍛造
2-5 縁がつく板 (盆・膳形)									
P 457	Ⅵ 食 2 飲食 (3) 盆	Ⅵ-215		吸物盆	板状	板状+縁	器物	木	板組
P 457	Ⅵ 食 2 飲食 (3) 盆	Ⅵ-216		お盆	板状	板状+縁	器物	木	板組
P 458	Ⅵ 食 2 飲食 (3) 盆	Ⅵ-217		お盆	板状	板状+縁	器物	木	板組
P 485	Ⅵ 食 4 嗜好 (3) 茶	Ⅵ-335		茶盆		円盤状 (盆)	器物	木	挽物
P 451	Ⅵ 食 2 飲食 (3) 膳	Ⅵ-189		御膳	器状	膳形 (平たい箱形+脚) ※椀類セット	器状	木	板組
P 455	Ⅵ 食 2 飲食 (3) 膳	Ⅵ-206		低足御膳	器状	膳形 (平たい箱形+脚)	器状	木	板組
P 456	Ⅵ 食 2 飲食 (3) 膳	Ⅵ-208		会席膳	器状	膳形 (平たい箱形+脚)	器状	木	板組
P 456	Ⅵ 食 2 飲食 (3) 膳	Ⅵ-210		八隅御膳	器状	膳形 (平たい箱形+脚)	器状	木	板組
P 457	Ⅵ 食 2 飲食 (3) 膳	Ⅵ-214		御膳	器状	膳形 (平たい箱形+脚)	器状	木	板組
2-6 その他の板状のもの									
2-6-① 板状の台・盤									
P 170	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I-684		草履編みの台	L形	板状+板状		木	板組

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
板（桶材）	桶づくり	当てる・割る	叩き割る・クレ材をつくる		柄	..	加工	人（手）
板（桶材）	桶づくり	当てる・割る	叩き割る（※詳細不明）		柄	..	加工	人（手）
板（桶材）	桶づくり	叩き割る	荒木取りをする		柄	..	加工	人（手）
鋸の歯	木挽き	こする	研ぐ		柄（欠）	..	加工	人（手）
大根・ワサビ・生姜など	炊事・調理	こする	おろす		握り		加工 （受動的）	人（手）
鑿や矢	石工	叩き切る	切る		柄	..	加工	人（手）
板（桶材）	桶づくり	あてる・挽く	削る		握り	..	加工	人（手）
吸物椀	飲食	のせる	乗せる・運ぶ		本体（縁）		移動運搬	人（手）
食品など	飲食	のせる	乗せる・運ぶ		本体（縁）		移動運搬	人（手）
進物など	飲食	のせる	乗せる・運ぶ		本体（縁）		移動運搬	人（手）
茶碗	嗜好	のせる	運ぶ		本体		収納支持	人（手）
椀類		のせる	食事をする	脚 4	本体		収納支持／情報	人（手）
椀類		のせる	食事をする	板状・穴あき・脚	本体		収納支持	人（手）
椀類		のせる	食事をする	突起（脚）4	本体（縁）		収納支持	人（手）
椀類		のせる	食事をする	脚 4	本体（縁）		収納支持	人（手）
椀類		のせる	食事をする	脚 4	本体（縁）		収納支持	人（手）
藁縄	草履を編む	引っ掛ける	支える・かたどる		棒状 3（板から彫出し）	台（板状）	収納支持	人（手）

形態別一覧表：硬質系 2 板状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 171	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I-685		草履編みの台	L形	板状+板状		木	板組
P 171	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I-686		草履編みの台	L形	板状+板状		木	板組
P 072	I 農林業 3 肥培・管理	I-319		鯨 (にしん) 切台・ニッシンパン・ニッシンハタキダイ	板状	板状 (円盤状)		木 (樺)	
P 239	III 諸職 2 大工	III-076		鋸挟板・ノコバサミ	板状	板状 2	板状	木	板組
P 243	III 諸職 3 壁塗 (左官)	III-095		鏝板 (こていた)	板状	板状	板状	木	板組
2-6-② その他の板状のもの									
P 056	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-251		馬の鈴 (鈴は欠)	板状	板状 (ひし形 2) + 紐	球状	木 (+金属?)	板金
P 057	I 農林業 2 田植 (1) 苗代	I-254		苗代均し・ノシロダナラシ		板状+棒状 2	板状	木 (杉)	板
P 064	I 農林業 2 田植 (2) 田植用具	I-288		苗担ぎ・ナエカズキ	棒状	板状+棒状		木・枝・竹	板組
P 078	I 農林業 3 肥培・管理 (2) 防除	I-351		鳴子・トリオドシ	板状	板状+棒状		木	板組
P 156	I 農林業 5 動力	I-635		水車の砥石		円盤状		石	
P 165	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I-664		俵編機・タワアラミキ		板状+金具+脚 2・機		木	
P 171	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I-688		杵 (かせ) 掛け・カセバ	板状	板状+棒 3本が立つ		木	
P 174	I 農林業 8 蚕養	I-698		蚕箔 (さんぱく)・コガイサマのカゴ	板状	板状 (編物)		竹	編物
P 224	III 諸職 2 大工	III-034		硯	板状	板状 (削物)		石	彫物
P 238	III 諸職 2 大工	III-075		砥石	板状	板状・塊状		石・木	
P 397	V 衣 8 化粧・結髪	V-496		手鏡	円盤	板状 (円盤状)+棒		金属	
P 430	VI 食 1 炊事・調理 4 蒸籠	VI-106		目皿・ムシガラ		円盤状 (多数の小穴)		木	
P 587	IX 社会生活 8 遊び	IX-092		スキー	板状	板状	板状	木	

※1 祝い事用。※2 祭り、晴れの日に履いた。※3 苗代の畝面に押し立てて両手でトントンと小刻みに土の表面をたたいて均す。

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
藁縄	草履を編む	引っ掛ける	支える・かたどる		棒状5（板から彫出し）	台（板状）	収納支持	人（手）
藁縄	草履を編む	引っ掛ける	支える・かたどる		棒状5（板から彫出し）	台（板状）	収納支持	人（手）
乾燥ニシン（稲作の肥料）	肥料を作る	据える・のせる・支える	叩く・切る		本体		収納支持	..
鋸の歯	家づくり	鋸の歯を挟む	挟む・固定する		本体	..	収納支持	人（手）
壁土・壁	壁塗り（左官）	壁土をのせる・捏ねる	壁土をのせる・作業位置へ運ぶ		握り	..	移動運搬	人（手）
馬の首	馬の首に	装着する	音をたてる		縄（馬の首に）	..	情報	馬
苗代のうね面	苗代のうね面を平らにする	突き立て、叩いて均す	突いて均す		持ち手2	..	加工	人（手）
苗束	運ぶ	苗をのせる・背負う・運ぶ	背負う・運ぶ		縄（背負縄）2	..	移動運搬	人（肩）
害鳥（スズメ）	害鳥防除	縄を引く・音をたてる	音を立て追う		..	縄（吊り縄）	情報	空気（風）
鎌の刃など	研ぐ	まわす	研ぐ		本体		加工	人（手）
藁	俵を編む	（藁3本を）のせる・2つ4組のツツノコの堅縄で交互に挿む→編む	編む		（ツツノコ欠）	脚（台木+棒）2	加工	人（手）
藁縄	縄を一定の長さ（1巻1尋）に束ねる	ひっかけて巻く	（縄を）巻く・揃える・（長さを）測る		棒状	台（板状）	収納支持	人（手）
蚕	養蚕（飼う）	のせる	飼う（蚕を）		縁（本体）	..	収納支持	..
墨	家づくり	摺る	しるす		本体	本体	情報	人（手）
刃物	家づくり	刃先をこすりつける	砥ぐ		本体	台	加工	人（手）
顔	化粧・身を飾る	写す	化粧をする				情報	..
釜・食品	炊事・調理	いれる・（団子や米を）のせる	蒸す		本体		加工（受動的）	人（手）
身体	遊戯	履く	滑る				移動運搬	人（足）

※3

形態別一覧表：硬質系 3 箱状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
3-1 箱状の典型									
3-1-① 板付・指物・板組の箱									
P 214	II 手工業 4 酒づくり	II-112		麴蓋 (こうじぶた)	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 439	VI 食 1 炊事・調理	VI-146		杵 (ます)	器状	箱形・板組 + 棒状	器状	木	板組
P 141	I 農林業 4 収穫 (3) 度量衡	I-576①		一斗杵	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 143	I 農林業 4 収穫 (3) 度量衡	I-586		一升杵	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 110	I 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	I-442		田舟・タブネ	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 446	VI 食 2 飲食 (2) 重箱	VI-171①		重箱	器状	箱形 (板組) + 板状蓋	器状	木	板組
P 447	VI 食 2 飲食 (2) 重箱	VI-176		入れ子	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 460	VI 食 2 飲食 (4)-2 弁当箱	VI-230		弁当箱	器状	箱形 (板組) + 板状蓋	器状	木	板組
P 461	VI 食 2 飲食 (4)-2 弁当箱	VI-232		破籠弁当	器状	箱形・重箱形 (板付) + 蓋	器状	木	板組
P 464	VI 食 2 飲食 (4)-その他	VI-245		箸箱	器状	箱形 (板組) + 蓋 (スライド式)	器状	木	板組
P 173	I 農林業 7 チューリップ栽培	I-694		球根入れ箱	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 173	I 農林業 7 チューリップ栽培	I-695		輸出箱	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 484	VI 食 4 嗜好 (2) 煙草	VI-329		煙草盆	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 487	VII 住 1 照明 (1) 提灯	VII-001		提灯箱	器状	箱形 (板組) + 箱形蓋	器状	木	板組
P 500	VII 住 1 暖房 (1) 囲炉裏	VII-050		炭取り	器状	箱形 (板組) + 杵状 (提げ手)	器状	木	板組
P 524	VII 住 3 家具	VII-144		長持	器状	箱形 (板組) + 箱形蓋	器状	木	板組
P 524	VII 住 3 家具	VII-146		鉄み箱	器状	箱形 (板組) + 箱形蓋	器状	木	板組

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
麴	入れる	育てる	..	本体	蓋なし(重ねると蓋になる)	収納支持		人(手)
酒など	入れる	はかる(量る)		持ち手		情報	収納支持	人(手)
米	入れる	はかる	..	本体	蓋なし	情報	収納支持	人(手)
米	入れる	はかる	..	本体	蓋なし	情報	収納支持	人(手)
刈った稲・堆肥・肥料	入れる・押す・引く	運ぶ	..	本体	..	移動運搬		人(手)
重箱	入れる	運ぶ		本体		収納支持	情報	人(手)
赤飯・煮しめなど	入れる	客の食前に出す		本体	蓋	収納支持	情報	人(手)
昼御飯	入れる	運ぶ・食べる	板状(蓋)	本体	蓋(かぶせ蓋)	移動運搬		人(手)
弁当	入れる	運ぶ・食べる	箱形(蓋)	本体		移動運搬		人(手)
箸	入れる	仕舞う		本体		収納支持		人(手)
球根	入れる	保管する	本体	本体	蓋(欠)	収納支持		..
球根	入れる	運ぶ・出荷する	本体	本体	蓋(欠)	収納支持		..
煙草	入れる	煙草を吸う		本体		収納支持		..
提灯	入れる	保存する	蓋	本体		収納支持		..
木炭	入れる	入れる・運ぶ		提げ手(杵状)		収納支持	移動運搬	人(手)
衣類など	入れる	仕舞う				移動運搬	収納支持	人(肩)+棒
書類など	入れる	入れる・担ぐ・運ぶ				移動運搬	収納支持	人(肩)+棒

形態別一覧表：硬質系 3 箱状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 530	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-175		小銭入れ	器状	箱形 (板組) + 箱形蓋	器状	木	板組
P 531	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-182		糊付け台	器状	箱形 (板組) + 箱形蓋	器状	木	板組
P 400	V衣 8 化粧・結髪	V-511		小箱	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 402	V衣 9 裁縫	V-520②		アイロンの火鉢	器状	箱形 (焼物) + 板状蓋	器状	陶磁	焼物
P 454	Ⅵ食 2 飲食 (3) 膳	Ⅵ-201		箱膳	器状	箱形 (板組) + 箱形蓋	器状	木	板組
P 477	Ⅵ食 3 保存・醸造 (5) その他	Ⅵ-301		米櫃	器状	箱形 (打ちもの・ブリキ) + 蓋 (ブリキ)	器状	ブリキ	打物
<b>3-1-② 薄板・樹皮製の折 (おり)・缶</b>									
P 433	Ⅵ食 1 炊事・調理 6 餅搗き	Ⅵ-120		餅の折	器状	箱形 (折り)	器状	木	折り
P 434	Ⅵ食 1 炊事・調理 6 餅搗き	Ⅵ-123		餅の折	器状	箱形 (折り)	器状	木	折り
P 434	Ⅵ食 1 炊事・調理 6 餅搗き	Ⅵ-124		かき餅の折・コリモチのオリ	器状	箱形 (折り)	器状	木	折り
P 560	Ⅷ移動運搬 15 トランク	Ⅷ-082		トランク	器状	箱形 (皮革)・箱形蓋 (皮革)	器状	皮革	皮細工
P 474	Ⅵ食 3 保存・醸造 (3) 豆腐作り	Ⅵ-293		豆腐入れ・トウフのガンガン	器状	箱形 (打ちもの・ブリキ) + 箱形蓋 + 提げ手	器状	鉄	打物
P 477	Ⅵ食 3 保存・醸造 (5) その他	Ⅵ-304		一斗缶	器状	箱形 (打ちもの・ブリキ) + 蓋 (ブリキ)	器状	ブリキ	打物
<b>3-1-③ 箱状の槽 (ふね) ※割り物・彫り物・コンクリ型抜きなど</b>									
P 519	Ⅶ住 3 設備 (1) 井戸	Ⅶ-127		釣瓶	器状	箱形 (割り物) + 棒状 (提げ手)	器状	木	割り物
<b>3-1-④ 箱状の籠 (編組品)</b>									
P 459	Ⅵ食 2 飲食 (4)-2 弁当箱	Ⅵ-226		弁当行李	器状	箱形 (編組) + 箱形蓋 (編組)	器状	柳枝	編組
P 422	Ⅵ食 1 炊事・調理 筥と籠	Ⅵ-069		野菜籠	器状	箱形 (編組・竹)	器状	竹	編組
P 422	Ⅵ食 1 炊事・調理 筥と籠	Ⅵ-070		野菜籠	器状	箱形 (編組・竹)	器状	竹	編組
P 424	Ⅵ食 1 炊事・調理 筥と籠	Ⅵ-080		椀籠	器状	箱形 (編組・針金)	器状	竹	編組

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能 1	基本機能 2	動力主体・ エネルギー源
小銭	入れる	仕舞う				収納支持		..
糊	入れる	糊を溶かして刷毛につける				移動運搬		..
髷飾り布	入れる	仕舞う				収納支持		人(手・頭)
アイロン	入れる	加熱する・アイロンをあてる				加工		人(手)+熱 (炭火)
椀や皿など 食器	入れる・のせる	食事をする・仕舞う	箱形(蓋)	本体	蓋(裏返して膳に)	収納支持		人(手)
米	入れる	保存する	箱形(蓋)	本体		収納支持		..
搗いた餅	入れる	並べる・作る		本体(縁)		収納支持		..
餅	入れる	並べる・運ぶ		本体(縁)		収納支持		..
かき餅	入れる	平らに伸ばす・作る		本体(縁)		収納支持		..
衣類など	入れる	運ぶ				移動運搬	収納支持	人(手)
豆腐	入れる	運ぶ		提げ手		移動運搬	収納支持	人(手)
乾物など	入れる	保存する	箱形(蓋)	本体		収納支持		..
井戸の水	吊り下げる・上げる	汲む				移動運搬		重力(落下) +人(手)
昼御飯	入れる	運ぶ・食べる	箱形・編組(蓋)	本体	蓋(かぶせ蓋)	移動運搬		人(手)
野菜など	入れる	入れる・洗う		本体(縁)		選別		人(手)
野菜など	入れる	入れる・洗う		本体(縁)		選別		人(手)
椀など食器	入れる	入れる・洗う・水を切る		本体(縁)		収納支持		人(手)

形態別一覧表：硬質系 3 箱状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写 真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 525	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-152		行李	器状	箱形 (編組) + 箱形 (編組) 蓋	器状	竹・紙	編組
P 526	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-153		行李・楊行李	器状	箱形 (編組) + 箱形 (編組) 蓋	器状	行李楊	編組
P 526	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-157		行李・竹行李	器状	箱形 (編組) + 箱形 (編組) 蓋	器状	竹	編組
<b>3-1-⑤ 箱状のガラス瓶・缶・鋳物製品</b>									
P 275	Ⅳ 商業	Ⅳ-017		ガラス瓶	器状	箱形 (ガラス瓶) + 蓋 (アルミ缶)	器状	ガラス	瓶物※
P 400	V衣 8 化粧・結髪	V-510		白粉容器	器状	箱形 (樹脂・セルロイド)	器状	樹脂	鋳物
<b>3-2 側面に口があく箱 ※いわゆる「箱」は上面に口があるが、これは側面にある。蓋がある場合は「差し込み式」「けんどん式」「扉式」など。</b>									
P 276	Ⅳ 商業	Ⅳ-019		岡持ち	器状	箱形 (板組) + 杵状 (提げ手)	器状	木	板組
P 393	V衣 6 履物	V-482②		くつばこ	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 451	Ⅵ食 2 飲食 (3) 膳	Ⅵ-188②		宗和の御膳の箱	器状	箱形 + 板状 (けんどん蓋)	器状	木	板組
P 532	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-184		下駄箱	器状	箱形 (板組) + 板状 (落とし蓋)	器状	木	板組
<b>3-3 側面に引出がつく箱 ※側面が開いた箱状で、1つないし複数の引出状の箱がつく。薬箱・筆筒類など</b>									
P 532	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-183		薬箱	器状	箱形 (板組) + 箱形引出	器状	木	板組
P 401	V衣 9 裁縫	V-513		裁縫箱	器状	箱形 (板組) + 箱形引出	器状	木	板組
P 523	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-142		和筆筒	器状	箱形 (板組) + 箱形引出	器状	木	板組
P 276	Ⅳ 商業	Ⅳ-018		薬筆筒	器状	箱形 (板組) + 箱形引出	器状	木	板組
P 529	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-169		硯文庫	器状	箱形 (板組) + 箱形引出	器状	木	板組
P 529	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-171		手文庫	器状	箱形 (板組) + 箱形引出	器状	木	板組
P 398	V衣 8 化粧・結髪	V-501		鏡台	器状	箱形 (板組) + 箱形引出 + 杵状	器状	木	板組

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
着物・帯など	入れる	仕舞う				移動運搬	収納支持	人(背)+風呂敷
着物・帯など	入れる	仕舞う				移動運搬	収納支持	人(背)+風呂敷
衣類	置く	運ぶ				移動運搬	収納支持	人(背)+風呂敷
菓子など	入れる	仕舞う				防御緩衝	情報	人(手)
白粉	入れる	化粧をする				収納支持		人(手・頭)
食品	入れる	運ぶ		提げ手(杵状)		移動運搬	収納支持	人(手)
靴	入れる	仕舞う				収納支持		..
膳	入れる	収納する	杵状(脚)			収納支持	情報	人(手)
履物	入れる	下駄を収納				収納支持		..
薬	入れる	仕舞う			引出	収納支持		..
裁縫用具	入れる	裁縫をする			引出	収納支持		..
衣類	入れる	仕舞う			引出	収納支持		..
薬	入れる	仕舞う・整理する			引出	収納支持		人(手)
筆記具	入れる	手紙・書類を書く			引出	収納支持		..
文具	入れる	手紙・書類を書く			引出	収納支持		..
鏡	入れる	化粧をする			引出	情報	収納支持	..

形態別一覧表：硬質系 3 箱状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
<b>3-4 箱状の焼物 ※鉢・壺と呼ばれることもある四角い容器。器状</b>									
P 499	Ⅶ住 1 暖房 (1) 囲炉裏	Ⅶ-046		火消壺・ケシコガメ	器状	箱形 (焼物) +	器状	陶磁	焼物
P 501	Ⅶ住 1 暖房 (1) 囲炉裏	Ⅶ-054		串立て・アプリコ	器状	塊状 (直方体・石)	器状	石 (金屋石)	
P 508	Ⅶ住 2 暖房 (2) 行火	Ⅶ-081		ヒツボ・炬燵櫓の火壺	器状	箱形 (焼物)	器状	陶磁	焼物
P 509	Ⅶ住 2 暖房 (2) 行火	Ⅶ-085		行火・バンコ、バンドコ	器状	箱形 (焼物)	器状	陶磁	焼物
P 509	Ⅶ住 2 暖房 (2) 行火	Ⅶ-087		行火・バンコ、バンドコ	器状	箱形 (焼物)	器状	陶磁	焼物
P 512	Ⅶ住 2 暖房 (3) 火鉢	Ⅶ-100		火鉢	器状	箱形 (焼物 + 板組) + 格子・網	器状	陶磁 + 木	焼物
<b>3-5 いろいろな部品がつく箱 ※「箱状」の台であったり、車輪がつく箱など</b>									
P 240	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-081		儀式用道具箱	器状	箱形 (板組) + 箱形蓋	器状	木	板組
P 273	Ⅳ 商業	Ⅳ-010		枡	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 366	V 衣 4 寝具	V-375		箱枕・ゲコ	器状	箱形 (歪んだ直方体・板組)	器状	繊維	板組
P 366	V 衣 4 寝具	V-376		箱枕	器状	箱形 (底辺楕円、中括れ・板組)	器状	繊維	板組
P 533	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-188		脚立・踏み台・ケタツ	器状	箱形 (板組) + 板状天板	器状	木	板組
<b>3-5-① 穴があく箱 ※「箱状」だが、側面や底部から酒や水が出る穴がある。豆腐箱・酒槽 (さかふね) など</b>									
P 184	I 農林業 11 養鶏	I-737		鶏の飼料箱・トリのエサバコ	器状	箱形・打物	器状	トタン	打物
P 184	I 農林業 11 養鶏	I-738		鶏の飼料箱・トリのエサバコ	器状	箱形・打物	器状	トタン	打物
P 215	II 手工業 4 酒づくり	II-117		酒槽 (さかふね)	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 476	VI 食 3 保存・醸造 (4) 醤油作り	VI-297		醤油絞り	器状	箱形 (板組) + 縄状 2	器物	木	板組
<b>3-5-② 仕掛けがつく箱</b>									
P 132	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-544		唐箕	器状	箱形 (板組) + 回転板・機		木	板組
P 136	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-558		唐箕	器状	箱形 (板組) + 回転板・機		木	板組

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
燗（おき）	入れる	入れる・火を消す	板状（蓋）	本体		防御緩衝		空気
魚串	すえる・さす	焼く		本体		加工（受動的）		火（囲炉裏）
炭火	入れる	支える・暖をとる		本体		防御緩衝		熱（炭火・燗（おき））
炭火	入れる	入れる・暖をとる		本体		防御緩衝		熱（炭火・燗（おき））
炭火	入れる	入れる・暖をとる		本体		防御緩衝		熱（炭火・燗（おき））
炭火	入れる	入れる・暖をとる		本体		防御緩衝		熱（炭火・燗（おき））
大工道具	並べる	祝う	本体	本体	蓋	情報	収納支持	..
米	入れる	はかる（量）		柄	引出	情報	収納支持	人（手）
身体（頭）	あてる・のせる	眠る				防御緩衝		..
身体（頭）	あてる・のせる	眠る				防御緩衝		..
身体	のる・支える	高いところのモノをとる				移動運搬		..
鶏の餌	入れる・食べさせる	飼う（鶏を）	本体	..	蓋なし	収納支持		..
鶏の餌	入れる・食べさせる	飼う（ヒヨコを）	本体	..	蓋なし	収納支持		..
酒袋（醪を入れたもの）	入れる	搾る	本体	持ち手2	蓋（落とし板・押し板）	収納支持		..
醤油（もろみ）	入れる	絞る・つくる		縄？		選別		重力（重り※絞機？）
糶と藁屑	入れる・まわす	煽る・わける	脚（棒状）2 + 脚（棒状2）	持ち手2 + ハンドル	天板	選別		人（手）+ 風（回転翼）
糶と藁屑	入れる・まわす	煽る・わける	脚（棒状）4	ハンドル	天板	選別		人（手）+ 風（回転翼）

形態別一覧表：硬質系 3 箱状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 176	I 農林業 8 養蚕	I-704		毛羽取機	器状	箱形・機		竹+木	
P 104	I 農林業 3 肥培 ・管理 (4) 灌溉	I-424		踏車・フミグルマ	器状	箱形 (樋形) + 板 (回転翼)・機		木	
P 104	I 農林業 3 肥培 ・管理 (4) 灌溉	I-426		龍骨車・リュウコッシャ	器状	箱形 (樋形) + 板 (キャタピラ状)・機		木	
P 262	III 諸職 7 鍛冶屋	III-164		鞆 (ふいご)	器状	箱形 (板組)・機	器物	木・皮・ガラス	板組
P 271	IV 商業	IV-001		算盤	器状	箱形 (板組) + 串状 + 玉状		木	
P 492	VII 住 1 照明 (4) 角灯	VII-023		角灯・カクト	器状	箱形 (枠 + 板ガラス) + 吊り鉤	器物	鉄・ガラス	打ち出し
P 534	VII 住 3 家具	VII-192		鼠捕り	器状	箱形 (板組) + 枠状	器物	木	板組
3-6 ブラックボックス (主に箱状の「機械」の類)									
P 418	VI 食 1 炊事・調理 その他	VI-054		オーブン	器状	箱形・打物・[機械]	器状	ブリキ	打物
P 478	VI 食 3 保存・醸造 (5) その他	VI-306		冷蔵庫	器状	箱形 (板組)	器状	木	板組
P 588	IX 社会生活 8 遊び	IX-096		カメラ	器状	箱形・機	器状	金属	
P 592	IX 社会生活 11 学校	IX-112		拡声器・スピーカー	器状	箱形・[機械]	器状	..	板組
P 592	IX 社会生活 11 学校	IX-115		蓄音器	器状	箱形・機	器状	..	板組
P 593	IX 社会生活 11 学校	IX-117		テープレコーダー	器状	箱形・[機械]	器状		
P 593	IX 社会生活 11 学校	IX-118		映写機	器状	箱形・[機械]	器状		
P 535	VII 住 3 家具	VII-200		柱時計	器状	箱形 (板組)・[機械] (金属)	器状	木・金属	板物
P 593	IX 社会生活 11 学校	IX-121		トランス	器状	箱形・機 (金属)	器状	木・金属	

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能 1	基本機能 2	動力主体・ エネルギー源
繭	のせる・回す	取る（繭の毛羽）	箱形	本体+ハンドル	..	加工		人（手）+バネ
用水の水	羽根を足で踏んで回転させる	用水から水を田に入れる	支柱（欠）	支柱（欠）+板（踏み板）	蓋なし	移動運搬		人（足）
用水の水	ハンドルで蛇腹状の板を回線させる	用水から水を田に入れる	支柱（欠）	支柱（欠）+板（踏み板）	蓋なし	移動運搬		人（足）
空気	おす・ひく	空気を送る・火を起こす	台	握り	蓋(天板)	加工		人（手）
数字	いれる	計算をする				情報		人（手）
明かり（石油）	置く・点火する	灯す・照らす	吊り金具			捕獲採取		火（石油）
鼠	いれる	捕る				捕獲採取		重力（重り）
パンなど	いれる	焼く	蓋（板状）	持ち手（コ字状） 2		加工（受動的）		熱（電気）
食品	いれる	冷やす（冷蔵）		本体		収納支持		..
...	シャッターを押す	（写真を）写す				情報		..
音	音を大きくする	伝える				情報		電気
音	レコードを回す・針を置く	伝える				情報		電気
音	テープを回す	記録する・伝える				情報		電気
映像	見せる	映写する・伝える				情報		電気
時	すえる・柱にかける	時をしらせる				情報		ゼンマイ
電気・電圧	つなぐ	電圧をかえる				情報		電気

形態別一覧表：硬質系 4 器状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
4-1 円筒形・盥形 (底が平らで・浅い器状) 高さ<口径、底径≦口径 例：半切桶・洗濯盥・寿司桶など									
P 532	VI住3家具 (3)-9	VII-186		カナダライ	器状	器状・盥形 (打物・ブリキ)	器状+筒状	金属	打物
P 461	VI食2飲食 (4)-2 弁当箱	VI-236		弁当入れ	器状	器状・円筒形+蓋 (打物) アルマイト	円筒形	アルマイト	打物
P 052	I農林業1耕耘 (3) 牛馬耕-9	I-230		馬盥	器状	器状・盥形 (結物)	円筒形・盥形	木	結物
P 405	V衣10洗濯-1	V-530		洗濯盥	器状	器状・盥形 (結物)	円筒形・盥形	木+竹 (タガ)	結物
P 428	VI食1炊事・調理 (3)-3 半切桶	VI-095		半切桶・ハンゾ	器状	器状・盥形 (結物)+円盤 (蓋)	円筒形・盥形	木+竹 (タガ)	結物
P 469	VI食3保存・醸造 (1)-2 漬物桶	VI-268		寿司桶	器状	器状・盥形 (結物)+円盤 (蓋)	円筒形・盥形	木+竹 (タガ)	結物
P 425	VI食1炊事・調理 (2)-5 椀籠と椀盥	VI-082		椀盥	器状	器状・筒形 (打物・ブリキ) +提げ手	円筒形・盥形	ブリキ	打物
P 445	VI食2飲食 (1)-3 お櫃	VI-169		夏のお櫃	器状	器状・円筒形 (編物)+脚 3 +器状 (かぶせ蓋)	円筒形	竹	編物
P 405	V衣10洗濯-1	V-532		洗濯盥	器状	器状・盥形 (結物)	円筒形・盥形	木+竹 (タガ)	結物
P 425	VI食1炊事・調理 (2)-5 椀籠と椀盥	VI-081		椀盥	器状	器状・鉢形 (結物)+3脚	円筒形・盥形	木+竹 (タガ)	結物
P 522	VI住3家具 (2)-2	VII-138		手洗桶	器状	器状・円筒形 (結物)+板 状 (脚) 3	円筒形・桶形	木+竹 (タガ)	結物
4-2 円筒形・桶形 (底が平らで・口径より深い円筒形・口がすこし開く) 底径≦口径、高さ≧口径									
P 444	VI食2飲食 (1)-3 お櫃	VI-165①		お櫃	器状	器状・円筒形 (結物)+板 状 (蓋)	円筒形・桶形	木+竹 (タガ)	結物
P 053	I農林業1耕耘 (3) 牛馬耕-10	I-235		飼葉桶	器状	器状・桶形 (結物)	円筒形・桶形	木	結物
P 468	VI食3保存・醸造 (1)-2 漬物桶	VI-263		漬物桶	器状	器状・円筒形 (結物)+円盤 (蓋)	円筒形・桶形	木+竹 (タガ)	結物
P 468	VI食3保存・醸造 (1)-2 漬物桶	VI-266		桶	器状	器状・円筒形 (結物)+円盤 (蓋)	円筒形・桶形	木+竹 (タガ)	結物
P 518	VI住3家具 (1)-3	VII-122		釣瓶	器状	器状・円筒形 (結物)+棒 状 (提げ手)+鎖状	円筒形・桶形	木+竹 (タガ)	結物
P 519	VI住3家具 (1)-3	VII-123		釣瓶	器状	器状・円筒形 (結物)+棒 状 (提げ手)+鎖状	円筒形・桶形	木+竹 (タガ)	結物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
水を	入れる	雑巾を洗う	..			移動		人(手・腰)
食品を	入れる	入れる・運ぶ	..	本体	蓋(器状・かぶせ蓋)	収納支持		人(手)
湯・馬の脚を	入れる	洗う(沐)	..	本体		収納支持		馬
洗濯物(衣類など)を	入れる	洗う	..	本体	(洗濯板)	加工(受動)		人(手)
団子・赤飯など	入れる・こねる・さます	入れる・こねる・混ぜる	..	本体	円盤(蓋)	加工(受動)		人(手)
寿司飯など	入れる	入れる	..	本体	円盤(蓋)	収納支持		..
椀など食器を	入れる	入れる・洗う・水を切る	..	提げ手(弦)		収納支持		人(手)
飯を	入れる	入れる	脚	本体	蓋(器状・かぶせ蓋)	収納支持		人(手)
汚れた衣類など	入れる	洗う	脚(板状)			加工		人(手)
椀など食器を	入れる	入れる・洗う・水を切る	脚(板状)	本体		収納支持		人(手)
水や湯を	入れる	手や顔を洗う	脚(板状)	..		収納支持		..
御飯を	入れる	入れる	..	本体	楕円状(蓋)	収納支持		人(手)
馬の飼料を	入れる・馬の首にかける	入れる	..	吊り帯		収納支持		馬
漬物を	入れる	入れる・蓄える		本体	円盤状(蓋)	収納支持		..
水を?	入れる	入れる	..	本体	円盤状(蓋)	収納支持		..
水を	落とす(井戸に)	汲む・つりあげる	..	環+吊縄	..	移動		重力(落下)+人(手)
水を	落とす(井戸に)	汲む・つりあげる	..	環	..	移動		重力(落下)+人(手)

形態別一覧表：硬質系 4 器状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 466	VI食3 保存・醸造 (1)-1 手桶	VI-254		水汲桶	器状	器状・円筒形 (結物)+持ち手	円筒形・桶形	木+竹 (タガ)	結物
P 438	VI食1 炊事・調理 (3)-12 その他	VI-142		つけ籠	器状	器状・堯形(編物)+鉤状(持ち手)	鉢状 (籠状)+木鉤)	竹・木	編物
P 475	VI食3 保存・醸造 (4)-2 溜り取り籠	VI-295		溜り取り籠	器状	器状・堯形 (小型 (編物))+鉤	深鉢状+棒状	竹	編物
P 532	VI住3 家具 (3)-9	VII-185		バケツ	器状	器状・桶形 (打物・ブリキ)	器状 + 筒状	金属	打物
P 465	VI食3 保存・醸造 (1)-1 手桶	VI-249		手桶・チョーケ	器状	器状・円筒形 (結物)+提げ手	円筒形・桶形	木+竹 (タガ)	結物
P 522	VI住3 家具 (2)-2	VII-137		手洗桶	器状	器状・円筒形 (結物)+板状 (脚) 3	円筒形・桶形	木+竹 (タガ)	結物

4-3 その他の器形

4-3-① 円筒形の器状 口径≒底径、例：竹筒容器・曲物・焼物 (火鉢) など

P 461	VI食2 飲食 (4)-2 弁当箱	VI-233		破籠弁当	器状	器状・円筒形 (挽物)	円筒形	木	挽物
P 461	VI食2 飲食 (4)-2 弁当箱	VI-234		弁当入れ	器状	器状・円筒形+蓋 (磁器)	円筒形	磁器	焼物
P 509	VI住2 暖房 (2)-6	VII-088		行火・アンカ・アンカマ	器状	器状・円筒形 (焼物)+円盤状・蓋 (陶器)	円筒形	陶器	焼物
P 513	VI住2 暖房 (3)-1	VII-103		火鉢	器状	器状・円筒形 (焼物)+逆U字形 (提手・焼物)	円筒形	陶器	焼物
P 573	IX社会生活3 産育2	IX-043		おしめ籠	器状	器状・円筒形 (編物)+提げ手 (針金)	円筒形	鉄(針金)	編物
P 419	VI食1 炊事・調理 (1)-5 その他	VI-055		電気釜	器状・鉢形	器状・鉢形・機・アルミ	円盤 (蓋) 状	アルミ	円盤 (蓋)
P 445	VI食2 飲食 (1)-3 お櫃	VI-170		ジャー	器状	器状・円筒形 (打物)+器状 (かぶせ蓋)	円筒形	鉄	打物
P 514	VI住2 暖房 (3)-1	VII-106		高火鉢	器状	器状・円筒形 (曲物? +銅板)+棒状 (脚) 4	円筒形	木	曲物?
P 482	VI食4 嗜好 (1)-4 杯	VI-324		柄杓	器状	器状・円筒形+棒状	円筒形	木	曲物
P 419	VI食1 炊事・調理 (1)-5 その他	VI-056		圧力鍋	器状・鉢形	器状・鉢形 (鋳物) アルミ	円盤 (蓋) 状	アルミ	円盤 (蓋)

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
水を	入れる	入れる	..	持ち手	..	移動		人(手)
うどん・そばを	入れる・振る	水を切る	..	鉤状	..	選別		人(手)
味噌のたまり汁を	入れる・振る	絞る・濾す	..	握り	..	選別		人(手)
水を	入れる	雑巾を洗う	..	提げ手		移動		人(手・腰)
水を	入れる	入れる	..	提げ手	..	移動		人(手)
水を	入れる	手や顔を洗う	脚(板状)3	..	..	収納支持		..
食品を	入れる	入れる・運ぶ	..	本体	蓋(器状・かぶせ蓋)	収納支持		人(手)
食品を	入れる	入れる・運ぶ	..	本体	蓋(器状・かぶせ蓋)	収納支持		人(手)
点火した炭を	入れる	入れる・暖をとる	..	本体	蓋(器状・かぶせ蓋・穴4)	防御緩衝		熱(炭火・燵(おき))
点火した炭を	入れる	入れる・暖をとる	..	提げ手(つくり付け)	無し	防御緩衝		熱(炭火・燵(おき))
濡れたおしめや洗濯物を	入れる	入れる	..	提げ手	無し	収納支持		人(手)
御飯を	入れる	炊く	..	持ち手2	蓋	加工(受動)		熱(電気)
御飯を	入れる	入れる・保つ	..	持ち手	蓋(器状・かぶせ蓋)+摘み	収納支持		人(手)
炭を	入れる	入れる・暖をとる	脚(棒状)4	本体	無し	防御緩衝		熱(炭火・燵(おき))
水を	入れる・汲む	注ぐ	..	柄+紐	無し	移動		人(手)
豆など	入れる	炊く	..	柄	蓋+摘み	加工(受動)		熱(電気)

形態別一覧表：硬質系 4 器状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
4-3-② 楕円筒形の器状 ※底が平ら 例：曲物(めんば)・結物(手風呂・おまる・飯櫃)・編物(腰籠・魚籠)・割物(印籠・煙草入れ)など									
P 483	VI食4嗜好 (2)-1 印籠と煙管	VI-325		印籠	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形(割物)+蓋	楕円筒形	木	割物?
P 483	VI食4嗜好 (2)-1 印籠と煙管	VI-326①		煙草入れ(+煙管入れ)	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形(割物)+蓋	楕円筒形	木	割物?
P 440	VI食2飲食 (1)-1 赤飯櫃	VI-147①		赤飯櫃・オコワビツ	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形(結物)+角2+板状(蓋)	楕円筒形	木+竹 (タガ)	結物
P 442	VI食2飲食 (1)-2 魚櫃	VI-157①		魚櫃	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形(結物)+角2+板状(蓋)	楕円筒形	木+竹 (タガ)	結物
P 443	VI食2飲食 (1)-3 お櫃	VI-160①		お櫃	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形(結物)+角2+板状(蓋)	楕円筒形	木+竹 (タガ)	結物
P 523	VI住3家具 (2)-3	VII-140		御虎子(おまる)	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形(結物)+板状(蓋)	楕円筒形	木+竹 (タガ)	結物
P 067	I 農林業2 田植 (2) 田植-4	I-302		腰籠	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形(編物)	楕円筒形	竹	編物
P 462	VI食2飲食 (4)-2 弁当箱	VI-237		弁当入れ	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形+蓋(打物)	楕円筒形	アルマイト	打物
P 596	IX 社会生活 12 戦時3 携行品	IX-130		飯盒	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形(打物)	楕円筒形	アルマイト	打物
P 522	VI住3家具 (2)-2	VII-139		手風呂	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形(結物)+器状・円筒状(打物・釜)+板状(蓋)	楕円筒形	木+竹 (タガ)	結物
P 521	VI住3家具 (2)-1	VII-135		風呂桶	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形(結物)+板状(蓋)	楕円筒形	木+竹 (タガ)	結物
4-4 鉢形 回転体の容器・口が大きく開く。底に丸み。底径<口径 割物(こね鉢)・焼物(鉢)・編物(笊籠類)など									
P 511	VI住2暖房 (3)-1	VII-096		火鉢	器状・鉢形	器状・鉢形(焼物)		陶土	焼物
P 512	VII住2暖房 (3)火鉢	VII-098		火鉢	器状・鉢形	八角鉢形(銅板打物)		金属(銅)	打物
P 571	IX 社会生活 3 産 育 1	IX-035		ツブラ	器状・鉢形	器状・鉢形(編物)		藁	編物
P 551	VIII 運搬 7 背負籠	VIII-041		竹籠・パイスケ	器状・鉢形	器状・鉢形(編物)	鉢形・籠(編物)	竹	編物
P 435	VI食1炊事・調理 (3)-9 播鉢と播粉木	VI-131		播鉢	器状・鉢形	器状・鉢形(焼物)・筋目を刻む		陶土	焼物
P 551	VIII 運搬 7 背負籠	VIII-042		竹籠・オンナカゴ	器状・鉢形	器状・鉢形(編物)	鉢形・籠(編物)	竹	編物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
丸薬を	いれる・腰につける	いれる・携帯する	..	紐+根付(塊状)	..	移動		人(腰)
煙草を	いれる・腰につける	いれる・携帯する	..	紐+根付(塊状)	被せ蓋(器状・はめ込み)	移動		人(腰)
赤飯を	いれる・提げる	運ぶ	..	持ち手(板状角2)	蓋(楕円形・板状+棧2)	収納支持		人(手)
魚などを	いれる・提げる	運ぶ	..	持ち手(板状角2)+棒	蓋(楕円形・板状+棧2)	収納支持		人(手)
御飯などを	いれる・提げる	運ぶ	..	持ち手(板状角2)	蓋(楕円形・板状+棧2)	収納支持		人(手)
小便を	いれる	いれる・捨てる	..		蓋(楕円形・板状+棧1)	収納支持		..
苗を	腰につける・いれる	運ぶ	..	縄(腰縄)	蓋なし	移動		人(腰)
飯・おかずを	いれる	いれる・運ぶ	..	本体	蓋・器状・楕円・かぶせ蓋	収納支持		人(手)
飯を	いれる・炊く	いれる・炊く	..	提げ手	蓋・器状・楕円・かぶせ蓋	加工(受動)		火(焚火)
湯を	わかす・人が入る(入浴)	温まる(入浴)	脚(板状4)	人が入る	蓋(楕円形・板状+棧1)	収納支持		熱(炭火・燵)
湯を	わかす・人が入る(入浴)	温まる(入浴)	脚(板状4)	人が入る	蓋(楕円形・板状+棧2)	収納支持		熱(薪の火)
点火した炭を	いれる	いれる・暖をとる	..	本体	..	防御緩衝		熱(炭火・燵(おき))
炭火	いれる	いれる・暖をとる	..	本体	五徳	防御緩衝		熱(炭火・燵(おき))
嬰兒	いれる	育てる	..	本体	..	防御緩衝		..
石炭を	いれる	運ぶ	..	本体	..			人(肩・棒)
味噌・胡麻など	いれる・播る	播る	..	本体(縁)	..	加工(受動)		人(手)
石炭を	いれる・背負う	運ぶ	..	本体(縁)	..			人(背・背負い台)

形態別一覧表：硬質系 4 器状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 055	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕-11	I-244		飼葉釜	器状・鉢形	器状・鉢形 (鋳物)	鋳物	鉄	鋳物
P 270	III 諸職 9 紙漉き -1	III-179		楮蒸釜 (こうぞむしがま)	器状・鉢形	器状・鉢形+鋳付 (鋳物)	楮 (こうぞ)	鉄	鋳物
P 474	VI 食 3 保存・醸造 (3)-2 大鍋	VI-291		豆腐用大鍋	器状・鉢形	器状・鍋)	豆	鉄	鋳物
P 407	VI 食 1 炊事・調理 (1)-1 鍋	VI-001		大鍋	器状・鉢形	器状・鉢形 (鋳物)	器? (鉢形)+弦)	鉄	鋳物
P 408	VI 食 1 炊事・調理 (1)-1 鍋	VI-008		鍋	器状・鉢形	器状・鉢形 (鋳物)	鉢形+弦+円盤 (蓋)	鉄	鋳物
P 409	VI 食 1 炊事・調理 (1)-1 鍋	VI-011		煎鍋 (いりなべ)	器状・鉢形	器状・鉢形 (鋳物)	鉢形 (浅鉢)+弦+耳+円盤 (蓋)	鉄	鋳物
P 214	II 手工業 4 酒づくり 1	II-111		笊 (ざる)	器状・鉢形	器状・鉢形 (編物)		竹	編物
P 419	VI 食 1 炊事・調理 (2)-1 笊	VI-057		笊	器状・鉢形	器状・鉢形 (編物)	鉢形 (籠状)	竹	編物
P 427	VI 食 1 炊事・調理 (3)-2 こね鉢	VI-091		こね鉢	器状・鉢形	器状・鉢形 (陶磁)		陶土	焼物
P 428	VI 食 1 炊事・調理 (3)-2 こね鉢	VI-094		片口	器状・鉢形	器状・鉢形・注口 (陶磁)	鉢形+注口	陶土	焼物
P 410	VI 食 1 炊事・調理 (1)-2 釜	VI-014		お釜	器状・鉢形	器状・鉢形 (鋳物)	鉢形 (深鉢)+羽根+円盤 (取っ手付)	鉄	鋳物
P 412	VI 食 1 炊事・調理 (1)-2 釜	VI-025		お釜	器状・鉢形	器状・鉢形 (鋳物)	蓋 (板状) 状	ジュラルミン	鋳物
P 413	VI 食 1 炊事・調理 (1)-3 大釜	VI-028		大釜	器状・鉢形	器状・鉢形 (鋳物)	鉢形	鉄	鋳物
P 503	VI 住 2 暖房 (2)-1	VII-062		炬燵の炉	器状・鉢形	器状・鉢形・縁に四角の鋳 (鉄鋳物)		鉄	鋳物
P 153	I 農林業 4 収穫 (5)-4	I-621		石臼	器状・鉢形	器状・円筒形 (彫物・石)	鉢形・彫り物	石	彫物
鉢形 口が円形・底が四角 (多角) 形 籠類 (編物)									
P 421	VI 食 1 炊事・調理 (2)-3 芋洗籠	VI-064		芋洗籠	鉢形 (籠状)	器状・口円形・底四角形 (編物)		竹	編物
P 423	VI 食 1 炊事・調理 (2)-4 籠	VI-072		竹籠	鉢形 (籠状)	器状・口円形・底四角形 (編物)		竹	編物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
馬の飼料 (大麦・くず米・切藁など)を	いれる・竈にかける・煮る	(飼葉を) 煮る	..	縁(鏝)	..	加工(受動)		馬
水・楮の枝束を	いれる・蒸す	蒸す	..	縁(鏝)	..	加工(受動)		人(手)
大豆を	いれる	いれる・煮る	..	提げ手(弦)	..	加工(受動)		人(手)・熱(囲炉裏)
里芋や薩摩芋など	いれる	煮る	..	提げ手(弦)	..	加工(受動)		熱(竈の火)
汁物を	いれる	煮る	..	提げ手(弦)	..	加工(受動)		熱(竈の火)
屑米・大麦・大豆など	いれる	煎る	..	提げ手(弦)	..	加工(受動)		熱(竈の火)
精米した米を	いれる	洗う・水をきる	..	本体	..	選別		人(手)
野菜や魚を	いれる	干す	..	本体(縁)	..	選別		人(手)
団子・ソバ粉など	いれる	捏ねる	..	本体(縁)	..	加工(受動)		人(手)
醤油・酒など	いれる	移す・注ぐ	..	本体(縁)	..	移動		人(手)
御飯を	いれる	炊く		本体(鏝)		加工(受動)		熱(竈の火)
御飯を	いれる	炊く		持ち手(輪)2 本体(鏝)		加工(受動)		熱(竈の火)
大豆・湯・飼葉を	いれる	煮沸する		鏝		加工(受動)		熱(竈の火)
点火した炭を	いれる・炉の火床にはめる	暖をとる	鏝(四角形)付き	本体(鏝)	..	防御緩衝		熱(炭火)
米や麦を	いれる・水車杵の下に据える	搗く(水車杵で)		縁(本体)	..	加工(受動)		..
野菜などを	いれる	いれる・洗う	..	本体(縁)		選別		人(手)
種物など	いれる	いれる	脚	提げ手(弦)		収納支持		人(手)

形態別一覧表：硬質系 4 器状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 423	VI食1炊事・調理 (2)-4 籠	VI-073		竹籠	鉢形（籠状）	器状・口円形・底六角形（編物）		竹	編物
P 424	VI食1炊事・調理 (2)-5 椀籠と椀盥	VI-076		椀籠	脚（棒状）状	器状・口円形・底六角形（編物）		竹	編物
4-5 椀形・盃形・高坏形 底に丸みがある・小型の容器・高台がつくものがある									
P 458	VI食2飲食 (4)-1 椀と皿	VI-219		椀	器状	器状・椀形（挽物）	輪状（高台）状	木	挽物
P 458	VI食2飲食 (4)-1 椀と皿	VI-220		御講椀	器状	器状・椀形（挽物）	輪状（高台）状	金	挽物
P 458	VI食2飲食 (4)-1 椀と皿	VI-221		茶碗	器状	器状・椀形（焼物・磁器）	輪状（高台）状	土	焼物
P 396	V衣8化粧・結髪 (1) お歯黒	V-492③		鉄漿（かね）椀	器状	器状・椀形		陶土	焼物
P 402	V衣9裁縫-3	V-518		火熨斗（ひのし）	器状	器状・椀状+棒		銅	鋳物
P 420	VI食1炊事・調理 (2)-2 笊筥	VI-060		笊筥（そーけ）	器状	器状・半球形・片口（編物）	注口状	竹	編物
P 396	V衣8化粧・結髪 (1) お歯黒	V-494		耳盥	器状	器状・椀形（刳物・耳+高台）	鉢状+耳	木	挽物
P 596	IX社会生活12戦時4凱旋記念杯	IX-132		杯	器状	器状・盃形	盃形	金属	
P 482	VI食4嗜好 (1)-4 杯	VI-322		金杯	器状	器状・盃形	盃形	金属	
P 103	I農林業3肥培・管理 (3)-3	I-423		防護面	器状・網状	器状・椀形（編物・針金）	椀形	鉄（針金）	編物
4-6 甕・壺形									
甕形 口径≦胴径 比較的大型のものあり。事例：焼物（甕類）編物・籠類（桑籠・木葉籠）など									
P 470	VI食3保存・醸造 (2)-1 甕	VI-272		水甕	器状	器状・甕形（焼物）		陶土	焼物
P 471	VI食3保存・醸造 (2)-1 甕	VI-280		甕	器状	器状・甕形（焼物）		陶土	焼物
P 472	VI食3保存・醸造 (2)-1 甕	VI-281		甕	器状	器状・甕形（焼物）		陶土	焼物
P 472	VI食3保存・醸造 (2)-1 甕	VI-284		甕	器状	器状・甕形（焼物）		陶土	焼物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
野菜を	入れる	入れる	..	提げ手		収納支持		人(手)
椀など食器を	入れる	入れる・洗う・水を切る	脚	縁(本体)		収納支持		人(手)
煮物など	入れる	入れる・口に運ぶ	高台	本体	蓋なし	収納支持		人(手)
御飯	入れる	入れる・口に運ぶ	高台	本体	蓋なし	収納支持		人(手)
煮物など	入れる	入れる・口に運ぶ	高台	本体	..	収納支持		人(手)
鉄漿水(酢酸に鉄片を溶かした液)を	入れる	とかす・歯につける(化粧)	..		..	収納支持		人(手)
衣類・布を	炭を入れる	のす(平らにする)	..	柄	..	加工(加撃)		人(手)・熱
野菜・米を	入れる・洗う	洗う・水をきる	..	本体(縁)	..	選別		人(手)
水を入れる	口をすすぐ	口をすすぐ	高台	本体	..	収納支持		人(手)
酒を	入れる	飲む	高台	本体	..	収納支持		人(手)
酒を	入れる	飲む	高台	本体	..	収納支持		人(手)
顔面に	かぶせる	眼を傷つけるのを防ぐ・守る		紐	..	収納支持		人(顔)
水など	入れる	入れる・蓄える	..	本体		収納支持		..
水など	入れる	入れる・蓄える	..	本体		収納支持		..
水など	入れる	入れる・蓄える	..	本体		収納支持		..
味噌・漬物など	入れる	入れる・蓄える	..	本体	蓋+摘み	収納支持		..

形態別一覧表：硬質系 4 器状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 473	VI食3 保存・醸造 (2)-1 甕	VI-288		塩甕	器状	器状・甕形 (焼物)		陶土	焼物
P 174	I 農林業 8 養蚕 1	I-697		桑籠	器状	器状・甕形 (編物)		竹	編物
P 184	I 農林業 10 川漁 3	I-736		魚籠	器状	器状・甕形 (編物)		竹	編物
P 551	VIII 運搬 7 背負籠	VIII-040		竹籠	器状	器状・甕形 (編物)		竹 (+布)	編物
壺形 口径<胴径 頸部がくびれるのが「壺形」。事例：焼物 (壺類・土瓶・急須) 編物・籠類 (魚籠)・鋳物 (茶釜・鉄瓶・水差し)・打物 (薬缶) など									
P 499	VI 住 2 暖房 (1)-2	VII-047		火消壺・ケシコガメ	器状/壺形	器状・壺形 + 蓋 (円盤)	円筒形・壺形	陶土	焼物
P 500	VI 住 2 暖房 (1)-2	VII-049		火消壺・ケシコガメ	器状/壺形	器状・壺形 + 蓋 (円盤)	円筒形・壺形	鉄	鋳物
P 513	VI 住 2 暖房 (3)-1	VII-104		手あぶり	器状/壺形	器状・壺形 (焼物)	円筒形・壺形	陶土	焼物
P 396	V 衣 8 化粧・結髪 (1) お歯黒	V-495		お歯黒壺	器状/壺形	器状・壺形 (焼物) + 蓋 (焼物)	円筒形・壺形	陶土	焼物
P 551	VIII 運搬 8 腰籠	VIII-043		腰籠・エコ	器状/壺形	器状・壺形 (編物)	円筒形・籠 (編物)	竹	編物
P 552	VIII 運搬 8 腰籠	VIII-048		腰籠・エコ	器状/壺形	器状・壺形 (編物)	壺形※・籠 (編物) ※胴最大口径・底角	竹	編物
4-7 瓶形・徳利形 細長い筒形容器で、特に頸が細長いもの									
P 464	VI 食 2 飲食 (4)-その他	VI-248		醤油さし	器状	器状・瓶形 (ガラス)	瓶状	ガラス	瓶
P 477	VI 食 3 保存・醸造 (5) その他	VI-303		一升瓶	器状	器状・瓶形 (ガラス)	瓶状	ガラス	瓶
P 572	IX 社会生活 3 産育 2	IX-042		哺乳瓶	器状	器状・瓶形 (ガラス)	瓶	ガラス	瓶
P 481	VI 食 4 嗜好 (1)-3 銚子と徳利・燗鍋	VI-315		徳利	器状	器状・徳利形 (焼物・磁器)	瓶	陶土	焼物
P 481	VI 食 4 嗜好 (1)-3 銚子と徳利・燗鍋	VI-316		徳利	器状	器状・徳利形 (焼物・磁器)	瓶	陶土	焼物
P 538	VI 住 4 防護 (1)-3	VII-207		消火器	器状	器状・球形 (壊・ガラス)	瓶	ガラス	瓶

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
塩	入れる	入れる・蓄える	..	本体	蓋+摘み	収納支持		..
桑の葉を	(摘んで) 入れる	運ぶ	..	本体+縄	..	収納支持		人(首・肩)
魚を	入れる	運ぶ	..	本体・縄(腰縄)	..	収納支持		人(腰)
落ち葉やたい肥を	入れる・ふるう	運ぶ	..		..			人(手・胸)
消し炭	入れる・蓋をする	火を消す	..	本体	円盤状(蓋)状	防御緩衝		空気
消し炭	入れる・蓋をする	火を消す	..	提げ手(ハリガネ)	円盤状(蓋)状	防御緩衝		空気
炭	入れる・点火する	入れる・暖をとる	..	本体		防御緩衝		熱(炭火・燵(おき))
鉄漿を	入れる	沸かす(溶かす)	..		円盤状(蓋)状	収納支持		人(手)
落穂や豆の苗を	入れる・腰につける	運ぶ	..	紐				人(腰)
野菜・栗・茸を	入れる・腰につける	運ぶ	..	紐				人(腰)
醤油を	入れる	入れる	..	首(本体)		移動		人(手)
酒を	入れる	運ぶ・貯える	..	首(本体)		収納支持		..
乳	入れる	飲ませる	..	首(本体)		収納支持	ゴム栓	人(手) ※1
酒を	入れる・運ぶ・温める	運ぶ・注ぐ	..	首(本体)		収納支持		人(手)
酒を	入れる・温める	注ぐ	..	首(本体)		収納支持		人(手)
消化液を	入れる・投げる	消す(火を)	..	本体		移動		薬剤

形態別一覧表：硬質系 4 器状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 595	IX 社会生活 12 戦時 3 携行品	IX-129		水筒	器状	器状・徳利形 (打物)		アルミ	打物
4-8 樽形 底径≦口径、上蓋固定 (結物・陶磁) ※ 5-2 桶形参照									
P 069	I 農林業 3 肥培 ・管理 (1)-1	I-309		肥樽・カガミダル	器状・楕円筒形	器状・楕円筒形 (結物・樽) + 角 2	楕円筒形・樽形	木 (杉) + 竹	結物
P 469	VI 食 3 保存・醸造 (1)-2 漬物桶	VI-271		水樽	器状	器状・樽形 (結物) スライド式蓋付き	円筒形・樽形	木 (杉) + 竹	結物
P 476	VI 食 3 保存・醸造 (4)-3 醤油桶	VI-298		醤油樽	器状	器状・樽形 (結物)	円筒形・樽形	木 (杉) + 竹	結物
P 479	VI 食 4 嗜好 (1)-2 酒樽	VI-310		酒樽	器状	器状・樽形 (結物) + 提げ手	円筒形・樽形	木 (杉) + 竹	結物
P 538	VI 住 4 防護 (1)-3	VII-206		消火器	器状	器状・樽形 (結物)	円筒形・樽形	木	結物
4-9 皿形 浅い器 高さごく低く<口径 円形・方形・多角形・木葉：扇や魚形など形象物あり									
P 459	VI 食 2 飲食 (4) 皿	VI-222		小皿	器状	8 角皿形 (焼物・磁器)	皿状	磁器	焼物
P 459	VI 食 2 飲食 (4) 皿	VI-223		魚皿	器状	皿形 (焼物・磁器)	皿状	磁器	焼物
P 485	VI 食 4 嗜好 (3) 茶	VI-334		茶托	器状	皿形・打物	皿状	金属 (銅)	打物
4-10 盆形 縁がある板状の器 → 円盤形・方形などある。多くは「板状のもの」に分類									
P 485	VI 食 4 嗜好 (3) 茶	VI-335		茶盆	円盤状 (盆)	器状・円筒形 (挽物)	盆状	木	挽物
4-11 注口のある器									
P 409	VI 食 1 炊事・調理 (1)-1 鍋	VI-012		煎鍋 (いりなべ)	器状・鉢形	器状・鉢形 (鋳物)	鉢形 + U 字形の注口)	鉄	鋳物
P 412	VI 食 1 炊事・調理 (1)-2 釜	VI-026		雪平鍋	器状・鉢形	器状・鉢形 (鋳物) + 注口 + 取っ手	注口状	陶土	焼物
P 418	VI 食 1 炊事・調理 (1)-4 鉄瓶と薬缶	VI-051		薬缶	器状・鉢形	器状・鉢形 (鋳物) + 注口	注口状	鉄	鋳物
P 414	VI 食 1 炊事・調理 (1)-4 鉄瓶と薬缶	VI-32		茶釜	器状/壺形	器状・壺形 (鋳物) + 注口 + 提げ手	注口状	鉄	鋳物
P 415	VI 食 1 炊事・調理 (1)-4 鉄瓶と薬缶	VI-37		鉄瓶	器状/壺形	器状・壺形 (鋳物) + 注口 + 提げ手	注口状	鉄	鋳物
P 416	VI 食 1 炊事・調理 (1)-4 鉄瓶と薬缶	VI-42		鉄瓶 (火鉢用)	器状/壺形	器状・壺形 (鋳物) + 注口 + 提げ手	注口状	鉄	鋳物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
水を	いれる・肩にかける	運ぶ・飲む	..	帯				人(腰)
肥やしを	いれる	運ぶ	..	縄(吊り縄)	蓋(鏡板・固定)+栓	移動		人(背)
水を	いれる	いれる	..	提げ手(縄)		収納支持		..
醤油を	いれる	いれる・貯蔵する	..	本体		収納支持		..
酒を	いれる・貯蔵する	いれる・はこぶ	..	提げ手		収納支持・移動		人(手)
火を	投げる?	消す(火)	..	本体	天板固定	移動		薬剤
おかず	盛る	食べる	輪状(高台)	本体	蓋なし	収納支持		人(手)
刺身など	盛る	食べる	輪状(高台)	本体	蓋なし	収納支持		人(手)
湯呑	のせる	支える	..	本体		収納支持		人(手)
茶碗	のせる	運ぶ	..	本体		収納支持		人(手)
豆などを	いれる・火にかける	煎る・	本体(縁)	本体(縁)		加工(受動)		熱(竈の火)
粥を	いれる・火にかける	沸かす・注ぐ	..	握り	(注口)	加工(受動)		熱(竈の火)
薬草を	いれる・火にかける	沸かす・注ぐ	..	提げ手(弦)	蓋(注口)	加工(受動)		熱(炉の火)
湯茶を	いれる・火にかける	沸かす・注ぐ	..	提げ手(弦)	蓋(注口)	加工		熱(炉の火)
湯茶を	いれる・火にかける	沸かす・注ぐ	..	提げ手(弦)	蓋(注口)	加工		熱(炉の火)
湯茶を	いれる・火にかける	沸かす・注ぐ	..	提げ手(弦)	蓋(注口)	加工		熱(炉の火)

形態別一覧表：硬質系 4 器状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 417	VI食1炊事・調理(1)-4鉄瓶と薬缶	VI-45		土瓶	器状/壺形	器状・壺形（焼物）+注口+提げ手（弦）	注口状	陶	焼物
P 417	VI食1炊事・調理(1)-4鉄瓶と薬缶	VI-48		薬缶	器状/壺形	器状・壺形（打物）+注口+提げ手	壺形+注口+弦	アルマイ ト	打物
P 418	VI食1炊事・調理(1)-4鉄瓶と薬缶	VI-52		水差し	器状/壺形	器状・壺形（打物）+注口	壺形+注口	真鍮	打物
P 485	VI食4嗜好(3)-1急須	VI-333		急須	器状/壺形	器状・壺形（焼物）+注口+提げ手（弦）	壺形+注口+弦	陶土	焼物
P 480	VI食4嗜好(1)-3銚子と徳利・爛鍋	VI-314		銚子	器状/壺形	器状・壺形（焼物）+注口+提げ手	壺形+注口+弦	金属	焼物
P 079	I農林業3肥培・管理(2)-3	I-353		消毒液桶・ショウドクオケ	桶状（結物）	器状・円筒形（結物）+角2+筒状	注口	木	結物
<b>4-12 逆さに用いる器形</b>									
P 369	V衣5雨具(1)-1	V-383		菅笠	器状	器状・逆碗形（ひらたい）		竹+繊維	縫物
P 369	V衣5雨具(1)-1	V-385		平笠	器状	器状・逆円錐形（ひらたい）		竹+繊維	縫物
P 564	IX社会生活1村5その他	IX-011		鐘	器状	器状・逆さ鉢形	玉状（舌）	金属	鋳物
P 591	IX社会生活11学校	IX-111		鐘	器状	器状・逆さ鉢形	棒状（舌）	金属	鋳物
<b>4-13 その他の器形</b>									
P 481	VI食4嗜好(1)-3銚子と徳利・爛鍋	VI-317		爛鍋	器状	器状・平たい円筒形（打物）・口6+蓋6		銅	打物
P 510	VI住2暖房(2)-7	VII-091		湯たんぼ	器状	器状・半円柱形・横向き・口穴（焼物）	栓（欠）状	陶土	焼物
P 510	VI住2暖房(2)-7	VII-092		湯たんぼ	器状	器状・半円柱形・横向き・口穴（焼物）	栓状	陶土	焼物
P 077	I農林業3肥培・管理(2)-1	I-346		噴霧機	器状	器状・円筒形（打物）・機	パイプ	鉄（ブリキ）	打物

※1 口にゴム製の乳首をつけて乳児に飲ませる。

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
茶を	いれる・火にかける	沸かす・注ぐ	..	提げ手(弦)	蓋(注口)	加工		熱(炉の火)
湯を	いれる・火にかける	沸かす・注ぐ	..	提げ手(弦)	蓋(注口)	加工		熱(炉の火)
水を	いれる・火にかける	沸かす・注ぐ	..	持ち手(U字状)	蓋(注口)	加工		人
茶を	いれる・火にかける	沸かす・注ぐ	..	提げ手(弦)		移動		人(手)
酒を	いれる・火にかける	沸かす・注ぐ	..	提げ手(弦)		収納支持		人(手)
消毒液を	いれる・撒く	撒く・消毒する	..	持ち手2+縄(欠)	蓋なし(側面に栓)	移動		人(肩・手)
頭に	かぶる	日除け・雨除け				防御緩衝		..
頭に	かぶる	日除け・雨除け				防御緩衝		..
音を	打つ・鳴らす	知らせる	棒(吊り手)		舌	情報		人(手)+棒
音を	打つ・鳴らす	知らせる	輪		舌	情報		人(手)
酒を	いれる	いれる・温める		手掛け2	爛徳利	加工		熱(湯)
湯を	いれる	いれる・暖をとる		本体		防御緩衝		熱(炭火・燵(おき))
湯を	いれる	いれる・暖をとる		本体	栓	防御緩衝		熱(湯)
薬(液体)を	撒く	害虫を防ぐ		紐(肩掛け)	蓋(はめ蓋)か	移動		人(背+手)

形態別一覧表：硬質系 5 枠状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
5-1 枠状 (平面) 平たい枠 (炉縁・額・鳥居・大足・梯子など)									
P 504	Ⅶ住 2 暖房 (2) 炬燵	Ⅶ-063①		炬燵の炉縁	枠状・四角形	枠状・四角形	枠状	木	組物
P 201	Ⅱ手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-070		千キリ (千切り)	枠状	棒状の両端に枠	枠状	木	組物
P 270	Ⅲ 諸職 8 菓子作り	Ⅲ-178		羊羹の枠	枠状・四角形	枠状	枠状	木・竹?	組物
P 557	Ⅷ移動運搬 11 滑車	Ⅷ-067		台座・カグラサンの台	枠状・井桁形	枠状・井桁形		木	組物
P 169	Ⅰ農林業 6 薬仕 事 (2) 薬加工	Ⅰ-677		蕙機 (むしろばた)・ムシロバタゴ	枠状・四角形	枠状・四角形		木	組物
P 169	Ⅰ農林業 6 薬仕 事 (2) 薬加工	Ⅰ-678		蕙機 (むしろばた)・ムシロバタゴ	枠状 (立体・複雑) (機)	枠状 (立体・複雑) (機)		木	組物
P 194	Ⅱ手工業 1 紡織 (2) 整経	Ⅱ-040		整経台・ヘダイ・イトカケダイ	枠状+棒状 (糸掛け棒)	枠状+棒状 (糸掛け棒)	枠状	木	組物
P 200	Ⅱ手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-066		飛子箆柄 (とびひおさづか)・バツタン	枠状+車状+縄状 (複雑)	枠状+車状+縄状 (複雑)	枠状	木	組物
5-2 棧がある枠 (1 段から多棧・格子まで) 梯子・櫓など									
P 200	Ⅱ手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-067		箆	枠状+束状 (櫓状)	枠状+束状 (櫓状)	枠状	木+竹	..
P 527	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-161		手拭掛け	枠状	枠状+中棧 1 (鳥居形)		木	組物
P 525	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-150		鉢み箱の台・ハサンバコノダイ	枠状	枠状+板状の中棧 2 + 縄状、一対一組	枠状	木	組物
P 525	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-151		鉢み箱の台・ハサンバコノダイ	枠状	枠状+板状 (棧) 3 + 縄状	枠状	木	組物
P 545	Ⅷ移動運搬 5 背板	Ⅷ-018		背板・セータ・シヨイコ	枠状	枠状+板状の中棧 2 + 縄状、一対一組	枠状	木 (杉)	組物
P 546	Ⅷ移動運搬 6 背板	Ⅷ-023		背板・セータ・シヨイコ	枠状	枠状・鳥居形	枠状	木 (杉)	組物
P 547	Ⅷ移動運搬 7 背板	Ⅷ-024		背板・セータ・シヨイコ	枠状	枠状+爪付	枠状	木 (杉)	組物
P 543	Ⅷ移動運搬 2 櫓	Ⅷ-010		櫓	枠状	枠状・梯子形	枠状	木 (杉)	
P 541	Ⅷ移動運搬 1 荷車	Ⅷ-001		大八車・ガンガラグルマ	枠状	枠状・梯子形	枠状・車状	木	板組

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
炬燵の炉	暖房	据える・乗せる	はめる・支える		本体		防御緩衝	熱（炭火）
糸（経糸）	機織り	巻く	巻く	織機にのせる	本体	..	収納支持	人（手）
羊羹	菓子づくり	いれる・漉く・かたどる	漉く・かたどる	..	本体	..	情報	..
建築材の柱	移動・運搬	据える	ずれないように支える（用法不明）				移動運搬	..
縄と藁	筵・菰を織る	縄をかける・織る	織る	脚2	棒状（箴）	..	加工（加撃）	人（手）
縄と藁	筵・仄を織る	縄をかける・織る	織る	脚	棒状	..	加工（加撃）	人（手）
糸（経糸）	機織り（整経）	かける	掛ける・整える	枠	..	..	収納支持	人（手）
杼（ひ）	機織り	（織機に）かける	飛ばす（杼を）	機枠から吊る	本体	..	加工（加撃）	人（手）
糸（経糸）	機織り	通す・分ける	分ける・打ち込む	箴柄（つか）にはめる	本体（緑）	..	収納支持	人（手）
手拭	収納	置く・掛ける	掛ける				収納支持	..
鉄箱	収納・移動	支える	乗せる・運ぶ		縄（吊り縄）		移動運搬	人（肩）+棒
鉄箱	収納・移動	載せる・吊る・運ぶ	乗せる・運ぶ		縄（吊り縄）		移動運搬	人（肩）+棒
荷物（稲や薪の束など）	移動・運搬	荷を縛りつける・背負う・運ぶ	荷をつける・背負う・運ぶ		背負縄2		移動運搬	人（背）
荷物（稲や薪の束など）	移動・運搬	荷を縛りつける・背負う・運ぶ	荷をつける・背負う・運ぶ		背負縄2		移動運搬	人（背）
荷物（稲や薪の束など）	移動・運搬	荷を縛りつける・背負う・運ぶ	荷をつける・背負う・運ぶ		背負縄2		移動運搬	人（背）
荷物（木材や米俵など重い物）	移動・運搬	荷を縛りつける・馬力で挽く・滑らせる・運ぶ	のせる・馬に曳かせる・滑らせる・運ぶ				移動運搬／収納支持	馬（雪上）
荷物（木材や米俵など重い物）	移動・運搬	載せる・曳く・運ぶ	運ぶ（荷物を載せて）		柄2		移動運搬	人+車

形態別一覧表：硬質系 5 枠状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
5-3 紙や網がはられている枠									
P 071	I 農林業 3 肥培・管理	I-316		馬の畚・ウマノモッコ	器状	枠状+袋状	袋状	藁+木	編組
P 058	I 農林業 2 田植(1) 苗代	I-256		通し・トオシ	枠状	枠状+網状	網状	金属(針金)の網	板組
P 128	I 農林業 4 収穫(2) 脱穀・調整	I-520		通し・モミドオシ	枠状+網状	枠状+網状	網状	蔓(藤)	編組
P 129	I 農林業 4 収穫(2) 脱穀・調整	I-525		通し・モミドオシ	枠状+網状	枠状+網状	網状	竹	編組
P 128	I 農林業 4 収穫(2) 脱穀・調整	I-527		通し・モミドオシ	枠状+網状	枠状+網状	網状	金属	編組
P 172	I 農林業 7 チューリップ栽培	I-691		球根通し・篩	枠状+網状	枠状+細かい格子状		木+竹	削出
P 489	VII 住 1 照明(2) 行灯	VII-012		行燈・置行燈	枠状	枠状(立体)・紙貼+棒(脚)+板状(台)	棒状(脚)	紙・木・鉄	
P 490	VII 住 1 照明(2) 行灯	VII-013		行燈	枠状	枠状(立体)+吊鉤	箱状(台)	紙・木・鉄	
P 492	VII 住 1 照明(4) 角灯	VII-024		角灯・カクト	枠状	枠状(立体)・ガラス貼+筒形	鉤状(吊り金具)	ガラス+金属	
P 576	IX 社会生活 4 行事	IX-051		田楽行燈・ヨータカ	枠状	枠状(立体)・紙貼+棒		木	
5-4 枠の中に車状のもの ※ 6-2 車状の項目と重複により省略収録									
P 498	VII 住 2 暖房(1) 囲炉裏	VII-040		自在鉤・カンサマ	車状+棒状+縄	車状+棒状(鉤状)+縄状	鉤状(打物)	鉄	
P 517	VII 住 3 設備(1) 井戸	VII-114		井戸の滑車	車輪状	車輪状+鉤状	鉤状	木	
P 516	VII 住 3 設備(1) 井戸	VII-111		井戸の滑車・イケノカッシャ	枠状	枠状+車輪状	車状+枠状	木	
P 517	VII 住 3 設備(1) 井戸	VII-113		井戸の滑車・イケノカッシャ	枠状	枠状+車輪状	車状+枠状	木	
5-5 鳥居形の枠が柄としてつくもの									
P 038	I 農林業 1 耕耘(2) 碎土・代掻	I-163		回転式碎土機	∟形	枠状	鎌状・刃物	鉄	鍛造品
P 039	I 農林業 1 耕耘(2) 碎土・代掻	I-165		回転式碎土機	∟形	枠状	鎌状・刃物	鉄	鍛造品

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
堆肥	施肥・運搬	いれる・馬に担がせる・播く	運ぶ	..	本体	..	移動運搬	馬(背)
苗代のうね	押さえて網目で土を均一にする	押す	押す・均す	本体	本体	蓋なし	選別	人(手)
糶と藁屑	選別	いれる	篩う・わける	..	持ち手2	..	選別	人(手)
糶と藁屑	選別	いれる	篩う・わける	..	持ち手3	..	選別	人(手)
糶と藁屑	選別	いれる	篩う・わける	..	持ち手2	..	選別	人(手)
球根	大きさの選別	いれる・ふるう	選別・分ける	..	本体(縁)	..	選別	人(手)
明かり(灯油)	照明	置く・点火する	灯す・照らす	棒状(脚)	提げ手		捕獲採取	火(菜種油)
明かり(灯油)	照明	置く・点火する	灯す・照らす	箱状(台)	本体		捕獲採取	火(菜種油)
明かり(石油)	照明	置く・点火する	灯す・照らす	鉤状(吊り金具)			捕獲採取	火(石油)
..	行事	掲げる・照らす	照らす・祈願する				情報	火(蠟燭)
鉄瓶など	暖房・調理	吊るす	吊るす		本体		収納支持	..
釣瓶	水を確保	吊り下げる・上げる	吊り下げる・吊り上げる				移動運搬	重力(滑車)
釣瓶桶	水を確保	掛ける	吊り下げる・吊り上げる				移動運搬	重力(滑車)
釣瓶桶	水を確保	掛ける	吊り下げる・吊り上げる				移動運搬	重力(滑車)
(スキで起こした)田畑の土	砕土・代掻き	牛馬に曳かせる、土を掻く	砕く	台木	柄	..	加工(加撃)	馬+人(手)
(スキで起こした)田畑の土	砕土・代掻き	牛馬に曳かせる、土を掻く	砕く・均す(土を)	台木	柄	..	加工(加撃)	馬+人(手)

形態別一覧表：硬質系 5 杵状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 080	I 農林業 3 肥培・管理 (3) 中耕除草	I-354		八反取り・ラチウチキ	△形・機	杵状 + 翼状・刃物 + 杵状 (鳥居形・柄)	翼状・刃物	鉄	鍛造品
P 082	I 農林業 3 肥培・管理 (3) 中耕除草	I-362		回転式中耕除草機・ラチウチキ・コロガシ	△形・機	杵状 + 翼状・刃物 + 杵状 (鳥居形・柄)	翼状・刃物	鉄	鍛造品
P 085	I 農林業 3 肥培・管理 (3) 中耕除草	I-372		回転式中耕除草機・ラチウチキ・コロガシ	△形・機	杵状 + 翼状・刃物 + 杵状 (鳥居形・柄)	翼状・刃物	鉄	鍛造品
P 087	I 農林業 3 肥培・管理 (3) 中耕除草	I-375		回転式中耕除草機・ラチウチキ・コロガシ	△形・機	杵状 + 翼状・刃物 + 杵状 (鳥居形・柄)	翼状・刃物	鉄	鍛造品
5-6 杵状 (立体) ※糸杵・田植杵・櫓・地機など									
P 527	VII 住 3 家具	VII-159		衣桁・サオンダイ	杵状	杵状 (+ 棧 2)・鳥居形・2 つ折り	杵状 (鳥居形)	木	組物
P 527	VII 住 3 家具	VII-160		衣桁・サオンダイ	杵状	杵状 (+ 棧 2)・鳥居形・2 つ折り	杵状 (鳥居形)	木	組物
P 042	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-180		鞍 (荷鞍)	杵状 (立体)	杵状 (立体・山形) + マット状	杵状	木 + 藁	組物
P 043	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-182		鞍 (耕鞍)	杵状 (立体)	杵状 (立体・山形) + マット状	杵状	木	組物
P 043	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-184		鞍 (耕鞍)	杵状 (立体)	杵状 (立体・山形) + マット状	杵状	木	組物
P 061	I 農林業 2 田植 (2) 田植用具	I-268		田植杵	杵状 (立体)	杵状・中棧 1 + 棒状	杵状	木 (杉)	組物
P 061	I 農林業 2 田植 (2) 田植用具	I-269		田植杵	杵状 (立体)	杵状 (立体・三角柱形)・中棧 8 組	杵状	木 (杉)	組物
P 061	I 農林業 2 田植 (2) 田植用具	I-270		田植杵	杵状 (立体)	杵状 (立体・三角柱形)・中棧 2 組	杵状	木 (杉)	組物
P 061 図 11	I 農林業 2 田植 (2) 田植用具	I-272		田植杵	杵状 (立体)	杵状 (立体・六角柱形)・中棧 7 組	杵状	木 (杉)	組物
P 064	I 農林業 2 田植 (2) 田植用具	I-288		苗担ぎ・ナエカズキ	杵状	板状 + 杵状 + 棚付 + 曲り木 2	杵状	木・枝・竹	板組
P 171	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I-687		縄縫り機・ナワヨリキ	複雑形 (機械)	杵状 (四角) + 板 2 + 棒状 (クランク) 3 組 = (機)		木	
P 188	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	II-013		糸杵	杵状	杵状 (立体) + 支柱 + 円筒形 (台)	杵状	木	組物
P 189	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	II-019		糸杵	杵状	杵状 (立体・X 字形 2 組 + 棒 4)	杵状	木	組物

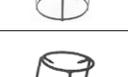
対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
水田の泥と 雑草	中耕・除草	(水田の株間を) 押し引きしながら 歩く	雑草を埋め込む	..	柄 (鳥居形)	..	加工 (加撃)	人 (手)
水田の泥と 雑草	中耕・除草	転がす・搔く	雑草を泥に押し込み、酸素を 供給	..	柄 (鳥居形)	..	加工 (加撃)	人 (手)
水田の泥と 雑草	中耕・除草	転がす・搔く	雑草を泥に押し込み、酸素を 供給	..	柄 (鳥居形)	..	加工 (加撃)	人 (手)
水田の泥と 雑草	中耕・除草	転がす・搔く	雑草を泥に押し込み、酸素を 供給	..	柄 (鳥居形)	..	加工 (加撃)	人 (手)
衣類	収納	置く・掛ける	掛ける	L字に開いて 立てる			収納支持	..
衣類	収納	置く・掛ける	掛ける	L字に開いて 立てる			収納支持	..
馬の背	馬に荷を運ばせる	馬の背にのせる	乗せる (馬の背に)・固定す る (荷を)	マット (藁製)	枠・縄 (馬の 背へ)	..	収納支持	馬 (背)
馬の背	馬に犁や馬鍬を曳 かせる	馬の背にのせる	装着する (犁や馬鍬の曳網を)	マット (藁製)	枠・縄 (馬の 背へ)	..	収納支持	馬 (背)
馬の背	馬に犁や馬鍬を曳 かせる	馬の背にのせる	装着する (犁や馬鍬の曳網を)	マット (ズック 製)	枠・縄 (馬の 背へ)	..	収納支持	馬 (背)
水田 (植え 田)	正条植え (苗を等 間隔に揃えて植え る) ための定規	田の面に置く	印をつける	..	持ち手2	..	情報	人 (手)
水田 (植え 田)	正条植え (苗を等 間隔に揃えて植え る) ための定規	転がす	印をつける	..	本体	..	情報	人 (手)
水田 (植え 田)	正条植え (苗を等 間隔に揃えて植え る) 用の定規	転がす	印をつける	..	本体	..	情報	人 (手)
水田 (植え 田)	正条植え (苗を等 間隔に揃えて植え る) ための定規	当てる・転がす	印をつける	..	本体	..	情報	人 (手)
苗束	運ぶ	苗をのせる・背負 う・運ぶ	背負う・運ぶ	..	縄 (背負縄) 2	..	移動運搬	人 (肩)
縄	太い縄をよる	(縄3本を) かける ・ (握り部を3本 同時に) まわす	縫 (よ) り合わせる	枠	板状 (穴3)・ クランク (握 り付) 3本1 組	..	加工 (加撃)	人 (手)
糸	糸紡ぎ	はめる・まわす	巻く・巻き取る	軸 (欠)	本体	..	収納支持	人 (手)
糸	糸紡ぎ	はめる・まわす	巻く・巻き取る	軸 (欠)	本体	..	収納支持	人 (手)

形態別一覧表：硬質系 5 枠状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 191	Ⅱ 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	Ⅱ-029		糸枠	枠状 (立体)	枠状 (立体・六角形板 2 + 棒 6)	枠状	木	組物
P 191	Ⅱ 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	Ⅱ-030		糸枠	枠状 (立体)	枠状 (立体・円盤 2 + 棒 8)	枠状	木	組物
P 191	Ⅱ 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	Ⅱ-031		罌枠・カセワク	枠状 (立体)	枠状 (立体・四角形・中棧 2×2 組)	枠状	木	組物
P 199	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-061		地機・ネマリバタゴ	枠状 (立体)	枠状 (立体・複雑系) (機)	枠状	木	組物
P 199	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-063		機織機・高機・ハタゴ	枠状 (立体)	枠状 (立体・複雑系) (機)	枠状	木	組物
P 199	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-064		機織機・高機・ハタゴ	枠状 (立体)	枠状 (立体・複雑系) (機)	枠状	木	組物
P 199	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-065		機織機・高機・ハタゴ	枠状 (立体)	枠状 (立体・複雑系) (機)	枠状	木	組物
P 202	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-074		中筒・中枠・ナカツツ	枠状 (立体)	枠状 (立体・三角柱形)	枠状	木	
P 213	Ⅱ 手工業 3 素麺 づくり	Ⅱ-109		干し枠・サンガイ	枠状	枠状 (平面・多棧形)	脚 (枠状)	木	
P 501	Ⅶ 住 2 暖房 (1) 囲炉裏	Ⅶ-055		ワタシ	枠状	枠状 (扇形・多棧) + 棒状 (脚) 4 + 棒状	棒状 (脚)	鉄	
P 508	Ⅶ 住 2 暖房 (2) 行火	Ⅶ-080		行火・アンカ	枠状 (立体)	枠状 (立体・六角形板 2 + 棒 12)	枠状 (立体)	木 + やきもの	
P 504	Ⅶ 住 2 暖房 (2) 炬燵	Ⅶ-063②		炬燵の金網	枠状 (格子状) + 網状 (金網)	枠状 (格子状・4×4) + 網状 (金網)	網状	木・鉄	
P 505	Ⅶ 住 2 暖房 (2) 炬燵	Ⅶ-068		炬燵槽	枠状 (立体)	枠状 (立体・格子状・4×4) + 棒状脚	枠状 (脚)	木	
P 508	Ⅶ 住 2 暖房 (2) 行火	Ⅶ-083		置炬燵・コタツヤグラ	枠状 (立体)	枠状 (立体・格子状) + 棒状脚	枠状	木	
P 506	Ⅶ 住 2 暖房 (2) 炬燵	Ⅶ-075		豆炭炬燵	枠状	枠状 + 棒 (脚 4)・加熱部 (機械)	棒状 (脚)	木	

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
糸	糸紡ぎ	はめる・まわす	巻く・巻き取る	軸（欠）	本体	..	収納支持	人（手）
糸	糸紡ぎ	はめる・まわす	巻く・巻き取る	軸（欠）	本体	..	収納支持	人（手）
糸	糸紡ぎ	はめる・まわす	巻く・巻き取る（総をつくる）	軸	本体	..	収納支持	人（手）
糸	機織り	かける・織る	織る	脚	..	..	加工（加撃）	人（手）
糸	機織り	かける・織る	織る	脚	..	..	加工（加撃）	人（手）
糸	機織り	かける・織る	織る	脚	..	..	加工（加撃）	人（手）
糸	機織り	かける・織る	織る	脚	..	..	加工（加撃）	人（手）
糸（経糸）	機織り	はさみこむ・分ける （経糸を上下に）	分ける	..	本体	..	収納支持	人（手）
素麺	素麺づくり	のせる	乾燥させる	脚（棒状）	..	..	収納支持	人（手）
食品	暖房・調理	据える・乗せる	載せる・支える	棒状（脚）	握り		加工（受動）	火（囲炉裏）
炭火を入れた壺	暖房	いれる	支える・暖をとる		本体		防御緩衝	熱（炭火・燠（おき））
炬燵の炉	暖房	据える・乗せる	被せる・まもる	棒状	本体		防御緩衝	熱（炭火）
握り炬燵	暖房	かぶせる	支える	棒状（脚）	本体		防御緩衝	熱（炭火）
炭火を入れた壺	暖房	いれる・布団をかぶせる	支える・暖をとる		本体		防御緩衝	熱（炭火・燠（おき））
豆炭の炉	暖房	いれる	支える	棒状（脚）	本体		防御緩衝	熱（豆炭の火）

形態別一覧表：硬質系 6 輪状・車状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
6-1 輪状のもの									
P 047	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-201		轡 (くつわ)・ハミと カナワ	輪状・鎖状	輪状・鎖状	輪状	鉄	
P 181	I 農林業 9 林業	I-726		環・カン	輪状	輪状+釘状		鉄	鍛造
P 103	I 農林業 3 肥培 ・管理 (3) 中耕 除草	I-423		防護面	器状	輪状 (碗形)		鉄 (針金)	編組
P 171	I 農林業 6 薬仕 事 (2) 薬加工	I-689		棧俵 (さんだわら) の 型	輪状	輪状+棒状 (細棒が立つ棒 を輪の中に渡す)	輪状	鉄	
P 242	III 諸職 3 壁塗 (左官)	III-090		竹割り	輪状	輪状+棒	輪形 (中に放射状に刃)+ 両側に握り柄)	鉄	
P 393	V 衣 6 履物	V-479		標 (かんじぎ)	輪状	輪状		木	
P 404	V 衣 9 裁縫	V-528		刺繍の枠	輪状	輪状		木	
P 413	VI 食 1 炊事・調理 (1) 鍋釜	VI-029		釜のアシ	輪状	輪状・棒状	脚 (輪+棒 4)	鉄	
P 514	VII 住 2 暖房 (3) 火鉢	VII-107		五徳・サントク	輪状	輪状+棒 3 本	棒状 (脚) 2 状	鉄	
P 514	VII 住 2 暖房 (3) 火鉢	VII-108		五徳・サントク	輪状	輪状+棒 3 本	棒状 (脚) 3 状	鉄	
P 555	VIII 移動運搬 10 モッコ	VIII-060		イシモッコ	輪状	輪状 (番線・藁)+縄状		番線+藁	
6-2 車状のもの (回転軸がつくもの)									
P 155	I 農林業 5 動力	I-629		プーリー	車輪状	輪状+十形		鉄	鋳物
P 156	I 農林業 5 動力	I-635		水車の砥石	塊状・車輪状	円盤状・車輪状		石	
P 195	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	II-046		糸車	輪状 (立体)	輪状		木	
P 197	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	II-055		糸車	輪状 (立体)	輪状・車状		木	
P 197	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	II-056		リュウゴ	塊状 (車輪状)	塊状 (車輪状)	車状	木	挽物
P 197	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	II-057		リュウゴ	塊状 (車輪状)	塊状 (車輪状)	車状	木	挽物

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 /基本機能2	動力主体・ エネルギー源
馬の口	はめる→手綱をつける→馬を操る(繋ぐ・引き歩く)	馬の口に噛ませる・頭絡につなぐ・手綱をつける(?)	着ける(馬の口に噛ませる・手綱を)	..	本体(輪・縄)	..	収納支持	馬(口)
材木	造林・材木移動	打ち込む・縄をかける・曳く	曳く(縄をかけて)	..	..	..	移動運搬	..
顔面	中耕・除草	かぶせる	防ぐ(眼を傷つけるのを)・守る(眼を)	..	紐	..	収納支持	人(顔)
藁	棧俵(俵の円盤型の蓋)を編む	藁をねじりながら巻き付ける	編む(棧俵を)		本体		収納支持	
竹材	小舞竹をつくる	差し込む	割る	..	握り2	..	加工(加撃)	人(手)
身体(足)	身体の保護・歩行(履物)	履く	歩く・護る				防御緩衝	人(足)
布	裁縫・衣料の調整	はめる	刺繍をする				加工(加撃)	人(手)
大釜	炊事・調理	乗せる	火にかける	脚(輪+棒4)			収納支持	..
鍋釜	暖房	のせる	支える	棒状(脚)2	本体		収納支持	火(囲炉裏の火)
鍋釜	暖房	のせる	支える	棒状(脚)3	本体		収納支持	火(囲炉裏の火)
石	移動・運搬	のせる・天秤棒で担ぐ	運ぶ				移動運搬	人(肩・棒)
ベルト	動力伝達	まわす	力を伝える	軸(欠)	..	..	移動運搬	水(水車)
鎌の刃など	研ぐ	まわす	研ぐ	本体	本体	..	加工(加撃)	人(手)
糸(緯糸)	糸紡ぎ	まわす	撚りをかける・巻く	台	握り	..	収納支持	人(手)
糸(緯糸)	糸紡ぎ	まわす	撚りをかける・巻く	台	握り	..	収納支持	人(手)
管	糸紡ぎ	はめる(糸車に)・まわす	撚りを掛ける(糸に)	軸	..	..	収納支持	人(手)
糸	糸紡ぎ	はめる(糸車に)・まわす	撚りを掛ける(糸に)	軸	..	..	収納支持	人(手)

形態別一覧表：硬質系 6 輪状・車状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 498	Ⅶ住 2 暖房 (1) 囲炉裏	Ⅶ-040		自在鉤・カンサマ	車状 + 棒状 + 縄	車状 + 棒状 + 縄状	鉤状 (打物)	鉄	
P 517	Ⅶ住 3 設備 (1) 井戸	Ⅶ-114		井戸の滑車	車輪状	車輪状 + 鉤状	鉤状	木	挽物
P 516	Ⅶ住 3 設備 (1) 井戸	Ⅶ-111		井戸の滑車・イケノカッシャ	枠状	枠状 + 車輪状	車状 + 枠状	木	挽物
P 517	Ⅶ住 3 設備 (1) 井戸	Ⅶ-113		井戸の滑車・イケノカッシャ	枠状	枠状 + 車輪状	車状 + 枠状	木	挽物
P 555	Ⅷ移動運搬 11 滑車	Ⅷ-062		滑車	枠状	枠状 + 車輪状 + 釣手		木	挽物
P 556	Ⅷ移動運搬 11 滑車	Ⅷ-066		二重滑車・ダルマ	枠状	枠状 + 車輪状 2 + 鉤状		木	挽物
P 541	Ⅷ移動運搬 1 荷車	Ⅷ-002		一輪車	枠状	枠状 + 車輪状		木	
P 541	Ⅷ移動運搬 1 荷車	Ⅷ-003		荷車・リヤカー	枠状	枠状 + 車輪状		鉄	
P 573	Ⅸ社会生活 3 産育	Ⅸ-044		乳母車	器状	箱状 (編組) + 車輪		籐	編組

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 /基本機能2	動力主体・ エネルギー源
鉄瓶など	暖房・調理	吊るす	吊るす		本体		収納支持	..
釣瓶	水を確保	吊り下げる・上げる	吊り下げる・吊り上げる				移動運搬	重力（滑車）
釣瓶桶	水を確保	掛ける	吊り下げる・吊り上げる				移動運搬	重力（滑車）
釣瓶桶	水を確保	掛ける	吊り下げる・吊り上げる				移動運搬	重力（滑車）
(簡単なもの)	移動・運搬	縄で縛る	吊り上げる				移動運搬	重力（滑車）
材木など重いもの	移動・運搬	縄で縛る	吊り上げる（荷を）				移動運搬	重力（滑車）
肥料や農作物	移動・運搬	載せる・押す・運ぶ	運ぶ（荷物を載せて）				移動運搬	人+車
米俵や肥料など	移動・運搬	載せる・曳く・運ぶ	運ぶ（荷物を載せて）				移動運搬	人+車
赤ん坊	育児	入れる・のせる	運ぶ				移動運搬	人（手）+車

形態別一覧表：硬質系 7 筒状・管状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
細長い筒状・パイプ状（容器一般は除く）									
P 503	Ⅶ住 2 暖房 (1) 囲炉裏	Ⅶ-060		火吹竹	筒状	筒状・管形（竹筒）	筒状	竹	
P 483	Ⅵ食 4 嗜好 (2) 煙草	Ⅵ-328		煙管	棒状	棒状・筒形	筒状	金属・竹	
P 253	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-134		ドンボ	筒状	円錐形（鉄板）	筒状	鉄	打物
P 058 図 10	Ⅰ農林業 2 田植 (1) 苗代	Ⅰ-257		燻炭の煙突	筒状	筒状・円筒形（打物）+皿形（打物）	筒状	トタン	打物
P 225	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-038		墨壺の水差	円筒状	円筒形・竹筒		竹	竹筒
P 439	Ⅵ食 1 炊事・調理 (3) 調理具	Ⅵ-145		漉桶	筒状	筒状・円筒形（結物）中に砂利	桶状	木	結物
P 464	Ⅵ食 2 飲食 (4) その他	Ⅵ-246		杓子立て・ハンガイタテ	器状	筒状（竹筒）	筒状	竹	竹筒
P 530	Ⅶ住 3 家具	Ⅶ-176		矢立て	筒状（打物・銅）	筒状（打物・銅）	器状+筒状	金属	打物
P 569	Ⅸ社会生活 2 嫁入り	Ⅸ-030		水合せの筒	円筒状	円筒形・竹筒	筒状	竹	竹筒
P 077	Ⅰ農林業 3 肥培 ・管理 (2) 防除	Ⅰ-346②		噴霧器のノズル	棒状（筒）	筒状・棒形	棒状	鉄	
P 078	Ⅰ農林業 3 肥培 ・管理 (2) 防除	Ⅰ-349②		散布機のノズル	棒状（筒）	筒状・棒形	筒状	鉄	

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
息	暖房・調理	吹きこむ	吹く・火を起こす	..	本体		加工（加撃）	空気（息）
煙草の葉	嗜好	詰める・点火する	吸う	..	本体		移動運搬	人（手）
鏝や矢	鏝・矢に焼きを入れる	入れる・握る	火に入れる	..	本体（筒）	..	加工（加撃）	人（手）
糶殻	糶す（糶炭をつくる）	積んだ糶殻の中に基部を埋める	通気する（糶殻を燃やすときに煙突として）	本体	本体	蓋なし	加工（加撃）	火（糶炭）
水	墨をする	入れる	入れる・そそぐ	..	本体	..	収納支持	人（手）
水	炊事・調理	入れる・通す	濾過する	..	本体		選別	重力（浸透・落下）
杓子	飲食	入れる	入れる	釘穴	本体		収納支持	重力
筆・墨汁	収納	入れる・腰につける	運ぶ・文字を書く	..	本体		情報	人（手・腰）
水	祝儀・婚礼	（嫁入りの水合わせの儀式に）注ぐ	飾る・祝う	..			情報／防御緩衝	重力
薬（液体）	害虫防除	撒く	防ぐ（害虫を）	..	握り	..	移動運搬	人（手）
薬（液体）	害虫防除	撒く	防ぐ（害虫を）	..	本体	..	移動運搬	人（手）

形態別一覧表：硬質系 8 塊状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+ 支持部) + 身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
全体が硬質									
P 137	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-562		土臼・粳摺臼		塊状・円筒形 (編組) + 板状		竹・土	編組
P 153	I 農林業 4 収穫 (5) 精米	I-621		石臼	円筒形	塊状・鉢形 (上面が四角)		石	彫物
P 156	I 農林業 5 動力	I-635		水車の砥石	塊状・車輪状	円盤状・車輪状		石	彫物
P 159	I 農林業 6 薬仕事 (1) 薬調整	I-641		薬すぐり・ゾーズヌキ		塊状 (直方体) + 縄		木	彫物
P 159	I 農林業 6 薬仕事 (1) 薬調整	I-642		薬打石		塊状 (台形・自然石)		石	自然石
P 587	IX 社会生活 8 遊び	IX-091		盤持石・パンブチイシ	塊状	自然石		石	自然石
P 271	IV 商業	IV-004②		竿秤の分銅	塊状	塊状・円筒形 (鋳物)		木+鉄	鋳物
P 425	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	VI-083		石臼	塊状・円筒形	塊状・円筒形 (彫物) 2 段		石	彫物
P 474	VI 食 3 保存・醸造 (3) 豆腐作り	VI-290		豆腐の石臼	塊状・円筒形	円筒形		石	彫物
P 501	VII 住 2 暖房 (1) 囲炉裏	VII-054		串立て・アブリコ	塊状	直方体		石 (金屋石)	彫物
P 564	IX 社会生活 1 村のくらし	IX-012		穴あき石	塊状	自然石		石	自然石
P 574	IX 社会生活 4 行事	IX-046		独楽	塊状・円錐形	塊状・円錐形 + 鉄棒 (軸)		木	挽物
P 593	IX 社会生活 11 学校	IX-119		校印	塊状	直方体 + 棒状		木	彫物
P 167	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I-671		槌の子・ツツノコ	塊状	塊状 (板状)		木	削出
P 168	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I-673		槌の子・ツツノコ	塊状	塊状 (自然石)		木	削出
P 178	I 農林業 9 林業	I-713		鉋受け台	塊状	塊状 (円盤状)		木	切断
P 224	III 諸職 2 大工	III-033		墨壺 (すみつぼ)	塊状	塊状 (彫物) + 糸		木	彫物

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
粃	脱穀・調整（粃摺り）	いれる・まわす	摺る・わける	..	持ち手2	本体	選別	人（手）
玄米	精米（精白）	いれる	搗く（水車杵で）	..	縁（本体）	縁（本体）	加工（加撃）	..
鎌の刃など	研ぐ	まわす	研ぐ	..	本体	..	加工（加撃）	人（手）
藁	藁細工（藁すぐり）	押さえる・しごく（擦る）	取る（藁芯のはかまを）	..	本体	本体	選別	人（手）
藁	藁を柔らかくする	のせる（藁束を）	叩く・潰す・柔らかくする	..	..	本体	加工（受動） ／収納支持	..
若衆	遊戯	持ち上げる	力を競う	..			情報	人（手）
秤	商売をする	竿に吊り下げてバランスをとる	はかる（重さ）	..			情報	人（手）+重力（天秤）
米・大豆・蕎麦	炊事・調理	挽く	粉を挽く	..	本体		加工（加撃）	人（手）
ふやけた大豆	豆腐づくり	播る	呉汁をつくる	..			加工（加撃）	人（手）
魚串	暖房・調理	すえる・さす	焼く	..			加工（受動） ／収納支持	火（囲炉裏）
..	祈願	祠に吊るす	祈る（耳の病に）	..			情報	..
..	遊戯	まわす	遊ぶ	..			情報	人（手）
印	印を押す	押す	証明する	..			情報	..
縄	俵を編む	（縄を）巻きつける→俵編機（アマタボウ）で俵籠（ナワテゴ）を編む	編む	..	本体	縄	加工（加撃）	人（手）
縄	俵を編む	（縄を）巻きつける→俵編機（アマタボウ）で俵籠（ナワテゴ）を編む	編む	..	本体	縄	加工（加撃）	人（手）
杭など	杭づくり	材をのせる・あてる	切る・削る	..	..	本体	収納支持／加工	..
材木	墨付け	（墨をつけた）糸を張り・はじく	印す（線を）	..	本体	..	情報	人（手）・車

形態別一覧表：硬質系 8 塊状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 255	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-142		墨壺 (すみつぼ)	塊状 (くぼみ有)			木	彫物
P 225	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-039		錘重 (すいじゅう)・サゲフリ	塊状	塊状・円錐形 (鋳物)+糸		鉄	鋳物
P 255	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-143		錘重 (さげふり)	塊状	塊状・円錐形+糸		真鍮	鋳物
作用部が塊状									
P 126	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-509		叩き杵・ポータガチネ	L形	塊状 (円筒)+棒状		木	削出
P 127	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-519		叩き杵・ポータガチネ	T形	塊状 (円筒)+棒		木	削出
P 150	I 農林業 4 収穫 (5) 精米	I-610①		フンガチ (米搗き) の杵	L形	塊状 (円筒形)+棒状		木	削出
P 151	I 農林業 4 収穫 (5) 精米	I-612		米搗き杵	L形	塊状+棒状		木	削出
P 159	I 農林業 6 薬仕事 (1) 薬調整	I-643		木槌 (横槌)		塊状 (円筒+棒)		木	削出
P 182	I 農林業 9 林業	I-731		掛矢・カケヤ	塊状	塊状+棒状		木	削出
P 197	Ⅱ 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	Ⅱ-056		リュウゴ	車状+	塊状 (車状)+串状		木	
P 197	Ⅱ 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	Ⅱ-057		リュウゴ	車状+	塊状 (車状)+串状		木	
P 237	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-071		金槌	T形	槌形)：塊状・円筒形 (打物)+棒状		鉄	鍛造品
P 238	Ⅲ 諸職 2 大工	Ⅲ-072		木槌 (きづち)・サイツツ	T形	槌形)：塊状・円筒形 (削出)+棒状		木	削出
P 249	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-115		玄能 (げんのう)	T形	槌形)：塊状+棒状		鉄	鍛造品
P 249	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-116		石刀 (せつとう)	T形	槌形)：塊状+棒状		鉄	鍛造品
P 256	Ⅲ 諸職 6 桶屋	Ⅲ-145		木槌	T形	槌形)：塊状+棒状		木	削出
P 256	Ⅲ 諸職 6 桶屋	Ⅲ-147		金槌	T形	槌形)：塊状+棒状		鉄	鍛造品

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 /基本機能2	動力主体・ エネルギー源
墨	石工	入れる・糸につける	線をひく	..		..	情報	人(手)
錘(本体)	垂直を測る	吊り下げる	測る(垂直を)	..	糸(吊り糸)	..	情報	人(手)・重力
錘	石工	ぶらさげる	垂直を確かめる	..		..	情報	人(手)
ボータ(扱 落した稾や 穂等)	脱穀	カット(叩く・搗く)	脱穀する	..		..	加工(加撃)	人(手)
ボータ(扱 落した稾や 穂等)	脱穀	カット(叩く・搗く)	脱穀する	..		..	加工(加撃)	人(手)
玄米	玄米を搗く(コメ カチ)	踏む	搗く・打つ	..	柄	..	加工(加撃)	人(手)+重力 (天秤)
玄米	精米(精白)	打つ・打ち下ろす	搗く・打つ	..	柄	..	加工(加撃)	人(手)
藁	藁を柔らかくする	叩く	叩く・潰す・柔らかくする	..	握り	..	加工(加撃)	人(手)
杭・くさび など	杭・楔を打つ・薪 を割る	叩き下ろす・打つ	叩く	..	柄	..	加工(加撃)	人(手)
管	糸紡ぎ	はめる(糸車に)・ まわす	撚りを掛ける(糸に)	..	..	軸	収納支持	人(手)
糸	糸紡ぎ	はめる(糸車に)・ まわす	撚りを掛ける(糸に)	..	..	軸	収納支持	人(手)
鑿	鑿を叩く	あてる(鑿の頭に)	叩く	..	柄	..	加工(加撃)	人(手)
木釘・板材 など	木釘・板材を叩く	(組み物などを)	叩く・組む	..	柄	..	加工(加撃)	人(手)
石	石を削る・割る	叩く(矢・コヤス ケの頭を)	割る(石を)	..	柄※グミ・ミ ズキ・マンサ ク・ヤマボウ シなど	..	加工(加撃)	人(手)
石	石を削る・割る	叩く(矢・コヤス ケの頭を)	割る(石を)	..	柄	..	加工(加撃)	人(手)
桶材・籠	桶づくり	矢板で叩く	叩き締める※使い分け不明	..	柄	..	加工(加撃)	人(手)
桶材・籠	桶づくり	矢板で叩く	叩き締める※使い分け不明	..	柄	..	加工(加撃)	人(手)

形態別一覧表：硬質系 9 自然物・人工物の形象

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
<b>9-1 動物・架空の動物</b>									
P 273	Ⅳ 商業	Ⅳ-012		薬屋の看板	形象	形象（亀甲形）+文字	板状（円形・文字あり）	木	削出
P 499	Ⅶ住2 暖房 (1) 囲炉裏	Ⅶ-045		自在鉤の横木	形象	形象（立体）・魚形		木	彫物
P 574	Ⅸ社会生活 4 行事	Ⅸ-045		初午の頭	形象	形象・馬形	馬形	藁	編組
<b>9-2 人像（人形・神像）</b>									
P 574	Ⅸ社会生活 4 行事	Ⅸ-047		天神様	形象	形象・人形	人形	木	彫物
P 575	Ⅸ社会生活 4 行事	Ⅸ-049		雛人形	形象	形象・人形	人形	木・繊維	彫物
P 575	Ⅸ社会生活 4 行事	Ⅸ-050		雛人形	形象	形象・人形	人形	木・繊維	彫物
P 588	Ⅸ社会生活 9 土人形	Ⅸ-097		天神像	形象	形象・人形	人形	土（素焼き）	焼物
<b>9-3 人工物 建造物</b>									
P 404	V衣9 裁縫	V-529		裁縫の雛形	衣状	筒形（袴形）ミニチュア		繊維	縫物
P 574	Ⅸ社会生活 4 行事	Ⅸ-047		天神堂	形象	形象・人形	人形	木	彫物
P 563	Ⅸ社会生活 1 村のくらし	Ⅸ-009①		宮の本殿	形象 (立体)	形象（立体）・屋形	屋形	木	指物
P 564	Ⅸ社会生活 1 村のくらし	Ⅸ-010		唐櫃	形象 (立体)	形象（立体）・屋形	屋形	木	指物
P 576	Ⅸ社会生活 4 行事	Ⅸ-052		墓燈籠	形象	形象・屋形	屋形	木	指物
P 569	Ⅸ社会生活 2 嫁入り	Ⅸ-029		宝船	形象 (立体)	形象（立体）・屋形	舟形	藁	編組
<b>9-4 自然物（星など）・抽象形</b>									
P 569	Ⅸ社会生活 2 嫁入り	Ⅸ-028		熨斗	形象	形象・（飾り）	抽象形	紙	折紙
P 570	Ⅸ社会生活 2 嫁入り	Ⅸ-032		熨斗	形象	形象・（飾り）	抽象形	紙	折紙

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
店の名	商売をする	吊り下げる	示す・表示する	..	..		情報	..
鉤棒	暖房・調理	通す・動かす	支える・(高さを)調節する	(鉄棒+縄)			収納支持	..
..	行事	子供たちが持って家々を訪ねる	祈願する	..	..		情報	..
..	祈願	まつる・遊ぶ	まつる・遊ぶ	..	..		情報	..
..	行事	まつる・遊ぶ	まつる・遊ぶ	台	..		情報	..
..	行事	まつる・遊ぶ	まつる・遊ぶ	..	..		情報	..
..	遊戯	まつる・遊ぶ	遊ぶ	..	..		情報	..
衣類	裁縫・衣料の調整	かたどる	見本にしてつくる	..	..		加工(加撃)	人(手)
..	祈願	まつる・遊ぶ	まつる・遊ぶ	..	..		情報	..
神霊	祭祀	据える・祀る	拝む・祈る	脚4	..		情報	..
供物	運搬・移動	いれる・担ぐ	運ぶ	脚4	..		情報	..
..	行事	墓に吊るす・照らす	まつる	..	..		情報／防御緩衝	火(蠟燭)
..	祝儀・婚礼	(結納時に)飾る	飾る・祝う	..	..		情報	..
重箱	祝儀・婚礼	(重箱に)載せる	飾る・祝う	..	..		情報	..
銚子	祝儀・婚礼	添える・飾る	飾る・祝う	..	..		情報	..

形態別一覧表：硬質系 10 機械・器械のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
<b>10-1 箱状の器械 中に回転機構やピストンなどの仕掛けが隠れているもの ※箱状「3-6 ブラックボックス (箱状の機械)」も参照</b>									
P 262	Ⅲ 諸職 7 鍛冶屋	Ⅲ-164		鞆 (ふいご)	箱形	箱形 (板組)・機	箱形	木・皮・ガラス	板組
P 262	Ⅲ 諸職 7 鍛冶屋	Ⅲ-165		鞆 (ふいご)	箱形	箱形 (板組)・機	箱形	木・皮・ガラス	板組
P 132	Ⅰ 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-544		唐箕	箱形	箱形 (板組)+回転板・機	箱形	木	板組
P 136	Ⅰ 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-558		唐箕	箱形	箱形 (板組)+回転板・機	箱形	木	板組
P 104	Ⅰ 農林業 3 肥培 ・管理 (4) 灌溉	I-424		踏車・フミグルマ	箱形	箱形 (楯形)+板 (回転翼)・機	箱形	木	板組
P 104	Ⅰ 農林業 3 肥培 ・管理 (4) 灌溉	I-426		龍骨車・リュウコッシャ	箱形	箱形 (楯形)+板 (キャタピラ状)・機	箱形	木	板組
P 176	Ⅰ 農林業 8 養蚕	I-704		毛羽取機	箱形	箱形・機	箱形	竹+木	
P 418	Ⅵ 食 1 炊事・調理 その他	Ⅵ-054		オープン	箱形[機]	箱形・打物・機		ブリキ	打物
P 592	Ⅸ 社会生活 11 学校	Ⅸ-114		蓄音器	箱形[機]	箱形・機		..	板組
P 592	Ⅸ 社会生活 11 学校	Ⅸ-115		蓄音器	箱形[機]	箱形・機		..	板組
<b>10-2 枠状の器械</b>									
P 165	Ⅰ 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I-664		俵編機・タワラアミキ		板状+金具+脚 2・機		木	
P 169	Ⅰ 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I-678		苳機 (むしろばた)・ムシロバタゴ		枠状 (立体・複雑)・機		木	
P 199	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-061		地機・ネマリバタゴ	枠状 (立体)	枠状 (立体)・機		木	組物
P 199	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-063		機織機・高機・ハタゴ	枠状 (立体)	枠状 (立体)・機		木	組物
P 199	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-064		機織機・高機・ハタゴ	枠状 (立体)	枠状 (立体)・機		木	組物
P 199	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	Ⅱ-065		機織機・高機・ハタゴ	枠状 (立体)	枠状 (立体)・機		木	組物

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 /基本機能2	動力主体・ エネルギー源
空気	鍛冶	おす・ひく	空気を送る・火を起こす	台	握り	蓋(天板)	加工	人(手)
空気	鍛冶	おす・ひく	空気を送る・火を起こす	台	握り	蓋(天板)	加工	人(手)
糞と藁屑	選別	いれる・まわす	煽る・わける	脚(棒状)2+ 脚(棒状)2	持ち手2+ハ ンドル	天板	選別	人(手)+風 (回転翼)
糞と藁屑	選別	いれる・まわす	煽る・わける	脚(棒状)4	ハンドル	天板	選別	人(手)+風 (回転翼)
用水の水	灌漑	羽根を足で踏んで 回転させる	用水から水を田に入れる	支柱(欠)	支柱(欠)+ 板(踏み板)	蓋なし	移動運搬	人(足)
用水の水	灌漑	ハンドルで蛇腹状 の板を回線させる	用水から水を田に入れる	支柱(欠)	支柱(欠)+ 板(踏み板)	蓋なし	移動運搬	人(足)
繭	養蚕(選別)	のせる・回す	取る(繭の毛羽)	箱形	本体+ハンド ル	..	加工	人(手)+パネ ル
パンなど	炊事・調理	いれる	焼く	蓋(板状)	持ち手(コ字 状)2		加工 (受動的)	熱(電気)
音	通知(学校)	レコードを回す・ 針を置く	伝える				情報	電気
音	通知(学校)	レコードを回す・ 針を置く	伝える				情報	電気
藁	俵を編む	(藁3本を)のせる ・2つ4組のツ ツノコの堅縄で交 互に)挿む→編む	編む	脚(台木+棒) 2	(ツツノコ欠)	..	加工	人(手)
縄と藁	筵・仄を織る	縄をかける・織る	織る	脚	棒状	..	加工	人(手)
糸	機織り	かける・織る	織る	脚	..	..	加工	人(手)
糸	機織り	かける・織る	織る	脚	..	..	加工	人(手)
糸	機織り	かける・織る	織る	脚	..	..	加工	人(手)
糸	機織り	かける・織る	織る	脚	..	..	加工	人(手)

形態別一覧表：硬質系 10 機械・器械のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
<b>10-3 ㄏ形の器械類</b>									
P 028	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	I -119		溝上げ機・カルチベーター	ㄏ形	犁形 (鏡状+枠状+棒状+車輪)・機	柄物	鉄	鋳物
P 038	I 農林業 1 耕耘 (2) 碎土・代掻	I -163		回転式碎土機	ㄏ形	ㄏ形 (機)	鎌状 (刃物)	鉄	鍛造品
P 078	I 農林業 3 肥培 ・管理 (2) 防除	I -350		ウンカ捕獲機	複雑形 [機]	機	柄物	鉄	鍛造品
P 080	I 農林業 3 肥培 ・管理 (3) 中耕 除草	I -354		八反取り・ラチウチキ	ㄏ形	枠状※・機	柄物	鉄	鍛造品
<b>10-4 その他の形状の器械 (複雑形)</b>									
P 154	I 農林業 5 動力	I -624		螺旋水車	複雑形 [機]	らせん形・機		木	板組
P 154	I 農林業 5 動力	I -625		螺旋水車	複雑形 [機]	らせん形・機		鉄	板組
P 078	I 農林業 3 肥培 ・管理 (2) 防除	I -349		散布機	器状	箱形 (板組)・機	箱形	鉄 (ブリキ)	打物
P 116	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I -468		回転式足踏み脱穀機	複雑形 [機]	円筒状 (回転ドラム)+機		木・鉄	
P 119	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I -481		動力脱穀機	複雑形 [機]	機		木・鉄	
P 141	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I -575		米選機・ベイセンキ	複雑形 [機]	機		木・鉄 (鋼線)	
P 148	I 農林業 4 収穫 (4) 収納運搬	I -605		収締め機	複雑形 [機]	機		鉄	
P 153	I 農林業 4 収穫 (5) 精米	I -622		精米機	複雑形 [機]	機		鉄+木	
P 157	I 農林業 5 動力	I -636		発動機	複雑形 [機]	機		鉄	
P 160	I 農林業 6 薬仕事 (1) 薬調整	I -646		薬打機	複雑形 [機]	機		鉄+木	
P 161	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	I -648		縄ない機	複雑形 [機]	枠状 (立体)・機		鉄+木	
P 176	I 農林業 8 養蚕	I -703		簇折機・マブシツクリキ	複雑形 [機]	機		鉄	

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 /基本機能2	動力主体・ エネルギー源
畑の土・球根類	うね立て・溝上げ・球根掘り	馬に曳かせる	掘る・起こす・掘り取る		握り	柄身(直材)	加工	馬+人(手)
(スキで起こした)田畑の土	碎土・代掻き	牛馬に曳かせる、土を掻く	碎く	台木	柄(鳥居形)		加工(加撃)	馬+人(手)
害虫(ウンカ)	害虫捕獲	押し歩く	茎や穂を振るって虫を払い落とし「舟」に受ける		柄(鳥居形)	本体	加工	人(手)
水田の泥と雑草	中耕・除草	(水田の株間を)押し引きしながら歩く	雑草を埋め込む		柄(鳥居形)	..	加工	人(手)
脱穀機・唐箕など	動力を生む	まわす	動かす		支柱(杵状)欠	..	移動運搬	水(水車)
脱穀機・唐箕など	動力を生む	まわす	動かす		支柱(杵状)欠	..	移動運搬	水(水車)
薬(液体)	害虫防除	薬剤を入れたタンクを担ぎ、片手でレバーを動かし、もう一方の手でノズルを持って薬剤を対象物に散布する	防虫		本体	縄(背負縄)	移動運搬	人(背+手)
稲穂	脱穀	踏む・掛ける・扱く	扱く・分ける	..	本体	..	加工	人(手+足)+回転ドラム
稲穂	脱穀	入れる	扱く・分ける	..	本体	..	選別	発動機(石油)
玄米	選別・玄米中の屑米を仕分ける	入れる	とおす・わかる	脚(杵状)	..	..	選別	人(手)+重力(流下)
吠	収納	締める	縄を締める	..	握り	..	加工	人(手)+梃子
玄米	精米(精白)	入れる	搗く	台(杵状)	..	..	加工	水車・発動機
精米機など	動力を生む	まわす	動かす(石油で?)	台(杵状)	..	..	..	石油(発動機)
藁	藁を柔らかくする	(藁束を)はさむ・まわす	(ローラーで)潰す・柔らかくする	脚4	輪状(ハンドル)	..	加工	人(手)+ローラー
藁	縄をなう	(藁束を)差し込む・(バダルを踏む)→(ロールを)まわす	(藁縄を)なう	脚(杵状)	板状(踏み板)	..	加工	人(手+足)+歯車
藁	(養蚕用の)まぶしを作る	(藁を)折る	作る(まぶしを)	脚+台	..	..	加工	人(手)

形態別一覧表：硬質系 10 機械・器械のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 192	Ⅱ 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	Ⅱ-037		糸巻機・座繰器	複雑形 [機]	板状+棒状+円盤状・機		木	組物
P 212	Ⅱ 手工業 3 素麺 づくり	Ⅱ-107④		素麺延ばし機	複雑形 [機]	機		鉄	
P 213	Ⅱ 手工業 3 素麺 づくり	Ⅱ-108		素麺延ばし機	複雑形 [機]	機		鉄	
P 213	Ⅱ 手工業 3 素麺 づくり	Ⅱ-110		素麺ラベルの印刷機		機		鉄	
P 273	Ⅳ 商業	Ⅳ-009		上皿天秤		複雑系 (皿形 2 + 天秤)・ 機		金属	打物
P 403	V 衣 9 裁縫	V-524		足踏みミシン	複雑形 [機]	機		鉄	
P 404	V 衣 9 裁縫	V-526		箱型ミシン	複雑形 [機]	機		鉄	
P 419	Ⅵ 食 1 炊事・調理 釜	Ⅵ-055		電気釜	複雑形 [機]	鉢形・機		アルミ	鋳物
P 438	Ⅵ 食 1 炊事・調理	Ⅵ-140		製麺機・ソバコシキ	複雑形 [機]	機		鉄	
P 536	Ⅶ 住 3 家具	Ⅶ-201		電話機	複雑形 [機]	機		樹枝・金属	
P 536	Ⅶ 住 3 家具	Ⅶ-202		電話機	複雑形 [機]	機		樹脂など	
P 588	Ⅸ 社会生活 8 遊び	Ⅸ-96		カメラ	箱形[機]	箱形・機		金属	

対象物	作業目的	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1 ／基本機能2	動力主体・ エネルギー源
糸（総くかせ）	糸紡ぎ	はめる・まわす	（小枠に）巻く・巻きかえす	台	円盤状+握り	..	加工	人（手）
素麺生地	素麺づくり	いれる	細くのばす	脚（枠状）2	握り	..	加工	人（手）・歯車
素麺生地	素麺づくり	いれる	細くのばす	台（枠状）	握り	..	加工	人（手）・歯車
ラベル 商標など	素麺づくり	セットする	印刷する	脚（枠状）	..	..	加工	人（手）・梘子
薬品	商売をする	皿にのせる	はかる（重さ）				情報	人（手）+重 力（天秤）
衣類	裁縫・衣料の調整	縫う	縫う				加工	人（手・足）・ 車
衣類	裁縫・衣料の調整	縫う	縫う				加工	人（手）・車
御飯	炊事・調理	いれる	炊く	円盤状（蓋）	持ち手2		加工 （受動的）	熱（電気）
こねた粉	炊事・調理	いれる・ハンドルを回す	つくる		握り		加工	人（手）+歯車
話	通信	ダイヤルをまわす（かける）・受話器をとる	通話する				情報	電気
話	通信	ダイヤルをまわす（かける）・受話器をとる	通話する				情報	電気
..	趣味	シャッターを押す	（写真を）写す				情報	..

# 形態別一覧表「軟質系」

## List by Morphology: Flexible System Tools

『砺波の民具』のうち、「軟質の民具」は、次の4つに分けて捉えることができた。「1. 糸・縄・紐・綱・束状のもの」「2. 帯状・布状・網状・シート状・マット状のもの」「3. 袋状のもの」「4. 衣状のもの」である。

先の解説でも述べたように、軟質のものは、使用時にはさまざまな「見かけの形」に変化するが、その元になる「構造の形」に注目して、硬質のものと異なる特徴をもつ、軟質の線・面・立体として分類を試みたものである。

\*\*\*

### 1. 糸・縄・紐・綱・束状のもの

線状の「糸状・縄状・紐状・綱状」と順次、繊維質の素材を撚り合わせて細長くしたものを、細いものから次第に太いものになっていくのを順に集めてみた。「糸状」のものは、織物の素材となる糸そのものの、「縄状」から「綱状」のものには、糸を太く撚り合わせたもののほか、藁や草類を細長く「なって」作られたものがあり、農耕・井戸回り・家のなかの収納、暴風対策、運搬用などに使い分けられている様子が見えてくる。

### 2. 帯状・布状・網状・シート状・マット状のもの

細長い「帯状のもの」に多くのバリエーションがみられ、2では、まさに「布状」の手拭やふきん、風呂敷などから、布を重ねて縫い合わせた炬燵掛けや重掛け、さらに紐類を縫い付けた前掛け、腰巻など身に着けるものと、暖簾や幕類などが集まった。

また、布以外の素材で作られた平面的なものも含め、薄手の「シート状（紙・菰・筵・莫蔭など）」のものと、厚みのある「マット状（藁・草鞋・藁床・棧俵・布団・絨毯など）」のものを分けてとらえておいた。厳密には区分しきれないが、見分けるときの基準としておきたい。

### 3. 袋状のもの

柔軟な素材でできた「入れ物」の形態をとるもの、いわゆる「袋物」をまとめた。硬質の民具でいう「箱状」「器状」のものと対比できるが、ものが入ったときには、入れたものの形態に依存して多様に変形する。シンプルな袋の「構造の形」は、布状あるいはシート状のものを重ね合わせた平面的な構造を持つ。帽子や手袋、足袋などの衣類の仲間も、この「袋状」のものとして並べてみた。

### 4. 衣状のもの

軟質の立体的なものでやや複雑な形態をしたものである。身体の主要部分にまとう、いわゆる「衣類」のうち、日本の伝統的な「着物」は、その部材が「帯状」「布状」「筒状」「袋状」など、「元のかたち」が平面的な構造をもつ部材で構成されているのが典型的である。平面を身体の形に縫い合わせた、つまり「仕立て」られたものである。「砺波の民具」は、この分野が充実しており、図録では、形態に注目して「長着、短着、袖無し」に分類しているの、これをそのまま形態を分類する手がかりに取り入れた。下半身の衣料としては、伝統的な「股引」などは、二股形として、褌形、また、洋式の衣類（シャツ形、ワンピース形、マント形）などもそのまま採用している。

以上が、形態別一覧の構成内容であるが、この他にも、基本的な形態で見落としているもの、さらに複合的な形態を見出すことも可能と思われ、別の視点からは硬質と軟質の材質のはざまに、竹や藁や皮革などを編んで作られるバスケットリーの形態の位置づけなど、この一覧表では、前半の「硬質の民具」に含めて取り上げたが、改めて素材と製造技術の観点からの分類も試みてみたい。

ここに示させていただいた一覧表は、一地域で系統的に収集された民具コレクションが、形態的にどのようなものから構成されているかを確認する手立てとして試作されたものであること。それを、富山県砺波地方の民具コレクションの構成内容から探った試作過程にあるものであることをふまえて、ご覧いただき、利用していただければ幸いである。

(神野善治)

軟質系		
1	糸・縄・紐・綱・束状のもの	糸状、縄状、紐状、綱状、束状、部品として糸・縄・紐などがつくもの、その他
2	帯状・布状・網状・シート状・マット状のもの	帯状、布状、網状、シート状（紙・菰・筵・蓆）、マット状（蓆・草鞋・藁床・棧俵・布団・絨毯など）、その他
3	袋状のもの	袋状、手袋・足袋など、帽子・かぶり物、その他の袋状のもの
4	衣状のもの	着物類（長着形、短着形、袖無形）、シャツ形、ワンピース形、マント形、二股形、蓆形、その他の衣状のもの

形態別一覧表：軟質系 1 糸・縄・紐・綱・束状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
1-1 糸状									
P 185	Ⅱ 手工業 1 紡織 (1) 材料	Ⅱ-001		苧 (お)	糸状→塊状	糸状	糸状	麻・カラムシ	撚り糸
P 185	Ⅱ 手工業 1 紡織 (1) 材料	Ⅱ-002		麻かせ糸	糸状→塊状	糸状	糸状	麻・カラムシ	撚り糸
P 185	Ⅱ 手工業 1 紡織 (1) 材料	Ⅱ-003		絹かせ糸	糸状→束状	糸状	糸状	絹	撚り糸
P 185	Ⅱ 手工業 1 紡織 (1) 材料	Ⅱ-004		裂き織りの布	糸状→束状	糸状	糸状	木綿	裂き布
P 255	Ⅲ 諸職 5 石屋	Ⅲ-143		線引糸	糸状	糸状	糸状	木綿糸	撚り糸
1-2 縄状									
P 048	Ⅰ 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	Ⅰ-206		手綱・タナワ	縄状	縄状・輪状	縄状	ロープ+鉄	縄物
P 048	Ⅰ 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	Ⅰ-207		手綱・タナワ	縄状	縄状	縄状	藁	縄物
P 064	Ⅰ 農林業 2 田植 (2) 田植用具	Ⅰ-285		水縄	縄状	縄状	縄状	藁芯・ネゴ	縄物
P 064	Ⅰ 農林業 2 田植 (2) 田植用具	Ⅰ-286		水縄	縄状	縄状	縄状	棕櫚	縄物
P 070	Ⅰ 農林業 3 肥培・管理	Ⅰ-313		掛縄	縄状	縄状	縄状	麻?	縄物
P 110	Ⅰ 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	Ⅰ-446		荷縄・ニナワ	縄状	縄状		麻?	縄物
P 477	Ⅵ 食 3 保存・醸造 (5) その他	Ⅵ-302		米吊縄	縄状	縄	縄	繊維	縄物
P 518	Ⅶ 住 3 設備 (1) 井戸	Ⅶ-119		釣瓶の縄	縄状	縄状	縄状	繊維	縄物
P 518	Ⅶ 住 3 設備 (1) 井戸	Ⅶ-120		水替えの縄	縄状+鉤状	縄状+鉤状	縄状	繊維	縄物
P 540	Ⅶ 住 4 防護 (3) 暴風	Ⅶ-214		太縄・マモノ	縄状	縄状		繊維	縄物
P 557	Ⅷ 移動運搬 12 縄	Ⅷ-068		太縄・マモノ	縄状	縄状		藁	縄物
P 557	Ⅷ 移動運搬 12 縄	Ⅷ-070		縄	縄状	縄状		棕櫚	縄物

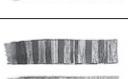
対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
—	織り糸にする	織る	..	..	..	...		..
—	織り糸にする	織る	..	..	..	...		..
—	織り糸にする	織る	..	..	..	...		..
—	織り糸にする	織る	..	..	..	...		..
石材	あてる	揃える (位置を)	..		..	情報		人 (手)
馬の轡	轡 (くつわ) に縛る	操る (馬を)	..	鎖・縄 (本体)	..	収納支持		馬 (頭)
馬の轡	轡 (くつわ) に縛る	操る (馬を)	..	縄 (本体)	..	収納支持		馬 (頭)
水田 (植え田)	張る	整える	..	本体	..	情報		人 (手)
水田 (植え田)	張る	整える	..	本体	..	情報		人 (手)
肥桶	縛る (大八車に)	運ぶ	..	本体	..	情報		人 (手)
収穫した稲束	縛る・担う	せおう・はこぶ	..	縄 (背負縄)	..	移動運搬		人 (背)
俵	縛る	吊る		本体		収納支持		..
釣瓶	吊り下げる・上げる	上下させる				移動運搬		..
釣瓶	吊り下げる・上げる	上下させる				移動運搬		..
屋根	掛ける	守る (強風から)				収納支持		..
建築材の柱など	縛る	引き上げる				移動運搬	収納支持	..
物 (具体的には不明)	縛る	引き上げる				移動運搬	収納支持	..

形態別一覧表：軟質系 1 糸・縄・紐・綱・束状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 558	VIII 移動運搬 12 縄	VIII-072		鉤付縄	縄状	縄状		棕櫚	縄物
P 558	VIII 移動運搬 12 縄	VIII-074		ボロ縄・麻縄	縄状	縄状		麻・繊維 (木綿)	縄物
P 558	VIII 移動運搬 12 縄	VIII-075		ボロ縄	縄状	縄状		繊維 (木綿)	縄物
P 477	VI 食 3 保存・醸造 (5) その他	VI-302		米吊縄	縄状	縄	縄	繊維	縄物
1-3 紐状									
P 205	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	II-087		足元紐	縄状	縄状	縄状	木綿	縄物※
1-4 部品として糸・縄・紐などがつくもの									
P 159	I 農林業 6 薬仕事 (1) 薬調整	I-641		薬すぐり・ゾーズヌキ		塊状 (直方体)	吊り縄	木	彫物
P 518	VII 住 3 設備 (1) 井戸	VII-121		釣瓶の縄	縄状	縄状	縄状	繊維	
P 498	VII 住 1 暖房 (1) 囲炉裏	VII-043		自在鉤の滑車	棒状 + 車輪状	棒状 + 車輪状	縄状	木	
1-5 網状									
P 544	VIII 移動運搬 4 川舟	VIII-016		罾網	網状	網状		繊維	
1-6 束状									
P 205	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	II-084		綜統		棒 2 + 糸 (多数)	糸状	木 + 木綿	組物
P 409	VI 食 1 炊事・調理 鍋	VI-011		いりごろ	束状	束状	束 (藁)	藁	
P 438	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	VI-144		束子 (たわし)	束状	束状		繊維	
P 533	VII 住 3 家具	VII-191		藁芯箒	束状	束状		藁	縄物
P 056	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-250		馬の束子 (たわし)	板状・束状	束状 + 板状	束状	木 + 棕櫚?	縄物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
物（具体的には不明）	ひっかける	引き上げる				移動運搬	収納支持	..
物（具体的には不明）	結わえる	まとめる・担ぐ				移動運搬	収納支持	..
物（具体的には不明）	結わえる	吊るす・掛ける（虫干しの着物など）				移動運搬	収納支持	..
俵	縛る	吊る		本体		収納支持		..
総統	ひく（足にかけて）	動かす（総統を）	..	縄	..	加工（加撃）		人（足）
藁	押さえる・しごく（擦る）	取る（藁芯のはかまを）	本体	本体	..	選別		人（手）
釣瓶	吊り下げる・上げる	上下させる				移動運搬		..
鉤の長さ	掛ける	吊るす・調節する	縄	本体		収納支持		..
川舟	つなぐ	係留する				移動運搬	収納支持	..
糸（経糸）	縦糸に通して上下にひき分ける	織る	糸	..	..	収納支持		人（手）
煎鍋の中	入れる	掻き回す		本体（握り）		加工（加撃）		人（手）
芋や食器など	擦る	洗う		本体			加工（加撃）	人（手）
ゴミ	はらう	はらう					加工（加撃）	人（手）
馬の体	こする	除く（汚れを）	..	板+ベルト	..		加工（加撃）	人→馬

形態別一覧表：軟質系 2 帯状・布状・網状・シート状・マット状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
2-1 帯状									
P 048	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-208		腹帯	帯状	帯状+縄状・U形		繊維(ポロ繊維) ※革ベルトもある	編組
P 321	V1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-185		五月帯 (さつきおび)	帯状	帯状		繊維	縫物
P 321	V1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-186		半巾帯	帯状	帯状		繊維	縫物
P 323	V1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-192		褌 (たすき)	帯状	帯状		繊維	縫物
P 339	V1 和服 (3) 子供用着物	V-257		房帯 男児用	帯状	帯状		繊維	縫物
P 339	V1 和服 (3) 子供用着物	V-258		房帯 女児用	帯状	帯状		繊維	縫物
P 339	V1 和服 (4) 帯その他	V-259		帯 男物	帯状	帯状		繊維	縫物
P 339	V1 和服 (4) 帯その他	V-260		伊達締 男物	帯状	帯状		繊維	縫物
P 340	V1 和服 (4) 帯その他	V-263		帯 男物	帯状	帯状		繊維	縫物
P 340	V1 和服 (4) 帯その他	V-265		丸帯	帯状	帯状		繊維	縫物
P 341	V1 和服 (4) 帯その他	V-266		袋帯	帯状	帯状		繊維	縫物
P 341	V1 和服 (4) 帯その他	V-267		半巾小袋帯	帯状	帯状		繊維	縫物
P 341	V1 和服 (4) 帯その他	V-268		名古屋帯	帯状	帯状		繊維	縫物
P 341	V1 和服 (4) 帯その他	V-270		単衣帯	帯状	帯状		繊維	縫物
P 342	V1 和服 (4) 帯その他	V-272		半巾帯	帯状	帯状		繊維	縫物
P 342	V1 和服 (4) 帯その他	V-274		改良帯	帯状	帯状		繊維	縫物
P 342	V1 和服 (4) 帯その他	V-275		ボロ帯	帯状	帯状		繊維	縫物
P 343	V1 和服 (4) 帯その他	V-280		伊達締・ダテマキ	帯状	帯状		繊維	縫物



形態別一覧表：軟質系 2 帯状・布状・網状・シート状・マット状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 344	V1和服(4)帯 その他	V-282①		帯揚・オビアゲ	帯状	帯状		繊維	縫物
P 344	V1和服(4)帯 その他	V-283		半襟・ニンギョウエリ	帯状	帯状		繊維	縫物
P 344	V1和服(4)帯 その他	V-284		シヨール	帯状	帯状		繊維	縫物
P 559	VⅧ移動運搬13 帯	VⅧ-076		フトンバリ	帯状	帯状		繊維	縫物
P 570	Ⅸ社会生活2 嫁入り	Ⅸ-033		角隠し	帯状	帯状		繊維	縫物
P 584	Ⅸ社会生活6 獅子舞	Ⅸ-079		禪・タグリ	帯状	帯状		繊維	縫物
P 595	Ⅸ社会生活12 戦時	Ⅸ-125		巻脚絆・ゲートル	帯状	帯状		繊維	縫物
2-2 布状									
P 206	Ⅱ手工業1紡織 (3)機織	Ⅱ-088		織付布	布状	布状+紐		木綿	織物
P 320	V1和服(2)平 常着・仕事着	V-179		前掛け	布状	布状・前掛形		繊維	織物
P 320	V1和服(2)平 常着・仕事着	V-180		脚絆 女物	布状	布状・脚半形		繊維	織物
P 320	V1和服(2)平 常着・仕事着	V-182		脚絆 男物	布状	布状・脚半形		繊維	織物
P 322	V1和服(2)平 常着・仕事着	V-189		三巾前掛け	布状	布状・前掛形		繊維	織物
P 322	V1和服(2)平 常着・仕事着	V-191		腰巻き	布状	布状・腰巻形		繊維	織物
P 323	V1和服(2)平 常着・仕事着	V-194		五月帯(さつき)手ぬ ぐい	布状	布状		繊維	織物
P 323	V1和服(2)平 常着・仕事着	V-195		手甲・コテ	布状	布状・手甲形		繊維	縫物
P 346	V1和服(4)帯 その他	V-291		端切れ	布状	布状		繊維	織物
P 354	V衣2洋服 (3)赤ちゃん用	V-325		腹当	衣状	布状		繊維	縫物
P 354	V衣2洋服 (3)赤ちゃん用	V-327		ヨダレカケ	布状	布状		繊維	縫物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
身体（腰）	着ける	締める		..		防御緩衝		..
身体	着ける	掛ける		..		防御緩衝		..
身体	着ける	掛ける		..		防御緩衝		..
重箱など	背負う・運ぶ	担ぐ・運ぶ		..		移動運搬	収納支持	..
祝儀・婚礼	飾る・祝う	巻く・飾る	花嫁の髪		情報		..	
芸能・獅子舞	演じる	掛ける・たぐる	身体（獅子取りの子供）		防御緩衝	情報	..	
戦時生活	護る	巻く	身体（足：脛）		防御緩衝		..	
機織り	支える（経糸を）	つなぐ・支える	糸（経糸）	..	収納支持		人（手）	
身体の保護	着ける	巻く・掛ける	身体（腰）	..	防御緩衝		..	
身体の保護	履く	巻く	身体（腰）	..	防御緩衝		..	
身体の保護	履く	巻く	身体（腰）	..	防御緩衝		..	
身体の保護	着ける	巻く	身体（腰）	..	防御緩衝		..	
身体の保護	着ける	巻く	身体（腰）	..	防御緩衝		..	
身体（頭）	かぶる	拭く（汗を）・かぶる	..	..		防御緩衝	情報	..
身体（手・腕）	着ける	巻く	..	..		防御緩衝	情報	..
..	..	...	..	..		防御緩衝		..
身体（腹）	着ける	あてる	..	..		防御緩衝		..
身体（胸）	着ける	掛ける	..	..		防御緩衝		..

形態別一覧表：軟質系 2 帯状・布状・網状・シート状・マット状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 355	V衣2 洋服 (3) 赤ちゃん用	V-328		前掛け	布状	布状・前掛け形		繊維	縫物
P 356	V衣2 洋服 (3) 赤ちゃん用	V-336		オムツ反物	布状	布状		繊維	織物
P 363	V衣3 防寒服	V-364		ネックチーフ 女児用	布状	布状		繊維	編物
P 395	V衣7 袋物	V-488		風呂敷	布状	布状		繊維	織物
P 400	V衣8 化粧・結髪	V-511		髷飾布	布状	布状		繊維	織物
P 507	VII住2 暖房 (2) 炬燵	VII-077		炬燵掛け	布状	布状（縫物）		繊維	縫物
P 507	VII住2 暖房 (2) 炬燵	VII-078		炬燵掛け・ツツレ	布状	布状（縫物）		繊維	縫物
P 566	IX社会生活2 嫁入り	IX-016		嫁暖簾（のれん）	布状	布状・暖簾形		繊維	縫物
P 567	IX社会生活2 嫁入り	IX-020		重掛け	布状	布状・四角形		繊維	縫物
P 567	IX社会生活2 嫁入り	IX-022		重掛け	布状	布状・四角形		繊維	縫物
P 568	IX社会生活2 嫁入り	IX-024		重風呂敷	布状	布状・四角形		繊維	縫物
P 568	IX社会生活2 嫁入り	IX-025		風呂敷	布状	布状・四角形		繊維	縫物
P 570	IX社会生活2 嫁入り	IX-034		油単	布状	布状・正方形		繊維	縫物
P 576	IX社会生活4 行事	IX-053		盆踊りの前掛け	布状	布状・前掛け形		繊維	縫物
P 577	IX社会生活5 祭り	IX-056		吹流し	布状	布状・筒状		繊維	縫物
P 577	IX社会生活5 祭り	IX-057		幕	布状	布状・四角形		繊維	縫物
P 577	IX社会生活5 祭り	IX-058		手拭	布状	布状・四角形		繊維	織物
P 579	IX社会生活6 獅子舞	IX-061		獅子の胴幕・カヤ	布状	布状・四角形		繊維	縫物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能 1	基本機能 2	動力主体・ エネルギー源
身体(胸)	着ける	着ける	..	..		防御緩衝		..
身体	着ける	...	..	..		防御緩衝		..
身体(首肩)	着ける	掛ける	..	..		防御緩衝		..
品物	包む	持ち歩く	..	..		移動運搬		人(手)
髪	かぶせる	飾る	..	..		情報		人(手・頭)
炬燵槽	かぶせる	保温する	..	..		防御緩衝		..
炬燵槽	かぶせる	保温する	..	..		防御緩衝		..
婚家	部屋の入口に掛ける	飾る・祝う	..	..		情報	防御緩衝	..
重箱	かぶせて運ぶ	飾る・祝う	..	..		情報	収納支持	..
重箱	かぶせて運ぶ	飾る・祝う	..	..		情報	収納支持	..
重箱	包む・運ぶ	飾る・祝う	..	..		情報	収納支持	..
重箱	包む・運ぶ	飾る・祝う	..	..		情報	防御緩衝	..
長持・挟箱	かぶせる・飾る	飾る・祝う	..	..		収納支持		..
身体(若衆)	締める	飾る・踊る	..	..		情報	防御緩衝	..
..	竿の先に掲げる	まつる	..	..		情報		空気(風)
..	祭りに家の前に張る	まつる	..	..		情報	防御緩衝	..
頭・首	巻く	まつる	..	..		情報		..
身体(獅子 方6人)	かぶる	演じる	..	..		情報		..

形態別一覧表：軟質系 2 帯状・布状・網状・シート状・マット状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 583	IX 社会生活 6 獅子舞	IX-076		獅子の前掛け	布状	布状・前掛形		繊維	縫物
P 583	IX 社会生活 6 獅子舞	IX-077		獅子の手甲	布状	布状・手甲形		繊維	縫物
P 584	IX 社会生活 6 獅子舞	IX-078		シシトリの腹掛け	布状	布状・前掛形		繊維	縫物
<b>2-3 網状</b>									
P 183	I 農林業 10 川漁	I-732		投網	円錐状	網状（編物）		麻	編物
P 175	I 農林業 8 養蚕	I-700		稚蚕用糸網・コガイサ マノアミ	網状（平面状）	網状（編物）		綿糸	編物
P 553	VIII 移動運搬 10 モッコ	VIII-052		モッコ	袋状	網状（編物）		藁	編物
P 555	VIII 移動運搬 10 モッコ	VIII-058		モッコ	袋状	網状（編物）		藁	編物
<b>2-4 シート状 紙・菰・筵・藁</b>									
P 060	I 農林業 2 田植 (1) 苗代	I-266		油紙	紙状	紙状		油紙	漉物
P 572	IX 社会生活 3 産育	IX-041		灰筵	シート状	シート状・椀形（編組）		藁・ 繊維	網組
P 121	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-489		筵（むしろ）	シート状	シート状・椀形（編組）		藁	編組
P 218	III 諸職 1 木挽	III-008		道具包みの菰	シート状	シート状		藁	編組
P 122	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	I-492		菰（こも）・タテゴモ	シート状	シート状・椀形（編組）		藁	編組
<b>2-5 マット状 蓑・草鞋・藁床・棧俵・布団・絨毯</b>									
P 110	I 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	I-445		藁蓋・ワラガイ	マット状 ・円錐形	マット状（編組）		藁	編組
P 370	V 衣 5 雨具	V-387		ござ帽子・ペッペゴザ	マット状	マット状・袋状（編組）		繊維	織物
P 371	V 衣 5 雨具	V-390		着ござ	マット状	蓑形（編組）		繊維	織物
P 382	V 衣 5 雨具	V-431		腰蓑	マット状	マット状・腰巻形（編組）		繊維	編組
P 383	V 衣 5 雨具	V-437		腰蓑	マット状	マット状・腰巻形（編組）		繊維	編組

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
身体（獅子方若衆）	巻く	演じる	..	..		防御緩衝	情報	..
身体（獅子方若衆）	着ける	演じる	..	..		防御緩衝	情報	..
身体（獅子方若衆）	着ける	演じる	..	..		防御緩衝	情報	..
魚	投げる・かぶせる・すくう	捕獲	..	..		捕獲採取		人（手）
蚕・稚蚕	（蚕の上に）のせる・（蚕が上がり糞を）わかる	飼う（蚕を）	..	..		収納支持	選別	..
土砂や堆肥	いれる・天秤棒で担ぐ	運ぶ	..	..		移動運搬	収納支持	人（肩・棒）
土砂や堆肥	いれる・天秤棒で担ぐ	運ぶ	..	..		移動運搬	収納支持	人（肩・棒）
苗床	被せる	覆う・保温する	..	..		収納支持		人（手）
産婦	敷く	出産する				収納支持		..
作物・人	敷く・のせる	干す・	..	..		収納支持	防御緩衝	人（手）
鋸・鎌など	包む	運ぶ	..	..		収納支持		..
脱穀後の粃	立てて囲う	貯蔵する	..	..		収納支持		人（手）
稲積（にお）	かぶせる	防ぐ（雨を）	..	..		収納支持		..
身体（背）	着る	防ぐ（雨を）				防御緩衝		..
身体	着る	防ぐ（雨を）				防御緩衝		..
身体（腰）	着ける	防ぐ（泥はねを）				防御緩衝		..
身体（腰）	着ける	防ぐ（泥はねを）				防御緩衝		..

形態別一覧表：軟質系 2 帯状・布状・網状・シート状・マット状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 385	V衣5 雨具	V-445		脚絆・ハバキ	マット状	マット・脚半形（編組）		繊維	編組
P 385	V衣5 雨具	V-446		腕ぬき	マット状	マット状（編組）		繊維	編組
P 385	V衣5 雨具	V-447		尻当て	マット状	マット状（編組）		繊維	編組
P 390	V衣6 履物	V-464		草鞋	マット状	マット状（編組）		藁	編組
P 390	V衣6 履物	V-466		草履 女物	マット状	マット状（編組）		藁	編組
P 390	V衣6 履物	V-468		藁草履	マット状	マット状（編組）		藁	編組
P 391	V衣6 履物	V-469		笏草履	マット状	マット状（編組）		竹皮	編組
P 391	V衣6 履物	V-470		藁沓・ツマガケゾーリ・ ワラスリッパ	マット状	マット状（編組）		藁	編組
P 391	V衣6 履物	V-471		足半草履	マット状	マット状（編組）		藁	編組
P 056	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-248		馬の草鞋	マット状 ・円盤形	マット状（円形マット）		藁	編組
P 051	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-227		馬の蓑（ウマのペッペ）	マット状	マット状（V字）		藁	織物
P 044	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-188		鞍床（荷鞍部品）	マット状 （立体）	マット状（V字）		藁	織物
P 044	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	I-189		鞍（乗り鞍）	マット状 （立体）	マット状（革・複雑）		皮革	革製品
P 549	VIII 移動運搬 6 背中当て	VIII-032		ネコダ	マット状 （編組）	マット状（編組）		藁	編組
P 365	V衣4 寝具	V-370		掛蒲団・ウワブトン・ キブトン	マット状	マット状・蒲団形		繊維	縫物
P 365	V衣4 寝具	V-368		敷蒲団	マット状	マット状・蒲団形		繊維	縫物
P 366	V衣4 寝具	V-373		座布団	マット状	マット状・蒲団形		繊維	縫物
P 568	IX 社会生活 2 嫁入り	IX-026		重布団	マット状	マット状		繊維	縫物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
身体(足・脛)	着ける	護る				防御緩衝		..
身体(腕)	着ける	護る				防御緩衝		..
身体(腰)	着ける	護る				防御緩衝		..
身体(足)	履く	歩く・護る				防御緩衝		人(足)
身体(足)	履く	歩く・護る				防御緩衝		人(足)
身体(足)	履く	歩く・護る				防御緩衝		人(足)
身体(足)	履く	歩く・護る				防御緩衝		人(足)
身体(足)	履く	歩く・護る				防御緩衝		人(足)
身体(足)	履く	歩く・護る				防御緩衝		人(足)
馬の脚	履かせる	護る(馬の蹄を)・防ぐ(馬の脚が滑ることを)	..	..		防御緩衝		馬(足)
馬の背	かける	防ぐ(雨にぬれるのを)	..	..		防御緩衝		馬(背)
馬の背	馬の背にのせる	衝撃を和らげる(クッションとして荷鞍の衝撃を)	..	マット(藁製)		収納支持		馬(背)
馬の背	馬の背に乗せる	乗せる(人を)・乗る(人が)・腰を掛ける	..	マット状(皮革製)		収納支持		馬(首)
背中・荷物	背に負う・荷を着ける	荷をつける・背負う・運ぶ				移動運搬	収納支持	人(背)
身体(全身)	敷く	眠る				防御緩衝		..
身体(全身)	敷く	眠る				防御緩衝		..
身体(腰)	敷く	座る				防御緩衝		..
重箱	載せる	飾る・祝う				情報	防御緩衝	..

形態別一覧表：軟質系 3 袋状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
<b>3-1 袋状</b>									
P 394	V衣7 袋物	V-483		巾着（きんちゃく）	袋状	袋状	袋状	繊維	
P 394	V衣7 袋物	V-485		巾着（きんちゃく）	袋状	袋状	袋状	繊維	
P 395	V衣7 袋物	V-487		信玄袋	袋状	袋状	袋状	繊維	
P 553	VⅧ移動運搬9 縄袋	VⅧ-049		縄袋・ナワテング	袋状	袋状（編組）		藁	編組
P 553	VⅧ移動運搬9 縄袋	VⅧ-050		縄テング	袋状	袋状（編組）		藁	編組
P 553	VⅧ移動運搬9 縄袋	VⅧ-051		縄テング	袋状	袋状（編組）		藁	編組
P 483	VI食4 嗜好 (2) 煙草	VI-327②		煙草入れ	袋状	袋状（皮革細工）		皮革	
P 483	VI食4 嗜好 (2) 煙草	VI-327①		煙管入れ	袋状	袋状（縫物）		繊維	
P 590	IX社会生活10 古銭	IX-108		財布・ガマグチ	袋状	袋状+金具	袋状	皮革	
P 595	IX社会生活12 戦時	IX-128		雑嚢	袋状	袋状+帯状	袋状	..	
P 553	VⅧ移動運搬10 モッコ	VⅧ-052		モッコ	網状	網状（編組）		藁	編組
P 555	VⅧ移動運搬10 モッコ	VⅧ-058		モッコ	網状	網状（編組）		藁	編組
<b>3-2 手袋・足袋など</b>									
P 346	V衣1 和服 (4) 帯 その他	V-290		足袋	袋状	袋状		繊維	
P 363	V衣3 防寒服	V-363		手袋 女児用	袋状	袋状・手形		繊維	
P 392	V衣6 履物	V-473		ウソ	袋状	袋状（編組）		藁	編組
P 392	V衣6 履物	V-474		深沓（ふかぐつ）	袋状	袋状（編組）		藁	編組
P 392	V衣6 履物	V-475		深沓・ヨモタロウ	袋状	袋状（編組）		藁	編組

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
米・大豆・小物	入れる	持ち歩く				移動運搬		人(手)
米・大豆・小物	入れる	持ち歩く				移動運搬		人(手)
米・大豆・小物	入れる	持ち歩く				移動運搬		人(手)
野菜・山菜・弁当・小道具など	入れる・腰につける	運ぶ				移動運搬	収納支持	人(背)
野菜・山菜・弁当・小道具など	入れる・腰につける	運ぶ				移動運搬	収納支持	人(背)
野菜・山菜・弁当・小道具など	入れる・腰につける	運ぶ				移動運搬	収納支持	人(背)
煙草の葉	入れる	携帯する		紐+根付(塊状)		移動運搬		人(腰)
煙管	入れる	携帯する		本体		移動運搬		人(腰)
銭	入れる	携帯する				情報		..
携行品	入れる	運ぶ				移動運搬		人(肩)
土砂や堆肥	入れる・天秤棒で担ぐ	袋状に包む・運ぶ				移動運搬	収納支持	人(肩・棒)
土砂や堆肥	入れる・天秤棒で担ぐ	袋状に包む・運ぶ				移動運搬	収納支持	人(肩・棒)
身体(足)	着ける	履く				防御緩衝		..
身体(手)	着ける	着ける				防御緩衝		..
身体(足)	履く	歩く・護る				防御緩衝		人(足)
身体(足)	履く	歩く・護る				防御緩衝		人(足)
身体(足)	履く	歩く・護る				防御緩衝		人(足)

形態別一覧表：軟質系 3 袋状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 393	V衣6 履物	V-478		藁沓	袋状	袋状 (編組)		藁	編組
P 595	IX社会生活 12 戦時	IX-126		軍靴 (ぐんか)	袋状	袋状・足形 (靴)		皮革	
3-3 帽子・かぶり物									
P 338	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-256		子供の帽子	袋状	袋状・椀形 + 布状		繊維	
P 348	V衣2 洋服 (1) 大人用	V-298		パナマ帽	袋状	袋状・円筒形 + 鍔付き		繊維	
P 348	V衣2 洋服 (1) 大人用	V-298		山高帽	袋状	袋状・円筒形 + 鍔付き		繊維	
P 349	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-303		学生帽	袋状	袋状・鉢形 + 鍔付き		繊維	
P 355	V衣2 洋服 (3) 赤ちゃん用	V-332		赤ちゃん帽子	袋状	袋状・鉢形		繊維	
P 356	V衣2 洋服 (3) 赤ちゃん用	V-335		幼児用帽子	袋状	袋状		繊維	
P 363	V衣3 防寒服	V-362		防寒帽	袋状	袋状・鉢形		繊維	
P 537	VII住4 防護 (1) 消防	VII-203②		帽子	袋状	袋状 (厚手)		繊維	
P 594	IX社会生活 12 戦時	IX-122		防空頭巾	袋状	袋状	袋状	繊維	
3-4 袋状のもの その他									
P 367	V衣4 寝具	V-378		蚊帳	袋状	袋状・網状・箱状		繊維	織物
P 368	V衣4 寝具	V-382		蚊帳	袋状	袋状・網状・箱状		繊維	織物
P 587	IX社会生活 8 遊び	IX-090		お手玉・オジャミ	袋状	袋状	袋状	繊維	

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能 1	基本機能 2	動力主体・ エネルギー源
身体（足）	履く	歩く・護る				防御緩衝		人（足）
身体（足）	履く	護る・歩く				防御緩衝		人（足）
身体（頭）	着ける	被る				防御緩衝		..
身体（頭）	着ける	被る				防御緩衝		..
身体（頭）	着ける	被る				防御緩衝		..
身体（頭）	着ける	被る				防御緩衝		..
身体（頭）	着ける	被る				防御緩衝		..
身体（頭）	着ける	被る				防御緩衝		..
身体（頭）	かぶる	火を避ける				防御緩衝		..
身体（頭）	かぶる	護る				防御緩衝		..
身体	吊る・入る	防ぐ（蚊を）				防御緩衝		..
身体	吊る・入る	防ぐ（蚊を）				防御緩衝		..
お手玉	入れる	いれる				情報		人（手）

形態別一覧表：軟質系 4 衣状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
4-1 着物類									
4-1-① 長着形									
P 277	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-001		紋付袷着物 男物	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 278	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-005		黒留袖 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 279	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-009		紋付単衣着物 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 291	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-056		単衣着物 男物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 291	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-058		袷着物 男物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 292	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-061		綿入れ着物・タンゼン 男物	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 294	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-068		単衣着物・ハダコ 男物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 294	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-069		打掛け・フリソデ 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 294	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-070		単衣振袖・フリソデ 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 295	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-073		喪服・シロ 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 297	V衣1和服 (1) 長着	V-081		袷着物 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 299	V衣1和服 (1) 長着	V-090		単衣着物 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 301	V衣1和服 (1) 長着	V-096		単衣着物 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 301	V衣1和服 (1) 長着	V-097		紵着物 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 302	V衣1和服 (1) 長着	V-100		綿入れ着物 女物	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 302	V衣1和服 (1) 長着	V-103		ウール着物 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 303	V衣1和服 (1) 長着	V-104		浴衣女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能 1	基本機能 2	動力主体・ エネルギー源
身体	着ける（儀式用）	着る・儀礼用	..	身体（全身）	..	情報	防御緩衝	
身体	着ける（儀式用）	着る・儀礼用	..	身体（全身）	..	情報	防御緩衝	
身体	着ける（儀式用）	着る・儀礼用	..	身体（全身）	..	情報	防御緩衝	
身体	着ける	着る・儀礼用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・儀礼用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・儀礼用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・儀礼用・羽織る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・儀礼用	..	身体（全身）	..	情報	防御緩衝	
身体	着ける	着る・儀礼用（喪服）	..	身体（全身）	..	情報	防御緩衝	
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		

形態別一覧表：軟質系 4 衣状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 303	V衣1和服 (1) 長着	V-105		ネルの着物 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 303	V衣1和服 (1) 長着	V-107		長襦袢 男物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 304	V衣1和服 (1) 長着	V-111		長襦袢 女物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 308	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-125		センゴバ 男物	衣状	長着形・古着の袖をとり、裾に布を足したもの	布状・筒状	繊維	縫物
P 308	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-126		刺子（さしこ）	衣状	長着形・端切れを重ね、糸で刺したもの	布状・筒状	繊維	縫物
P 324	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-198		一ツ身紋付綿入れ 男児用	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 324	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-199		四ツ身紋付綿入れ 男児用	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 325	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-202		四ツ身紋付羽織 男児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 325	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-205		一ツ身紋付袷 女児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 326	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-206		一ツ身紋付綿入れ 女児用	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 326	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-209		四ツ身紋付振袖 女児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 327	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-210		被布（ひふ）女児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 327	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-211		袖無し 女児用	衣状	長着形・袖無し	布状・筒状	繊維	縫物
P 327	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-212		羽織 女児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 327	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-213		四ツ身単衣・ハリバ 女児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 328	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-214		紋付綿入れ・テトオシ 女児用	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 328	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-215		四ツ身綿入れ 男児用	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 328	V衣1和服 (3) 子供用着物	V-217		一ツ身綿入れ 男児用	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物

※1 センゴバは、南砺の五箇山で収集の山菜採りの作業着。長い裾を後ろにまくり、裾先を前で結ぶと腰回りに袋ができ、採取した山菜を運べる。

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能 1	基本機能 2	動力主体・ エネルギー源
身体	着ける	着る・寝巻き・子ども用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・山菜採り	..	身体（全身）	..	防御緩衝		※1
身体	着ける	着る・羽織る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・嬰兒用	..	身体（全身）	..	防御緩衝	情報	
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝	情報	
身体	着ける	着る・羽織る・儀礼用	..	身体（全身）	..	防御緩衝	情報	
身体	着ける	着る・羽織る・儀礼用	..	身体（全身）	..	防御緩衝	情報	
身体	着ける	着る・儀礼用	..	身体（全身）	..	防御緩衝	情報	
身体	着ける	着る・儀礼用	..	身体（全身）	..	防御緩衝	情報	
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝	情報	
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・羽織る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・羽織る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		

会津只見のクモッケツ（『叢書』9参照）の類例がここにもあった。

形態別一覧表：軟質系 4 衣状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 329	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-218		一ツ身単衣着物 男児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 330	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-223		四ツ身袷着物 男児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 331	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-225		四ツ身綿入れ着物 男児用	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 332	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-230		半纏 男児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 332	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-232		袖無し 男児用	衣状	長着形・袖無し	布状・筒状	繊維	縫物
P 333	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-233		浴衣男児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 333	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-234		一ツ身綿入れ着物 女児用	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 333	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-236		一ツ身袷着物 女児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 334	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-237		袷着物 女児用	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 334	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-239		一ツ身綿入れ着物オツイコ 女児用	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 337	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-251		産着（うぶぎ）	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 337	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-252		一ツ身襦袢	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 338	V衣1 和服 (3) 子供用着物	V-255		おっくるみ 女児用	衣状	長着形・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 361	V衣3 防寒服	V-353		道行（みちゆぎ）	衣状	長着形（厚手）	布状・筒状	繊維	縫物
P 361	V衣3 防寒服	V-356		和服用コート	衣状	長着形（厚手）	布状・筒状	繊維	縫物
P 364	V衣4 寝具	V-365		夜着・夜具蒲団	衣状	長着形（厚手）・綿入れ	布状・筒状	繊維	縫物
P 565	IX社会生活2 嫁入り	IX-013		打掛	衣状	長着形・裾に綿	布状・筒状	繊維	縫物
P 585	IX社会生活7 歌舞伎曳山	IX-084		紋付	衣状	長着形・裾に綿	布状・筒状	繊維	縫物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
身体	着ける	着る・儀礼用・男児用	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・男児用	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・男児用	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・男児用	..	身体(上半身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・男児用	..	身体(上半身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・男児用	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・女児用	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・女児用	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・女児用	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・女児用	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
(幼児)身体	着ける	着る・嬰兒用	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
(幼児)身体	着ける	着る・嬰兒用	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
(幼児)身体	着ける	着る・嬰兒用・すっぽり包む	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・羽織る(外套)	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・羽織る(外套)	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
寝る(寝具)	眠る	覆う・掛ける	..	身体(全身)	..	防御緩衝		
祝儀・婚礼	飾る	着る・花嫁が婚家まで	..	花嫁	..	情報	防御緩衝	
芸能・獅子舞	着る	被る・演じる	..	身体(子供歌舞伎の演者)	..	防御緩衝	情報	

形態別一覧表：軟質系 4 衣状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写 真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 586	IX社会生活 7 歌舞伎曳山	IX-086		四ツ身の着物	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
P 586	IX社会生活 7 歌舞伎曳山	IX-087		袷	衣状	長着形	布状・筒状	繊維	縫物
4-1-② 短着形									
P 280	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-013		羽織 男物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 282	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-020		紋付羽織 女物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 283	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-024		羽織女物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 284	V衣1和服 (1) 儀礼服	V-033		綿入れ・ハンチャ 女物	衣状	短着形・綿入れ	袋状（人型）	繊維	縫物
P 305	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-112		サルコ 男物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 306	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-117		モジリハンチャ 男物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 307	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-122		印半纏 男物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 307	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-124		タノクサツツレ（袷） 男物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 308	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-127		テジマモジリ 女物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 309	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-130		モジリ 女物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 311	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-142		半纏・モジリハンチャ 女物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 312	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-144		モジリ 女物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 312	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-147		羽織・オシャレバオリ 女物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 313	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-148		茶羽織・ハンチャ 女物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 313	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-150		茶羽織・ハンチャ 女物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 313	V衣1和服 (2) 平常着・仕事着	V-152		半コート 女物	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物



形態別一覧表：軟質系 4 衣状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 314	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-154		ねんねこ半纏	衣状	短着形・綿入れ	袋状（人型）	繊維	縫物
P 314	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-155		ねんねこ丹前	衣状	短着形	袋状（人型）	繊維	縫物
P 537	VII住4 防護 (1) 消防	VII-203①		法被	衣状	短着形（厚手）	布状・筒状	繊維	縫物
P 581	IX社会生活6 獅子舞	IX-068		袷纏	衣状	短着形	布状	繊維	縫物
4-1-③ 袖無形									
P 287	V衣1 和服 (1) 儀礼服	V-043		肩衣・カタギン	衣状	袖無形	布状	繊維	縫物
P 288	V衣1 和服 (1) 儀礼服	V-048		袷（かみしも）	衣状	袖無形	布状	繊維	縫物
P 314	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-156		ねんねこ半纏	衣状	袖無形	布状	繊維	縫物
P 315	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-158		袖無し・ドーゲン	衣状	袖無形・綿入れ	布状	繊維	縫物
P 316	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-162		袖無し・胴着 女物	衣状	袖無形・綿入れ	布状	繊維	縫物
P 350	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-308②		制服・チョッキ	衣状	袖無形	布状	繊維	縫物
P 352	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-317		チョッキ・ベスト	衣状	袖無形	布状	繊維	縫物
P 352	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-318		ボレロ	衣状	袖無形	布状	繊維	縫物
4-2 シャツ形									
P 311	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-140		作業服 女物	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 311	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-141		標準服・ウワッパリ 女物	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 314	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-153		婦人会服	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 347	V衣2 洋服 (1) 大人用	V-292		麻の背広	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 347	V衣2 洋服 (1) 大人用	V-293		背広	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能1	基本機能2	動力主体・エネルギー源
身体	着ける	着る・羽織る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・羽織る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
消火・消防	火を避ける	着る・羽織る・火を避ける	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
芸能・獅子舞	演じる	着る・羽織る・演じる	..	身体（獅子方若衆）	..	防御緩衝	情報	
身体	着ける	着る・肩に掛ける	..	身体	..	情報	防御緩衝	
身体	着ける（儀式用）	着る・肩に掛ける	..	身体	..	情報	防御緩衝	
身体	着ける	着る・羽織る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・羽織る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・羽織る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る（通学用女子）	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・女子用	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・女子用	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		

形態別一覧表：軟質系 4 衣状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
P 347	V衣2 洋服 (1) 大人用	V-294		綿シャツ	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 348	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-300		メリヤスシャツ	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 350	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-306		学生服 男児用	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 351	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-309		セーラー服	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 351	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-310		セーラー服	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 351	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-311		セーラー服	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 351	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-313		上着・ウワッパリ	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 352	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-314		半袖セーター	衣状	丸首シャツ形		繊維	編物
P 353	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-321		カーディガン	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	編物
P 353	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-322		セーター	衣状	丸首シャツ形		繊維	編物
P 354	V衣2 洋服 (3) 赤ちゃん用	V-326		ベビー服	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
P 360	V衣3 防寒服	V-350		ウワッパリ 女児用	衣状	シャツ形（厚手）	布状・筒状	繊維	縫物
P 362	V衣3 防寒服	V-358		和服用コート	衣状	シャツ形（厚手）	布状・筒状	繊維	縫物
P 363	V衣3 防寒服	V-361		毛糸の羽織	衣状	シャツ形（厚手）	布状・筒状	繊維	縫物
P 594	IX 社会生活 12 戦時	IX-123		陸軍の軍服	衣状	シャツ形	布状・筒状	繊維	縫物
<b>4-3 ワンピース形</b>									
P 352	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-316		ワンピース	衣状	ワンピース形	布状・筒状	繊維	縫物
P 303	V衣1 和服 (1) 儀礼服	V-106		簡単服	衣状	ワンピース形	布状・筒状	繊維	縫物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能 1	基本機能 2	動力主体・ エネルギー源
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る（通学用男子）	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る（通学用女子）	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
戦時生活	護る	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る	..	身体（全身）	..	防御緩衝		

形態別一覧表：軟質系 4 衣状のもの

図録頁	用途分野	写真番号	写真	項目名	全体形	作用部 (+支持部) +身体接触部の概要	作用部	作用部の素材	作用部の作り
4-4 マント形									
P 351	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-312		学生コート	衣状	マント形		繊維	縫物
P 355	V衣2 洋服 (3) 赤ちゃん用	V-329		ベビーケープ	衣状	マント形		繊維	編物
P 357	V衣3 防寒服	V-337		マント・オダワラ 男物	衣状	マント形		繊維	縫物
P 357	V衣3 防寒服	V-340		マント・オダワラ・オペラマント 女児用	衣状	マント形		繊維	縫物
P 358	V衣3 防寒服	V-342		二重マント・トンビ 男物	衣状	マント形		繊維	縫物
P 358	V衣3 防寒服	V-343		二重マント・トンビ 男物	衣状	マント形		繊維	縫物
P 360	V衣3 防寒服	V-349		オーバー 女児用	衣状	マント形		繊維	縫物
P 360	V衣3 防寒服	V-351		オーバー 女児用	衣状	マント形		繊維	縫物
P 362	V衣3 防寒服	V-360		引回し (ひきまわし)	衣状	マント形		繊維	縫物
P 594	IX社会生活 12 戦時	IX-124		将校マント	衣状	マント形	人型	繊維	縫物
4-5 二股形									
P 317	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-166		半股引・タンポモモシキ	衣状	二股形	着物・袋状(筒状・股状)	繊維	縫物
P 317	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-168		長股引・コンゴレロ	衣状	二股形	袋状(筒状・股状)	繊維	縫物
P 318	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-171		股引	衣状	二股形	袋状(筒状・股状)	繊維	縫物
P 318	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	V-172		モンペ	衣状	二股形	袋状(筒状・股状)	繊維	縫物
P 348	V衣2 洋服 (1) 大人用	V-297		ズボン	衣状	二股形	袋状(筒状・股状)	繊維	縫物
P 350	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-305		学生ズボン	衣状	二股形	袋状(筒状・股状)	繊維	縫物
P 583	IX社会生活 6 獅子舞	IX-075		野袴・タツキ	衣状	二股形	布状	繊維	縫物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能 1	基本機能 2	動力主体・ エネルギー源
身体	着ける	着る・防寒用	..	身体（上半身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・防寒用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・防寒用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・防寒用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・防寒用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・防寒用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・防寒用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・防寒用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体	着ける	着る・防寒用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
戦時生活	護る	着る・防寒用	..	身体（全身）	..	防御緩衝		
身体 （下半身）	履く	履く	..	身体（下半身）	..	防御緩衝		
身体 （下半身）	履く	履く	..	身体（下半身）	..	防御緩衝		
身体 （下半身）	履く	履く	..	身体（下半身）	..	防御緩衝		
身体 （下半身）	履く	履く	..	身体（下半身）	..	防御緩衝		
身体 （下半身）	履く	履く	..	身体（下半身）	..	防御緩衝		
身体 （下半身）	履く	履く	..	身体（下半身）	..	防御緩衝		
芸能・獅子 舞	演じる	履く	..	身体（獅子方若 衆）	..	防御緩衝	情報	

形態別一覧表：軟質系 4 衣状のもの

図録頁	用途分野	写真 番号	写 真	項目名	全体形	作用部（+支持部） +身体接触部の概要	作用部	作用部 の素材	作用部 の作り
<b>4-6 蓑形</b>									
P 372	V衣5 雨具	V-393		蓑・バンドリ	衣状	蓑形（編組）	マット状	繊維	編組
P 375	V衣5 雨具	V-406		蓑・サンガイミノゴ	衣状	蓑形（編組）	マット状	繊維	編組
P 377	V衣5 雨具	V-411		ミノゴ	衣状	蓑形（編組）	マット状	繊維	編組
<b>4-7 その他の衣状のもの</b>									
P 354	V衣2 洋服 (3) 赤ちゃん用	V-325		腹当	衣状	布状		繊維	縫物
P 285	V衣1 和服 (1) 儀礼服	V-034		袴 男物	衣状	筒形	袋状（筒状）	繊維	縫物
P 350	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-308②		制服 女子用	衣状	筒形		繊維	縫物
P 353	V衣2 洋服 (2) 子供用	V-323		スカート	衣状	筒形		繊維	縫物

対象物	主要動作	機能	支持部	身体接触部	付属品	基本機能 1	基本機能 2	動力主体・ エネルギー源
雨を防ぐ (雨具)	防ぐ(雨を)	着る	..	身体	..	防御緩衝		
荷を担ぐ (背中当て)	担ぐ(荷を)	着る	..	身体	..	防御緩衝		
荷を担ぐ (背中当て)	担ぐ(荷を)	着る	..	身体	..	防御緩衝		
身体	あてる	着ける	..	身体(腹)	..	防御緩衝		
身体	履く	履く	..	身体(下半身)	..	防御緩衝		
身体	着ける	着ける	..	身体	..	防御緩衝		
身体	履く	履く	..	身体(下半身)	..	防御緩衝		

# 機能別一覧表

## 「把握・加撃系」「支持系」「光熱・化学系」「情報・象徴系」

### List by Functions of Tools

「形態別一覧表」と同じく、『砺波の民具』収録の約 5500 点から抽出した約 1300 件の民具から、生業の種類や暮らしの場面を越えて、共通する機能を果たす民具を集めて並べ直した一覧表を示す。

ここで「民具の機能」というのは、その民具が対象物の形状や位置などに変化をもたらす働きである。基本的に『砺波の民具』に記載のデータを記入したほか、収集整理の担当者からの情報で補足したものもあるが、事典的な説明は避けて、それぞれの民具の個別情報を記入することをめざした。

ひとつの民具が多様に用いられ、複数の機能を持つ場合は、それぞれの機能ごとに複数配置した。

以上、ある機能を実現するためには、どのような形態の民具が存在し、それが、どのように用いられてきたかを、改めて認識できる一覧になることをめざした。

以下については、「民具の『形態と機能』を読む」の図 8「身体機能と道具の働き」を合わせて参照していただきたい。

\*\*\*

#### 1. 把握・加撃系の機能

「把握」つまり「物をつかむ」のは人の手の基本機能だが、「つかむ道具」は案外少ない。道具の多くは「つかんで操作する」。「加撃」はその代表的な機能で、国語辞典にはない造語で、「叩く・うつ・搔く・すくう・はらう」など、身体の動作（主に手）により直接、あるいは道具を介して対象物に働きかけることを包括的にとらえた。対象物の形態や位置などの状態を変化させる機能をすべて含めている。対象物は、分離、分散、破壊、あるいは逆に集合、結合させられ、そのことで形態や位置関係が変わったり、選別されたり、組み合わせられたりする。それらの機能をまとめた。

#### 2. 支持系の機能

主に容器や吊鉤などの、「収納・支持」の機能である。対象物を手で持ったり、すくったり、掲げたりなどして支えるのと、何かに入れたり、乗せたり、掛けたり、吊り下げたりして、その状態を維持する機能と、それに用いられる道具がある。いずれも地球上では空気があり、重力が働くことでなりたつ。流体や粉体など、そのままでは分散してしまうか、流れ出してしまうものに一定の空間を与え、落下・浮遊してしまわないよう位置を固定して、その形状を維持する働きをする。この支持系の機能を使いながら、移動することで、「移動・運搬」の機能が特化した道具もここに含めておいた。

#### 3. 光熱・化学系の機能

いわゆる発火具、灯火具・暖房具・調理具など、火のエネルギーを利用するための機能を専門に果たす道具がある。これらも発火具は「1」の加撃系、その他は、基本的には「2」の支持系機能をベースにもつ。また、微生物による加工・変化をもたらす民具も同様であるのでここに加えておいた。

#### 4. 情報・象徴系の機能

寸法や重量・時間などを「はかる」道具、いわば情報を獲得する道具と、逆に情報を発信する機能を有する道具がある。前者は、棒状・板状・杵状・器状のものスケールが規格化されている。情報の発信の場合は、上記の「1～3」の機能をもつ道具に、さらに特定の形象、記号や文字、さらに色や装飾を加え、さらに音や光を出す機能が加わって、情報を加工・保存・発信する「象徴的な機能」が働く道具類が展開する。祭り、行事や儀礼において身に着ける衣類や装置・道具などにこの機能をもつものが見られる。

民具と「形態と機能」の一覧表は、今回は「砺波の民具」のコレクションを対象に試みさせていただいたものであるが、さらにさまざまな地域特性や時代的特徴、あるいは海外の民族が持ち伝えた民具のコレクションの情報が重なることで、機能と形態の対応関係を読み解く材料を、提供できるデータベースに成長できるとよいと考えている。

(神野善治)

把握・加撃系：食料と資材の獲得・加工（造作）・選別			
1	把捉・把握 (捕獲採取)	食糧・資材	つかむ（把・握）、とる（採・取・獲・捕・穫・盗）
2	加工（加撃）	〈食糧・資材〉	たたく（叩）、うつ（打）、きる（切・断・伐・裁）、けずる（削）、ほる（彫）、つく（突）、ほる（掘）、する（摺・磨）、ひく（挽・碾）、かく（搔・書）、はらう（払・掃）、はく（掃）、ねじる（捩）
3	製作	〈資材〉	よる（燃）、つむぐ（紡）、あむ（編）、おる（織）、ぬう（縫）、くむ（組）
4	選別	〈重力・空気〉	ふるう（篩）、わける（分・別）、こく（扱く）

支持系：食料・資材の収納保存・移動運搬			
5	収納・支持 (防御・緩衝)	形状固定	まとめる・たばねる（束）、つつむ（包）、入れる（入・容）
		位置固定	おく（置）、のせる（乗・積・載）、つる（吊）、かける（掛）
		—	おおう（被・覆）、しく（敷）、きる（着）、かこう（囲）
6	移動・運搬	位置(水平・上下) 移動	うつす・うつる（移・動）
		運搬	はこぶ（運・搬）
		水力・畜力・電力 など	うごかす（動）

光熱・化学系：火エネルギー・光・微生物の利用			
7	獲得	光・熱エネルギー	とる（採・取）、つける（点）、ともす（灯）
	加工	光・熱エネルギー	にる（煮）、やく（焼）、むす（蒸）、とかす（熔）
	加工（化学）	水・微生物・薬品	とかす（溶）、かもす（醸）

情報・象徴系：獲得・加工・保存・伝達			
8	情報・象徴	触覚情報	ふれる（接・触）、あてる（当）、つかむ（把）、にぎる（握）
		数量・時・空間情報	とる・はかる（計・測・量）
		形態情報	とる・かたどる（型・象）
		視覚情報（獲得・ 発信）文字・記号 ・絵・図	みる（見・観）、よむ（読）、とる（撮）、うつす（写）、しるす（記）
			かく（書・描）、しめす・かかげる（掲示）
		聴覚情報（声）	きく（聞・聴）、かたる（語）、うたう（歌・謡）、とる（録）
		聴覚情報(音・楽器)	ならす（奏・鳴）
		装飾	かざる（飾）、よそおう（装）
		祝儀	いわう（祝）、まつる（祭・祀・奉）→ささげる（捧・奉）、そなえる（供）
		遊戯	あそぶ（遊・戯・娯・楽）、もてあそぶ（玩）、まねる（似・模・擬）、だます（騙）、きそう（競・争）
思考・理解	かんがえる（考）、さっする（察）、しる（知）、わかる（分・解）		

# 把握・加撃系

機能別一覧表：1-1 つかむ（掴）・はさむ（挟）／1-2 すくう（掬）・くむ（汲）

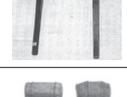
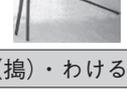
写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
1-1 つかむ（掴）・にぎる（把・握）・はさむ（挟） ※意外にこの項目が少ない								
VI-245		箸	VI食2 飲食(4) 箸	飯・おかず	つかむ・挟む	挟む・摘む	木	棒状2
VII-059		火箸	VII住2 暖房(1) 囲炉裏	薪や炭	はさむ	はさむ・移す	鉄	棒状2+輪状
III-132		ヒバシ(ヤットコ)	III諸職5 石屋	鑿・矢	挟む・握る	火にいれる	鉄	棒状2
III-167		ヤットコ	III諸職7 鍛冶屋	炉で焼いた熱い金属	挟む	固定する	鉄	棒状2
III-134		ドンボ	III諸職5 石屋	鑿や矢	いれる・握る	火にいれる	鉄	円錐形(鉄板)
III-076		鋸挟板・ノコバサミ	III諸職2 大工	鋸の歯	鋸の歯を挟む	挟む・固定する	木	板状2
はさむ（挟）・つぶす（潰）								
I-646		藁打機	I 農林業6 藁仕事(1) 藁調整	藁	(藁束を)はさむ・まわす	潰す(ローラーで)・柔らかくする	鉄+木	複雑形(機械)
つまむ（摘）・つむ（摘） 事例：穂摘具・桑摘爪など								
	砺波・事例なし							
1-2 すくう（掬）・くむ（汲） ※2-5 たがやす（耕）をあわせて参照のこと								
I-006		板鍬・平鍬	I 農林業1 耕耘(1) 耕耘	田畑の土	打ち下す・引く	掘る・起こす・碎く・すくう・のせる・均す	鉄	∟形：板状+棒状
I-016		アゼヌリグワ	I 農林業1 耕耘(1) 耕耘	田畑の土	すくう・塗る	すくう・塗る(あぜの泥を)	鉄	∟形：籠状・匙状+棒状
I-017		三ツ鍬・ミツグワ	I 農林業1 耕耘(1) 耕耘	田畑の土	打ち下す・引く	掘る・起こす・碎く・すくう・のせる・均す	鉄	∟形：棒状3又+棒状
I-030		四ツ鍬・ヨツグワ	I 農林業1 耕耘(1) 耕耘	田畑の土	打ち下す・引く	掘る・起こす・碎く・すくう・のせる・均す	鉄	∟形：棒状4又+棒状
VII-122		釣瓶	VII住3 設備(1) 井戸	井戸の水	吊り下げる・上げる	汲む	木+竹(タガ)	器状：円筒形・桶楡形+棒状+鎖状
VI-250		手桶・チョーケ	VI食3 保存・醸造(1) 桶	水	いれる・汲む	いれる・汲む	木+竹(タガ)	器状：円筒形・桶楡形+提げ手
VI-254		水汲桶・ミズクミオケ	VI食3 保存・醸造(1) 桶	水	いれる・汲む	いれる・汲む	木+竹(タガ)	器状：円筒形・桶楡形+持ち手

機能別一覧表：1-1/1-2

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部	
I-066		ジョレン (鋤簾)	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	溝の砂利・水の混じった土砂	引く	すくう・さらう・掻き上げる	鉄	∟形：箕形+棒状	※1
I-486		米すくい	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	米(白から)	すくう	すくう・移動	木	箕形	※1
I-732		投網	I 農林業 10 川漁	魚	投げる・かぶせる・すくう	捕獲	麻	網状	
I-733		ぶったい	I 農林業 10 川漁	ドジョウ・ナマズなど	引く・すくう	捕獲	竹	箕形+状状	※1
III-093		バンバ	III 諸職 3 壁塗 (左官)	壁土	すくう	差し上げる・移す (高い所の職人に)	木	籠・匙状 (大型)	
III-095		鍔板 (こていた)	III 諸職 3 壁塗 (左官)	壁土・壁	壁土をのせる・握ねる	壁土をのせる	木	板状	
III-096		鍔 (こて)	III 諸職 3 壁塗 (左官)	壁土・壁	壁土を塗る	こする・均す	金属	板状・鍔形・刃物	
III-097		細工鍔	III 諸職 3 壁塗 (左官)	壁土	すくう	塗る・均す	鉄	籠・匙状	
III-177①		計量スプーン・サジ	III 諸職 8 菓子作り	粉	すくう	はかる	木	籠・匙状	
VI-243		汁杓子	VI 食 2 飲食 (4) 杓子	飯	すくう	すくう (よそう)	木	籠・匙状	
VI-244		杓子	VI 食 2 飲食 (4) 杓子	飯	すくう	すくう	木	籠・匙状	
VI-324		柄杓	VI 食 4 嗜好 (1) 酒	水	すくう・いれる	注ぐ	木	円筒形(曲物)+棒状	
VII-057		センバ (十能)	VII 住 2 暖房 (1) 囲炉裏	燵や灰	いれる	すくう	鉄	箕形+棒状	
VII-133		ポンプ	VII 住 3 設備 (1) 井戸	水	ハンドルを動かす	汲む	鉄	複雑系・筒状	

※1 箕形=先端が平らな U 字形で後方が立ち上がる。

機能別一覧表：2-1 たたく（叩）・うつ（打）・つく（搗）・つぶす（潰） ※「のす」は「転がす」などと合わせて別項へ

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
<b>2-1 加撃（加工・工作）</b>								
<b>叩く・打つ・叩き締める・叩きのばす</b>								
I-731		掛矢・カケヤ	I 農林業 9 林業	杭・楔を	叩き下ろす・打つ	叩く	木	塊状+棒状
II-093		叩板・タタキ	II 手工業 2 瓦づくり	瓦土を	打つ・叩く	叩き絞める（粘土を）	木	板状
III-071		金槌	III 諸職 2 大工	鑿を	あてる（鑿の頭に）	叩く	鉄	T形・槌形：塊状・円筒形（打物）+棒状
III-072		木槌（きづち）・サイツツ	III 諸職 2 大工	木釘・板材を	（組み物などを）	叩く・組む	木	T形・槌形：塊状・円筒形（打物）+棒状
III-145		木槌	III 諸職 6 桶屋	桶の箍（たが）を	矢板で叩く	叩き締める	木	T形・槌形：塊状+棒状
III-169		金槌	III 諸職 7 鍛冶屋	鉄を	火箸で挟んで	叩く・伸ばす	鉄	T形・槌形：塊状・円筒形+棒状
<b>たたく（叩）・わける（分）</b>								
I-499		叩き棒・タタキ	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	豆など	叩く	叩く・穀と実を分ける（脱穀する）	木	棒状（曲がり）
I-502		叩き棒・唐棹・ボータタキ	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	刈った稲を	ふりまわす・叩く	叩く・穀と実を分ける	木	棒状+棒状
I-505		叩き棒・唐棹・ボータタキ	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	刈った稲を	ふりまわす・叩く	叩く・穀と実を分ける	木	棒状2+棒状
<b>つく（搗）・わける（分）</b>								
I-509		叩き杵・ボータガチギネ	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	玄米など	叩く・搗く（カツ）	脱穀する	木	L形・塊状（円筒）+棒状
I-612		米搗き杵	I 農林業 4 収穫 (5) 精米	玄米を	打つ・打ち下ろす	搗く・打つ・米と糠を分ける（精白する）	木	L形・塊状+棒状
I-610②		フンガチ（米搗き）の臼	I 農林業 4 収穫 (5) 精米	玄米を	入れる・搗く（カツ）	いれる・搗く（精白する）	木	器状（臼物）
I-621		石臼	I 農林業 4 収穫 (5) 精米	玄米を	入れる・搗く（カツ）	いれる・搗く（精白する）	石	器状：塊状（臼物）
I-622		精米機	I 農林業 4 収穫 (5) 精米	玄米を	いれる・まわす	搗く・打つ・米と糠を分ける（精白する）	鉄+木	複雑系・機械
VI-114		餅搗き杵・モチカチギネ	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	蒸した米を	搗く	搗く（餅に）	木	L形・槌形：塊状・円筒形+棒状
VI-113		餅搗臼・モチカチウス	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	炊事・調理	入れる・搗く	搗く（餅に）	木	器状：円筒（臼物）

機能別一覧表：2-1

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
ならず (均)・まぜる (混)								
I-254		苗代均し・ノシロダナラシ	I 農林業 2 田植 (1) 苗代	苗代のうね面を平らにする	突き立て、叩いて均す	突いて均す	木 (杉)	板状+棒状 2
VI-294		味噌突棒	VI 食 3 保存・醸造 (4) 味噌作り	味噌・醤油づくり	突く	突く・混ぜる→掻く	木	板状+棒状
くだく (砕)・つぶす (潰)								
I-163		回転式砕土機	I 農林業 1 耕耘 (2) 砕土・代掻	田畑の土(スキで起こした)を	牛馬に曳かせる、土を掻く	砕く	鉄	棒状+棒状 (鳥居形柄)
I-165		回転式砕土機	I 農林業 1 耕耘 (2) 砕土・代掻	田畑の土(スキで起こした)を	牛馬に曳かせる、土を掻く	砕く・均す (土を)	鉄	棒状+棒状 (鳥居形柄)
I-642		藁打石	I 農林業 6 藁仕事 (1) 藁調整	藁を	のせる (藁束を)	叩く・潰す・柔らかくする	石	塊状 (台形・自然石)
I-643		木槌 (横槌)	I 農林業 6 藁仕事 (1) 藁調整	藁を	叩く	叩く・潰す・柔らかくする	木	塊状 (円筒+棒)
たたく (叩)・きる (切)・わる (割)・けずる (削)								
I-319		鎌 (にしん) 切台・ニッシンバン・ニッシンハタキダイ	I 農林業 3 肥培・管理	肥料を	据える・のせる・支える	叩く・切る	木 (樺)	板状 (円盤状)
I-322		鎌切り・ニッシンハタキ	I 農林業 3 肥培・管理	肥料を	叩き下ろす	叩く・切る	鉄	T 形：板状・刃物+棒+棒 (柄)
I-714		斧・ヨキ	I 農林業 9 林業	木・薪を	振り下ろす・打ち込む・引く	叩き切る	鉄	L 形：板状・刃物+棒状
III-149		鉞 (まさかり)	III 諸職 6 桶屋	桶材を	叩き割る	荒木取りをする	鉄	板状・鉞形・刃物+棒状
III-001		鉞	III 諸職 1 木挽	枝・材を	叩く・割る・切る	叩き切る	鉄	板状・鉞形・刃物 (鉞)
III-148		鉞・ワリナタ	III 諸職 6 桶屋	桶材を	当てる・割る	叩き割る・クレ材をつくる	鉄	板状・鉞形・刃物+棒状
III-158③		割り野引 (わりけびぎ)	III 諸職 6 桶屋	桶材を	挽き割る	挽き割る (板を)	鉄+木	刃物
III-101②		板割鉞	III 諸職 4 屋根葺き	屋根板を	あてる	割る	鉄	L 形：板状・刃物
III-113		槌・コヤスケ	III 諸職 5 石屋	石を	あてる・頭を (槌や石刀で叩く)	叩き削る (はつる)	鉄	T 形・槌形 (塊状・片端楔形・片端平面)+棒状
III-115		玄能 (げんのう)	III 諸職 5 石屋	石を	叩く (矢・コヤスケの頭を)	割る (石を)	鉄	T 形・槌形 (塊状+棒状)
III-116		石刀 (せつとう)	III 諸職 5 石屋	石を	叩く (矢・コヤスケの頭を)	割る (石を)	鉄	T 形・槌形 (塊状+棒状)

機能別一覧表：2-1

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
Ⅲ-120		平鑿	Ⅲ諸職 5 石屋	石を	削る・彫る	割る(石を)	鉄	棒状・刃物
Ⅲ-121		底突鑿	Ⅲ諸職 5 石屋	石を	削る・彫る	割る(石を)	鉄	棒状・刃物
Ⅲ-122		荒鑿(あらのみ)	Ⅲ諸職 5 石屋	石を	削る・彫る	割る(石を)	鉄	釘状・刃物・棒状
Ⅲ-123		手鑿(てのみ)	Ⅲ諸職 5 石屋	石を	叩く・削る	彫る(石を)	鉄	釘状・刃物・棒状
Ⅵ-141		氷割り	Ⅵ食1 炊事・調理(3) 調理具	氷を	突く	割る・砕く	鉄	釘状
Ⅲ-090		竹割り	Ⅲ諸職 3 壁塗(左官)	竹(小舞竹)を	差し込む	割る	鉄	輪状・放射状+棒
Ⅲ-144		十文字・タケワリのコマ	Ⅲ諸職 6 桶屋	竹を、タガに	あてる	割る	木	十字形
Ⅲ-125		矢・マメヤ	Ⅲ諸職 5 石屋	石を	叩く・削る	彫る(石像などを)	鉄	釘状・刃物・棒状
Ⅲ-127		矢・ヒラキヤ	Ⅲ諸職 5 石屋	石を	叩く・削る	彫る(石像などを)	鉄	棒状
Ⅲ-128		鑿(たがね)	Ⅲ諸職 5 石屋	鑿・ヤ	叩く・削る	切る(鑿や矢を補修)	鉄	板状
Ⅲ-129		鑿(たがね)	Ⅲ諸職 5 石屋	鑿・ヤ	あてる	切る(鑿や矢を補修)	鉄	刃物状(半円形+棒状)
Ⅲ-130		鑿(たがね)	Ⅲ諸職 5 石屋	鑿・ヤ	叩き切る	切る(鑿や矢を)	鉄	板状・鑿形・刃物+棒状(T形)

※以下「形態分類」の「板状・刃物」と重複するため事例は省略・削除。

機能別一覧表：2-2 きる（切）／2-3 けずる（削）・ほる（彫）／2-4 つく（突）

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
2-2 きる・ひききる・たたききる・はさみきる								
きる（切・伐・裁・剪・截・斬）※刃縦向 鉈・斧・鉞・鉈・包丁・小刀								
I-710		鉈	I 農林業 9 林業	雑木	叩き下ろす・切る	叩き切る	鉄・鍛造	板状・鉈形・刃物
III-001		鉈	III 諸職 1 木挽	枝・薪など	叩く・割る・切る	叩き切る	鉄・鍛造	板状・鉈形・刃物
I-711		鉈	I 農林業 9 林業	雑木	叩き下ろす・切る	叩き切る	鉄・鍛造	板状・鉈形・刃物
I-713		鉈受け台	I 農林業 9 林業	杭など	材をのせる・あてる	切る・削る（受動）	鉄・鍛造	塊（円盤状）
I-322		鎌切り・ニッシンハタキ	I 農林業 3 肥培・管理	乾燥ニシン（稲作の肥料）	叩き下ろす	叩く・切る	鉄・鍛造	T形：板状・刃物+棒+棒（柄）刃横向き
III-101②		板割鉈	III 諸職 4 屋根葺き	板	あてる	割る	鉄・鍛造	L形：板状・刃物+棒状
I-714		斧・ヨキ	I 農林業 9 林業	立木・木材	振り下ろす・打ち込む・引く	叩き切る	鉄・鍛造	L形：板状・刃物+棒状
III-004		刃広鉞・ハビロ	III 諸職 1 木挽	立ち木・材木	叩く・切る	はつる（削る）	鉄・鍛造	L形：板状・鉞形・刃物+棒状
III-005		鉞（まさかり）	III 諸職 1 木挽	立ち木・材木	叩く・切る	はつる（削る）	鉄・鍛造	L形：板状・斧形・刃物（斧）
III-090		竹割り	III 諸職 3 壁塗（左官）	竹材	差し込む	割る	鉄・鍛造	輪状（放射状の刃）・棒状（両側）
III-129		鑿（たがね）	III 諸職 5 石屋	鑿・矢	あてる	切る（鑿や矢を）	鉄・鍛造	板状刃物（半円形・棒状）
I-123		株かけ鎌（カブカケマ）	I 農林業 1 耕耘（2）碎土・代掻	稲株	振り下ろす・引く	切り割る	鉄・鍛造	L形：刃物+棒状
I-128		足踏み株切（カブキリ）	I 農林業 1 耕耘（2）碎土・代掻	稲株	足に履いて、稲株を踏んで切る	切り割る	鉄・鍛造	板状 2（断面 T 字）
I-135		足踏み株切（カブキリ）	I 農林業 1 耕耘（2）碎土・代掻	稲株	足に履いて、稲株を踏んで切る	切り割る	鉄・鍛造	板状+U形+鉤状 4
I-139		カマ・マンガ	I 農林業 1 耕耘（2）碎土・代掻	（スキで起こし、水を入れた）田畑の土	牛馬に曳かせる、土を掻く	切る（土塊とレンゲソウの根を）	鉄・鍛造	∟形・棒状+棒状（鳥居形）
I-428		溝切り・クマデキリ	I 農林業 3 肥培・管理（4）灌漑	水田の土	打つ・打ち下ろす・引く	切る・掘る	鉄・鍛造	L形：刃物（鎌形）2枚+棒・斜向
I-430		鋸鎌・ノコギリガマ	I 農林業 4 収穫（1）刈取・乾燥	稲株	引っ掛ける・引く	切る	鉄・鍛造	刃物（鎌形）+棒・斜向

機能別一覧表：2-2/2-3/2-4

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
I-431		花草刈鎌・ハナクサカリガマ	I 農林業 4 収穫(1) 刈取・乾燥	花草(紫雲英)	引っ掛ける・引く	切る	鉄・鍛造	刃物(鎌形)+棒・斜向
III-130		鑿(たがね)	III 諸職 5 石屋	鑿(のみ)や矢	叩き切る	切る(折れたり鈍った鑿や矢を修理)	鉄・鍛造	T形:板状・鑿形(刃物)+棒状
ひく(引)+きる(切)・かる(刈) 刃縦向 ※鎌類								
I-419		草刈鎌	I 農林業 3 肥培・管理(3) 中耕除草	水田のアゼやクロの雑草	刈る	刈る	鉄・鍛造	L形:鎌形(刃物)+棒(握り)
I-421		かや刈鎌	I 農林業 3 肥培・管理(3) 中耕除草	畔の雑草	刈る	刈る	鉄・鍛造	L形:鎌形(刃物)+棒(握り)
I-433		花草刈鎌・ハナクサカリガマ	I 農林業 4 収穫(1) 刈取・乾燥	花草(紫雲英)	引っ掛ける・引く	刈る・切る	鉄・鍛造	L形:刃物(鎌形)5枚+棒(竹柄)
I-707		柴刈鎌	I 農林業 9 林業	柴	刈る	刈る	鉄・鍛造	L形:刃物(鎌形)
I-709		下草刈鎌・シタカリガマ	I 農林業 9 林業	下草	刈る	刈る	鉄・鍛造	L形:刃物(鎌形)
ひく(挽)+きる(切) 刃横向 ※鋸類・野引・轆轤用刃物など 縦挽鋸の刃は作業方向に直角に付けられている。								
III-44		縦引鋸・マエビキ	III 諸職 2 大工	材木	縦に挽く	切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物)+棒状
III-45		縦引鋸・ガガリノコ	III 諸職 2 大工	材木	縦に挽く	切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物)+棒状
I-719		鋸・ガンド	I 農林業 9 林業	木	引き切る	切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物)+棒状
I-720		鋸・テマガリ	I 農林業 9 林業	木	引き切る	切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物)+棒状
III-009		縦引鋸・マエビキ	III 諸職 1 木挽	木材	縦に挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物)+棒状
III-016		縦引鋸・クビナガ	III 諸職 1 木挽	木材	縦に挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物)+棒状
III-017		縦引鋸・テノコ	III 諸職 1 木挽	木材	縦に挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物)+棒状
III-018		縦引鋸・テマガリ	III 諸職 1 木挽	木材	縦に挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物)+棒状
III-020		縦引鋸・テノコ	III 諸職 1 木挽	木材	縦に挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物)+棒状
III-028		横引鋸・ガンド	III 諸職 1 木挽	木材	横に挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物)+棒状

機能別一覧表：2-2/2-3/2-4

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
Ⅲ-029		横引鋸・リョウビキ	Ⅲ諸職 1 木挽	木材	横に挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物) + 棒状
Ⅲ-044		縦引鋸・マエビキ	Ⅲ諸職 2 大工	材木	縦に挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物) + 棒状
Ⅲ-045		縦引鋸・ガガリノコ	Ⅲ諸職 2 大工	材木	縦に挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物) + 棒状
Ⅲ-046①		両刃鋸	Ⅲ諸職 2 大工	材木	縦・横に挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物) + 棒状
Ⅲ-046②		胴付鋸	Ⅲ諸職 2 大工	材木	(※) 挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物) + 棒状
Ⅲ-047②		鋸・テノコ	Ⅲ諸職 2 大工	材木	曲線・円形に挽く	挽く・切る	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物) + 棒状
Ⅲ-047①		鋸・ヒキマワシ	Ⅲ諸職 2 大工	材木	曲線・円形に挽く	挽く(曲線・円形に)	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物) + 棒状
Ⅲ-049		鋸・ヒキマワシ	Ⅲ諸職 2 大工	材木	曲線・円形に挽く	挽く(曲線・円形に)	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物) + 棒状
Ⅲ-152		鋸・ヒキマワシ	Ⅲ諸職 6 桶屋	材木(桶材)	あてる・挽く	挽く(曲線・円形に)	鉄・鍛造	板状・鋸形(刃物) + 棒状
Ⅲ-158③		割り野引(わりけびぎ)	Ⅲ諸職 6 桶屋	材木(桶材)	挽き割る	挽き割る(板を)	鉄・鍛造	刃物
はさむ(挟)+きる(切) 刃縦向・交差 ※鉄類・押切・(石臼)								
Ⅱ-090		糸切鋏・にぎり鋏	Ⅱ手工業 1 紡織(3) 機織	糸	挟む	切る	鉄・鍛造	U字：刃物
Ⅲ-109		屋根鋏	Ⅲ諸職 4 屋根葺き	茅	挟む・切る	切り揃える	鉄・鍛造	X形：板状・刃物 2
I-334		押し切り・オシギリ	I 農林業 3 肥培・管理	乾燥ニンシ(稲作の肥料)	藁をはさむ・押す・切る	押す・切る	鉄・鍛造	板状・包丁形・刃物 2+板状(台)
I-435		稲刈機・イネカリキ	I 農林業 4 収穫(1) 刈取・乾燥	稲株	レバーを引く・挟む	切る・刈る	鉄・鍛造	複雑形：刃物(鉄形)+棒
I-437		バインダー	I 農林業 4 収穫(1) 刈取・乾燥	稲株	押す	切る・刈る・束ねる	鉄・鍛造	複雑形：機械
2-3 けずる(削)・ほる(彫)								
けずる(削)はがす(剝) 刃横向 ※手斧・台鉋・やり鉋								
Ⅲ-051		槍鉋(やりがんな)	Ⅲ諸職 2 大工	材木	面に充てて引く	削る	鉄・鍛造	槍形・刃物+棒状

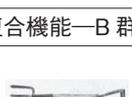
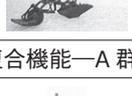
機能別一覧表：2-2/2-3/2-4

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
Ⅲ-054		台鉋	Ⅲ諸職 2 大工	材木	面に充てて引く	削る	鉄・鍛造	板状・鉋形・刃物 + 板状台木
Ⅲ-056		脇取り鉋	Ⅲ諸職 2 大工	材木	角に充てて引く	削る (材の合わせ目)	鉄・鍛造	板状・鉋形・刃物 + 板状台木
Ⅲ-31②		皮剥・カワムキ②	Ⅲ諸職 1 木挽	材木の皮	差し込む・突く	剥ぐ	鉄・鍛造	鉋状・刃物 + 棒状
Ⅲ-078		バリ	Ⅲ諸職 2 大工	板など	差し込む、槌子の力で	はがす・開く	鉄・鍛造	鉋状 (両端)
ほる (彫) 刃横向 ※錐類・鑿類								
Ⅲ-060		刺鑿 (さしのみ)	Ⅲ諸職 2 大工	材木	押し付け	彫る (穴を)	鉄・鍛造	鑿形 (刃物)
Ⅲ-063		叩鑿 (たたきのみ)	Ⅲ諸職 2 大工	材木	当てて槌でたたき	彫る (穴を)	鉄・鍛造	鑿形 (刃物)
Ⅲ-067		錐 (きり)	Ⅲ諸職 2 大工	材木	突き立てて、もみこんで	あける (穴を)	鉄・鍛造	刃物 (錐)
Ⅲ-110		槌・チョウナ	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る (石の角を出したり、石像などを)	鉄・鍛造	T形：槌形塊状・片端楔形・片端角形 + 棒状
Ⅲ-112		槌・チョウナ	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る (石の角を出したり、石像などを)	鉄・鍛造	T形：槌形塊状・両端楔形 + 棒状
Ⅲ-115		槌・玄能 (げんのう)	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る (石像などを)	鉄・鍛造	T形：槌形塊状 + 棒状
Ⅲ-116		槌・石刀 (せつとう)	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る (石像などを)	鉄・鍛造	T形：槌形塊状 + 棒状
Ⅲ-117		鑿 (のみ)	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る (石像などを)	鉄・鍛造	棒状 (釘状)
Ⅲ-120		平鑿	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る (石像などを)	鉄・鍛造	棒状 (刃物) ※刃物 = 硬質の材を平らにして鋭い直線状にしたもの
Ⅲ-121		底突鑿	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る (石像などを)	鉄・鍛造	棒状 (刃物)
Ⅲ-122		荒鑿 (あらのみ)	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る (石像などを)	鉄・鍛造	釘状・棒状
Ⅲ-122		荒鑿 (あらのみ)	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る (石像などを)	鉄・鍛造	棒状・釘状
Ⅲ-123		手鑿 (てのみ)	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る (石像などを)	鉄・鍛造	棒状・釘状

## 機能別一覧表：2-2/2-3/2-4

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
Ⅲ-124		手鑿（てのみ）	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る（石像などを）	鉄・鍛造	棒状・釘状
Ⅲ-125		矢・マメヤ	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る（石像などを）	鉄・鍛造	棒状
Ⅲ-127		矢・ヒラキヤ	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る（石像などを）	鉄・鍛造	棒状
Ⅲ-128		鑿（たがね）	Ⅲ諸職 5 石屋	石	叩く・削る	彫る（石像などを）	鉄・鍛造	板状
Ⅲ-159①		つば鑿（つばのみ）	Ⅲ諸職 6 桶屋	材木(桶材)	材にあてる・鑿頭を叩く	あける（穴を）	鉄・鍛造	刃物・鑿形（つば付）+棒状（握り・金輪付）
Ⅲ-159②		平さし鑿	Ⅲ諸職 6 桶屋	材木(桶材)	材にあてる・押す	あける（穴を）	鉄・鍛造	刃物・鑿形+棒状
Ⅲ-159③		平叩き鑿	Ⅲ諸職 6 桶屋	材木(桶材)	材にあてる・鑿頭を叩く	あける（穴を）	鉄・鍛造	刃物・鑿形+棒状（握り・金輪付）
Ⅲ-159⑬		穴あけつば鑿	Ⅲ諸職 6 桶屋	材木(桶材)	材にあてる・鑿頭を叩く	あける（穴を）	鉄・鍛造	刃物・鑿形（つば付）+棒状（握り・金輪付）
2-4 つく（突）・さす（刺・射）・穴をあける 刃縦向・尖：槍・矢／刃縦向・尖：錐類								
Ⅲ-067		錐（きり）	Ⅲ諸職 2 大工	材木	突き立てて、もみこんで	あける（穴を）	鉄・鍛造	I形：刃物（錐）
Ⅲ-160		錐（きり）	Ⅲ諸職 6 桶屋	桶材の側面	揉む	あける（穴を）	鉄・鍛造	I形：刃物（錐）
Ⅲ-068		ギブネ（ギムネ）	Ⅲ諸職 2 大工	材木	突き立てて、もみこんで	あける（穴を）	鉄・鍛造	T形：刃物（錐）+棒状（握り）
Ⅲ-070		クリックハンドル	Ⅲ諸職 2 大工	材木	突き立てて、もみこんで	あける（穴を）	鉄・鍛造	棒状（板状）4曲+球状・木（握り）
Ⅲ-108		針	Ⅲ諸職 4 屋根葺き	屋根茅・縄	突く・刺す	縄を通す	竹	棒状（釘状・先端に穴あり）

機能別一覧表：2-5 たがやす（耕・掘・起・反転・砕・掬・掻・塗・載・均）

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
2-5-① ほる（掘）+おこす（起）+さらう（浚）								
I-443		手鋤（チサミ）	I 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	田畑の耕土・土	突く・穴を掘る	掘る	鉄・鍛造	板状
I-444		手鋤（ハサクリ）	I 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	田畑の耕土・畔(くろ)の土	突く・穴を掘る	掘る	鉄・鍛造	板状+棒状
I-690		フォーク	I 農林業 7 畑作・チューリップ栽培	球根と土	さす	掘る	鉄・鍛造	棒状・又状+棒状
I-053		唐鋤（とうぐわ）	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	畑の土・木の根	打ち下す・引く	掘る・切る	鉄・鍛造	∟形：板状刃物+棒状 ※1
I-428		溝切り（クマデキリ）	I 農林業 3 肥培・管理 (4) 灌漑	水田の土	打つ・打ち下ろす・引く	切る・掘る	鉄・鍛造	∟形：刃物（鎌形）2+棒状
I-427		排水溝掘器（ミゾカキ）	I 農林業 3 肥培・管理 (4) 灌漑	水田の泥	溝を掘る・泥を挟んで掻きあげる	掻く・掻き取る	鉄・鍛造	∟形：板状・刃物・棒状+棒状柄（X形）
I-055		ツール	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	用水・道路・田畑などの砂利・石・土	打ち下す・引く	起こす・掘る・さらう・均す（砂利・石を）	鉄・鍛造	T形：棒状+棒状 ※2
I-058		ツール	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	用水・道路・田畑などの砂利・石・土	打ち下す・引く	起こす・掘る・さらう・均す（砂利・石を）	鉄・鍛造	T形：鎌形+棒状 ※2 ※鎌形=先端が尖り、湾曲した板状
I-062		ツルハシ	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	用水・道路・田畑などの砂利・石・土	打ち下す・引く	起こす・掘る・さらう・均す（砂利・石を）	鉄・鍛造	T形：棒状+棒状 ※2
I-063		カワクマ	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	川の中の石	打ち下す・引き上げる（舟へ）	起こす・掘る・さらう・均す（砂利・石を）	鉄・鍛造	∟形：釘状2又+棒状
I-051		小鋤・草削り	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	打ち下す・引く	掘る・さらう・均す	鉄・鍛造	∟形：板状+棒状
+複合機能—B群 3件 ほる（掘）+おこす（起）								
I-065		フォーク	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	突き刺す・起こす	掘る・起こす・引き上げる	鉄・鍛造	I形：棒状(3又)+棒状+三角形（持ち手）※備考 ※3
I-047		三角鋤（ジャリグワ）	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	用水・道路・田畑などの砂利・土	打ち下す・引く	起こす・掘る・さらう・均す（砂利・石を）	鉄・鍛造	∟形：板状・三角形+棒状 ※4
I-119		溝上げ機（カルチベーター）	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	畑の土・球根類	馬に曳かせる	掘る・起こす・掘り取る	鉄	∟形：犁形（鉋状+棒状+棒状+車輪）（機）
+複合機能—A群 7件 ほる（掘）+おこす（起）+くだく（砕）+ならす（均）								
I-001		風呂鋤	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	打ち下す・引く	掘る・起こす・砕く・すくう・のせる・均す	鉄・鍛造	∟形：板状+棒状
I-006		板鋤（平鋤）	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	打ち下す・引く	掘る・起こす・砕く・すくう・のせる・均す	鉄・鍛造	∟形：板状+棒状

機能別一覧表：2-5

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
I-017		三ツ鋤 (ミツグワ)	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	打ち下す・引く	掘る・起こす・砕く・すくう・のせる・均す	鉄・鍛造	∟形：棒状 3 又 + 棒状
I-027		三ツ鋤 (バチグワ)	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑(湿田)の土	打ち下す・引く	掘る・起こす・砕く・すくう・のせる・均す	鉄・鍛造	∟形：板状 3 又 + 棒状
I-030		四ツ鋤 (ヨツグワ)	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	打ち下す・引く	掘る・起こす・砕く・すくう・のせる・均す	鉄・鍛造	∟形：棒状 4 又 + 棒状
I-031		四ツ鋤 (ヨツグワ)	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	打ち下す・引く	掘る・起こす・砕く・すくう・のせる・均す	鉄・鍛造	∟形：釘状 4 又 + 棒状※釘状=先端が尖った棒状
I-040		四ツ鋤 (ヨツグワ・クマデ)	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	打ち下す・引く	掘る・起こす・砕く・すくう・のせる・均す	鉄・鍛造	∟形：釘状 4 又 + 棒状※釘状=先端が尖った棒状
2-5-② おこす (起)								
反転させる・ぬる (塗)								
I-067		単用犁 (ホージのスキ)	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	馬に曳かせる	すく・起こす・反転させる	鉄・鋳物	∟形・△枠：犁形 (籠状+曲り木+棒状 2)
I-086		双用犁・松山犁	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	馬に曳かせる	すく・起こす・反転させる	鉄・鋳物	∟形・△枠：犁形 (籠状+棒状 2)
I-117		二段犁・長谷川犁	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	馬に曳かせる	すく・起こす・反転させる	鉄・鋳物	∟形：犁形 (籠状 2+曲り鉄棒+曲り木+棒状)
I-119		溝上げ機(カルチベーター)	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	畑の土・球根類	馬に曳かせる	掘る・起こす・掘り取る	鉄	∟形：犁形 (籠状+棒状+棒状+車輪) (機)
I-013		アゼヌリグワ	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	すくう・塗る	すくう・塗る (あぜの泥を)	鉄・鍛造	∟形：板状+棒状
I-016		アゼヌリグワ	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	すくう・塗る	すくう・塗る (あぜの泥を)	鉄・鍛造	∟形：籠状・匙状+棒状
+複合機能—B 群 3 件 ほる (掘)+おこす (起)								
写真省略 フォーク・三角鋤 (ジャリ鋤)・溝上げ機 (カルチベーター)								
+複合機能—A 群 7 件 ほる (掘)+おこす (起)+くだく (砕)+かく (掻)+ならず (均)								
写真省略 風呂鋤・板鋤 (平鋤)・三ツ鋤・三ツ鋤 (バチグワ)・四ツ鋤 (ヨツグワ) 2・四ツ鋤 (ヨツグワ・クマデ)								
2-5-③ くだく (砕)								
I-163		回転式砕土機	I 農林業 1 耕耘 (2) 砕土・代掻	田畑の土(スキで起こした)	牛馬に曳かせる、土を掻く	砕く	鉄・鍛造	∟形：複雑+棒状鳥居形柄
I-165		回転式砕土機	I 農林業 1 耕耘 (2) 砕土・代掻	田畑の土(スキで起こした)	牛馬に曳かせる、土を掻く	砕く・均す (土を)	鉄・鍛造	∟形：複雑+棒状鳥居形柄
+複合機能—C 群 3 件								
I-144		馬鋤 (マンガ)	I 農林業 1 耕耘 (2) 砕土・代掻	田畑の土(スキで起こした)	牛馬に曳かせる、土を掻く	引っ掻く・土を砕く (田面を)	鉄・鍛造	棒状・刃物 (複数)+棒状(鳥居形柄)
I-151		馬鋤	I 農林業 1 耕耘 (2) 砕土・代掻	田畑の土(スキで起こした)	牛馬に曳かせる、土を掻く	引っ掻く・土を砕く (田面を)	鉄・鍛造	棒状・刃物 (複数)+棒状(鳥居形柄)

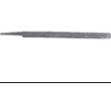
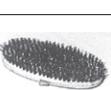
※5

## 機能別一覧表：2-5

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
I-159		ハロー	I 農林業 1 耕耘 (2) 碎土・代掻	田畑の土(スキで起こした)	牛馬に曳かせる、土を掻く	引っ掻く・土を砕く(田面を)	鉄・鍛造	棒状・刃物(複数) 棒状(格子状)
+複合機能—A群 7件 ほる(掘)+おこす(起)+くたく(砕)+かく(掻)+ならず(均)								
写真省略		風呂鍬・板鍬(平鍬)・三ツ鍬・三ツ鍬(バチグワ)・四ツ鍬(ヨツグワ) 2・四ツ鍬(ヨツグワ・クマデ)						
2-5-④ かく・すくう								
I-314		熊手・クソクマデ	I 農林業 3 肥培 ・管理	肥溜めの薬すべ	引っ掛けてすくう	掻く・すくう	鉄・鍛造	鉤状+棒状
+複合機能—C群 3件 砕く+掻く								
I-144		馬鍬=マンガ	I 農林業 1 耕耘 (2) 碎土・代掻	田畑の土(スキで起こした)	牛馬に曳かせる、土を掻く	引っ掻く・土を砕く(田面を)	鉄・鍛造	棒状・刃物(複数) +棒状(鳥居形柄)
I-151		馬鍬	I 農林業 1 耕耘 (2) 碎土・代掻	田畑の土(スキで起こした)	牛馬に曳かせる、土を掻く	引っ掻く・土を砕く(田面を)	鉄・鍛造	棒状・刃物(複数) +棒状(鳥居形柄)
I-159		ハロー	I 農林業 1 耕耘 (2) 碎土・代掻	田畑の土(スキで起こした)	牛馬に曳かせる、土を掻く	引っ掻く・土を砕く(田面を)	鉄・鍛造	棒状・刃物(複数) 棒状(格子状)
+複合機能—A群 7件 ほる(掘)+おこす(起)+くたく(砕)+かく(掻)+ならず(均)								
写真省略		風呂鍬・板鍬(平鍬)・三ツ鍬・三ツ鍬(バチグワ)・四ツ鍬(ヨツグワ) 2・四ツ鍬(ヨツグワ・クマデ)						
2-5-⑤ 均す								
I-168		柄振(えぶり)	I 農林業 1 耕耘 (2) 碎土・代掻	田の土	水の中の泥土をゆり動かして柔らかくして均す	押す・引く・均す	木	T形：板状+棒状
I-051		小鍬・草削り	I 農林業 1 耕耘 (1) 耕起	田畑の土	打ち下す・引く	掘る・さらう・均す	鉄・鍛造	∟形：板状+棒状
+複合機能—A群 7件 ほる(掘)+おこす(起)+くたく(砕)+かく(掻)+ならず(均)								
写真省略		風呂鍬・板鍬(平鍬)・三ツ鍬・三ツ鍬(バチグワ)・四ツ鍬(ヨツグワ) 2・四ツ鍬(ヨツグワ・クマデ)						

※1 牛蒡や人参など、深く掘る必要のある時使用。※2 土木用具でもある。荒地の開墾等。※3 I形=先端に棒状の作用部が真っ直ぐ付く。  
※4 土木用具でもある。※5 「すく」という動作の中に「起こす」「反転」の意が含まれる。

機能別一覧表：2-6 する（擦・磨・摺・搦・刷）、みがく（磨）、こする（擦）、ふく（拭）、のばす（伸・展）、なめす（鞣）、あてる（当）、あらう（洗）、もむ（揉）、ぬる（塗）

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
2-6 する								
する（摺・磨）・ひく（挽・碾） ※石や金属の面に細かく鋭い凹凸（目）を刻み、擦りつけて削る、挟んで切断する、平滑にする。→石臼								
VI-130②		搦鉢／搦粉木・スルコン	VI食1炊事・調理(3)調理具	胡麻・味噌・豆など	あてる・まわす・搦る	搦る	陶土・木	器状：鉢形(焼物)・筋目を刻む+棒状(丸棒)
VI-133		下ろし金	VI食1炊事・調理(3)調理具	大根・ワサビ・生姜など	こする	おろす	銅	板状・突起・刃物
VI-134		千枚下ろし	VI食1炊事・調理(3)調理具	大根など	こする	切る	鉄・打物	木+鉄(板状刃物)
I-562		土臼・糲摺臼	I農林業4収穫(2)脱穀・調整	糲	いれる・まわす	摺る・わける	竹・土	塊状・円筒形(編物)+板状
VI-290		豆腐の石臼	VI食3保存・醸造(3)豆腐作り	ふやけた大豆	搦る	呉汁をつくる	石	塊状・円筒形(彫物)+塊状台座・円盤状(注口付(彫物))
VI-083		石臼	VI食1炊事・調理(3)調理具	米・大豆・蕎麦	挽く	粉を挽く	石	塊状・筒形2弾・(彫物)
VI-086		石臼	VI食1炊事・調理(3)調理具	米・大豆・蕎麦	挽く	粉を挽く(水車用)	石	塊状・筒形3弾・(彫物)大型
III-075		砥石	III諸職2大工	刃物	こする	砥ぐ	石・木	板状
III-034①		硯	III諸職2大工	墨	摺る	磨る・しるす	石	板状(削物)
III-032		鑢(やすり)	III諸職1木挽	鋸の歯	こする	研ぐ	鉄	板状・鑢形・刃物
III-141①		三角鑢	III諸職5石屋	鑿などの刃	あてる・こする	研ぐ	鉄	刃物(三角鑢)
III-141②		平鑢(ひらやすり)	III諸職5石屋	鑿などの刃	あてる・こする	研ぐ	鉄	板状・鑢形・刃物
I-641		藁すぐり・ゾースヌキ	I農林業6薬仕事(1)薬調整	薬	押さえる・しごく(擦る)	打つ・分ける(はかまを)	木	塊状(直方体)
こする(擦)・もむ(揉) ※対象物を手や道具で押さえつけたり、伸ばしたりして、表皮や汚れを分離する。→洗う機能								
VI-144		束子(たわし)	VI食1炊事・調理(3)調理具	芋や食器など	擦る	洗う	繊維	束状・円錐形(編物)
I-250		馬の束子(たわし)	I農林業1耕耘(3)牛馬耕	馬の体	こする	除く(汚れを)	木+棕櫚?	束状(繊維)+板状 ※1
II-104④		ブラシ	II手工業2瓦づくり	粘土	こする	払い取る(型の目詰り)	金属	束状(繊維)+柄 ※1

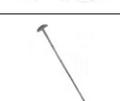
機能別一覧表：2-6

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部	
V-530		洗濯板	V衣10洗濯	衣類など	こする	とる(汚れを)	木	器状・円筒形・盥形(結物)	※2
V-532		洗濯盆	V衣10洗濯	汚れた衣類など	いれる	洗う	木+竹(タガ)	器状・円筒形・盥形脚付(結物)	※2
VII-186		カナダライ	V住3家具	汚れた衣類雑巾など	いれる	洗う	金属	器状・桶形(打物・ブリキ)	※2
VII-185		バケツ	V住3家具	水	いれる	雑巾を洗う	金属	器状・鉢形(打物)+提げ手	
VI-136		芋洗水車	VI食1炊事・調理(3)調理具	芋・根菜など	いれる・(流れて)まわす	洗う	木・竹	八角形+板状羽根+軸	
VII-137		手洗桶	V住3設備(2)風呂	水	いれる	手を洗う	木+竹(タガ)	器状・桶形(結物)脚付	
I-230		馬盥	I農林業1耕耘(3)牛馬耕	湯・馬の脚	いれる	洗う(沐)	木	器状・盥形(結物)	※1
II-111		笊(ざる)	II手工業4酒づくり	精米した米	いれる	洗う・水をきる	竹	器状・鉢形(編物)	※1
VI-060		笊筥(そーけ)	VI食1炊事・調理(2)筥籠	野菜・米	いれる	いれる・洗う	竹	器状・鉢形(編物)片口付	※1
VI-064		芋洗籠	VI食1炊事・調理(2)筥籠	野菜など	いれる	いれる・洗う	竹	器状・口円形・底四角形(編物)	
VI-069		野菜籠	VI食1炊事・調理(2)筥籠	野菜など	いれる	いれる・洗う	竹	器状・箱形(編物)	
VI-078		椀籠	VI食1炊事・調理(2)筥籠	椀など食器	いれる	いれる・洗う・水を切る	竹	器状・口楕円形・底四角形(編物)+提げ手	
VI-079		椀籠	VI食1炊事・調理(2)筥籠	椀など食器	いれる	いれる・洗う・水を切る	針金	器状・鉢形(編物・針金)	
こする(擦)・ぬる(塗)・あてる(当) ※作用部の平らな面を、対象物に押し付けることで、圧力や熱で、布・地面などを平らにする。									
I-013		アゼヌリグワ	I農林業1耕耘(1)耕起	田畑の土	すくう・塗る	すくう・塗る(あぜの泥を)	鉄	∟形：板状+棒状	
I-016		アゼヌリグワ	I農林業1耕耘(1)耕起	田畑の土	すくう・塗る	すくう・塗る(あぜの泥を)	鉄	∟形：籠状+匙状+棒状	
III-096		鍬(こて)	III諸職3壁塗(左官)	壁土・壁	壁土を塗る	こする・均す	金属	板状・鍬形・刃物	
III-097		細工鍬	III諸職3壁塗(左官)	壁土	すくう	塗る・均す	鉄	板状・鍬形・刃物	

機能別一覧表：2-6

写真番号	写 真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機 能	作用部の素材	作用部+接触部
V-515		鍔箆（こてべら）	V衣9裁縫	布	平にする・筋をつける	平にする・筋をつける	鉄	塊状・箆形+棒状+握り
V-516		鍔（こて）	V衣9裁縫	布	平にする・筋をつける	平にする・筋をつける	鉄	塊状・箆形+棒状（握り付）
V-518		火熨斗（ひのし）	V衣9裁縫	衣類・布	炭をいれる	のす（平らにする）	金属（鋳物）	器状・鉢形+棒状（柄）
V-520①		アイロン	V衣9裁縫	衣類	炭火をいれる	のす（平らにする）	鉄（鋳物）	塊状・箆形+握り手
V-521		火入れアイロン	V衣9裁縫	衣類	炭火で加熱する	のす（平らにする）	鉄（鋳物）	器状・舟形+握り手+筒状・煙突
する（刷） ※「印刷」は、凹凸や網目を「こする」ことで、一定の形をインクを紙に転写する。「漉す」に近い機能。								
II-110		素麺ラベルの印刷機	II手工業3素麺づくり	ラベル 商標など	セットする	印刷する	鉄	（機械）

機能別一覧表：2-7 かく（掻）／2-8 はらう（払）

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
2-7 かく（掻）、はらう（払）、こする（擦）、ひっかく、ねる（練）、こねる（捏）、まぜる（混）、ならす（均）→重複「する」								
かく（掻・書・画）、こする（擦）、ひっかく								
I-144		馬鍬=マンガ	I 農林業 1 耕耘 (2) 碎土・代掻	田畑の土(スキで起こした)	牛馬に曳かせる、土を掻く	引っ掻く・土を砕く(田面を)	鉄	棒状・刃物(複数)+杵状(鳥居形)
I-151		馬鍬	I 農林業 1 耕耘 (2) 碎土・代掻	田畑の土(スキで起こした)	牛馬に曳かせる、土を掻く	引っ掻く・土を砕く(田面を)	鉄	棒状・刃物(複数)+杵状(鳥居形)
I-159		ハロー	I 農林業 1 耕耘 (2) 碎土・代掻	田畑の土(スキで起こした)	牛馬に曳かせる、土を掻く	引っ掻く・土を砕く(田面を)	鉄	棒状・刃物(複数) 杵状(格子状)
II-115		糶棒	II 手工業 4 酒づくり	醪(もろみ)	掻く・まわす	掻き混ぜる	木	板状+棒状(柄)
ねる（練）・こねる（捏）								
III-091		練鍬(ねりぐわ)	III 諸職 3 壁塗(左官)	土・セメント	練る	練る	鉄	板状(鍛造品)+棒状(柄)
III-092		練盥(ねりだらい)	III 諸職 3 壁塗(左官)	壁塗りの仕上げ剤	入れる	練る・捏ねる	木+竹(タガ)	器状・円筒形・盥形(結物) ※2
II-105		こね盥・ハンゾ・ターライ	II 手工業 3 素麺づくり	小麦粉と水	入れる	練る・捏ねる・ねかせる	木	器状・円筒形・盥形(結物) ※2
VI-095		半切桶・ハンゾ	VI 食 1 炊事・調理(3) 調理具	団子など	入れる	捏ねる・ならべる	木+竹(タガ)	器状・円筒形・盥形(結物)+蓋 ※2
2-8 はらう（払・掃・祓）、はく（掃）								
VII-191		藁芯箒	VII 住 3 家具	ゴミ	はらう	はらう	藁	束状(扇状)・束状(握り)
VI-144		束子(たわし)	VI 食 1 炊事・調理(3) 調理具	芋や食器など	擦る	洗う	繊維	筒状・円錐形(編物)
I-250		馬の束子(たわし)	I 農林業 1 耕耘(3) 牛馬耕	馬の体	こする	除く(汚れを)	木+棕櫚?	束状+板状 ※1
II-104④		ブラシ	II 手工業 2 瓦づくり	粘土	こする	払い取る(型の目詰り)	金属	束状(ブラシ) ※1

※1 「はらう」と「こする」に重複収録 いずれも短くて、ある程度の反発力のある繊維の束が付く(擦るにも払うにも対応)が特徴か。

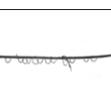
※2 「ねる」「洗う」容器は径が大、丈が低いことが共通。日本ではこの前に「しゃがむ」か台にのせて手で力を入れて使用する。

機能別一覧表：2-9 ねじる（捻）・まわす（回）

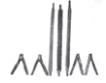
写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部	
2-9 ねじる・よる・まわす（振・撚・紡） ねじる・もじる（振・捻）・こじる（抉）→よる・つむぐ（撚・紡）・まわす									
VI-135		芋洗い	VI食1炊事・調理(3)調理具	芋など	ねじる・こじる	洗う	木	板状+X形(柄)	※3
III-067		錐(きり)	III諸職2大工	材木	突き立てて、もみこんで	あける(穴を)	鉄	刃物(錐)+棒状・握	※4
まわす(回・舞) →形態分類「車輪状」のものが該当する。回転軸がある。									
IX-046		独楽	IX社会生活4行事	..	まわす	遊ぶ	木	塊状・円錐形+軸	
VI-138		芋洗水車	VI食1炊事・調理(3)調理具	芋・根菜など	いれる・(流れて)まわす	洗う	木・竹	8角柱+板状(羽根)8+軸	
I-624		螺旋水車	I農林業5動力	脱穀機・唐箕など	まわす	動かす	木	らせん形(機)+軸	
I-629		プーリー	I農林業5動力	ベルト	まわす	力を伝える	鉄	輪状(車輪状)+十形+軸穴	
I-631		水車の歯車	I農林業5動力	軸	まわす	動かす・力を伝える	木	歯車状・軸穴	
II-028		糸枠・マルワク	II手工業1紡織(2)糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る	木	筒状・12角形・軸穴	
II-055		糸車	II手工業1紡織(2)糸紡ぎ・整糸	糸(緯糸)	まわす	撚りをかける・巻く	木	輪状・車状+取っ手+板状支柱+台	
II-056		リュウゴ	II手工業1紡織(2)糸紡ぎ・整糸	管	はめる(糸車に)・まわす	撚りを掛ける(糸に)	木	塊状(車輪状)	

※3 両手で柄を握って交互に半回転させ「こじる」。※4 「錐類」は両手で柄を挟み「揉み」ながら、その回転運動を先端の鋭い刃物に伝える。

機能別一覧表：3-1 つむぐ（紡）・うむ（績）・よる（撚）／3-2 あむ（編）・おる（織）・ぬう（縫）

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
3-1 つむぐ（紡）・うむ（績）・よる（撚）								
II-001		苧（お）	II 手工業 1 紡織 (1) 材料	—	織り糸にする	（織る）	麻・カラムシ	糸状
II-002		麻かせ糸	II 手工業 1 紡織 (1) 材料	—	織り糸にする	（織る）	麻・カラムシ	糸状
II-003		絹かせ糸	II 手工業 1 紡織 (1) 材料	—	織り糸にする	（織る）	絹	糸状
II-004		裂き織りの布	II 手工業 1 紡織 (1) 材料	—	織り糸にする	（織る）	木綿	紐状
II-007		苧桶	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	苧（麻の繊維）	いれる	ためる（績んだ糸を）	木+竹（タガ）	器状・円筒形・桶形（結物）
II-013		糸枠	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る	木	枠状（立体）
II-013		糸枠台・ウシクビ	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸枠	据える・（糸枠を）はめる	支える	木	枠状+塊状（円柱形）
II-014		糸枠台・ウシクビ	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸枠	据える・（糸枠を）はめる	支える	木	十字形+板状
II-019		糸枠	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る	木	枠状（立体）
II-028		糸枠・マルワク	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る	木	筒状・12角形
II-029		糸枠	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る	木	枠状（立体）
II-030		糸枠	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る	木	枠状（立体）
II-031		総枠・カセワク	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る（総をつくる）	木	枠状（立体）
II-037		糸巻機・座繰器	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸（総〈かせ〉）	はめる・まわす	巻く・巻きかえす（小枠に）	木	板状+枠状+円盤状（機械）
II-039		総車・トンボダイ	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸（総〈かせ〉）	かける・まわす	巻く・巻きかえす（小枠に）	木	台状+枠状（立体）
II-040		整経台・ヘダイ・イトカケダイ	II 手工業 1 紡織 (2) 整経	糸（経糸）	かける	掛ける・整える	木	枠状+棒状（糸掛け棒）
II-041		つり棒・メッパリ	II 手工業 1 紡織 (2) 整経	糸（経糸）	とおす・かける	掛ける・整える	竹	棒状+縄状

## 機能別一覧表：3-1/3-2

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
II-044		整経台・ヘダイ・イトカケダイ	II 手工業 1 紡織 (2) 整経	糸 (経糸)	かける	掛ける・整える	木	棒状 (複数)+角材 (支脚)
II-045		経台 (へだい)	II 手工業 1 紡織 (2) 整経	糸 (経糸)	かける	掛ける・整える	木	棒状 4+角材 (台)
II-046		糸車	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸 (緯糸)	まわす	撚りをかける・巻く	木	車状+支柱+板状台
II-048		糸車	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸 (緯糸)	まわす	撚りをかける・巻く	竹+木	車状+支柱+板状台
II-055		糸車	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸 (緯糸)	まわす	撚りをかける・巻く	木	車状+支柱+板状台+箱状
II-056		リュウゴ	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	管	装着する(糸車に)・まわす	撚りを掛ける (糸に)	木	車状+棒状 (軸)
II-057		リュウゴ	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	装着する(糸車に)・まわす	撚りを掛ける (糸に)	木	車状+串状 (軸)
II-058		管 (くだ)	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	差し込む(リュウゴの軸に)	撚りを掛ける・巻く	竹	棒状・管状
II-059		管 (くだ)	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	差し込む(リュウゴの軸に)	撚りを掛ける・巻く	木	棒状・管状
I-648		縄ない機	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	薬	差し込む・回転させる	なう (薬縄を)	鉄+木	複雑形：板状+金具+脚 2 (機)
I-687		縄縫り機・ナワヨリキ	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	縄	(縄 3 本を) かける・握り部を 3 本同時にまわす	縫 (よ) り合わせる	木	複雑形：枠状 (四角)+板 2+棒状 (クランク) 3 = (機械)
3-2 あむ (編)・おる (織)・ぬう (縫)								
あむ (編)								
V-527		毛糸手編棒	V 衣 9 裁縫	毛糸でセーターを	毛糸を引っかけ、からめる	編む	木	棒状
I-656		俵編機・アマタボー	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	薬	薬を置く・槌の子で縄をかける	編む (俵を)	木	棒状+棒状 (又状脚) 2 = 機×2 組分 (分解状態)
I-669		槌の子・ツツノコ	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	薬縄	縄を巻く	編む (俵を)	木	塊状 (半円筒)・5 組 10 個
I-684		草履編みの台	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	薬縄	引っ掛ける	支える・かたどる	木	L 形：輪状+棒状 (細棒が立つ棒を輪の中に渡す)
I-689		棧俵 (さんだわら) の型	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	薬	薬をねじりながら巻き付ける	編む (棧俵を)	鉄	輪状+棒状 (細棒が立つ棒を輪の中に渡す)

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
おる(織)								
II-061		地機・ネマリバタゴ	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸	かける・織る	織る(布を)	木	棒状(立体)(機)
II-063		機織機・高機・ハタゴ	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸	かける・織る	織る(布を)	木	棒状(立体)(機)
II-064		機織機・高機・ハタゴ	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸	かける・織る	織る(布を)	木	棒状(立体)(機)
II-065		機織機・高機・ハタゴ	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸	かける・織る	織る(布を)	木	棒状(立体)(機)
II-066		飛杼箆柄(とびひおさづか)・バツタン	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	杼(ひ)	(織機に)かける	飛ばす(杼を左右に)	木	棒状+車状+縄状(複雑)
II-067		箆	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸(経糸)	通す・分ける	分ける(経糸を)・打ち込む(緯糸を)	竹	棒状+束状(櫛状)
II-070		千切(ちぎり)	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸(経糸)	巻く	巻く	木	棒状
II-071		機草(はたくさ)	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸(経糸)	はさみながら巻きこむ(経糸を)	はさむ(糸が食い込まないように)	木	棒状
II-074		中筒・中杼・ナカツツ	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸(経糸)	分ける(経糸を上下に)	分ける	木	棒状(立体)
II-076		杼(ひ) 打ち杼・大杼	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸(緯糸)	入れる(緯糸をまいた管を)	通す(経糸の間に緯糸を)・打ち込む(緯糸を)	木	棒状(中央が幅広)
II-079		杼(ひ) 投げ杼	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸(緯糸)	入れる(緯糸をまいた管を)	通す(経糸の間に緯糸を)	木	舟形(中央に溝・両側に車)
II-082		伸子(しんし)	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	布(織り終えた部分)	ひっかける(織った布の両端に爪を)・ぴんと張る	広げる	竹+両端に鉄針	棒状・針状
II-084		綜統	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸(経糸)	縦糸を通して上下にひき分ける	分ける(経糸を)、織る(布を)	木+木綿	棒状2+束状(糸)
II-085		箆通し	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸(経糸)	引っかけて、箆の透き間に通す	通す(経糸を箆に)	銅	板状・鉤状
II-086		綜統通し	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸(経糸)	引っかけて、綜統の糸の間に通す	通す(経糸を)	鉄	棒状・鉤状
II-087		足元紐	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	綜統	ひく(足にかけて)	動かす(綜統を)	木綿	縄状
II-088		織付布	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸(経糸)	つなぐ・結ぶ	支える(織り始めと織り仕舞いに経糸を)	木綿	布状+紐

## 機能別一覧表：3-1／3-2

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
ぬう（縫） ※針と糸で布を縫い合わせる。衣服、袋物などをつくる。								
V-524		足踏みミシン	V衣9 裁縫	衣類	縫う	縫う	鉄	機械
V-526		箱型ミシン	V衣9 裁縫	衣類	縫う	縫う	鉄	機械
V-528		刺繍の枠	V衣9 裁縫	布	はめる	刺繍をする	木	輪状2つ1組
V-513		裁縫箱	V衣9 裁縫	裁縫用具	いれる	裁縫をする	木	箱状(板組)+棒状
V-514		裁縫箱	V衣9 裁縫	裁縫用具	いれる	裁縫をする	木	箱状(板組)+箱状引出

機能別一覧表：4-1 ふるう（篩）・ひる（簸）／4-2 こく（扱）・すく（梳）

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
4-1 ふるう（篩）・すく（漉）・こす（濾）								
I-520		通し・モミドオシ	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	粃と藁屑	選別	いれる	蔓（藤）	枠状+網状
I-529		通し・ガメドオシ	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	粃と藁屑	選別	いれる・ふるう	蔓（藤）	円筒形(曲物)+網状
I-534		通し・コメドオシ	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	米と藁米 わける	脱穀・調整・ 選別	いれる・ふるう	木+竹	円筒形(曲物)+網状
I-537		通し・トオシ	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	米と藁米 わける	脱穀・調整・ 選別	いれる・ふるう	麻縄	円筒形(曲物)+網状
I-691		球根通し・篩	I 農林業 7 チューリップ栽培	球根	大きさの選別	いれる・ふるう	木+竹	枠状+網状
I-693		サイズ板	I 農林業 7 チューリップ栽培	球根	大きさの選別	いれる・別ける・ 通す	木	板状（穴6）
Ⅲ-178		羊羹の枠	Ⅲ 諸職 8 菓子作り	羊羹	菓子づくり	いれる・漉く・か たどる	木・竹?	枠状
I-700		稚蚕用糸網・コガイ サマノアミ	I 農林業 8 養蚕	蚕・稚蚕	養蚕(飼う)	(蚕の上に)のせる・ (蚕が上がり糞を)わける	綿糸	網状
ひる（簸）・ゆる（揺）・あおる（煽）・とばす（飛） ※重力と風・水を利用して選別する。揺板・箕・唐箕など。								
I-482		箕（み）	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	屑米・粃殻 など	選別	いれる・煽る（あ おる）	竹・藤皮	箕形（編組）
I-318		箱箕・ハコミ	I 農林業 3 肥培 ・管理	肥料など	施肥・運搬	いれる・移す	木	箕形（板組）
I-544		唐箕	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	粃と藁屑	選別	いれる・まわす	木	箱状(板組)+回転 板(機)
I-558		唐箕	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	粃と藁屑	選別	いれる・まわす	木	箱状(板組)+回転 板(機)
4-2 こく（扱）・すく（梳） ※繊維状の束に「櫛状」のものを通して整えたり、穂先の実を取ったり、異物・汚れを落としたりする。								
Ⅱ-089		櫛	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸（経糸）	機織り	梳く（経糸を）	木	束状（櫛状）
Ⅱ-067		笊	Ⅱ 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸（経糸）	機織り	通す・分ける	竹	枠状+束状(櫛状)
I-461		千歯扱き	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	稲穂	脱穀	掛ける・引く	鉄・木	束状（櫛状）
I-468		回転式足踏み脱穀機	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	稲穂	脱穀	踏む・掛ける・扱 く	木・鉄	円筒状(回転ドラ ム)+ (器械)

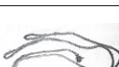
# 支持系

機能別一覧表：5-1 たばねる（束）／5-2 入れる（入）／5-3 おく（置）／5-4 つる（吊）／5-5 かぶせる（被）・しく（敷）／5-6 きる（着）／5-7 かこう（囲）・ふせぐ（防）

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部	
5-1 たばねる（束） ※しばる（縛）・まく（巻）・つなぐ（繋）・むすぶ（結）・つつむ（包）									
束ねる・縛る・結ぶ 対象物を結束する恒常的に使われる縄類、帯類など。									
VI-302		米吊縄	VI食3 保存・醸造 (5) その他	俵	縛る	吊る	繊維	縄状	
VIII-070		縄	VIII移動運搬 12 縄	物（具体的には不明）	縛る	引き上げる	棕櫚	縄状	
VIII-074		ボロ縄・麻縄	VIII移動運搬 12 縄	物（具体的には不明）	結わえる	まとめる・担ぐ	麻・繊維（木綿）	縄状	
VIII-075		ボロ縄	VIII移動運搬 12 縄	物（具体的には不明）	結わえる	吊るす・掛ける（虫干しの着物など）	繊維（木綿）	縄状	
I-446		荷縄・ニナワ	I 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	収穫した稲束	縛る・担う	背負う・運ぶ	麻?	縄状	※1
VIII-076		フトンバリ	VIII移動運搬 13 帯	重箱など祝いの荷	背負う・運ぶ	縛る・背負う・運ぶ	繊維	带状	※2

※1 背負うために用意された縄や帯は「運搬機能」の表に配置。この例は「荷」を縛る機能を持つのでここにも掲載した。

※2 同上。この帯は、嫁の里帰りに、母親や男衆が荷を担ぐのに使う。白と藍色に交互に染めてあるのが特徴。この他、刈った稲を束ねる藁すべの「スガイ」や、薪を束ねる番線や蔓製の「輪」などがある。

つなぐ（繋） ※対象物と人あるいは家畜の間をつなぐために恒常的に使われる縄類・帯・ベルト類。									
I-211		引綱＝ヒキテ	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	馬の胸がいの（ハモ）と尻かせ	胸がいと尻枷をつなぐ	つなぐ・引く	藁縄+鉄	縄状・輪状	
I-206		手綱＝タナワ	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	馬の轡	轡（くつわ）に縛る・つなぐ	操る（馬を）	鉄	鎖状	
I-207		手綱＝タナワ	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	馬の轡	轡（くつわ）に縛る・つなぐ	操る（馬を）	藁	縄状	
たばねる（束） ※対象物を結束する道具・機械。									
I-605		吠締め機	I 農林業 4 収穫 (4) 収納運搬	吠	締める	締める（縄を）	鉄	複雑形（機械）	
I-437		バインダー（刈取結束機）	I 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	稲株	動かす	起こす・刈る・束ねる	鉄+木	複雑形（機械）	
まく（巻） ことでまとめる ※糸をまとめるには、何かに巻くことで果たせるが、これは巻かれる媒体。									
II-058		管（くだ）	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	まく	巻く	竹	棒状・管状	※3

## 機能別一覧表：5-1/5-2/5-3/5-4/5-5/5-6/5-7

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部	
II-056		リウゴ	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	管	はめる(糸車に)・まわす	巻く・撚りを掛ける	木	塊状(車輪状)	※3
II-019		糸枠	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る	木	枠状(立体)	※3
II-029		糸枠	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る	木	枠状(立体)	※3
II-030		糸枠	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る	木	枠状(立体)	※3
II-028		糸枠・マルワク	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る	木	筒状・12角形	※3
II-031		総枠・カセワク	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る(総をつくる)	木	枠状(立体)	※3
I-688		桙(かせ)掛け・カセバ	I 農林業 6 薬仕事 (2) 薬加工	薬縄	ひっかけて巻く	巻く(縄を)・揃える(長さを)	木	板状+短い棒3本立つ	※3
II-040		整経台・ヘダイ・イトカケダイ	II 手工業 1 紡織 (2) 整経	糸(経糸)	かける	掛ける・整える	木	枠状(面)+短い棒22本立つ	※3
II-070		千切(ちぎり)	II 手工業 1 紡織 (3) 機織	糸(経糸)	巻く	巻く	木	棒状+両端に「日」形枠	※3
II-013		糸枠	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸	はめる・まわす	巻く・巻き取る	木	枠状(立体)+支柱+塊状・円筒形(台)	※3
II-037		糸巻機・座繰器	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸(総(かせ))	はめる・まわす	巻く・巻きかえす(小枠に)	木	板状+枠状+円盤状(機)	※3
II-055		糸車	II 手工業 1 紡織 (2) 糸紡ぎ・整糸	糸を巻くための管	まわす	撚りをかける(回転させる)	木	輪状・車状(機)	※3

※3 枠や筒などに巻いた回数で、糸や布の長さを計る機能が加わる。→「情報」はかる機能。

つつむ(包)									
III-008		道具包みの菰	III 諸職 1 木挽	鋸・鎌など	包む	運ぶ	藁(織物)	シート状	
V-488		風呂敷	V 衣 7 袋物	品物	包む	持ち歩く	繊維	布状・四角形	※4
IX-024		重風呂敷	IX 社会生活 2 嫁入り	重箱	包む・運ぶ	飾る・祝う	繊維	布状・四角形	※4
IX-025		風呂敷	IX 社会生活 2 嫁入り	重箱	包む・運ぶ	飾る・祝う	繊維	布状・四角形	※4

※4 風呂敷は包む対象により多様な方法が伝えられている。寸法は布幅とかかわる。以上のほかに包装紙・藁苞などあり。

機能別一覧表：5-1/5-2/5-3/5-4/5-5/5-6/5-7

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
5-2 入れる(入・容) 入れる(入・容)、はいる(入)、おさめる(収・納)、ためる・たくわえる・そなえる(貯・蔵・備・蓄)、かう・そだてる(飼・育)、はさむ(挟・挿)、はめる(嵌) →すむ・すまう・いる(居・住) →移動:そそぐ(注ぐ)								
5-2-① 入れて・蓄える・保管する ※事例は、形態分類の「器状」とほぼ重複のため、ここでは典型的なものを抽出。								
箱類								
VI-245		箸箱	VI食2 飲食 (4) その他	箸	入れる	仕舞う	木	棒状2
VII-183		薬箱	VII住3 家具	薬	入れる	仕舞う・整理する	木	箱状(板組)+箱状蓋
VII-001		提灯箱	VII住1 照明 (1) 提灯	提灯	入れる	仕舞う	木	箱状(板組)+箱状蓋
V-482②		くつばこ	V衣6 履物	靴	入れる	仕舞う・整理する	木	箱状(板組)+棚板
VII-184		下駄箱	VII住3 家具	履物	入れる	仕舞う・整理する	木	箱状(板組)+棚板+板状蓋
VII-175		小銭入れ	VII住3 家具	小銭	入れる	仕舞う・整理する	木	箱状+箱状引出(板組)
VII-144		長持	VII住3 家具	衣類など	入れる	仕舞う	木	箱状(板組)+箱状蓋
VI-188		お膳箱	VI食2 飲食 (3) 膳	宗和膳	入れる	仕舞う	木	箱状(板組)+板状蓋(けんどん)
VII-142		和算筒	VII住3 家具	衣類	入れる	仕舞う・整理する	木	箱状+箱状引出(板組)
IV-018		薬算筒	IV 商業	薬	入れる	仕舞う・整理する	木	箱状(板組)+箱状引出
甕・壺類								
VI-272		水甕	VI食3 保存・醸造 (2) 甕	木	入れる	保存する	陶磁	器状・甕形(焼物)
VI-281		甕	VI食3 保存・醸造 (2) 甕	味噌など	入れる	保存する	陶磁	器状・甕形(焼物)
VI-284		甕	VI食3 保存・醸造 (2) 甕	梅干	入れる	保存する	陶磁	器状・甕形(焼物)+蓋
VI-286		甕	VI食3 保存・醸造 (2) 甕	..	入れる	小出しにする	陶磁	器状・甕形(焼物)
VI-288		塩甕	VI食3 保存・醸造 (2) 甕	塩	入れる	小出しにする	陶磁	器状・甕形(焼物)+蓋

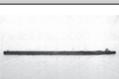
写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
<b>桶・樽類 一例を紹介 →形態分類「器状」を参照</b>								
I-235		飼葉桶	I 農林業 1 耕耘 (3) 牛馬耕	馬の飼料	いれる・馬の首や小屋の柱にかける	いれる	木	器状：円筒形・桶形（結物）
VI-255		漬物桶	VI 食 3 保存・醸造 (1) 桶	漬物	いれる	保存する	木+竹（タガ）	円筒形・桶樽形+
VI-271		水樽	VI 食 3 保存・醸造 (1) 桶	水	いれる	保存する	木+竹（タガ）	器状：円筒形・樽形+蓋（スライド式）
<b>筒・缶・瓶・筒類 一例を紹介 →形態分類「器状」を参照</b>								
VI-246		杓子立て・ハンガイタテ	VI 食 2 飲食 (4) その他	杓子	いれる	仕舞う	竹	箱状（板組）
VI-300		米貯蔵缶・コメのガンガン	VI 食 3 保存・醸造 (5) その他	白米・玄米	いれる	保存する	ブリキ	円筒形・桶樽形
VI-303		一升瓶	VI 食 3 保存・醸造 (5) その他	酒・醤油	いれる	保存する	ガラス	瓶形（ガラス）
<b>籠・編物類 一例を紹介 →形態分類「器状」を参照</b>								
VI-069		野菜籠	VI 食 1 炊事・調理 (2) 箆籠	野菜など	いれる	はこぶ・洗う	竹	箱状（編物）
VI-070		野菜籠	VI 食 1 炊事・調理 (2) 箆籠	野菜など	いれる	はこぶ・洗う	竹	箱状（編物）
VII-153		行李・楊行李	VII 住 3 家具	着物・帯など	いれる	仕舞う	行李楊	箱状（編物）+箱状蓋
IX-035		ツブラ	IX 社会生活 3 産育	嬰兒	いれる	育てる	藁	器状・鉢形（編物）
<b>袋類 一例を紹介 →形態分類「器状」を参照</b>								
I-594		俵	I 農林業 4 収穫 (4) 収納運搬	米	いれる	はこぶ・仕舞う	藁	袋状・円筒形（編物）+円盤状（編物）
I-729		炭俵	I 農林業 9 林業	木炭	製炭・運搬	運ぶ・保管する	茅	袋状
I-597		叭（かます）	I 農林業 4 収穫 (4) 収納運搬	米	いれる	はこぶ・しまう	藁	袋状
I-601		麻袋	I 農林業 4 収穫 (4) 収納運搬	米	いれる	はこぶ・しまう	麻	袋状
I-602		米袋	I 農林業 4 収穫 (4) 収納運搬	米	いれる	はこぶ・しまう	紙	袋状
<b>5-2-② 入れて →浸す・洗う・水を切る</b>								
I-252		種籾浸し・タナモンオケ	I 農林業 2 田植 (1) 苗代	種籾	いれる	いれる	木	器状：円筒形（結物）

## 機能別一覧表：5-1/5-2/5-3/5-4/5-5/5-6/5-7

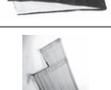
写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
I-253		種籾浸し・タナヅト・タナモンガマス	I 農林業 2 田植 (1) 苗代	種籾	いれる・水に浸す	いれる・水に浸す	藁	器状：袋状(編物)
I-290		肥桶・タゴケ	I 農林業 2 田植 (2) 田植用具	肥・苗	いれる・担う	いれる・運ぶ	木	器状：円筒形(結物)
VI-064		芋洗籠	VI 食 1 炊事・調理 (2) 笊籠	野菜など	いれる	いれる・洗う	竹	半球形(編物)
VI-060		笊筥(そーけ)	VI 食 1 炊事・調理 (2) 笊籠	野菜・米	いれる	いれる・洗う	竹	鉢形(編物)
VI-079		椀籠	VI 食 1 炊事・調理 (2) 笊籠	椀など食器	いれる	いれる・洗う・水を切る	針金	箱状(編物)+弓状提げ手
VI-081		椀盥	VI 食 1 炊事・調理 (2) 椀盥	椀など食器	いれる	いれる・洗う・水を切る	木+竹(タガ)	箱状(編物・針金)
<b>5-2-③ 入れて・注ぐ(小移動) ※いれた流体を注ぎ出す</b>								
VI-143		漏斗(じょうご)	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	水や汁物	いれる	注ぐ・移す	金属・珪瑯びき	甕形(編物)+鉤状(持ち手)
VI-094		片口	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	酒・醤油・油など	いれる	いれる・注ぐ	陶磁	鉢形(陶磁)
VI-315		徳利	VI 食 4 嗜好 (1) 酒	酒	いれる	いれる・注ぐ	陶磁	球形(鑄物)+注口+提げ手
VI-316		徳利	VI 食 4 嗜好 (1) 酒	酒	いれる	いれる・注ぐ	陶磁	徳利形(焼物・磁器)
III-038		墨壺の水差	III 諸職 2 大工	水	いれる	いれる・そそぐ	竹	円筒形・竹筒
VI-248		醤油さし	VI 食 2 飲食 (4) その他	醤油	いれる	いれる	ガラス	棒状(針金)
VI-314		銚子	VI 食 4 嗜好 (1) 酒	酒	いれる	いれる・注ぐ	鉄	器状：円筒形・椀形・注口・提げ手
VI-052		水差し	VI 食 1 炊事・調理 (1) 鍋釜	水	いれる	注ぐ	真鍮	器状：鉢形・注口・持ち手(打物)
VI-333		急須	VI 食 4 嗜好 (3) 茶	茶の葉・湯	いれる	注ぐ	焼物	器状：鉢形・注口・持ち手(焼物)
VII-194		じょうろ	VII 住 3 家具	水	いれる	撒く(水を)	金属	器状：楕円筒形・注口・持ち手(打物・ブリキ)
<b>5-3 おく(置)、のせる(乗・載)</b>								
VI-334		茶托	VI 食 4 嗜好 (3) 茶	湯呑	のせる	支える	金属(銅)	壺形(焼物)

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
VI-335		茶盆	VI食4 嗜好 (3) 茶	茶碗	のせる	乗せる・運ぶ	木	皿形・打物
VI-215		吸物盆	VI食2 飲食 (3) 盆	吸物椀	のせる	乗せる・運ぶ	木	膳(板+脚)
VI-216		お盆	VI食2 飲食 (3) 盆	食品など	のせる	乗せる・運ぶ	木	板状+縁
VI-217		お盆	VI食2 飲食 (3) 盆	進物など	のせる	乗せる・運ぶ	木	板状+縁
のせる(載)・おく(置)・ならべる(並)								
VI-201		箱膳	VI食2 飲食 (3) 膳	椀や皿など 食器	いれる・の せる	のせる(食器を)・ 仕舞う	木	箱状(板組)+箱状 蓋
VII-162		飯台・卓袱台	VII住3 家具	食器・食品	載せる	のせる	木	枠状+棧1(鳥居 形)
VI-180		高御膳(僧侶用)	VI食2 飲食 (3) 膳	椀類	のせる	食事をする	木	箱状(板組)
VI-187		お櫃台	VI食2 飲食 (3) 膳	椀類	のせる	食事をする	木	膳(板+脚)※椀 類セット
VI-189		御膳	VI食2 飲食 (3) 膳	椀類	のせる	食事をする	木	箱状+板状(けん どん蓋)
VI-210		八隅御膳	VI食2 飲食 (3) 膳	椀類	のせる	食事をする	木	膳(板+脚)
VI-214		御膳	VI食2 飲食 (3) 膳	椀類	のせる	食事をする	木	膳(板+脚)
II-112		麴蓋(こうじぶた)	II手工業4 酒づくり	麴	いれる・の せる	育てる	木	箱状(板組)
IX-089		見台	IX社会生活7 歌舞伎曳山	書物	据える・書 物を載せる	載せる	木	長着形
頭をのせる(クッション)→マット類								
V-374		ござ枕	V衣4 寝具	身体(頭)	あてる・の せる	眠る	繊維	マット状・蒲団形
V-375		箱枕・ゲコ	V衣4 寝具	身体(頭)	あてる・の せる	眠る	繊維	直方体(ござ)
V-376		箱枕	V衣4 寝具	身体(頭)	あてる・の せる	眠る	繊維	直方体(歪み・板 組)

## 機能別一覧表：5-1/5-2/5-3/5-4/5-5/5-6/5-7

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
5-4 つる・かける つる(吊)・つりさげる・さげる(提)、ひっかける・かける(掛・懸) → 6-1 つりあげる、吊り下げる(移動)は「移動運搬」機能を参照								
Ⅶ-197		鉤	Ⅶ住3家具	道具類など	吊り下げる	整理する・仮置き	木の枝	鉤状
Ⅶ-044		空鉤	Ⅶ住2暖房(1) 囲炉裏	自在鉤	吊るす	吊るす	木	棒状+車輪状
Ⅶ-035		自在鉤・カンサマ	Ⅶ住2暖房(1) 囲炉裏	鉄瓶など	吊るす	支える	竹・鉄	鉤状+筒状
Ⅶ-040		自在鉤・カンサマ	Ⅶ住2暖房(1) 囲炉裏	鉄瓶など	吊るす	吊るす	鉄	鉤状(剝物)
Ⅶ-161		手拭掛け	Ⅶ住3家具	手拭	置く・掛ける	掛ける	木	棒状(+棧2)・鳥居形・2つ折り
Ⅶ-160		衣桁・サオンダイ	Ⅶ住3家具	衣類	置く・掛ける	掛ける	木	棒状(+棧2)・鳥居形・2つ折り
Ⅶ-159		衣桁・サオンダイ	Ⅶ住3家具	衣類	置く・掛ける	掛ける	木	箱状(編物)+箱状蓋(編物)
5-5 おおう・かぶせる(被・覆・蔽)、しく(敷)、かくす(隠)、ふく(葺)、はる(貼・張)								
被せて・掛けて護る 縄・笠・面・籠								
Ⅶ-214		太縄・マモノ	Ⅶ住4防護(3) 暴風	屋根	掛ける	守る(強風から)	繊維	板状+棒状
V-383		菅笠	V衣5 雨具	身体(頭)	かぶる	防ぐ(雨・日差しを)	竹+繊維	袋状・網状・箱状
V-385		平笠	V衣5 雨具	身体(頭)	かぶる	防ぐ(雨・日差しを)	竹+繊維	逆円錐形(ひらたい)
I-423		防護面	I農林業3 肥培・管理(3) 中耕除草	顔面	かぶせる	防ぐ(眼を傷つけるのを)・守る(眼を)	鉄(針金)	輪状(椀形)
I-225		口籠	I農林業1 耕耘(3) 牛馬耕	馬の口	かぶせる	防ぐ(噛みつくのを)	鉄	器状・鉢形(針金編物)
V-386		番傘・カラカサ	V衣5 雨具	頭上	さす	差し懸ける・雨を避ける	竹+紙	逆円錐形(ひらたい)
V-378		蚊帳	V衣4 寝具	身体	吊る・入る	防ぐ(蚊を)	繊維	箱状(底辺楕円、中括れ・板組)
V-382		蚊帳	V衣4 寝具	身体	吊る・入る	防ぐ(蚊を)	繊維	袋状・網状・箱状
被せるシート・マット 紙・布・布団・蓐蔭など 事例：掛け蒲団・油団(ゆたん)・炬燵掛けなど								
I-266		油紙	I農林業2 田植(1) 苗代	苗床	被せる	覆う・保温する	油紙	紙状

## 機能別一覧表：5-1/5-2/5-3/5-4/5-5/5-6/5-7

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
I-445		藁蓋・ワラガイ	I 農林業 4 収穫 (1) 刈取・乾燥	稲積(にお)	かぶせる	防ぐ(雨を)	藁	マット状(編物)
I-595		棧俵(さんだわら)	I 農林業 4 収穫 (4) 収納運搬	米俵	のせる	被せる・まもる	藁	円盤状(マット状)
V-391		自転車のござ	V 衣 5 雨具	自転車	かぶせる	防ぐ(雨を)	繊維	蓑形(編物)
VII-077		炬燵掛け	VII 住 2 暖房 (2) 炬燵	炬燵槽	かぶせる	保温する	繊維	棒状+棒(脚 4)
VII-078		炬燵掛け・ツツレ	VII 住 2 暖房 (2) 炬燵	炬燵槽	かぶせる	保温する	繊維	布状(縫物)
IX-034		油単	IX 社会生活 2 嫁入り	長持・挟箱	かぶせる・飾る	飾る・祝う	繊維	帯状
身体に被せる・掛ける 襟・肩にかける →肩掛け・ショール、前に掛ける →前掛け								
V-364		ネックチーフ 女児用	V 衣 3 防寒服	身体(首肩)	着ける	掛ける	繊維	袋状・手形
V-283		半襟・ニンギョウエリ	V 衣 1 和服 (4) 帯 その他	身体	着ける	掛ける	繊維	紐状
V-284		ショール	V 衣 1 和服 (4) 帯 その他	身体	着ける	掛ける	繊維	帯状
V-387		ござ帽子・ベッペゴザ	V 衣 5 雨具	身体(背)	着る・被る	防ぐ(雨を)	繊維	円錐形+棒状
V-390		着ござ	V 衣 5 雨具	身体	着る・被る	防ぐ(雨を)	繊維	マット状・袋状(編物)
V-393		蓑・バンドリ	V 衣 5 雨具	身体	着る	防ぐ(雨を)	繊維	衣状・蓑形(編物)
V-400		蓑・サンガイ	V 衣 5 雨具	身体	着る	防ぐ(雨を)	繊維	衣状・蓑形(編物)
V-365		夜着・夜具蒲団	V 衣 4 寝具	身体(全身)	被る・掛ける	眠る	繊維	布状
V-370		掛蒲団・ウワブトン・キブトン	V 衣 4 寝具	身体(全身)	敷く	眠る	繊維	マット状・蒲団形
敷く「布・シート・マット」 紙・布・布団・筵・菰など 事例：敷き蒲団・座布団・菰など								
V-368		敷蒲団	V 衣 4 寝具	身体(全身)	敷く	眠る	繊維	長着形(厚手)
V-373		座布団	V 衣 4 寝具	身体(腰)	敷く	座る	繊維	マット状・蒲団形

機能別一覧表：5-1/5-2/5-3/5-4/5-5/5-6/5-7

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
I-489		蓆（むしろ）	I 農林業 4 収穫 (2) 脱穀・調整	作物・人	敷く・のせる	干す・	藁	マット状（編物）
IX-041		灰蓆	IX 社会生活 3 産育	産婦	敷く	出産する	藁・繊維	鉢形（編物）
被せる枠・筒								
VII-021		台ランプのホヤ	VII 住 1 照明 (3) ランプ	明かり（石油）	かぶせる	灯す・照らす	ガラス	筒状（支柱）+台（円筒）
VII-022①		ランプのホヤ	VII 住 1 照明 (3) ランプ	明かり（石油）	かぶせる	灯す・照らす	ガラス	筒状・球状（ガラス・フリル付き）
VII-023		角灯・カクト	VII 住 1 照明 (4) 角灯	明かり（石油）	置く・点火する	灯す・照らす	ガラス+金属	枠状（立体）+筒形（ガラス）
被せる板「蓋」 中のものを保護する・害虫から、乾燥から、冷めることから、蒸気が漏れるのを防ぐ								
III-101①		屋根板・ヤネイタ	III 諸職 4 屋根葺き	屋根	板を葺く・重ねる	被せる	木	板状
VI-099		蒸籠の蓋	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	蒸籠	かぶせる	蒸す	木	板状
VI-171②		五重箱の箱	VI 食 2 飲食 (2) 重箱	重箱	入れる	収納する（祝い事用）	木	箱状（板組）+板状蓋
VI-263		桶蓋	VI 食 3 保存・醸造 (1) 桶	漬物桶	かぶせる	保存する	木	円筒形・桶樽形+円盤状蓋
VI-160②		お櫃の蓋	VI 食 2 飲食 (1) 櫃	お櫃	のせる	被せる・まもる	木+竹（タガ）	楕円筒形・桶形・持ち手 2 + 板状蓋
VI-151②		赤飯櫃（オコワビツ）の蓋	VI 食 2 飲食 (1) 櫃	飯櫃	のせる	被せる・まもる	木	楕円筒形・桶形+持ち手 2 + 板状蓋
VI-157②		魚櫃の蓋	VI 食 2 飲食 (1) 櫃	魚櫃	のせる	被せる・まもる	木	楕円筒形・桶形・角 2 + 板状蓋
敷く板 刃物などの加工具（加撃具）の受動体。切る・叩く・打つ・搗くなど 参照								
VI-126		まな板	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	野菜など	のせる	切る	木	板状+板状（脚）2
VI-127		鯛まな板	VI 食 1 炊事・調理 (3) 調理具	魚	のせる	切る	木	板状
III-095		鍍板（こていた）	III 諸職 3 壁塗（左官）	壁土・壁	壁土をのせる・捏ねる	壁土をのせる	木	板状

## 機能別一覧表：5-1/5-2/5-3/5-4/5-5/5-6/5-7

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
5-6 きる(着) きる(着)、まとう(纏)、はく(履)、まく(巻)、はめる(嵌)								
※事例省略 形態分類「衣状」「帯状」「布状」のものとはほぼ重なる。ここでは典型的なものだけを抽出した。								
V-001		紋付袴着物 男物	V衣1 和服 (1) 儀礼服	身体	着ける	着ける(儀式用)	繊維	衣状・長着形
V-061		綿入れ着物・タンゼン 男物	V衣1 和服 (1) 儀礼服	身体(全身)	着ける	着ける	繊維	衣状・長着形
V-070		単衣振袖・フリソデ 女物	V衣1 和服 (1) 儀礼服	身体	着ける	着ける	繊維	衣状・長着形
V-013		羽織 男物	V衣1 和服 (1) 儀礼服	身体	着ける	着ける(儀式用)	繊維	衣状・短着形
V-122		印半纏 男物	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	身体(上半身)	着ける	着ける	繊維	衣状・短着形
V-149		茶羽織・チャバオリ 女物	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	身体(上半身)	着ける	着ける	繊維	衣状・短着形
V-043		肩衣・カタギン	V衣1 和服 (1) 儀礼服	身体	着ける	着ける	繊維	衣状・袖無形
V-158		袖無し・胴着 男物	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	身体(上半身)	着ける	着ける	繊維	衣状・袖無形
V-034		袴 男物	V衣1 和服 (1) 儀礼服	身体(下半身)	着ける	履く	繊維	衣状・筒形
V-166		半股引・タンボモモシキ	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	身体(下半身)	着ける	履く	繊維	衣状・二股形
V-168		長股引・コンゴレロ	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	身体(下半身)	着ける	履く	繊維	衣状・二股形
V-172		モンペ	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	身体(下半身)	着ける	履く	繊維	衣状・二股形
V-297		ズボン	V衣2 洋服 (1) 大人用	身体(下半身)	着ける	履く	繊維	衣状・二股形
V-179		前掛け	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	身体(腰)	着ける	着ける	繊維	布状・前掛形
V-191		腰巻き	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	身体(腰)	着ける	着ける	繊維	布状・腰巻形
V-195		手甲・コテ	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	身体(手・腕)	着ける	着ける	繊維	布状・手甲形
V-182		脚絆 男物	V衣1 和服 (2) 平常着・仕事着	身体(腰)	着ける	履く	繊維	布状・脚半形

## 機能別一覧表：5-1/5-2/5-3/5-4/5-5/5-6/5-7

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
V-294		綿シャツ	V衣2 洋服 (1) 大人用	身体 (上半身)	着ける	着ける	繊維	衣状・シャツ形
V-340		マント・オダワラ・オペラマント 女児用	V衣3 防寒服	身体(全身)	着ける	着ける	繊維	衣状・マント形
V-393		蓑・バンドリ	V衣5 雨具	身体	着る	防ぐ(雨を)	繊維	マット状・蓑形(編物)
V-400		蓑・サンガイ	V衣5 雨具	身体	着る	防ぐ(雨を)	繊維	マット状・蓑形(編物)
V-431		腰蓑	V衣5 雨具	身体(腰)	着ける	防ぐ(泥はねを)	繊維	マット状・蓑形(編物)
V-437		腰蓑	V衣5 雨具	身体(腰)	着ける	防ぐ(泥はねを)	繊維	マット状・腰巻形(編物)
V-444		腰蓑・マエアテ	V衣5 雨具	身体(腰)	着ける	防ぐ(泥はねを)	繊維	マット状・腰巻形(編物)
5-7 かこう(罎) かこう(罎)、たてる(建・立)、ふせぐ(防)・ふさぐ(塞・障)、しきる(仕切)、しめる(閉)、さえぎる・たつ(遮・断)								
I-492		菰(こも)・タテゴモ	I 農林業4 収穫 (2) 脱穀・調整	脱穀後の粃	立てて囲う	貯蔵する	藁	マット状(編物)
I-227		馬の蓑(ウマのペッペ)	I 農林業1 耕耘 (3) 牛馬耕	馬の背	かける	防ぐ(雨にぬれるのを)	藁	マット状(V字)

※ほかに、建具類(障子・襖・格子戸など)・帳場格子・簀の子なども。

機能別一覧表：6-1 うつつ・うつる（移動）／6-2 はこぶ（運搬）／6-3 うごかす（動）

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
6-1 うつつ・うつる（移動）								
吊り上げる 事例：釣瓶・縄など								
Ⅶ-129		井戸の碇	Ⅶ住3設備 (1) 井戸	釣瓶など(井戸への落とし物)	吊り下げる・上げる	吊り上げる	鉄	鉤状
Ⅶ-128		井戸の碇	Ⅶ住3設備 (1) 井戸	釣瓶など(井戸への落とし物)	吊り下げる・上げる	吊り上げる	鉄	鉤状
Ⅶ-119		釣瓶の縄	Ⅵ住3家具	釣瓶	吊り下げる・上げる	上下させる	繊維	縄状
Ⅶ-120		水替えの縄	Ⅵ住3家具	釣瓶	吊り下げる・上げる	上下させる	繊維	縄状+鉤状
Ⅶ-121		釣瓶の縄	Ⅵ住3家具	釣瓶	吊り下げる・上げる	上下させる	繊維	縄状
Ⅶ-113		井戸の滑車・イケノカッシャ	Ⅵ住3家具	釣瓶桶	掛ける	吊り下げる・吊り上げる	木	枠状+車輪状
Ⅶ-114		井戸の滑車	Ⅵ住3家具	釣瓶	吊り下げる・上げる	吊り下げる・吊り上げる	木	車輪状+鉤状
Ⅷ-066		二重滑車・ダルマ	Ⅷ運搬 11 滑車	材木など重いもの	縄で縛る	棟上げなどに吊り上げる	木	枠状+車輪状2+鉤状
すくう（掬）・かく（掻）・引っ掻く 事例：匙・熊手・手鋤・エブリ・スコップなど								
※手元の小移動 機能分類：加撃系「すくう」「掻く」の項目参照								
水を汲む ※「汲む」という加撃系用具の項目で主に扱う。小移動の用具としてこの項目でも典型的なものを示す。								
Ⅵ-324		柄杓	Ⅵ食4嗜好	..	嗜好	注ぐ	木	器状・円筒形（曲物）+棒状
Ⅶ-185		バケツ	Ⅵ住3家具	水	掃除	雑巾を洗う	金属	器状・桶形（打物・ブリキ）
Ⅶ-127		釣瓶	Ⅵ住3家具	水	水を確保	汲む	木	器状・箱形（刳物）
I-424		踏車・フミグルマ	I 農林業3 肥培・管理 (4) 灌溉	用水の水	羽根を人が足で踏んで回転させる	いれる(水を田に)・移す	木	箱状（楕形）+板（回転翼）（機）
I-426		龍骨車・リュウコッシャ	I 農林業3 肥培・管理 (4) 灌溉	用水の水	蛇腹状に連なる板を足で踏んで回転させる	いれる(水を田に)・移す	木	箱状（楕形）+板（キョウビラ状）（機）
Ⅶ-130		ポンプ	Ⅵ住3家具	井戸水	ハンドルを上下に動かす	汲む	鉄	筒状・機
Ⅶ-133		ポンプ	Ⅵ住3家具	井戸水	ハンドルを上下に動かす	汲む	鉄	筒状・機
Ⅶ-134		ポンプ	Ⅵ住3家具	水	水を確保	汲む	鉄	筒状・機

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
うつる(移)、のぼる(昇) 事例：梯子、脚立、踏み台、作業用高下駄、渡り板、作業台など								
VI-188		脚立・踏み台・ケタツ	VI住3家具	身体	のる・支える	高いところのモノをとる	木	器状・箱形(板組)+板状天板
I-705		養蚕用下駄	I農林業8養蚕	足	履く	履く(足に)・高める(作業者の背丈を)	木	板状+板状(歯)2、一对
6-2 はこぶ(運・搬)								
6-2-① 手で捧げる・抱える								
両手で捧げる ※家内での移動運搬では、容器類の多くにこの方法で運ばれるものがある。形態分類「器状」参照。								
VI-215		吸物盆	VI食2飲食	吸物椀	のせる	乗せる・運ぶ	木	板状+縁
VI-216		お盆	VI食2飲食	食品など	のせる	乗せる・運ぶ	木	板状+縁
VI-217		お盆	VI食2飲食	進物など	のせる	乗せる・運ぶ	木	板状+縁
抱える ※両手で捧げて運ぶものよりやや幅が大きく、胸や腹に当てて抱えるものも多い。両側に持ち手がつくことも。								
VI-057		笊	VI食1炊事・調理(2) 笊籠	野菜や魚	いれる	干す	竹	器状・鉢形(鋳物)アルミ
VI-074		竹籠	VI食1炊事・調理(2) 笊籠	野菜	いれる	いれる	竹	器状・口円形・底六角形(編物)
VI-080		椀籠	VI食1炊事・調理(2) 笊籠	椀など食器	いれる	いれる・洗う・水を切る	竹	器状・鉢形(編物)針金+持ち手2
手で提げる ※屋敷内か、近距離の移動・運搬に利用することが多い。→形態分類「器状」の項目に「提げ手」付の事例を参照。								
VI-078		椀籠	VI食1炊事・調理(2) 笊籠	椀など食器	いれる	いれる・洗う・水を切る	針金	器状・箱状(編物)+弓状の提げ手
VI-050		炭取り	VI住2暖房(1) 囲炉裏	木炭	いれる	いれる・運ぶ	木	箱状(板組)+杵状(提げ手)
VI-053		炭取り	VI住2暖房(1) 囲炉裏	木炭	いれる	いれる・運ぶ	竹	箱状(板組)+弓状提げ手
IV-019		岡持ち	IV商業	食品	いれる	運ぶ	木	器状・箱状(板組)+杵状(提げ手)
IX-130		飯盒	IX社会生活12 戦時	飯	炊く	食事をする	アルマイト	器状
VI-072		竹籠	VI食1炊事・調理(2) 笊籠	種物など	いれる	いれる	竹	箱状(編物・竹)
VI-073		竹籠	VI食1炊事・調理(2) 笊籠	野菜	いれる	いれる	竹	器状・口円形・底四角形(編物)

## 機能別一覧表：6-1/6-2/6-3

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
VI-231		花見弁当	VI食2 飲食	花見の弁当	入れる	運ぶ・食べる	木	器状・箱形(板組) +器状・箱形引出
VI-293		豆腐入れ・トウフのガンガン	VI食3 保存・醸造	豆腐	入れる	運ぶ	鉄	器状・箱形(打ちもの・ブリキ)+器状・箱形蓋+提げ手
VI-249		手桶・チョーケ	VI食3 保存・醸造(1) 桶	水	入れる・汲む	汲む・運ぶ	木+竹(タガ)	器状・円筒形・桶樽形+角
VI-254		水汲桶・ミズクミオケ	VI食3 保存・醸造(1) 桶	水	入れる・汲む	汲む・運ぶ	木+竹(タガ)	器状・円筒形・桶樽形+角
VI-310		酒樽	VI食4 嗜好(1) 酒	酒	入れる・(酒を)買う	運ぶ	木+竹(タガ)	器状・箱形(板組)
VIII-082		トランク	VIII運搬15 トランク	衣類など	入れる	運ぶ・旅をする	皮革	器状・箱形(皮革)
<b>6-2-② 肩で担ぐ・棒で担ぐ</b>								
I-301		天秤棒・カタネボー	I 農林業2 田植	苗籠	吊り下げる・担う	吊り下げる・担う・運ぶ	木	棒状
I-308		天秤棒・カタネボー	I 農林業3 肥培・管理	肥桶	吊り下げる	運ぶ	木(杉)	棒状
VIII-078		天秤棒・カタネボー	VIII運搬14 天秤棒と荷縄	米俵など(重いもの)	吊り下げる・担ぐ	運ぶ	木	棒状
VIII-041		竹籠・パイスケ	VIII運搬7 背負籠	石炭	入れる・背負う	運ぶ	竹	器状・鉢形(編物)
I-295		苗籠・ナエカゴ	I 農林業2 田植	苗	入れる・担う	運ぶ	竹	器状・円筒形(編物)・底六角
I-299		苗籠・ナエカゴ	I 農林業2 田植	苗	入れる・担う	入れる・運ぶ	鉄(針金)	器状・鉢形(編物)
I-290		肥桶・タゴケ	I 農林業2 田植	肥・苗	入れる・担う	運ぶ	木	器状・円筒形・角2付(結物)
I-307		肥桶・タゴケ	I 農林業3 肥培・管理	肥やし	入れる	運ぶ	木(杉)+竹	器状・円筒形(結物)+角2
VII-146		鋏み箱	VI住3 家具	書類など	入れる・棒を取り付ける	棒で担ぐ・運ぶ	木	器状・箱形(板組)+器状・箱形蓋
VII-150		鋏み箱の台・ハサンバコノダイ	VI住3 家具	鋏箱	のせる・吊る(棒に)	乗せる・運ぶ	木	棒状+板状(棧)2+縄状
VIII-052		モッコ	VIII運搬10 モッコ	土砂や堆肥	入れる・棒に吊る	二人で担ぐ・運ぶ	藁	網状(編物)

## 機能別一覧表：6-1/6-2/6-3

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
VIII-060		イシモッコ	VIII運搬 10 モッコ	石	のせる・棒に吊る	二人で担ぐ・運ぶ	番線+藁	輪状(番線・藁)+縄状

※ほかに、長持ち・箆筒類にも運搬時のために棒を差す部品などの仕様あり、事例は省略。形態分類表「器状・箱形」参照。

6-2-③ 負う・背負う								
I-446		荷縄・ニナワ	I 農林業 4 収穫	収穫した稲束	縛る・担う	せおう・はこぶ	麻?	縄状
VIII-032		ネコダ	VIII運搬 6 ネコダ	背中・荷物	背に負う・荷を着ける	荷をつける・背負う・運ぶ	藁	衣状・マット状(編物)
I-288		苗担ぎ・ナエカズキ	I 農林業 2 田植	苗束	苗のをせる・背負う・運ぶ	背負う・運ぶ	木・枝・竹	板状+枠状
VIII-018		背板・セータ・シヨイコ	VIII運搬 5 背負梯子	荷物(稲や薪の束など)	荷を縛りつける・背負う・運ぶ	荷をつける・背負う・運ぶ	木(杉)	枠状
VIII-023		背板・セータ・シヨイコ	VIII運搬 5 背負梯子	荷物(稲や薪の束など)	荷を縛りつける・背負う・運ぶ	荷をつける・背負う・運ぶ	木(杉)	枠状
VIII-024		背板・セータ・シヨイコ	VIII運搬 5 背負梯子	荷物(稲や薪の束など)	荷を縛りつける・背負う・運ぶ	荷をつける・背負う・運ぶ	木(杉)	枠状
I-315		背負籠・ツンボリ	I 農林業 3 肥培・管理	堆肥	いれる	運ぶ	竹	器状・円錐形(編物)
VIII-038		背負籠	VIII運搬 7 背負籠	野菜・鎌など	いれる・背負う	運ぶ	竹+繊維	器状・円筒形(編物)
VIII-042		竹籠・オンナカゴ	VIII運搬 7 背負籠	石炭	いれる・背負う	運ぶ	竹	器状・鉢形(編物)
VIII-083		石炭運搬箱	VIII運搬 16 石炭運搬箱状	石炭	いれる	運ぶ	木	器状・箱形(板組)+縄状2
I-309		肥樽・カガミダル	I 農林業 3 肥培・管理	肥やし	いれる	運ぶ	木(杉)+竹	器状・楕円筒形(結物・樽)+角2
I-310		肥桶・セオイニオケ	I 農林業 3 肥培・管理	肥やし	いれる	運ぶ	木(杉)+竹	器状・楕円筒形(結物)
I-438		編袋・テング	I 農林業 4 収穫(1)刈取・乾燥	弁当・小道具	いれる・背負う	運ぶ	藁	袋状(編物)
IX-128		雑嚢	IX 社会生活 12 戦時	携行品	いれる	運ぶ	..	袋状+带状
VIII-079		荷棒・ピアヅエ	VIII運搬 14 天秤棒と荷縄	背負板(セータ)	下に当てる	支える・休む	木	棒状(Y字)

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
VIII-080		荷棒・ネンボ	VIII運搬14天秤棒と荷縄	背負板(セータ)	下に当てる	支える・休む	木	棒状(L字)
6-2-④ 腰につける・携行・携帯する								
V-483		巾着(ぎんちゃく)	V衣7袋物	米・大豆・小物	いれる	持ち歩く	繊維	袋状
V-485		巾着(ぎんちゃく)	V衣7袋物	米・大豆・小物	いれる	持ち歩く	繊維	袋状
V-487		信玄袋	V衣7袋物	米・大豆・小物	いれる	持ち歩く	繊維	袋状
V-488		風呂敷	V衣7袋物	品物	包む	持ち歩く	繊維	布状
VI-075		竹籠(びく)	VI食1炊事・調理(2) 笊籠	柿・落穂	いれる	いれる	竹	口円形・底六角形(編物)
I-302		腰籠	I農林業2田植	苗	いれる・腰につける	運ぶ	竹	器状・楕円筒形(編物)
VIII-043		腰籠・エコ	VIII運搬8腰籠	落穂や豆の苗	いれる・腰につける	運ぶ	竹	器状・壺形(編物)
VIII-048		腰籠・エコ	VIII運搬8腰籠	野菜・栗・茸	いれる・腰につける	運ぶ	竹	器状・壺形(編物)
I-306		腰籠	I農林業2田植	苗	いれる・腰につける	運ぶ	鉄(針金)	器状・楕円筒形(編物)
I-712		鉈さし・ナタイコ	I農林業9林業	鉈	いれる	運ぶ	木(杉)	板状
VI-325		印籠	VI食4嗜好	煙草の葉	いれる	携帯する	木	器状・楕円筒形(刳物)+蓋
VI-327①		煙管入れ	VI食4嗜好	煙管	いれる	携帯する	繊維	袋状(縫物)
VI-328		煙管入れ	VI食4嗜好	煙管	いれる	携帯する	皮革	器状・筒形(皮革細工)
VI-226		弁当行李	VI食2飲食	昼御飯	いれる	運ぶ・食べる	柳枝	器状・箱形(編物)+器状・箱形蓋(編物)
I-441		テング	I農林業4収穫	アゼ豆・落穂	いれる・腰につける	運ぶ・植える	藁	袋状(編物)
VIII-050		縄袋・ナワテング	VIII運搬9縄テング	野菜・山菜・弁当・小道具など	いれる・腰につける	運ぶ(山仕事では肩にかけることも)	藁	袋状(編物)

## 機能別一覧表：6-1/6-2/6-3

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
VI-238		水筒	VI食2 飲食 (4) 水筒	水	いれる	運ぶ・飲む	金属	器状・楕円筒形+蓋・打物アルミ
IX-129		水筒	IX社会生活 12 戦時	水	戦時生活	携行する	..	器状・徳利形(打物)
<b>6-3-① 水流で動かす</b>								
I-624		螺旋水車	I 農林業 5 動力	脱穀機など	まわす	動かす	木	らせん形・機
I-625		螺旋水車	I 農林業 5 動力	脱穀機など	まわす	動かす	鉄	らせん形・機
<b>斜面・水面を動かす：すべらす(滑)・うかべる(浮かべる)・ながす(流) 事例：橋・筏・船など</b>								
I-442		田舟・タブネ	I 農林業 4 収穫	刈った稲・堆肥	いれる	運ぶ	木	器状・箱形(板組)
I-727		橋・ソリ	I 農林業 9 林業	材木・石材など	載せる・曳く・滑らせる	運ぶ	木	枠状
VIII-004		木橋・ソリ	VIII 運搬 2 橋	荷物(木材や米俵など重い物)	荷を縛りつける・滑らせる・運ぶ	のせる・滑らせる・運ぶ	木	枠状
VIII-011		木橋・バソリ	VIII 運搬 2 橋	荷物(木材や米俵など重い物)	荷を縛りつける・馬力で挽く・滑らせる・運ぶ	のせる・馬に曳かせる・滑らせる・運ぶ	木(杉)	枠状
IX-092①		スキー	IX 社会生活 8 遊び	身体	履く	滑る	木	板状
IX-092②		スキーストック	IX 社会生活 8 遊び	身体	突く	支える	竹	棒状 2 本
IX-094		下駄スキー	IX 社会生活 8 遊び	脚	履く	滑る		板状+縄
VIII-014		川舟の櫂	VIII 運搬 3 川舟の櫂	川舟・川水	移動・運搬	操作する	木	板状+棒状
VIII-015		川舟の竿	VIII 運搬 3 川舟の櫂	川舟・川底	移動・運搬	操作する	鉄・竹	L 形：鉤状・刃物+棒状
<b>6-3-② 車で運ぶ(人力車)・畜力で運ぶ 事例：荷鞍・荷馬車など</b>								
VIII-001		大八車・ガンガラグルマ	VIII 運搬 1 荷車	荷物(木材や米俵など重い物)	載せる・曳く・運ぶ	荷物を載せて移動	木	枠状+車輪状
VIII-002		一輪車	VIII 運搬 1 荷車	肥料や農作物	載せる・押す・運ぶ	荷物を載せて移動	木	枠状+車輪状
VIII-003		荷車・リアカー	VIII 運搬 1 荷車	米俵や肥料など	載せる・曳く・運ぶ	荷物を載せて移動	鉄	枠状+車輪状

## 機能別一覧表：6-1/6-2/6-3

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
IX-044		乳母車	IX社会生活3 産育	赤ん坊	いれる・のせる	運ぶ	籐	器状・箱形(編物) +車輪
運搬用容器 ※運搬に適した箱や袋など								
VII-157		行李・竹行李	VI住3家具	衣類	置く	運ぶ	竹	器状・箱形(編物) +器状・箱形蓋(編物)
I-729		炭俵	I農林業9 林業	木炭	製炭・運搬	運ぶ	茅	袋状
I-695		輸出箱	I農林業7 チューリップ栽培	球根	いれる	運ぶ・出荷する	木	箱状(板組)

# 光熱・化学系

機能別一覧表：7-1 エネルギーの獲得・利用／7-2 熱による加工／7-3 微生物・化学変化による加工

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
7-1-① とる (摂) ※エネルギーの摂取 事例：食具類 (箸・匙・椀など)								
VI-245		箸	VI食2 飲食 (4) 箸	飯・おかず	つかむ・扶む	挟む・摘む	木	箸・匙状
VI-189		御膳・ゴゼン	VI食2 飲食 (4) 椀	飯・汁・菜を	いれる・ならべる・口にはこぶ	食物をとる・食べる	木	板状+縁
VI-220		御講椀	VI食2 飲食 (4) 椀	御飯	いれる	食べる	木	椀形 (挽物)
7-1-② 焚く・当てる・温める・灯す								
たく (焚)・点火 事例：燈石 (火打石)・竈・七輪・焜炉など								
VII-059		火箸	VII住2 暖房 (1) 囲炉裏	薪や炭	はさむ	はさむ・移す	鉄	棒状2+輪状
VII-060		火吹竹	VII住2 暖房 (1) 囲炉裏	息	吹きこむ	吹く・火を起こす	竹	筒状・管形 (竹筒)
VI-108		鉄製竈	VI食1 炊事・調理 (3) 調理具	釜・鍋	のせる・火を焚く	焚く	鉄	筒状 (鋳物)・側面に四角穴 (焚口)
VI-109		鉄製竈	VI食1 炊事・調理 (3) 調理具	釜・鍋	のせる・火を焚く	焚く	鉄	筒状 (鋳物)・側面に四角穴 (焚口)
VI-110		しちりん (七輪)	VI食1 炊事・調理 (3) 調理具	鍋・金網	のせる・火を焚く	焚く・焼く	焼物	器状・円筒形
VI-111		練炭焜炉 (れんたんこんろ)	VI食1 炊事・調理 (3) 調理具	練炭を入れ、鍋釜を乗せる	火を付ける・鍋釜をのせる	焚く・煮炊きする	焼物	円筒形 (上大・口縁太い)
VI-112		籾殻竈・ネカベツツイ	VI食1 炊事・調理 (3) 調理具	ネカ (籾殻)、鍋釜	火を付ける・鍋釜をのせる	焚く・煮炊きする	鉄・鋳物	円筒形 (筒形・鉢形積重ね) 側面に四角い扉・空気穴
VII-107		五徳・サントク	VII住2 暖房 (3) 火鉢	鉄瓶	火鉢の中に据える	支える	鉄 (鍛造)	輪状+棒状脚3本 (やや広がる)
VII-108		五徳・サントク	VII住2 暖房 (3) 火鉢	鍋釜	囲炉裏の中に据える (脚上向)、のせる	のせる・支える	鉄 (鋳物)	輪状 (平ら)+棒状脚3本 (先端鉤状に曲がり尖る)
けす (消)								
VII-046		火消壺・ケシコガメ	VII住2 暖房 (1) 囲炉裏	燠 (おき)	いれる	いれる・火を消す	焼物	箱状 (焼物)+板状蓋
VII-047		火消壺・ケシコガメ	VII住2 暖房 (1) 囲炉裏	燠 (おき)	いれる	いれる・火を消す	焼物	器状: 壺形 (焼物)+蓋 (円盤状)

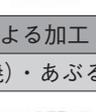
機能別一覧表：7-1/7-2/7-3

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
VII-049		火消壺・ケシコガメ	VII住2暖房 (1) 囲炉裏	燠(おき)	いれる	いれる・火を消す	鉄(鋳物)	器状:壺形(鋳物) +蓋(円盤状)
とる(暖をとる)・あたる(当)(火に)・あたためる(温)								
VII-061		炬燵の炉	VII住2暖房 (2) 炬燵	炭火・消し炭	床に穴あけ 据える、火をつける	暖をとる	金属(ジュラルミン)	鉢形・縁四角の罫(鋳物)
VII-062		炬燵の炉	VII住2暖房 (2) 炬燵	炭火・消し炭	床に穴あけ 据える、火をつける	暖をとる	鉄(鋳物)	鉢形・縁四角の罫(鋳物)
VII-063①		炬燵の炉縁・ロブチ	VII住2暖房 (2) 炬燵	掘炬燵の穴の縁	はめる	はめる・支える	木	枠状(組物)
VII-063②		炬燵の金網	VII住2暖房 (2) 炬燵	掘炬燵の底の火処の上	被せる	被せる・まもる	木・鉄	枠状(格子状)+網状(金網)
VII-068		炬燵槽	VII住2暖房 (2) 炬燵	掘炬燵の縁の上	かぶせる	支える	木	枠状(立体・格子状)
VII-074		炬燵槽	VII住2暖房 (2) 炬燵	掘炬燵の縁の上	かぶせる	支える	木	枠状(立体・格子状)
VII-084		置炬燵の火壺	VII住2暖房 (2) 行火	炭火	据える、火をいれる	支える・暖をとる	土(素焼き)	壺形(焼物)口縁に小穴
VII-081		ヒツボ・炬燵槽の火壺	VII住2暖房 (2) 行火	炭火	いれる	支える・暖をとる	焼物	壺形(焼物)口縁に小穴
VII-075		豆炭炬燵	VII住2暖房 (2) 炬燵	豆炭の炉	いれる	支える	木	枠状+棒(脚4)
VII-077		炬燵掛け	VII住2暖房 (2) 炬燵	炬燵槽	かぶせる	保温する	繊維	布状(縫物)
VII-078		炬燵掛け・ツツレ	VII住2暖房 (2) 炬燵	炬燵槽	かぶせる	保温する	繊維	布状(縫物)
VII-080		行火・アンカ	VII住2暖房 (2) 行火	炭火を入れた壺	いれる	いれる・暖をとる	木+焼物	枠状(立体・六角柱形)+鉢形(焼物)
VII-085		行火・バンコ、バンドコ	VII住2暖房 (2) 行火	炭火	いれる	いれる・暖をとる	焼物	壺形(焼物)口縁に小穴
VII-087		行火・バンコ、バンドコ	VII住2暖房 (2) 行火	炭火	いれる	いれる・暖をとる	焼物	箱状(焼物)
VII-088		行火・アンカ・アンカマ	VII住2暖房 (2) 行火	炭火	いれる	いれる・暖をとる	焼物	円筒形(焼物)+円盤状(蓋)
VII-092		湯たんぼ	VII住2暖房 (2) 湯たんぼ	湯	いれる	いれる・暖をとる	焼物	半円柱形・横置き・口穴(焼物)

機能別一覧表：7-1/7-2/7-3

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
VII-093		湯たんぽ	VII住2暖房 (2) 湯たんぽ	湯	いれる	いれる・暖をとる	焼物	平たい楕円形球体 (焼物)・穴
VII-094		湯たんぽ	VII住2暖房 (2) 湯たんぽ	湯	いれる	いれる・暖をとる	金属(ジュラルミン)	平たい楕円形球体 (打物)・穴
VII-096		火鉢	VII住2暖房 (3) 火鉢	炭火	いれる	いれる・暖をとる	焼物	鉢形(焼物)
VII-098		火鉢	VII住2暖房 (3) 火鉢	炭火	いれる	いれる・暖をとる	金属(銅)	八角鉢形(銅板打物)
VII-100		火鉢	VII住2暖房 (3) 火鉢	炭火	いれる	いれる・暖をとる	焼物+木	箱状(焼物+板組) +格子・金網
VII-101①		火箱入れ	VII住2暖房 (3) 火鉢	炭火を入れた壺	いれる	いれる・暖をとる	焼物+木	箱形(截頭四角錐) 側面に口+器状・ 円筒形(焼物)
VII-103		火鉢	VII住2暖房 (3) 火鉢	炭火	いれる	いれる・暖をとる	焼物	円筒形(焼物)+逆 U字形(提手・ 焼物)
VII-104		手あぶり	VII住2暖房 (3) 火鉢	炭火	いれる	いれる・暖をとる	焼物	器状・球形(焼物)
VII-135		風呂桶	VII住3設備 (2) 風呂	湯	いれる・沸かす	入浴する		楕円筒形・桶椀形 +板状蓋
VII-136		風呂桶	VII住3設備 (2) 風呂	湯	いれる・沸かす	入浴する		楕円筒形・桶椀形 +板状蓋
VII-139		手風呂	VII住3設備 (2) 風呂	湯	いれる・沸かす	手を温める		楕円筒形・桶椀形 +円筒状(打物・ 釜)+板状蓋
ともす(灯)・てらす(照)								
VII-028		乗燭・タンコロ	VII住1照明 (2) 行灯	明かり(菜種油)	置く・点火する	灯す・照らす	焼物	器状・高台付
VII-013		行燈	VII住1照明 (2) 行灯	明かり(菜種油)	置く・点火する	灯す・照らす	紙・木・鉄	棒状(立体)+棒(脚) +板状(台座)
VII-012		行燈・置行燈	VII住1照明 (2) 行灯	明かり(菜種油)	置く・点火する	灯す・照らす	紙・木・鉄	棒状(立体)+棒(脚) +板状(台座)
VII-011		行燈	VII住1照明 (2) 行灯	明かり(菜種油)	置く・点火する	灯す・照らす	紙・竹・鉄	円筒+球形+弓状 (提手)+円盤状(台座)
IX-054		提灯	IX社会生活5 祭り	明かり(蠟燭)	家の門に吊るす・照らす	灯す・まつる	竹・紙	筒状(曲物)上下端 +球形(竹ヒゴ螺旋状骨組・紙貼)
VII-009		提灯	VII住1照明 (1) 提灯	明かり(蠟燭)	据える・点火する	灯す・照らす	竹+紙	筒状(曲物)上下端 +筒形(竹ヒゴ螺旋状骨組・紙貼) +弓状

機能別一覧表：7-1/7-2/7-3

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
Ⅶ-007		嫁迎いの提灯・チカムカエのチョーチン	Ⅶ住1 照明 (1) 提灯	明かり(蠟燭)	据える・点火する	灯す・照らす	竹+紙	筒状(曲物)上下端+筒形(竹ヒゴ螺旋状骨組・紙貼)+提手+棒状(吊棒)
Ⅶ-030		燭台・ローソクタテ	Ⅶ住1 照明 (5) その他	明かり(蠟燭)	立てる	灯す・照らす	木	釘状+棒状(支柱)+円盤状(台座)
Ⅶ-030		龕燈提灯・ガンドウ	Ⅶ住1 照明 (5) その他	明かり(蠟燭)	据える・点火する	灯す・照らす	木+鉄	器状・桶形(結物)+輪状金具(回転自在)+持ち手
Ⅸ-051		田楽行燈・ヨータカ	Ⅸ社会生活 4 行事	明かり(蠟燭)	点火する・掲げる・照らす	照らす・祈願する	木	棒状・箱形(紙貼)+棒状(柄)
Ⅸ-052		墓燈籠	Ⅸ社会生活 4 行事	明かり(蠟燭)	墓に吊るす・照らす	照らす・まつる	木	屋形(立体・板組・側面に丸い穴)
Ⅶ-014		ランプ	Ⅶ住1 照明 (3) ランプ	明かり(石油)	吊るす・点火する	灯す・照らす	ガラス+金属	筒状・球形(ガラス・ほや)+棒状(針金)+皿状(笠形・ガラス・中央穴)+器状(缶)
Ⅶ-017		ランプ	Ⅶ住1 照明 (3) ランプ	明かり(石油)	置く・点火する	灯す・照らす	ガラス+金属	筒状・球形(ガラス・ほや)+金具(灯心)+球形・ガラス+円盤状(台座)
Ⅶ-018		石油ランプ	Ⅶ住1 照明 (3) ランプ	明かり(石油)	置く・点火する	灯す・照らす	ガラス+金属	筒状・瓢箪形(ガラス・ほや)+金具(灯心)+缶状・箱形(金属・台座)
Ⅶ-020		台ランプ	Ⅶ住1 照明 (3) ランプ	明かり(石油)	置く・点火する	灯す・照らす	竹+木	金具(灯心部)+円柱(支柱)+円盤状台座
Ⅶ-022①		ランプのホヤ	Ⅶ住1 照明 (3) ランプ	明かり(石油)	かぶせる	灯す・照らす	ガラス	円筒形(ガラス)下部が球形
Ⅶ-024		角灯・カクト	Ⅶ住1 照明 (4) 角灯	明かり(石油)	置く・点火する	灯す・照らす	ガラス+金属	筒状・球形(ガラス)
Ⅶ-031		手持ちランプ	Ⅶ住1 照明 (5) その他	明かり(石油)	点火する	灯す・照らす・移動する	金属+ガラス	筒状(金属)・球形(ガラス)
Ⅶ-032		カンテラ	Ⅶ住1 照明 (5) その他	明かり(カーバイト)	点火する	灯す・照らす・移動する	金属+ガラス	円筒状(金属)+円錐形点火部+ハンドル
Ⅶ-033		ランプ	Ⅶ住1 照明 (5) その他	明かり(石油)	点火する	灯す・照らす(船用)	金属+ガラス	円筒状2段(金属・ガラス)+提手
7-2 熱による加工 (やく(焼)・にる(煮)・むす(蒸)・たく(炊)・いためる(炒))								
やく(焼)・あぶる(炙)・いる(煎)・ほうじる(焙) 事例: 金網・焼串・煎鍋・焙炉(ほいろ)など								
Ⅶ-054		串立て・アブリコ	Ⅶ住2 暖房 (1) 囲炉裏	魚串	すえる・さす	焼く	石(金屋石)	塊状(直方体・石)
Ⅶ-055		ワタシ	Ⅶ住2 暖房 (1) 囲炉裏	食品	据える・乗せる	載せる・支える	鉄・打物	格子状・扇形+握り+棒状脚4

機能別一覧表：7-1/7-2/7-3

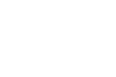
写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
VI-011		煎鍋 (いりなべ)	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	屑米・大麦・大豆など	いれる	煎る	鉄・鋳物	鉢形 (鋳物)
VI-012		煎鍋 (いりなべ)	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	豆や野菜	いれる	煎る	鉄・鋳物	鉢形 (鋳物)・注口
VI-053		パン焼き器	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	パン	いれる	焼く	アルミ	鉢形 (鋳物) ジュラルミン
VI-054		オーブン	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	パンなど	いれる	焼く	ブリキ	箱形 (ブリキ・打物)・扉・両側に取手
にる (煮)・わかす (沸)・たく (炊) 事例：鍋・釜・鉄瓶・土瓶・薬缶など								
VI-001		大鍋	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	里芋や薩摩芋など	いれる	煮る	鉄・鋳物	鉢形 (鋳物) + 提手
VI-291		豆腐用大鍋	VI食3保存・醸造 (3) 豆腐作り	呉汁	いれる	いれる・煮る	鉄・鋳物	鉢形 (鋳物) + 提手
VI-025		羽釜・オカマ	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	御飯	いれる	炊く	ジュラルミン (鋳物)	鉢形・鍔付き (鋳物) + 提手
VI-026		雪平鍋	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	粥	いれる	炊く	焼物	鉢形 (焼物) + 注口 + 握り
VI-027		ガス釜	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	御飯	いれる	炊く	鉄	鉢形 (金属)・機械
VI-032		チャガマ	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	湯茶	いれる・火にかける	沸かす	鉄・鋳物	器状・壺形・注口 + 提手 (弦) + 蓋
VI-037		鉄瓶	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	湯茶	いれる・火にかける	沸かす	鉄・鋳物	器状・壺形・注口 + 提手 (弦) + 蓋
VI-042		鉄瓶 (火鉢用)	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	湯茶	いれる・火にかける	沸かす	鉄・鋳物	器状・壺形・注口 + 提手 (弦) + 蓋
VI-045		土瓶	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	茶	いれる・火にかける	沸かす	焼物	器状・壺形・注口 + 提手 (弦) + 蓋
VI-048		ヤカン (薬缶)	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	湯	いれる・火にかける	沸かす	アルマイト	器状・壺形・注口 + 提手 (弦) + 蓋
VI-051		ヤカン (薬缶)	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	薬草	いれる・火にかける	沸かす	鉄・鋳物	器状・壺形・注口 + 提手 (弦) + 蓋
VI-055		電気釜	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	御飯	いれる・電気をいれる	炊く	アルミ	器状・円筒形 + 両側に持手 + 蓋：機
VI-056		圧力鍋	VI食1炊事・調理 (1) 鍋釜	豆など	いれる・火にかける・蓋を留める	炊く	アルミ	器状・円筒形 + 握り + 蓋

## 機能別一覧表：7-1/7-2/7-3

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
むす（蒸） 事例：蒸籠・蒸桶など								
Ⅲ-179		楮蒸釜(こうぞがま)	Ⅲ 諸職 9 紙漉き	水	楮を蒸す	蒸す (楮を)	鉄・鋳物	鉢形+鍔付(鋳物)
Ⅵ-099		蒸籠	Ⅵ食1 炊事・調理 (3) 調理具	餅・団子・赤飯など	いれる	蒸す	木・組物	箱形+底板(中央に穴)+板状蓋
Ⅵ-101		蒸籠	Ⅵ食1 炊事・調理 (3) 調理具	餅・団子・赤飯など	いれる	蒸す	木・組物	棒状・箱形3段重ね+底板+板状蓋+簧の子
Ⅵ-103		蒸籠	Ⅵ食1 炊事・調理 (3) 調理具	麴米など	いれる	蒸す	木・曲物	筒形(曲物)
Ⅵ-105		蒸籠	Ⅵ食1 炊事・調理 (3) 調理具	餅米・赤飯など	いれる	蒸す	金属	筒形・打物+板状・円形蓋
Ⅵ-106		目皿・ムシザラ	Ⅵ食1 炊事・調理 (3) 調理具	釜・食品	いれる・(団子や米を)のせる	蒸す	木	円盤形・穴多数
いぶす（燻）								
I-257		燻炭の煙突	I 農林業 2 田植 (1) 苗代	穀殻	積んだ穀殻の中に基部を埋める	通気する(穀殻を燃やすときに煙突として)	トタン	筒状・円筒形(打物)+皿形(打物)
7-3 とかす（溶）・かもす（醸） ※微生物・化学変化による加工 事例：醸造用桶類・漬物桶・漬物石など								
Ⅵ-255		漬物桶	Ⅵ食3 保存・醸造 (1) 桶	漬物	いれる	保存する・漬ける	木+竹(タガ)	円筒形・桶形(結物)
Ⅵ-258		桶	Ⅵ食3 保存・醸造 (1) 桶	漬物など	いれる	保存する・漬ける	木+竹(タガ)	円筒形・桶形(結物)
Ⅵ-296		醤油桶	Ⅵ食3 保存・醸造 (4) 醤油作り	醤油(もろみ)	いれる	保存する・醸す	木+竹(タガ)	円筒形・桶形(結物)
Ⅵ-298		醤油樽	Ⅵ食3 保存・醸造 (4) 醤油作り	醤油	いれる	保存する・運ぶ	木+竹(タガ)	円筒形・樽形(結物)

# 情報・象徴系

機能別一覧表：8 情報の獲得・加工・保存・伝達機能

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
8-1-① あてる・はかる (計・測・量)・かぞえる 数量情報 (寸法・重量・量・温度・時間)・規矩、〈その獲得・保存・伝達〉								
Ⅲ-040		差金・曲尺	Ⅲ諸職 2 大工	材木の角度	あてる・読む	はかる (長さ)	金属・打物	板状 (打物)
Ⅲ-041		定規	Ⅲ諸職 2 大工	板・柱	板にあてて型をとる	かたどる (形状)	木	I形・板状
Ⅲ-086		巻尺	Ⅲ諸職 2 大工	板・柱	あてる	はかる (長さ)	繊維	鉤状
Ⅲ-143		折尺 (おりじゃく)	Ⅲ諸職 5 石屋	長さ	あてる	はかる (長さ)	竹	L形・板状 4折
I-285		水縄	I 農林業 2 田植 (2) 田植用具	水田 (植え田)	張る	整える (間隔)	藁芯・ネゴ	縄状
Ⅲ-039		錘重 (すいじゅう)・サゲフリ	Ⅲ諸職 2 大工	錘 (本体)	吊り下げる	はかる (垂直を)	鉄	塊状・円錐形 (鋳物)+糸
I-589		竿秤 (さおばかり)	I 農林業 4 収穫 (3) 度量衡	米俵	吊りさげる	はかる (重さ)	木・鉄・繊維	棒状+鉤状
I-592		分銅 (ふんどう)	I 農林業 4 収穫 (3) 度量衡	棹秤	吊り下げる	はかる (重さ)	鉄・鋳物	塊状・円錐形
IV-009		上皿天秤	IV 商業	薬品	皿にのせる	はかる (重さ)	金属・打物	複雑系 (皿形 2+天秤) (機)
I-593		台秤 (だいばかり)	I 農林業 4 収穫 (3) 度量衡	米俵・叭	のせる	はかる (重さ)	鉄	器械
I-586		一升枡	I 農林業 4 収穫 (3) 度量衡	米	いれる	はかる (量)	木・板組	箱状 (板組)
I-581		一斗枡	I 農林業 4 収穫 (3) 度量衡	米	いれる	はかる (量)	木・結物	円筒形・桶形
I-576②		斗棒	I 農林業 4 収穫 (3) 度量衡	米 (舂・いられた米)	こする・ならす	ならす・はかる (量)	木・削	I形・棒状 (丸棒)
Ⅲ-177①		計量スプーン・サジ	Ⅲ諸職 8 菓子作り	粉	すくう	はかる (量)	木	籠・匙状
I-691		球根通し・篩	I 農林業 7 チューリップ栽培	球根	いれる・ふるう	選別・分ける (大きさ)	木・削	板状 (穴)
I-693		サイズ板	I 農林業 7 チューリップ栽培	球根	いれる・別ける・通す	分ける (大きさ)	木・削	板状 (穴)

## 機能別一覧表：8

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
Ⅶ-200		柱時計	Ⅶ住3家具	時	柱にかける	はかる(時間)・しらせる	木・金属	箱状(板組)(機械)(金属)
8-1-② あてる・かたどる(型) 形態情報の獲得・保存・伝達								
I-272		田植枠	I 農林業 2 田植(2) 田植用具	水田(植え田)	当てる・転がす	印をつける	木・組物	枠状(立体)
Ⅲ-079		図板(ずいた)	Ⅲ諸職 2 大工	図面	線(図)を描く	示す・確かめる	木	板状
Ⅱ-096		瓦の型	Ⅱ手工業 2 瓦づくり	粘土	のせる・(たたく・きる)	かたどる	木	板状(湾曲)+枠
Ⅲ-150		カイカタ	Ⅲ諸職 6 桶屋	桶の側板(クレ)	あてる	測る(丸みと角度を)	木	板状
Ⅲ-173①		菓子型・シンカンガシのカタ	Ⅲ諸職 8 菓子作り	菓子の粉	いれる	かたどる	木	板状
Ⅲ-178		羊羹の枠	Ⅲ諸職 8 菓子作り	羊羹の原汁	いれる・漉く・かたどる	漉く・かたどる	木・竹?	枠状
8-2-① みる(見・観・視・診)・よむ(読)・とる(撮)・うつす(写・映) 視覚情報の獲得・保存・伝達								
V-496		手鏡	V 衣 8 化粧・結髪	顔	写す	化粧をする	金属	板状・円盤形+棒
Ⅸ-096		カメラ	Ⅸ社会生活 8 遊び	風景・人物など	シャッターを押す	写す(写真を)	金属	箱状(機)
Ⅸ-118		映写機	Ⅸ社会生活 11 学校	映像	見せる	映写する・伝える	複雑形	箱形(複雑)・機械
8-2-② かく(書・描)・しるす(記)・しめす(示)・かかげる(掲) 視覚情報の保存・伝達								
Ⅲ-034①		硯	Ⅲ諸職 2 大工	墨	摺る	墨汁をつくる・しるす(文字など)	石・刳物	板状(刳物)
Ⅶ-176		矢立て	Ⅶ住3家具	筆・墨汁	いれる・腰につける	運ぶ・文字を書く	金属・打物	筒状(打物・銅)
Ⅲ-033		墨壺(すみつぼ)	Ⅲ諸職 2 大工	材木	(墨をつけた)糸を張り・はじく	しるす(長い直線を)	木・彫物	塊状(彫物)+糸
Ⅲ-034②		墨刺	Ⅲ諸職 2 大工	材木	(墨をつけて)こする	線を引く	竹	I形・棒状
Ⅳ-012		看板	Ⅳ商業	店の名	吊り下げる	示す・表示する	木	形象(亀甲形)+文字
Ⅳ-013		看板	Ⅳ商業	文字	掛ける	示す	木	板状
Ⅸ-005		共同釜利用札	Ⅸ社会生活 1 村の暮らし	文字・印	掲示する	示す	木	板状(文字などをしるす)

機能別一覧表：8

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
IX-109		石盤	IX社会生活 11 学校	石筆で	石筆で文字を書く	示す	石・木(緑)	板状
IX-110		黒板	IX社会生活 11 学校	白墨(チョーク)	白墨で文字を書く	示す	木	板状
IX-119		校印	IX社会生活 11 学校	印	押す	証明する	金属・铸件	塊状(四角+棒)
IX-009②		神札・棟札	IX社会生活 1 村の暮らし	神霊	拜む	拜む・祈る	木	板状(文字などをしるす)
<b>8-3-① きく(聞・聴)・はなす(話・語)・とる(録) 聴覚情報1(言葉)の獲得・保存・伝達</b>								
IX-112		拡声器・スピーカー	IX社会生活 11 学校	音	音を大きくする	伝える	器状	逆さ鉢形
IX-115		蓄音器	IX社会生活 11 学校	音	レコードを回す・針を置く	伝える	箱状	箱状(機)
IX-117		テープレコーダー	IX社会生活 11 学校	音	テープを回す	記録する・伝える	箱状	箱状(機)
VII-202		電話機	VII住 3 家具	話	ダイヤルをまわす(かける)・受話器をとる	通話する	樹脂など	複雑形(機械)
<b>8-3-② 音をたてる・かなでる(演・奏) 聴覚情報2(音・音楽)の発信・保存・伝達</b>								
I-351		鳴子・トリオドシ	I 農林業 3 肥培・管理(2) 防除	害鳥(スズメ)	縄を引く・音をたてる	音を立て追う	木・削	板状+棒状
I-352		竹鉄砲・スズメオイタケデッポウ	I 農林業 3 肥培・管理(2) 防除	害鳥(スズメ)	打つ・音を立てる	音を立て追う	竹	棒状+棒状(柄)
IX-001		大太鼓	IX社会生活 1 村の暮らし	皮膜	バチで叩く	音を立てる・知らせる・奏でる	皮革	円筒形・桶形(結物)・輪2に皮・縄状
IX-002		太鼓	IX社会生活 1 村の暮らし	皮膜	バチで叩く	音を立てる・知らせる・奏でる	皮革	円筒形(割物)・両面皮張
IX-003		板木と木槌	IX社会生活 1 村の暮らし	板	木槌で叩く	音を立てる・知らせる	木・削	板状+T形・槌形
IX-008		拍子木	IX社会生活 1 村の暮らし	棒	叩き合わせる	音を立てる・知らせる	木・削	棒状2
IX-011		鐘	IX社会生活 1 村の暮らし	音	叩く・鳴らす	知らせる	銅・铸件	逆さ鉢形(裁頭円錐)
<b>8-4-① かざる(飾)・よそおう(装)</b>								
III-081		儀式用道具箱	III 諸職 2 大工	大工道具	並べる	祝う	木・板組	箱状(板組)+箱状蓋
V-001		紋付着物・モンツキ	V 衣 1 和服(1) 儀礼服	身体(男)	着ける	着ける(儀式用)	繊維・縫物	衣状・長着形物

## 機能別一覧表：8

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
V-005		黒留袖・トメソデ	V衣1和服 (1) 儀礼服	身体(女)	着ける	着ける(儀式用)	繊維・縫物	衣状・長着形
V-013		羽織・ハオリ	V衣1和服 (1) 儀礼服	身体(男)	着ける	着ける(儀式用)	繊維・縫物	衣状・短着形
V-043		肩衣・カタギン	V衣1和服 (1) 儀礼服	身体(上半身・男)	着ける	着ける(儀式用)	繊維・縫物	衣状・袖無形
IX-013		打掛	IX社会生活2 嫁入り	花嫁	(婚家まで) 着る	飾る・祝う	繊維・縫物	衣状・長着形
V-070		単衣振袖・フリソデ	V衣1和服 (1) 儀礼服	身体(女)	着ける	着ける(儀式用)	繊維・縫物	衣状・長着形
V-073		喪服・シロ	V衣1和服 (1) 儀礼服	身体(女)	着ける	着ける(葬儀に)	繊維・縫物	衣状・長着形
V-265		丸帯	V衣1和服 (4) 帯 その他	身体(腰)	着ける	締める(正装用)	繊維・縫物	带状
V-198		一ツ身紋付綿入れ・ヒトツミ	V衣1和服 (3) 子供用晴着	身体(男児)	着ける	着ける(宮参りに)	繊維・縫物	衣状・長着形
V-205		一ツ身紋付袷 女児用	V衣1和服 (3) 子供用晴着	身体(女児)	着ける	着ける(宮参りに)	繊維・縫物	衣状・長着形
V-209		四ツ身紋付振袖 女児用	V衣1和服 (3) 子供用晴着	身体(女児)	着ける	着ける(祝いに)	繊維・縫物	衣状・長着形
V-210		被布(ひふ)女児用	V衣1和服 (3) 子供用晴着	身体(女児・上半身)	着ける	着ける(宮参りに)	繊維・縫物	衣状・長着形
V-258		房帯 女児用	V衣1和服 (3) 子供用着物	身体(女児・腰)	着ける	締める	繊維・縫物	带状
V-502		櫛(くし)と簪(かんざし)	V衣8化粧・結髪	髪	差す	飾る	木、金属	櫛状、I形・棒状
V-503		櫛(くし)	V衣8化粧・結髪	髪	差す	飾る	木	板状・櫛状
V-503		笄(こうがい)	V衣8化粧・結髪	髪	差す	飾る	不明	I形・棒状
8-4-② いわう(祝)・まつる(祭・奉・祀)								
IX-016		嫁暖簾(のれん)	IX社会生活2 嫁入り	婚家	部屋の入口に掛ける	飾る・祝う	繊維	布状・暖簾形
IX-022		重掛け	IX社会生活2 嫁入り	重箱	かぶせて運ぶ	飾る・祝う	繊維	布状・四角形
IX-027		重布団	IX社会生活2 嫁入り	重箱	(重箱を)載せる	飾る・祝う	繊維	マット状

機能別一覧表：8

写真番号	写真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機能	作用部の素材	作用部+接触部
IX-028		熨斗	IX社会生活2 嫁入り	重箱	(重箱に)載 せる	飾る・祝う	紙	形象・(飾り)
IX-029		宝船	IX社会生活2 嫁入り	..	(結納時に) 飾る	飾る・祝う	藁	形象(立体)・屋 形
IX-031		角樽飾り	IX社会生活2 嫁入り	角樽	添える・飾 る	飾る・祝う	紙・折紙	形象・(飾り)
IX-033		角隠し	IX社会生活2 嫁入り	花嫁の髪	髻を包む	飾る・祝う	繊維	帯状
V-460		駒下駄・コッポリ 女兒用	V衣6履物	身体(足・ 女児)	履く	歩く・護る	木・板組	板状、一对
VI-171①		重箱	VI食2飲食 (2)重箱	重箱	入れる	運ぶ	木・板組	箱状(板組)+板状 蓋
VI-180		高御膳(僧侶用)	VI食2飲食 (3)膳	椀類	のせる	食事をする	木・板組	器状・膳形(板+ 脚)※椀類セット
VI-189		御膳	VI食2飲食 (3)膳	椀類	のせる	食事をする	木・板組	器状・膳形(板+ 脚)※椀類セット
VI-314		銚子	VI食4嗜好 (1)酒	酒	入れる	入れる・注ぐ	鉄・鋳物	器状・球形(鋳物) +注口+提げ手
IX-052		墓燈籠	IX社会生活4 行事	..	墓に吊る す・照らす	まつる	木	形象・屋形
IX-053		盆踊りの前掛け	IX社会生活4 行事	身体(若衆)	締める	飾る・踊る	繊維	布状・前掛形
IX-056		吹流し	IX社会生活5 祭り	..	竿の先に掲 げる	まつる	繊維	布状・筒状
IX-057		幕	IX社会生活5 祭り	..	祭りに家の 前に張る	まつる	繊維	布状・四角形
VII-007		嫁迎への提灯・チカ ムカエのチョーチン	VII住1照明 (1)提灯	明かり(蠟 燭)	据える・点 火する	灯す・照らす	竹+紙	球状+棒状(脚)+ 円盤状
IX-076		獅子の前掛け	IX社会生活6 獅子舞	身体(獅子 方若衆)	巻く	演じる	繊維	布状・前掛形
IX-078		シシトリの腹掛け	IX社会生活6 獅子舞	身体(獅子 方若衆)	着ける	演じる	繊維	布状・前掛形
IX-012		穴あき石	IX社会生活1 村のくらし	..	祠に吊るす	祈る(耳の病に)	石・木 (緑)	塊状(自然石)
IX-009①		宮の本殿	IX社会生活1 村のくらし	神霊	据える・祀 る	拝む・祈る	木	形象(立体)・屋形

## 機能別一覧表：8

写真番号	写 真	項目名	用途分野	対象物	主要動作	機 能	作用部の素材	作用部+接触部
IX-010		唐櫃	IX社会生活 1 村の暮らし	供物	いれる・担ぐ	運ぶ	木	形象(立体)・屋形
IX-045		初午の頭	IX社会生活 4 行事	..	子供たちが持って家々を訪ねる	祈願する	藁	形象・馬形
IX-047		天神様	IX社会生活 4 行事	..	まつる・遊ぶ	まつる・祝う	木	形象・人形
IX-048		天神様	IX社会生活 4 行事	..	祈願	まつる・祝う	紙	形象・人形
IX-050		雛人形	IX社会生活 4 行事	..	まつる・遊ぶ	まつる・祝う	木・繊維	形象・人形
8-5 あそぶ(遊・戯・娯・楽)・まねる(似・模・擬)・きそう(競・争)								
IX-046		羽根	IX社会生活 4 行事	羽子板	打つ・飛ばす	遊ぶ	羽根	羽根状+玉
IX-046		独楽	IX社会生活 4 行事	..	まわす	遊ぶ	木・挽物	塊状・円錐形+鉄棒(軸)
IX-090		お手玉・オジャミ	IX社会生活 8 遊び	お手玉	入れる	いれる	繊維	袋状
IX-092		スキー	IX社会生活 8 遊び	身体	履く	滑る	木	板状
8-6 かんがえる(考)・さっする(察)・しる(知)・わかる(分・解)								
IV-001		算盤	IV商業	数	はじく	数える・計算をする	木	箱状(板組)+串状+玉状